

# 農 林 水 産 業 費

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C5-1 地域ブランドの育成を推進します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	農業者が	地域ブランドの安定した供給を行っている。

### 令和3年度の取組概要

市内の農産物のうち、高付加価値販売が期待できる「なつたより」「長崎和牛・出島ばらいろ」を地域ブランド推進品目として位置づけ、生産・流通・販売に係る取組みを支援した。

#### ●「なつたより」の産地育成

- ・大玉で食味に優れ市場性が高く、びわ栽培の主力品種として推進を図るため、JA、生産者代表、市等で構成する「長崎びわ産地活性化推進協議会」において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったびわフェスタの代替策として、インターネット販売やJA直売所や支店での注文受付等、販売促進活動を実施した。

- ・継続的・安定的な高品質生産を図るため、新規植栽(補植)支援805本、土づくり資材15.3tの導入支援、寒害等気象災害用果樹共済加入の支援を行った。

- ・コロナ禍における生産活動と販売促進を安全に実施するため、出荷検査体制の省力化につながる出荷検査設備や、販売促進資材の導入に対して支援を行った。

- ・びわ産地が抱える高齢化や労力不足等の課題を解決するため、県やJA、びわ生産者、民間企業と連携した「長崎びわ生産コンソーシアム」において申請した国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトが採択され、実証試験に取り組んだ。

#### ●「長崎和牛・出島ばらいろ」の安定生産の推進

- ・農業振興資金預託金において、出島ばらいろの素牛となる和牛の購入に対して支援を行った。

- ・「長崎和牛・出島ばらいろ」消費拡大実行委員会に対して支援を行い、販路拡大に向けた取組みを推進した。

### 評価(成果)

#### ●「なつたより」の産地育成

- ・販売促進活動は、従来のびわフェスタの開催ではなく、インターネット販売やJA直売所や支店での注文受付を実施し、市民への「なつたより」の認知度向上につながった。

- ・新規植栽(補植)支援及び作業省力化用コンパクト土づくり資材の導入支援により、産地の維持・拡大が図られた。

- ・寒害等気象災害用果樹共済加入の支援を行ったことで、災害リスク(農業所得の減少)管理が図られた。

- ・販売促進資材や出荷検査設備等の導入により、販売回復及び生産安定等のきっかけをつくるとともに、消費者へのPR及び生産安定及び出荷調整作業の効率化につながった。

- ・カラス被害対策用資材の導入により、カラス被害の軽減による安定生産につながった。

- ・国のスマート農業技術の開発・実証プロジェクトによるスマート農業の実証試験により、出荷検査の労力の省力化を図る設備等が導入され、「なつたより」のブランド化の推進と出荷検査における労力軽減が図られた。

#### ●「長崎和牛・出島ばらいろ」の安定生産の推進

- ・農業振興資金預託金等により、素牛購入にかかる生産コスト低減につながり、肥育頭数が維持でき、安定生産が図られた。(素牛購入頭数実績 令和2年度1,189頭(JAの農業近代化資金659頭含む。)→令和3年度1,368頭(JAの農業近代化資金807頭含む。))

- ・「出島ばらいろ」の販売量は654.4tと例年並みを維持、新型コロナウイルス感染症の対策と経済活動の両立により、外食産業等での需要が回復基調となったことから、販売額も回復傾向にある。

### 評価(問題点とその要因)

#### ●「なつたより」の産地育成

- ・農業者の高齢化等により、経営規模を縮小する農業者もあり、生産量の増加が難しい。また、気象災害を受けやすいため、安定した生産が難しい。

#### ●「長崎和牛・出島ばらいろ」の安定生産の推進

- ・生産コストにおける素牛導入経費が大きい。

### 今後の取組方針

#### ●「なつたより」の産地育成

- ・地域ブランド育成のため、栽培面積の拡大を図り、安定した計画的生産出荷体制を構築する。

- ・収穫時期における労力を軽減するため、共同選果や選果機の導入などを関係機関と進めていく。

- ・びわ産地が抱える高齢化や労力不足等の課題を解決するため、引き続き「なつたより」のブランド化や出荷労力の省力化を進めるスマート選果システムの構築等に取り組む。

- ・寒害対策として、気象災害に備えた産地づくりに向けて、果樹共済や収入保険への更なる加入促進を図り、びわ産地の安定生産の強化に努める。

- ・生産量増加のため、新規植栽(補植)の支援、土づくり資材の導入支援を引き続き行うとともに、関係機関と連携し、定年帰農者等による新規生産の推進などに取り組む。

#### ●「長崎和牛・出島ばらいろ」の安定生産の推進

- ・生産者が安定的な肥育牛の供給を行えるよう、JAと連携を図り、既存の預託制度と他資金の併用により、素牛導入に対する支援を継続し、経営安定を図る。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名			
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
313	<p>(事業名) 農業振興資金預託金</p> <p>(事業目的) 肥育素牛の導入資金の円滑な融通を図り、肥育牛経営の安定化につなげる。</p> <p>(事業概要) 市単独の制度資金(預託制度)で、肥育素牛の購入経費をJAと協調融資する。</p>	成果指標	単年度の肥育素牛導入数
		目標値	540 頭
		実績値	561 頭
		達成率	103.9 %
		決算額	584,766,000 円
		成果指標・目標値の説明	<p>肥育牛経営においては、安定した素牛導入が重要であることから、肥育牛導入数を成果指標とした。</p> <p>令和3年度は、JAや畜産農家の年度肥育及び資金調達の計画に基づき、540頭を目標値とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <p>特認家畜購入資金においては、JAとの協調融資によって貸付利率を低利に設定し、円滑な肥育素牛導入を支援した(導入頭数:561頭)。</p> <p>なお、平成29年度から一部新たな制度資金(農業近代化資金)を活用しており、調達資金調整の結果、農業振興資金預託金を活用した導入頭数は増加した。この分を含めると、令和3年度導入頭数は、1,368頭とやや増加した。</p> <p>(成果・課題等)</p> <p>飼料や素牛価格等、経営コストの増加が問題となっており、肥育牛経営農家の「素牛購入⇒肥育⇒出荷⇒素牛購入」サイクルには調達資金は不可欠である。</p>		
313	<p>(事業名) 長崎びわ生産推進事業費補助金</p> <p>(事業目的) びわ優良品種「なつたより」の生産拡大と高品質化を支援し、継続的かつ安定的な生産を促し、ブランド化を図る。</p> <p>(事業概要) 「なつたより」への補植及び作業を省力化できる高品質化資材導入に係る事業経費の一部を補助する。</p>	成果指標	なつたよりの単年度販売量
		目標値	124.0 t
		実績値	72.0 t
		達成率	58.1 %
		決算額	1,422,000 円
		成果指標・目標値の説明	<p>優良品種である、「なつたより」の販売量を高めることが産地の活性化に重要であり、「なつたより」の販売量を成果指標とした。</p> <p>「長崎びわ産地活性化プラン」(平成29年2月策定)の出荷量計画に基づき令和元年度に目標値の再設定を行い、令和3年度時点は124tを目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なつたより補植 50戸 805本</li> <li>・省力化品質向上資材 43戸 15.3t</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>気象災害の影響を大きく受けて生産量が減少していた令和2年度に比べ、生産量は大幅に増加したが、目標は達成できなかった。</p> <p>今後も、農業者の災害に強いびわ産地育成のため、引き続き果樹共済への加入促進を図り、計画生産・安定生産に向けて取り組む必要がある。</p> <p>また、「なつたより」の市場評価は高いため、今後も生産者における高品質な「なつたより」計画出荷の確立と有利販売戦略の構築を図る。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C5-2 意欲ある農林業者の育成確保を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	農林業者が	安定した農林業経営を行っている。

### 令和3年度取組概要

- 地域農林業のリーダー及び新規就農者の育成支援
  - ・意欲ある農業の担い手育成支援策として、関係機関と連携し、年間農業所得概ね400万円の目標達成に向けて、農業経営改善計画の作成指導を進めたことにより、認定農業者数は、新規に9件の認定があった。しかしながら、高齢化、後継者不在等の理由により、14件が失効したため、前年度の180件に比べ5件減の175経営体となった。
  - ・就農支援対策として、関係機関との連携により新規就業者の掘り起しを行い、新たに6人が認定新規就農者となった。また、農業次世代人材投資資金を18人に、中高年新規就農者給付金を4人に交付した。
  - ・経営継承・発展等支援事業の実施により、2名の経営継承後の経営発展につながる取り組みに対し支援を行った。
  - ・農業新規参入促進事業により、ハウス長寿命化や農業機械の導入等の支援を行った。
  - ・人・農地プラン(※)の推進については、集落会議を開催し、地域での話し合いを進めるとともに、6地区9集落において、将来の農地利用に関するアンケートや地図を基に、より具体的な検討を行い、人・農地プランの実質化を行った。この結果、全集落(12地区26集落)において、実質化された人・農地プランの策定が完了した。
  - ・新たな担い手の受け皿づくりと効率的な営農環境の実現を図るため、JAや県と連携し、地元農業者のリーダーと現地調査や協議等を行い、農地の基盤整備候補地の検討に取り組んだ。
  - ・林業の振興を支援するため、林業の担い手の技術及び技能の向上を図るとともに、担い手の労働安全、衛生及び福利厚生、その他林業後継者に対する対策を講じることにより、林業労働力を安定的に確保した。
- 経営安定の支援
  - ・基幹作物である、いちご、花き及び果樹等の生産施設の改善、効率化・高品質化体制の確立のため、認定農業者を中心とした意欲の高い農業者が実施する農業生産基盤の整備に対して支援を行った。また、国庫事業により、いちご低コスト耐候性ハウスの導入等の支援を行った。

※人・農地プラン・・・地域の農業者において話し合いを行い、地域が抱える人と農地の問題を解決するための農地の利活用方針及び地域農業のあり方等を定めたもの

### 評価(成果)

- 地域農林業リーダー及び新規就農者の育成支援
  - ・関係機関と連携し、新規就農者や認定農業者の所得向上、新規就農希望者の相談対応や情報提供を行うとともに、農業次世代人材投資資金及び中高年新規就農者給付金の交付並びに農業新規参入促進事業による施設の整備や再利用支援等により、意欲の高い青年等の新規就農が図られ、10人の新たな担い手を確保した。また、経営継承・発展等支援事業の実施により、2名の農業後継者の確保につながった。
  - ・人・農地プランの推進については、プランの推進と地域の中心となる経営体を決定するとともに、6地区9集落において、実質化された人・農地プランを作成することができたことにより、今後の農地の利用集積・集約化等の方針や農地利用を行う中心経営体の明確化が図られ、地域での課題・必要な取組みを抽出できた。
  - ・JAや県と連携を図りながら、市内2地区の地元農業者のリーダーと基盤整備の検討に係る協議を継続して行ったことにより、新たな担い手の受け皿づくりと効率的な営農環境の実現を図るための小規模基盤整備の候補地が明確になった。
  - ・林業の担い手である森林組合基幹作業員の福利厚生事業に対して支援を行ったことにより、林業労働力の確保につながった。
- 経営安定の支援
  - ・施設等整備に対する支援により、農産物の安定生産の推進と、経済的負担の軽減による農業経営の改善につながった。

### 評価(問題点とその要因)

- 地域農林業リーダー及び新規就農者の育成支援
  - ・生産コストの増加に伴う農家の負担増等、農業を取巻く状況は厳しく、農業従事者の高齢化や後継者不足が進行している。
  - ・農業新規参入促進事業により、農業基盤の支援を行っているものの、営農に係る技術・経営の未確立や生産コストの増大等により、新規就農後の安定した経営にまではつながっていない。
  - ・経営継承・発展等支援事業の活用により、2名の農業後継者の確保につながったが、後継者不足の課題の解決までには至っていないため、今後も確保に向けた取組みを継続していく必要がある。
  - ・生産コストの高騰、従事者の高齢化、後継者不足等により、林業を取り巻く状況が非常に厳しく、担い手育成に苦慮している。
- 経営安定の支援
  - ・農産物の生育や販売状況が、近年の局所的な気象災害や気候変動等の外的要因により悪化し、自己資金の確保が困難になることもあり、事業計画の変更を余儀なくされる農業者も多い。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 地域農林業リーダー及び新規就農者の育成支援
  - ・農業の担い手については、引き続き、農業次世代人材投資資金や令和4年度から新設される新規就農者育成総合対策、中高年新規就農者給付金の給付等による新規就農者の確保や後継者の育成、従事者の経営改善、集落営農等、地域農業の振興に向けた施策の展開を図り、施設整備への支援による投資の軽減や関係機関と連携したサポート体制の充実等により、着後の定着を図り、新たな担い手を育成する。また、農業後継者の確保については、経営継承・発展等支援事業や新規就農者育成総合対策事業などを活用し、後継者支援を実施することで、その確保につとめる。
  - ・実質化された人・農地プランに基づき、中心経営体における認定農業者制度の推進を図るほか、多様な担い手の受入体制の充実を図る。
  - ・農地の基盤整備については、引き続き、地元協議や現地調査などで整備の可能性を検討しながら、新たな優良農地の整備の実現に向けて取り組む。
  - ・林業労働力の安定確保に資するため、担い手に対し「ながさき森林づくり担い手対策事業費補助金」等による支援を引き続き行う。
- 経営安定の支援
  - ・県やJAと連携し、事業実施を希望する農業者の掘り起こしや早期の事業計画の立案に努め、気象災害等に強く、新型コロナウイルス感染症など外的要因でも業務が継続でき、収益性の高い施設等の農業生産基盤整備を支援することで、認定農業者を中心とした意欲の高い農業者の経営安定につなげる。
  - ・農業者の経営安定も含めた長崎市の農業が抱える各種課題の解決のため、関係機関と連携し、長崎市の農業に適したスマート農業等の新技術の導入可能性を整理し、その導入に向けて取り組んでいく。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
310	(事業名) 農業次世代人材投資資金交付金事業費  (事業目的) 農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加により、5年後、10年後の農業の展望が描けない集落・地域が増えているなか、持続的な力強い農業を実現するためには、青年の新規就農者を大幅に増加させる。  (事業概要) 就農初期段階の経営が不安定な青年就農者に対して、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、農業次世代人材投資資金を交付する。 【交付額】 1,500千円/人年 【交付期間】 5年以内 【交付要件】 (1)独立・自営就農時の年齢が、原則50歳未満であること。 (2)独立・自営就農であること。 (3)独立・自営就農5年後に、農業で生計が成り立つ経営計画であること。 (4)市が策定する「人・農地プラン」において、中心的経営体として位置づけられていること。	成果指標	農業次世代人材投資資金対象者数【累計】
		目標値	17 人
		実績値	18 人
		達成率	105.9 %
		決算額	24,754,000 円
		成果指標・目標値の説明	青年の新規就農者を増やすことが目的であり、農業次世代人材投資資金対象者数を成果指標とした。 新規就農者の状況を踏まえ、令和3年度は、既認定新規就農者数(13人)に加え、新たに50歳未満の4人が交付を受けることを目標値とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 18人の青年就農者に資金を交付した。 内訳 継続者:13人 新規採択者:5人  (成果・課題等) 資金の活用により、就農初期の経営安定につながり、担い手の育成確保ができるとともに、青年就農者が定着することにより、地域農業の振興につながった。		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
313	<p>(事業名) 【単独】農業振興施設整備事業費補助金 担い手農家支援施設</p> <p>(事業目的) 農業生産基盤整備等に係る経費の一部を支援し、農業経営の向上に資する。</p> <p>(事業概要) 県及び市による補助又は市単独による補助を行う(補助率:原則10分の6以内)。 【対象事業】 ・ハウスの建設 ・作業省力化施設の整備 ・高品質化施設の整備 等</p>	<p>成果指標</p> <p>目標値</p> <p>実績値</p> <p>達成率</p> <p>決算額</p> <p>成果指標・ 目標値の説明</p> <p>取組実績、 成果・課題 等</p>	<p>農業経営の改善向上等に取り組んだ事業主体数</p> <p>13 団体</p> <p>10 団体</p> <p>76.9 %</p> <p>54,454,000 円</p> <p>農業経営の向上を図るには意欲ある団体の取組みが重要であり、農業経営の改善向上に取り組んだ事業主体数を成果指標とした。 令和3年度当初、事業実施要望のあった13団体を目標値とした。</p> <p>(取組実績) ・アスパラガスハウス 3,546.4㎡ ・花き(トルコギキョウ)ハウス 1,200.0㎡ ・いちご環境制御機器 環境測定装置 5台、炭酸ガス発生装置 3台 コントローラー 3台、高設栽培システム 7,083.4㎡ ・いちご循環扇 32台 ・いちご高設管理機[耕耘機] 5台 ・いちごゼロハン貼り機 2台 ・いちご防風ネット 14,472.5㎡ ・びわハウス遮光ネット 4,100.0㎡ ・びわハウス長寿命化 1,641.1㎡</p> <p>(成果・課題等) 事業主体の事情により、3団体が事業を実施出来なかったため、目標は達成できなかったが、認定農業者を中心とした意欲の高い農業者(10団体)の施設等整備に対し、補助を行ったことで、当該農業者の経済的負担が軽減され、農業経営の安定につながった。 しかしながら、気象災害等により、事業計画の変更を余儀なくされる農業者も多いため、今後も、県やJAと連携し、事業実施を希望する農業者の掘り起こしや早期の事業計画の立案に努める。</p>

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部・農業委員会	
個別施策	C5-3 安心して農林業を営む環境づくりを進めます	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	農林業者が	安心して農林業を営んでいる。

### 令和3年度 of 取組概要

- 有害鳥獣対策による農作物被害防止(水産農林部)
  - ・「防護対策」、「棲み分け対策」、「捕獲対策」の3対策を柱に、地域ぐるみの取組みを推進するため、特に「防護対策」として、国の補助事業を活用したワイヤーメッシュ柵の整備を27,949m実施するとともに、令和3年度から、自治会等におけるワイヤーメッシュ柵設置の負担軽減を目的に柵の運搬・設置への支援を開始した。また、「捕獲対策」として有害鳥獣の個体数を減少させるよう、市有害鳥獣対策連絡協議会及び捕獲隊が連携し、計画的な捕獲体制の強化に取り組み、農作物被害及び生活環境被害軽減を図った。
- 農地の有効活用と地域産材の利用促進(水産農林部・農業委員会)
  - ・農地と営農環境の保全のため、地域が一体となって実施する草刈り等の活動への支援を行った(令和2年度:34組織526.9ha→令和3年度:34組織539.2ha)。
  - ・日本一のびわ産地における営農環境の保全を図るため、地域の農業者・市民・行政の3者で協働し、放任農地の整備やびわオーナー制度の試行活動等に取り組んだ。
  - ・遊休農地の解消を図るため、市内全農地を対象に利用状況調査を実施し、その結果判明した遊休農地の所有者に対し利用意向調査を行い、農地の適切な管理を促した。また、山林化した農地についての非農地判断を行い、守るべき農地の明確化に努めた。
  - ・新たな担い手の受け皿づくりと効率的な営農環境の実現を図るため、JAや県と連携し、地元農業者のリーダーと現地調査や協議等を行い、農地の基盤整備候補地の検討に取り組んだ。
  - ・長崎市産材など地域産材を積極的に活用するため、市有林の間伐材で制作した木製品等をふれあいセンターなど公共施設等へ提供する取り組みや一般市民への販売を行った。

### 評価(成果)

- 有害鳥獣対策による農作物被害防止(水産農林部)
  - ・地域ぐるみの取組みの推進により、有害鳥獣捕獲(捕獲隊)の組織数が、前年度の107組織から117組織に増加した。
- 農地の有効活用と地域産材の利用促進(水産農林部・農業委員会)
  - ・地域の農業者と市民が連携した活動により、びわの放任農地1ヵ所を解消し、市民がびわの農作業を体験できる仕組みづくりが進んだ。
  - ・農地等保全活動取組組織34組織の地域活動により、農地や農業用施設の適正管理につながり、農地の保全と有効活用が図られた。
  - ・農地中間管理事業の活用等により、22.2ha(新規18.3ha、再設定3.9ha)の農地が認定農業者等の担い手へ集積されたことにより、遊休農地の発生防止・解消につながった。
  - ・JAや県と連携を図りながら、市内3地区の地元農業者のリーダーと基盤整備の検討に係る協議を継続して行ったことにより、新たな担い手の受け皿づくりと効率的な営農環境の実現を図るための小規模基盤整備の候補地が明確になった。
  - ・間伐材を利用した木製品等を製作し、ふれあいセンターなど公共施設等へ提供する取り組みを推進することで、資源の有効利用や木材の良さや魅力等を伝えることができた。

### 評価(問題点とその要因)

- 有害鳥獣対策による農作物被害防止(水産農林部)
  - ・地域の農作物被害は3対策の実施により減少傾向にあるものの、有害鳥獣の生息域の広域化に伴い生活環境被害が増加している。
- 農地の有効活用と地域産材の利用促進(水産農林部・農業委員会)
  - ・農地等の保全活動を行う組織の構成員の高齢化等により、保全する農地を減らす組織が多い。
  - ・農業者の高齢化や後継者不足、農地の借り手不足等により遊休農地化が進行している。
  - ・用排水及び接道の条件が悪い狭小地や傾斜地が多く、農地の貸し手と借り手のマッチングが進みにくい。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 有害鳥獣対策による農作物被害防止(水産農林部)
  - ・引き続き、「防護対策」、「棲み分け対策」、「捕獲対策」の3対策を柱に、地域ぐるみによる取組みを推進するとともに、市民からの有害鳥獣による被害相談への対応に係る現地調査、対策のコンサルティング等の相談対応業務について、専門業者への委託を継続する。
  - ・生活環境被害対策については、有害鳥獣の生息域の広域化が進んでいることから、現対策と併せ、市街地全体を守る包括的な視点より、市主体による市道を活用した広域防護柵の設置を新たに取組む。
  - ・ワイヤーメッシュ柵の整備については、国の事業及び市単独事業を活用し、被害地を効果的に防護し、地域ぐるみで管理することにより、侵入防止の徹底を図り、市民の安全安心につなげる。
  - ・引き続き、捕獲対策として有害鳥獣の個体数を抜本的に減少させるという着眼点に基づき、市有害鳥獣対策協議会及び捕獲隊と連携・協働するとともに、地域ぐるみの捕獲隊の隊員による捕獲体制を充実することにより、捕獲時期やエリアに縛られない効果的な捕獲を実施する。
- 農地の有効活用と地域産材の利用促進(水産農林部・農業委員会)
  - ・集落の維持・強化を図るため、農地と営農環境の保全に向けた地域活動の推進と支援に引き続き取り組む。
  - ・市民協働によるびわ産地の営農環境の保全については、年間を通じたオーナー制度等を持続的な事業となるよう収益確保に向けた環境の構築を進める。
  - ・農地利用状況調査・利用意向調査の実施及び実質化された人・農地プランを実行することにより、農地が有効に利用されるよう担い手への農地の集積・集約化や遊休農地の解消等を図る。また、山林化した農地の非農地判断を行い、守るべき農地を明確にするとともに、農地利用集積の基となる精度の高い農地台帳の整備に努める。
  - ・農地の基盤整備については、引き続き、地元協議や現地調査などで整備の可能性を検討しながら、新たな優良農地の整備の実現に向けて取り組む。
  - ・木材の良さに触れてもらい、森林資源の有効利用や魅力を伝える等の地域産材のPRに取り組む。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
309	(事業名) 有害鳥獣対策費  (事業目的) イノシシ等の有害鳥獣対策を実施し、農業被害及び生活環境被害の軽減を図る。  (事業概要) ①専門業者への有害鳥獣対策相談等業務委託 ②長崎市有害鳥獣対策協議会運営補助 ・国庫事業を活用したワイヤーメッシュ柵の設置 ・捕獲手当等の交付 ・網・わな猟免許取得助成 ほか ③地域ぐるみの捕獲隊の設置推進 ④侵入防止資材の貸与(ワイヤーメッシュ柵、電気牧柵器等)及び柵の運搬・設置費の支援	成果指標	有害鳥獣による農産物被害額	
		目標値	34,500	千円
		実績値	25,001	千円
		達成率	127.5	%
		決算額	99,986,284	円
		成果指標・目標値の説明	有害鳥獣対策を行ううえで、農産物の被害軽減が重要であるため、有害鳥獣による農産物被害額を成果指標とした。直近値45,888千円(平成26年度)から、年間約4%減を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ①有害鳥獣対策相談等 ・相談対応:1,274件 ・地域へのコンサルティング:2件 ・地域安全講習会:3件 ②長崎市有害鳥獣対策協議会実施事業 ・ワイヤーメッシュ柵設置(国庫):27,949m ・有害鳥獣捕獲 イノシシ:3,973頭(猟期外) シカ:1,079頭(猟期外) カラス:726羽 ・わな免許助成:38人 ③地域ぐるみの捕獲隊の設置:117組織(累計) ④侵入防止資材の貸与等 ・侵入防止資材の貸与 ワイヤーメッシュ柵:57,385m 電気牧柵器:4器 ・侵入防止資材の運搬・設置費の支援:4件  (成果・課題等) 「防護」「棲み分け」「捕獲」の3対策を実施し、農作物被害は過去最も低い被害金額となっているが、生活環境被害相談は増加している。			



【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
309	(事業名) 多面的機能推進費	成果指標	取組組織数[累計]	
		目標値	15 組織	
	(事業目的)	実績値	13 組織	
	集落など一定のまとまりを持った地域において、農業者だけでなく自治会等、非農業者の地域住民と一体となった活動組織が、農地・農業用水路等の地域資源を保全する共同活動により、農業・農村の持つ多面的機能を発揮させることを目的に実施する。	達成率	86.7 %	
		決算額	13,049,507 円	
	(事業概要) 策定した活動計画に基づき実施する、共同活動に要する経費の一部を交付する。 ①農業共同施設(農道・水路など)の点検・維持管理 ・草刈り・泥上げ等	成果指標・目標値の説明	地域住民と一体となった活動組織が、農地・農業用水路等の地域資源を保全する共同活動を行う取組組織数が増加することで、農地や施設の適正管理ができるため取組組織数を成果指標とした。 活動計画を策定した組織数の基準値8組織(平成26年度)から、毎年度1組織ずつ増やしていくこととしており、令和3年度は15組織を目標値とした。	
	②地域資源の質的向上を図る活動 ・農道・水路の機能診断・軽微な補修 ・景観作物の植付・ごみ拾い ・農地周りの藪伐採 など	取組実績、成果・課題等	(取組実績) 取組組織数 13活動組織 対象面積 433.7ha  (成果・課題等) 対象面積が12.3ha増加し、地域資源を保全する共同活動により、農業・農村の持つ多面的機能を発揮させることができた。 高齢化や後継者不在により継続に不安が残る活動組織も多い課題がある。	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部		
個別施策	C6-1 安定した水産資源の管理・回復を図ります		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	漁業者が	漁獲物を安定的に供給している。	

### 令和3年度 of 取組概要

- 水産基盤の総合的・計画的な整備
  - ・蚊焼漁港において浚渫、野野串漁港において防波堤の改良を行った。また、たちばな漁港(戸石島の前地区)において既設護岸の改良、為石漁港において離岸堤の新設を実施し、市管理漁港の漁港施設及び海岸保全施設の整備を進めた。
- 有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生
  - ・水産多面的機能発揮対策事業により市内の8漁協(12組織)が市内全海域において行う漁場環境の再生活動に対し支援を行った。また、磯焼けや藻場の保全などについて、より身近な問題として興味・関心を持ってもらえるよう、地元の小・中学校等での講義や体験活動を漁業者・全漁連と連携して実施した。
  - ・市内漁協や栽培漁業推進協議会からの要望に対し、概ね計画通りの分譲を実施した。
  - ・水産センターで生産するすべての放流用種苗について、放流後の効果調査を実施した。

### 評価(成果)

- 水産基盤の総合的・計画的な整備
  - ・市管理漁港における防波堤新設、改良等の基盤整備により自然災害に備えた施設の機能性を向上させることで、生産の効率化やコスト縮減を図り、漁獲物の安定供給につながった。
- 有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生
  - ・水産多面的機能発揮対策事業により漁場環境の再生に継続して活動した結果、磯焼け状態だった海域に藻場の再生が確認された。また、大学やマリンスポーツ関係者と連携した取組みを実施し、地域交流が図られた。
  - ・5魚種全ての放流用種苗の放流効果調査を実施し、2魚種で放流効果調査の結果が得られた。

### 評価(問題点とその要因)

- 水産基盤の総合的・計画的な整備
  - ・過年度における交付金の内示減により、事業進捗に若干の遅れが生じている。
- 有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生
  - ・藻場の食害の原因となるウニの増加やアイゴやイスズミ等といった植食性魚類の活動が活発化し、活動期間も長くなっているため、さらに取組みを強化する必要があるが、これら食害生物の駆除を行う人員の確保が難しいことから、藻場が回復している箇所が、再び食害を受ける可能性がある。
  - ・放流効果については、県レベルで大規模かつ長期的に実施している魚種については徐々に調査の手法や結果がまとまりつつあるが、市単独で実施している魚種については、調査の規模が小さいことから放流効果が把握できていない。

### 今後の取組方針

- 水産基盤の総合的・計画的な整備
  - ・漁港事業については、国・県の動向を注視し、関係機関との調整を図りながら安定的な予算確保及び事業進捗に努める。
  - ・漁港、漁場施設及び海岸保全施設については、機能保全計画及び長寿命化計画を基に、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化、縮減を図る。
- 有効な放流事業と適切な水産資源の管理による豊かな里海の再生
  - ・海洋生物の生産基礎とも言える沿岸の漁場環境の再生については、地域が行う食害生物の除去や母藻の設置、漂流・漂着物の処理など環境や生態系の保全に関する取組みを継続して支援する。
  - ・食害生物の駆除方法や繁茂の可能性が高い海藻の選定などについて、専門家のサポートを受けながら取組みを進め、効果的な取組みについては、他地区への普及を行うなど、各活動組織間のネットワーク化による情報・技術の共有を図り、作業について学生ボランティア等の協力を得ながら、より効果的な活動に努める。
  - ・藻場の繁茂状況については、ドローン空撮画像解析による分布把握など、先端技術を活用した効果的なモニタリング方法について検討を進める。
  - ・水産センターにおける種苗生産については、先進的な飼育法や疾病防止策等の情報を収集し、実施可能な飼育法を積極的に取り入れ、より良い種苗を計画どおり分譲できるよう生産技術の更なる向上を図る。
  - ・水産種苗の放流にあたっては、県や漁業者と連携し、魚種の選定、魚種ごとの適正な放流サイズ、放流適地を検討するとともに、効果的な放流手法による資源量の維持及び漁業者の安定生産をめざす。また、放流効果調査の手法についても検討し、すべての魚種について実施する。
  - ・県と連携した藻場造成の実施に向けて、令和3年度に水温上昇に適応した海藻の種苗プレートの生産試験を実施し、成功したことから、安定的かつ継続的に生産できるよう生産技術の安定をめざす。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名																																	
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等																															
324	<p>(事業名) 水産多面的機能発揮対策支援費</p> <p>(事業目的) 市内沿岸域の藻場の回復、漂流・漂着物・堆積物の処理等に取り組み、漁業生産量の維持・増大を図る。</p> <p>(事業概要) 漁業者等が行う漁場環境の保全に資する活動に対し支援する。 ・活動組織 野母崎、三和、三重、橘湾、外海、西彼南部、琴海、福田、茂木、深堀、高島地区活動組織及び大村湾地域漁業環境保全会 ・活動内容 藻場の保全(食害生物の除去、母藻の設置等)、漂流・漂着物・堆積物の処理、水域の監視、海難救助訓練、海底耕うん</p>	成果指標	漁場環境再生の取り組みを行う組織数																														
		目標値	12 組織																														
		実績値	12 組織																														
		達成率	100.0 %																														
		決算額	7,270,210 円																														
		成果指標・目標値の説明	<p>沿岸海域における水産資源量を増加させることが安定的な漁業生産につながることから、漁場環境の保全活動に取り組む活動組織数を成果指標とした。 地区の漁業規模等を考慮し、令和3年度末時点は12組織を目標値とした。</p>																														
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 各地区で漁業者等による活動グループを組織し、藻場の保全活動(モニタリング、食害生物の除去、母藻・種苗の設置等)や漂流・漂着物・堆積物の処理活動、水域の監視、海の安全確保等を実施した。 また、地元小・中学校等へ教育・学習活動を行った。</p> <p>(成果・課題等) ・地元大学のダイビングサークルなど漁業者以外が保全活動に参加することでウニの駆除数の増加につながるとともに海の保全に対する地域の意識が向上した。 ・磯焼け状態だった海域に藻場の回復が見られ、ウニの身入改善等につながっている。 ・海水温の上昇等により植食性魚類やウニ類による食害の影響を受けやすくなっており、これまで魚類の食害がなかった地域においても動向を注視する必要がある。 ・水域の監視を行うことにより海域の異変に早く気付けるようになるとともに、水域を守る意識が高まった。 ・地元小・中学校等での教育・学習活動を行ったことで、地域での水産業に対する理解が得られた。</p>																																
330	<p>(事業名) 水産種苗生産費</p> <p>(事業目的) 重要魚種であるクマエビ、シマアジ等の種苗を生産し、放流用・養殖用として市内漁業者や栽培漁業推進協議会に供給し、沿岸漁業における水産資源の回復と養殖業の振興を図る。</p> <p>(事業概要) 令和3年度は、クマエビ、ガザミ、クロアワビ、アカガイ、イワガキ、トラフグ及びシマアジの7魚種の種苗生産を行った。</p>	成果指標	種苗分譲数																														
		目標値	1,192,000 尾・個・枚																														
		実績値	1,114,490 尾・個・枚																														
		達成率	93.5 %																														
		決算額	24,004,506 円																														
		成果指標・目標値の説明	<p>水産種苗の安定的な供給により、水産資源の回復につながると考えられるため、市内漁協や栽培漁業推進協議会への種苗分譲数を成果指標とした。 市内漁業者等からの要望尾数を目標値とした。</p>																														
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <table border="0"> <tr> <td>クマエビ</td> <td>放流用</td> <td>800,000尾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ガザミ</td> <td>放流用</td> <td>200,000尾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>クロアワビ</td> <td>放流用</td> <td>52,000個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アカガイ</td> <td>放流用</td> <td>10,000個</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イワガキ</td> <td>養殖用</td> <td>10,500個、</td> <td>4,590枚</td> </tr> <tr> <td>トラフグ</td> <td>養殖用</td> <td>26,000尾</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シマアジ</td> <td>養殖用</td> <td>11,400尾</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>1,114,490尾・個・枚</td> <td></td> </tr> </table> <p>(成果・課題等) 放流用種苗については、概ね計画通りの実績であった。 養殖用種苗については、イワガキ、トラフグ及びシマアジが需要の減少のため分譲数が計画数量を下回った。 今後も安定的な生産技術や品質の向上に努めるとともに効率的な生産に取り組む。</p>	クマエビ	放流用	800,000尾		ガザミ	放流用	200,000尾		クロアワビ	放流用	52,000個		アカガイ	放流用	10,000個		イワガキ	養殖用	10,500個、	4,590枚	トラフグ	養殖用	26,000尾		シマアジ	養殖用	11,400尾		合計		1,114,490尾・個・枚	
クマエビ	放流用	800,000尾																															
ガザミ	放流用	200,000尾																															
クロアワビ	放流用	52,000個																															
アカガイ	放流用	10,000個																															
イワガキ	養殖用	10,500個、	4,590枚																														
トラフグ	養殖用	26,000尾																															
シマアジ	養殖用	11,400尾																															
合計		1,114,490尾・個・枚																															

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C6-2 やる気、収益性アップの経営体づくりを進めます	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	水産業者が	安定した水産業経営を行っている。

### 令和3年度 of 取組概要

- 安定した収益性の高い水産業経営の実現
  - ・水産関係団体の経営安定化を図るため、直売所の販売促進機器、活魚車の導入や冷凍・冷蔵施設の整備を県市の補助により実施した。
  - ・漁業担い手を確保するため、新規漁業就業希望者2人について刺網漁業の実践研修を実施し、技術習得に対する支援を行った。
- 収益性の高い養殖業の振興
  - ・水産センターで生産した養殖用種苗について、イワガキ種苗の生産不調があったが、その他の魚種は要望通り分譲した。
  - ・養殖業者と市とで、陸上養殖共同試験を実施した。
  - ・養殖業者が生産したフルーツ魚(ゆうこうシマアジ)の販売支援を行った。

### 評価(成果)

- 安定した収益性の高い水産業経営の実現
  - ・漁協及び漁業者が行う施設・機器の整備を支援したことにより、水産物の販売力向上につながった。また、魚介類の品質保持による魚価の向上につながり、漁協及び漁業者の経営安定化が図られた。
  - ・新規漁業就業希望者2名について漁業技術の実践研修に対する支援を行うことで、新規漁業就業者の早期自立と地域漁業への定着に向け、着実な技術向上が図られた。
- 収益性の高い養殖業の振興
  - ・漁業者の要望に応じてシマアジ、トラフグ種苗を供給したことで、漁業者は計画通りに生産開始できた。
  - ・市と漁協による陸上養殖共同試験の実施により、トラフグの成長状況や生残状況等が把握できた。
  - ・養殖業者が生産するフルーツ魚の販売路が拡大し、養殖業者の経営安定につながった。

### 評価(問題点とその要因)

- 安定した収益性の高い水産業経営の実現
  - ・漁業協同組合等水産関係団体からの機器、施設等の整備に係る支援の要望が年度により集中することがあり、補助の採択を受けられず、要望どおりに事業が実施できない場合がある。また、漁業者の減少や水揚量の減少に伴い、漁業協同組合の経営状況が厳しく、施設更新の経費負担が大きくなっている。
  - ・就業後の安定した漁家経営の継続が厳しい状況であり、新規漁業就業を希望する者が少ない。また、新型コロナウイルス感染症の影響により就業者フェア等の来場者が減少しており、ますます担い手の確保が難しい状況となっている。
  - ・研修指導者となる漁業者の高齢化が進んでおり、受入先が限られマッチングがうまくいかない場合がある。
- 収益性の高い養殖業の振興
  - ・養殖魚の価格変動、生産不調により生産量が落ち、経営状況が悪化していることから、安定生産に向けた対策を実施するとともに、魚種の複合化を図るなど、養殖業者の経営安定に取り組む必要がある。

### 今後の取組方針

- 安定した収益性の高い水産業経営の実現
  - ・水産関係団体の要望を把握し、事業の必要性、有効性を精査するとともに、計画的な事業の実施に努め、国・県の補助事業を引き続き活用し、水産関係団体の経営安定を図るための支援を行う。
  - ・漁業者の作業効率化と生産性向上を図るため、ICT技術を活用したスマート水産業の導入について検討を進める。
  - ・新規漁業就業者の受入体制の整備を行うとともに新規就業希望者が行う漁業技術の習得に対する支援を継続して行う。また、担い手の確保のため、大都市圏で開催される漁業就業支援フェア及び令和元年度から開始した長崎県が開催する水産業就業支援フェアの周知・支援を積極的に実施する。
- 収益性の高い養殖業の振興
  - ・養殖業者に提案する新たな養殖魚種については県と連携して検討を行うとともに、養殖業者の経営安定につながるテーマの研修会を行う。
  - ・養殖業者の作業効率化と生産性向上を図るため、ICT技術を活用したスマート水産業の導入について検討を進める。
  - ・フルーツ魚などの付加価値向上した養殖魚の生産や販売を支援する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
324	<p>(事業名) 新規漁業就業促進費</p> <p>(事業目的) 漁業への新規就業者の確保と円滑な着業の促進を図る。</p> <p>(事業概要) ・漁業就業実践研修事業 技術習得に係る研修期間中の生活費等を支援</p>	成果指標	新規漁業就業者数(累計)
		目標値	29 人
		実績値	21 人
		達成率	72.4 %
		決算額	2,555,000 円
		成果指標・目標値の説明	<p>漁業者の減少が進むなか、就業者の確保が重要な課題であり、就業者が増えることが、水産業の振興に資すると考えられるため、市の研修事業を活用した新規漁業就業者数の累積数を成果指標とした。</p> <p>基準値17人(平成26年度)から毎年度2人増とする目標値を設定しており、令和3年度末時点は令和2年度と同数の29人とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・漁業就業実践研修事業 実施地区:高島地区1人、神ノ島地区1人</p> <p>(成果・課題等) 漁業就業実践研修事業について、2人が継続して実施した。実践研修を行うことにより着業に向けた漁業技術の習得がなされている。</p>		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
331	<p>(事業名) 水産技術試験研究費</p> <p>(事業目的) 水産業における収益性向上を目的に、放流事業については、放流効果を最大限に発揮する放流手法の検討・実践、放流効果の把握を行うとともに、養殖用新魚種の飼育試験等を実施する。</p> <p>(事業概要) (1)放流分野 ①効果的な水産種苗放流手法等の検討・実践 放流効果を高めるため、種苗放流手法や放流効果調査に関し、県、市、漁業者等で研修会を開催する。 ②水産種苗放流効果調査の実施 魚種ごとに適した標識を付けて放流した水産種苗の採捕状況を確認することにより、放流効果を把握し、今後の放流事業の効果検証などの基礎資料とする。 ③ホンダワラ類種苗生産試験 長崎市沿岸海域における藻場回復を目的に、県と連携した藻場造成の実施に向けて海水温上昇への耐性等が強い海藻であるホンダワラ類の種苗プレートの供給可能性を検証するため生産試験を実施した。</p> <p>(2)養殖分野 ①養殖業者勉強会 養殖業者の収益性向上を目的に講師を招き、新たな養殖用魚種や養殖技術などに関する研修会、意見交換会を開催する。 ②養殖業者と市による陸上養殖共同試験の実施 海面養殖の養殖業者が陸上養殖を検討するため、市と共同で試験を実施する。 ③フルーツ魚の生産・販売支援</p>	成果指標	沿岸漁業者1人当たりの漁業生産額
		目標値	7,984 千円
		実績値	7,134 千円
		達成率	89.4 %
		決算額	3,973,558 円
		成果指標・目標値の説明	<p>水産の技術に関する様々な試験・研究を実施することで、漁業者の生産額の増大につながるため沿岸漁業者一人当たりの漁業生産額を成果指標とした。</p> <p>漁業生産額、正組合員の減少率を勘案し、基準値6,599千円(平成26年度)から令和2年度までに18%増を目標値としており、令和3年度は7,984千円とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 【放流分野】 ○水産種苗放流効果調査の実施 ・クマエビ(トラモアタグ標識放流、標識装着影響試験) ・ガザミ(腹節切り落とし標識放流、標識残存試験) ・アカガイ(ペイント放流、漁獲調査) ・ヒラメ(漁獲調査) ・クロアワビ(混獲率調査、移動生態調査) ・ホンダワラ類種苗プレート(300枚生産) 【養殖分野】 ○養殖業者向け経営に関する研修(フルーツ魚について) ○養殖業者と市による陸上養殖共同試験の実施 ○フルーツ魚の販路拡大の取組み</p> <p>(成果・課題等) 【放流分野】 放流効果調査について、一部の魚種では結果が得られているが、すべての魚種の把握に向けて手法の見直しを行う。(混獲率:ヒラメ 21.0%、クロアワビ 15.6%) 【養殖分野】 陸上養殖共同試験の実施により、陸上養殖におけるトラフグの成長状況や生残状況等の情報を把握できた。 フルーツ魚の販路を開拓し、漁業者の経営安定につながった。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C7-1 新たな販路拡大や消費拡大を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地元農水産物が	市内外で消費されている。

### 令和3年度の取組概要

- 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
  - ・長崎の魚の魅力を発信するため、令和2年度に開始したキャッチコピー「さしみシティ」を軸としたPRを本格的に展開し、DMOと連携し、月刊誌「Discover Japan」に長崎の魚の特集記事を掲載することなどにより、域外への情報発信を行うとともに、エリアやジャンルごとに長崎の魚を味わうことができる市内飲食店等を検索できる機能などを備えた「ながさきイズさしみシティ」ホームページを新たに構築した。
  - ・長崎＝さしみシティのイメージ浸透に資する市民や民間事業者の取組みを後押しする「さしみシティプロジェクト認定制度」と「さしみシティ推進事業費補助金交付制度」を新設し、8事業を認定、3事業に補助金を交付した。
  - ・さしみシティポスター及びピック、シールなどのツールをはじめ、多言語表記された長崎の魚を提供する店舗を顕在化するためのタペストリーや、四季の魚を知ってもらうためのマグネットシートを配布した。
- 「長崎和牛・出島ばらいろ」及び「長崎びわ・なつたより」のブランド強化
  - ・「出島ばらいろ」については、JA、生産者、市で組織する「長崎和牛・出島ばらいろ」消費拡大実行委員会において、市内の常時取り扱い店舗の拡大・定着化を図るため、フェア等の実施に対する支援、SNSやイベント等によるPRなどを行った。また、観光客に対する情報発信を強化するため、長崎駅に「出島ばらいろ」PR看板を設置するとともに、観光案内所等において「出島ばらいろ」グルメガイドを配布した。
  - ・「なつたより」については、JA、生産者代表、市等で構成する「長崎びわ産地活性化推進協議会」において、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となったびわフェスタの代替策として、インターネット販売やJA直売所、支店での注文受付等、販売促進活動を実施した。

### 評価(成果)

- 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
  - ・「ながさきイズさしみシティ」ホームページの構築により、観光客が旅マエ、旅ナカに長崎の魚を味わうことができる市内飲食店等の情報に容易にたどりつけるようにしたことや、DMOと連携し、情報誌に長崎の魚の特集記事を掲載、その記事をデジタル化し、インターネットを通じた情報発信を行うことなどにより、「長崎の魚」のPRと、観光客を飲食店へ誘導する環境ができた。
  - ・さしみシティプロジェクト認定制度により8事業を認定し、さしみシティ推進事業費補助金を3事業に対し交付することで、民間事業者の取組みを後押しするとともに、民間を巻き込んだ長崎＝さしみシティのイメージ浸透が図られた。
- 「長崎和牛・出島ばらいろ」及び「長崎びわ・なつたより」のブランド強化
  - ・「出島ばらいろ」については、市内の取り扱い店舗に増減はなかったが、出島メッセ長崎の開業日に合わせ、長崎市内の出島ばらいろ提供店舗11店で販促イベントを実施し、ブランド周知が実現できた。
  - ・「なつたより」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮して、従来のびわフェスタの開催ではなく、インターネット販売やJA直売所、支店での注文受付等を実施することで、消費につなげることができた。

### 評価(問題点とその要因)

- 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
  - ・認知から消費へ促す取組みとして、刺身という食べ方に着目したキャッチコピー「さしみシティ」を軸としたPRを令和3年度から本格実施をしているところであるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、飲食店への誘客につなげる取組みを積極的に展開することができておらず、観光客の長崎の魚の認知度は58.5%であるものの、魚料理(鯨料理含む)を食べた(食べる予定の)割合は42.3%に留まっている。
  - ・首都圏等の大消費地で売れる商品や消費者が求めている商品の情報を得る機会が少なく、ニーズに対応した商品を提供できていない。また、バイヤーの評価は高いものの消費者までその魅力を伝えきれていない。
- 「長崎和牛・出島ばらいろ」及び「長崎びわ・なつたより」のブランド強化
  - ・「出島ばらいろ」について、観光客への情報発信手段が固定化している。
  - ・「なつたより」について、天候の影響により生産量と販売額が大きく左右されている。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 「長崎の魚」の魅力発信と消費拡大
  - ・「長崎の魚」については、刺身という食べ方に着目したキャッチコピー「さしみシティ」を軸としたPRを継続するとともに、機運醸成を図るため市民や企業による「さしみシティ」を活用した魅力発信や消費拡大等につながる活動を支援し、民間主体の取組みを促す。
  - ・さしみシティの取組みの一環として、刺身に焦点があたるようなイベントを実施することで、「長崎の魚」を観光コンテンツとして定着させ、魚の消費拡大を図る。
- 「長崎和牛・出島ばらいろ」及び「長崎びわ・なつたより」のブランド強化
  - ・「出島ばらいろ」については、既存の常時取扱い店舗が行うキャンペーン等について引き続きPRの支援を行うとともに、観光客と接点が多いホテル・事業者等と連携し、観光客のブランド認知向上を図る。
  - ・「なつたより」については、JAや長崎びわ産地活性化推進協議会を主体として、有利販売戦略（販売キャンペーンの開催やホームページの活用）を継続的に実施することで高単価取引へつなげる。
  - ・寒害対策として、気象災害に備えた産地づくりに向けて、果樹共済や収入保険への更なる加入促進を図り、びわ産地の安定生産の強化に努める。
- DMO・庁内関連事業との連携
  - ・長崎の観光振興のかじ取り役であるDMOと連携し、「長崎の魚」をはじめとする長崎産農水産物・加工品の域外への広域プロモーション、「観光×食」の商品充実などに取り組むことにより、長崎の「食」、とりわけ「魚」が観光コンテンツの一つとして定着することをめざす。
  - ・西九州新幹線開業の契機とし、イベントとタイアップしたPRを実施し、観光客のブランド認知を高め、提供店舗での消費につなげる。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
315	(事業名) 「長崎和牛・出島ばらいろ」ブランド強化費  (事業目的) JA長崎せいひの独自ブランド「長崎和牛・出島ばらいろ」のブランド化の確立に向けた取組みを強化し、消費拡大を図るとともに、生産者の所得向上及び地域活性化につなげる。  (事業概要) ・取扱い店舗の定着化 ・観光客に対する情報発信の強化	成果指標	「長崎和牛・出島ばらいろ」の販売額[暦年]	
		目標値	14.3	億円
		実績値	15.9	億円
		達成率	111.2	%
		決算額	1,000,000	円
		成果指標・目標値の説明	「出島ばらいろ」(枝肉)の販売額が増加することで、消費拡大が図られることから、年間販売額を成果指標とした。 基準値13.9億円(平成26年)から令和3年に14.3億円とする目標値を設定しており、当初の計画どおり令和3年度は14.3億円を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・取扱い店舗の定着化 常時取扱い店舗の開拓 フェア等の実施に対する支援 マスメディアやイベント等によるPR ・観光客に対する情報発信の強化 ホテル等に対する取扱い拡大に向けたPR 長崎駅におけるPR看板の設置及びグルメガイドの配布等  (成果・課題等) 新型コロナウイルス感染症の影響により、店舗への訪問を控えた結果、小売店や飲食店の取扱店舗数は変わらなかった。 成果指標の目標値は達成しているが、観光客に対する認知度は4.9%と非常に低い状況である。 新型コロナウイルス感染症の影響により、飲食店における和牛の消費が減少しており、小売店に対するPRを強化する必要がある。			

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
323	<p>(事業名) さしみシティ推進事業費</p> <p>(事業目的) 長崎は全国3位の漁獲量を有し、魚種の豊富さでは全国1位と言われている。長崎の魚の食べ方に着目した新たなキャッチコピー「さしみシティ」を掲げ、刺身に代表される長崎の魚の魅力を磨き、市内外へPRを行うとともに、四季折々の魚を市民や観光客へ提供できる体制を整備し、長崎の魚の消費拡大を図る。</p> <p>(事業概要) ①「さしみシティ」賛同店舗情報発信力向上支援事業 刺身を提供する店舗向けに専門家を派遣し、情報発信力の向上を図る。 ②「さしみシティ」プロジェクト認定制度 四季を通して新鮮で豊富な魚種が味わえる長崎の強みを活かした「さしみシティ」実現の趣旨に賛同し、主体的に進めようとする市民や企業の取組みを「さしみシティ」プロジェクトとして認定し、取組みの当事者としての意識醸成を図る。 ③「さしみシティ」推進事業費補助金 地元の機運醸成、魅力発信など、「さしみシティ」の実現を推進する提案事業を募集し、その活動を支援することによって、市民又は企業等の主体的な取組みの促進を図る。 ④「さしみシティ」PR ①～③で生まれた民間主体の取組み推進のためのPRや、キャッチコピー「さしみシティ」を軸とした各種PRに取り組む。</p>	<p>成果指標</p> <p>目標値</p> <p>実績値</p> <p>達成率</p> <p>決算額</p>	<p>長崎の魚でおもてなし事業参加店舗数</p> <p>126 件</p> <p>118 件</p> <p>93.7 %</p> <p>9,921,393 円</p>
		<p>成果指標・目標値の説明</p> <p>取組実績、成果・課題等</p>	<p>店舗数が増えることで魚の消費拡大につながることから「長崎の魚でおもてなし事業」参加店舗数(「四季の美味しい魚提供店舗数」「新・ご当地グルメ提供店舗数」、「トラフグ提供店舗数」)を成果目標とした。 目標値については、令和3年度の目標を126件(「四季の美味しい魚提供店舗」60件、「新・ご当地グルメ提供店舗」40件、「トラフグ提供店舗」26件としていたが、未達であったため、令和3年度も126件を目標値とする。</p> <p>(取組実績) ・「四季の美味しい魚」提供店72件 ・「新・ご当地グルメ」提供店17件 ・「トラフグ提供店舗」提供店29件</p> <p>①「さしみシティ」賛同店舗情報発信力向上支援事業 ホームページ作成やSNSでの投稿などの専門家を、四季の美味しい魚提供店舗の希望に応じ派遣(9店舗)することにより、店舗の情報発信力強化につながった。 ②「さしみシティ」プロジェクト認定制度 「さしみシティ」実現の趣旨に賛同し、主体的に進めようとする市民や企業の取組みを「さしみシティ」プロジェクトとして8件認定した。 ③「さしみシティ」推進事業費補助金 「さしみシティ」の実現を推進する提案事業を募集し、その活動を支援することによって、市民又は企業等の主体的な取組み3件を採択した。 ④「さしみシティ」PR 民間主体の取組み推進のためのPRや、キャッチコピー「さしみシティ」を軸として各種PRに取り組んだ。</p> <p>(成果・課題等) 目標値は達成できなかったものの、「さしみシティ」の取組みを推進する中で、「四季の美味しい魚」提供店舗が18店舗増加するなど、市の取組みに共感し、共同参画する民間の意識醸成につながった。</p>



## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C7-2 長崎ならではの食材や食文化の魅力を発信します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	ながさきの食材や食文化が	市内外で認知度を高めている。

### 令和3年度 of 取組概要

- 長崎ならではの食材や食文化の情報発信
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、長崎「食」の博覧会、長崎「食」の晩さん会ともに開催できなかった。
  - ・地産地消を推進するカフェやレストラン等で組織する「長崎カフェ&スイーツ」が主体となり、旬のフルーツ(いちご・ゆうこう)を使ったスイーツを長崎市周辺の店舗において提供するイベント「スイーツフェスタ」の支援を行った。
  - ・学校給食会や学校給食協会、生産団体と連携し、市内小中学校の学校給食において、ながさき伝統野菜や長崎産の魚の導入を推進した。
  - ・ホームページやSNSなどを活用して、長崎の食に関し、幅広い世代に情報発信を行った。
- ふるさと納税を活用した魅力発信と消費拡大
  - ・返礼品として市内産農水産物の取扱いはあったものの新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、例年首都圏で行われている、長崎関係者による同窓会などが中止されたため、出島ばらいろの試食会は実施できなかった。

### 評価(成果)

- 長崎ならではの食材や食文化の情報発信
  - ・食に関わる民間団体との連携や、ホームページ、SNS等を活用した情報発信に通年取り組んだ結果、市内産農水産物の市民認知度は農産物が目標を下回ったものの、農産物で8割、水産物で9割近くの市民に認知されている。

### 評価(問題点とその要因)

- 長崎ならではの食材や食文化の情報発信
  - ・市内産農産物の市民認知度は77.5%、市内産水産物の市民認知度は88.4%で、目標値を農産物は下回ったものの、水産物は上回った。
  - ・市民認知度は、農産物で8割、水産物で9割近くの市民に認知されている。農作物は、とりわけ生産量が少なく、市民が実物を目にする機会に限られる伝統野菜(長崎白菜(唐人菜)等)の認知度が低調である。

### 今後の取組方針

- 長崎ならではの食材や食文化の情報発信
  - ・長崎「食」の博覧会や、長崎「食」の晩餐会、「スイーツフェスタ」など、食に関わる民間団体の主体的な取組みについては、引き続きPRなどの支援を行い、連携して長崎の「食」の効果的な情報発信を進める。
  - ・広報ながさきや、ホームページを活用し、レシピや産地の歴史、文化を含めた情報発信を継続する。
  - ・学校給食などを通じ、子どもたちが長崎ならではの食材や食文化に触れる機会を創出する。
- ふるさと納税を活用した魅力発信と消費拡大
  - ・引き続き、返礼品(農水産物)の充実を図るとともに、首都圏開催の同窓会等にて試食会を行うなど、長崎市で生産されている農水産物の魅力を寄附者へ伝えることで、更なる農水産物の需要拡大をめざす。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
312	(事業名) ながさきの「食」推進費	成果指標	市内産農水産物の市民認知度	
	(事業目的) ながさきの「食」と食文化の魅力を発信し、地元農水産物の消費拡大を図るとともに、地産地消や食育を推進する。	目標値	農産物 86.3 %      水産物 88.0 %	
	(事業概要) ・ながさきの「食」PR ホームページやSNS等を活用した地元農水産物の情報の発信 ・ながさきの「食」消費拡大・魅力発信イベント 長崎「食」の博覧会等の開催による長崎の食材や食文化の発信 ・食育の推進 「食卓の日」賛同団体等と連携した食育の推進 ・農水産物直売所への支援等 農水産物直売所のイベントや取組みのPR支援等	実績値	農産物 77.5 %      水産物 88.4 %	
		達成率	農産物 89.8 %      水産物 100.5 %	
		決算額	1,368,430 円	
		成果指標・目標値の説明	<p>市内産農水産物の認知度が向上することで、長崎の食材や食文化に対する認知度が高まっていると考えられるため、市内産農水産物の市民認知度を成果指標とした。</p> <p>農産物については、令和2年度の目標値を80.3%としていたが、平成27年度実績値が81.3%と上回ったため、長崎市農業振興計画(後期計画)策定時に、基準値81.3%(平成27年度)から令和2年度に86.3%とする目標値に設定し直した。なお、令和2年度に目標達成ができなかったため、令和3年度の目標値は、引続き86.3%と設定した。</p> <p>水産物については、令和2年度の目標値を過去3年間の最高値の87.4%(平成25年度)と設定しており、令和3年度は、水産物88.0%を目標とした。</p>	
	取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため長崎「食」の博覧会中止</li> <li>・「食卓の日」サービスランチの提供 8回</li> <li>・SNSによる情報発信</li> <li>・ツイッター 27回</li> <li>・フェイスブック 35回</li> <li>・インスタグラム 29回</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>ホームページやSNSを活用した情報発信を通年行うとともに、生産者や食の提供者が主体的に行う取組みのPRを支援した。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	水産農林部	
個別施策	C7-3 食育体験を推進し、食に対する意識の醸成を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	農業・水産業への理解を深めている。

### 令和3年度の取組概要

- 「食卓の日」の推進
  - ・食の大切さや家族の絆を深めることを目的とした毎月19日の「食卓の日(※)」の推進については、引き続き賛同団体との共催で料理教室を開催した。
  - ・「食卓の日」を効果的にPRするため、市役所食堂と連携し、「食卓の日サービスランチ」を提供した。また、広報ながさきにおいて地産地消レシピを掲載した。
- グリーンツーリズムの推進
  - ・グリーンツーリズムを推進するため、各グリーンツーリズム実践団体の活動支援や夏休み期間中の「グリーンツーリズムサマー」の実施、広報誌への掲載、体験ガイドブック5,000冊作成などによりPRに努めた。
  - ・子ども農山漁村交流体験事業により、長崎市内の小・中学生あわせて7校187人がグリーンツーリズム団体の体験プログラムに参加した。
  - ・人材育成や組織継続を図るため、連絡会議等を実施するとともに、県などが主催する研修会等の周知を行った。

※「食卓の日」とは、国の食育推進基本計画に定められた食育の日(毎月19日)を、本市では「食卓の日」とし、地元産の旬の食材を使った料理を並べた食卓を家族で囲み、家族団らんの中で地産地消などについて家庭から浸透を図る取組みを行っている。

### 評価(成果)

- 「食卓の日」の推進
  - ・「長崎和牛・出島ばらいろ」や「長崎の魚」、地元農水産物を使用した料理教室を開催し(計4回開催)、47人の参加があった。
  - ・スーパーのチラシへの掲載や直売所独自の「食卓の日」イベントでのPRなど、賛同団体と連携したPRを行うことができた。
  - ・市役所食堂と連携し、旬の食材や長崎ならではの食材を使った「食卓の日サービスランチ」を年間を通して毎月1回提供することができた。(うち、5月、8月、2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)
  - ※「食卓の日サービスランチ提供数」(令和2年度:1,550食→令和3年度:1,220食)
- グリーンツーリズムの推進
  - ・グリーンツーリズムによる体験プログラムについて、コロナ禍で参加者の大幅な減少が懸念されたが、PR活動を継続したことにより、例年より少ないものの、一定数の参加者を確保することができた。
  - ・団体の活動支援、PR活動による周知及び団体自らの取組みにより、参加者に長崎市の農業や水産業の魅力を伝えることができた。また、PRを継続することにより、体験参加希望者の増加が期待できる。

### 評価(問題点とその要因)

- 「食卓の日」の推進
  - ・「食卓の日」の市民の認知度は前年度からほぼ横ばいであり、食卓の日の実施度(食卓の日を認知している者のうち、意識して食卓を囲んでいる人の割合)は増加した。
  - ※「食卓の日」の認知度(令和2年度:13.6%→令和3年度:9.4%)
  - ※「食卓の日」の実施度(令和2年度:25.0%→令和3年度:37.5%)
  - ・「食卓の日」に関する取組みが固定化していることと、情報発信が不足している。
- グリーンツーリズムの推進
  - ・体験プログラムの参加者数が、前年度に比べほぼ横ばいであり、目標値も下回っている。
  - ※体験プログラム参加者数(令和2年度:4,409人→令和3年度:4,460人)
  - ・各団体が常時開催している体験プログラムについては、市民に定着しており、新型コロナウイルス感染症拡大前程度の参加者希望者数が確保されていたが、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で中止や規模の縮小が生じたことが要因である。

### 今後の取組方針

- 「食卓の日」の推進
  - ・「食卓の日」の推進については、各賛同団体との連携を推進するとともに、「食卓の日」がメディアで取り上げられるような新たな取組みを検討・実施し、広く情報発信することで市民認知度及び実施度の増加を図る。
- グリーンツーリズムの推進
  - ・グリーンツーリズムに取り組む団体への活動支援を継続しつつ、受入れ側のスキルアップによる魅力あるメニュー提供と、コロナ禍においても実施できるプログラムや安全安心な受入れ体制についての検討を行う。
  - ・各団体主催の体験プログラム等について、ターゲット層やシーズンごとに整理を行い、DMOや民間企業等と協力しながら効果的なPR活動に取り組んでいく必要がある。
  - ・グリーンツーリズム誘客推進事業については、交流人口の拡大を図るため、県外近隣大都市圏をターゲットとした取組みを行う。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名			
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
309	<p>(事業名) グリーンツーリズム推進費</p> <p>(事業目的) 農山漁村地域における地域資源を活用し、グリーンツーリズム事業を推進・展開することにより、交流人口を拡大し、地域の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) ・ツーリズム団体等の地域間連携強化と人材育成(連絡会議の開催、研修会等の実施) ・ツーリズム団体への活動支援(事業費補助、体験交流施設・体験民泊施設整備補助金交付) ・長崎のグリーンツーリズムPR(体験プログラム冊子作成、ホームページ運営等) ・グリーンツーリズム誘客推進事業の実施</p>	成果指標	体験プログラム参加者数
		目標値	12,000 人
		実績値	4,460 人
		達成率	37.2 %
		決算額	2,430,059 円
		成果指標・目標値の説明	<p>農家民泊体験や農漁業など、ツーリズム体験の参加人数の増加が農山漁村の魅力発信の成果と考えられることから、ツーリズム体験の参加人数を成果指標とした。 基準値11,708人(平成27年度実績)から年約60人増を目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 長崎市グリーンツーリズム連絡会議等の開催1回、事業活動支援5団体、子ども農山漁村交流体験事業補助7団体(7校187人参加) ・PR冊子作成5,000部 ・グリーンツーリズムサマー504人</p> <p>(成果・課題等) 体験プログラムの参加者数がコロナ禍になり減少しているため、関係機関と連携し、域内への更なるPR強化を図るとともに、域外に対する誘客推進を図る。</p>		
312	<p>(事業名) ながさきの「食」推進費</p> <p>(事業目的) ながさきの「食」と食文化の魅力を発信し、地元農水産物の消費拡大を図るとともに、地産地消や食育を推進する。</p> <p>(事業概要) ・ながさきの「食」PR ホームページやSNS等を活用した地元農水産物の情報の発信 ・ながさきの「食」消費拡大・魅力発信イベント 長崎「食」の博覧会等の開催による長崎の食文化や食文化の発信 ・食育の推進 「食卓の日」賛同団体等と連携した食育の推進 ・農水産物直売所への支援等 農水産物直売所のイベントや取組みのPR支援等</p>	成果指標	「食卓の日」の実施度
		目標値	50.0 %
		実績値	37.5 %
		達成率	75.0 %
		決算額	1,368,430 円
		成果指標・目標値の説明	<p>市民アンケートにおける「食卓の日」の実施度(食卓の日を認知している者のうち、意識して食卓を囲んでいる人の割合)を成果指標とした。 基準値23.2%(平成27年度)から令和3年度に50.0%とする目標値を設定しており、当初の計画どおり令和3年度は50.0%を目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・食卓の日料理教室 47人 ・食卓の日サービスランチの提供 4月から3月までの9回(うち、5月、8月、2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) ・ポスターや小幡によるPR ・直売所での食卓の日イベントの開催 ・食卓の日サービスランチの実施、直売所イベントの実施をSNSにて発信</p> <p>(成果・課題等) 認知度はほぼ横ばいであり、実施度は前年度より増加している。今年度は、「食卓の日サービスランチ」の提供数、「食卓の日料理教室」の参加人数、ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少したが、引き続き賛同団体と協力しながら、より多くの人に「食卓の日」の認知、実施の増加を図る。 ○「食卓の日」の認知度 (令和2年度:13.6%→令和3年度:9.4%) ○「食卓の日」の実施度 (令和2年度:25.0%→令和3年度:37.5%)</p>		

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
6	農 林 水 産 業 費	(3,672,588,040)	(2,968,073,432)	(318,082,833)	(386,431,775)
		2,881,214,040	2,431,842,936	242,504,833	206,866,271
	1 農 業 費	(1,946,637,715)	(1,610,982,517)	(77,278,000)	(258,377,198)
		1,427,845,715	1,308,166,877	1,700,000	117,978,838

【農業委員会】

1目	農業委員会費	予算額	33,723,000 円	決算額	31,788,366 円
	1 農業委員会費				31,788,366 円
	(1) 農業委員・推進委員活動費				27,168,187 円
	ア 農業委員会委員報酬				24,722,803 円
	イ 負担金				14,000 円
	(ア) ながさき農業委員会女性ネットワーク負担				9,000 円
	(イ) その他				5,000 円
	ウ その他経費(通信運搬費、一般職報酬ほか)				2,431,384 円
	(2) 農地情報管理システム運営費				4,620,179 円
	ア 委託料				1,357,400 円
	(ア) 農地地図情報システム保守委託				132,000 円
	(イ) 農地台帳システム保守委託				297,000 円
	(ウ) 農地利用状況調査データ取込処理委託				220,000 円
	(エ) 農地情報公開システム移行用データ作成委託				708,400 円
	イ OA機器借上料				546,370 円
	ウ その他経費(報酬、通信運搬費ほか)				2,716,409 円

【水産農林部・南総合事務所・北総合事務所・上下水道局】

3目	農業振興費	予算額	1,006,547,715 円	決算額	915,770,553 円
				(前年度繰越額)	36,409,338 円)
	1 農業振興対策費				180,939,268 円
				(越)	17,882,338 円)
	(1) 経営所得安定対策推進費				2,126,000 円
	ア 経営所得安定対策推進費補助金				2,126,000 円
	(2) 農業振興計画策定費				362,338 円
	ア 農業振興計画審議会開催経費(3回)				362,338 円
	(3) 長崎型スマート農業導入検討事業費				1,996,500 円
				(越)	1,996,500 円)
	ア 長崎型スマート農業導入検討委託料				1,996,500 円
				(越)	1,996,500 円)

(4) 中山間地域等振興推進費	14,354,742 円
ア 中山間地域等直接支払交付金( 21集落 延 261人)	14,065,068 円
イ その他経費	289,674 円
(5) 有害鳥獣対策費	99,986,284 円
ア イノシシ等侵入防止柵等購入費	34,619,981 円
イ 委託料	32,901,405 円
(ア) 有害鳥獣対策相談等委託	31,313,334 円
(イ) ワイヤーマッシュ柵補修委託	1,430,000 円
(ウ) 農作物被害調査票封入委託	158,071 円
ウ 負担金・補助金	31,545,742 円
(ア) 有害鳥獣対策協議会負担	31,209,742 円
(イ) ワイヤーマッシュ柵等資材設置費補助	336,000 円
エ その他経費	919,156 円
(6) 多面的機能推進費	13,049,507 円
ア 多面的機能支払交付金( 13組織)	12,908,454 円
イ その他経費	141,053 円
(7) 環境保全型農業推進費	294,000 円
ア 環境保全型農業直接支払交付金( 1件)	294,000 円
(8) グリーンツーリズム推進費	2,430,059 円
ア 負担金・補助金	1,318,000 円
(ア) 長崎県グリーンツーリズム推進協議会負担	50,000 円
(イ) グリーンツーリズム推進事業活動費補助	1,268,000 円

事業主体	事業費	補助額	事業の概要
	円	円	
外海ツーリズム協議会	34,000	34,000	外海地区 田舎料理体験等 (受入人数 17人)
やったろうde高島	1,246,949	805,000	高島地区 シュノーケリング体験等 (受入人数 1,145人)
大中尾棚田保全組合	410,894	210,000	外海地区 交流イベント(火祭り)開催等 (受入人数 131人)
伊王島加工組合	32,500	26,000	伊王島地区 すり身揚げ作り体験等 (受入人数 13人)
ちんじんよかBY茂木	323,225	193,000	茂木地区 ステンドグラス作り体験等 (受入人数 2,241人)
計	2,047,568	1,268,000	

    イ その他経費(印刷製本費、広告料ほか) 1,112,059 円

(9) 長崎の花活用拡大支援費 15,885,838 円

(越 15,885,838 円)

ア 生花アレンジ購入費	11,353,870 円
(越)	11,353,870 円)
イ 新成人花贈呈委託料	3,779,600 円
(越)	3,779,600 円)
ウ その他経費	752,368 円
(越)	752,368 円)
(10) 農業次世代人材投資資金交付金事業費	24,754,000 円
ア 農業次世代人材投資資金交付金(18人)	24,750,000 円
イ その他経費	4,000 円
(11) 中高年新規就農者給付金事業費	3,700,000 円
ア 中高年新規就農者給付金(4人)	3,700,000 円
(12) 経営継承・発展等支援事業費	2,000,000 円
ア 経営継承・発展等支援事業費補助金(2人)	2,000,000 円
2 施設管理運営費	41,528,127 円
(1) 市民農園運営費	773,261 円
ア 土地借上料(2地区)	520,562 円
イ その他経費	252,699 円
(2) 市民農園運営費(総合事務所)(利用区画数 467区画)	3,462,344 円
ア 光熱水費	263,810 円
イ 施設修繕料	542,300 円
ウ 市民農園維持管理委託料(平山、三重、赤水)	2,197,800 円
エ その他経費	458,434 円
(3) 道の駅夕陽が丘そとめ運営費(利用者数 159,071人)	15,099,157 円
ア 施設修繕料	191,400 円
イ 委託料	7,611,450 円
(ア) 指定管理に係る委託	5,489,110 円
(イ) 道の駅整備範囲等管理委託	1,697,740 円
(ウ) 産業廃棄物処理委託	27,500 円
(エ) 公衆無線LAN整備委託	389,400 円
(オ) 空調機器点検委託	7,700 円
ウ 備品購入費(POSシステムレジスター、ガステーブル)	6,077,500 円
エ 負担金	1,185,015 円
(ア) 光熱水費負担	1,115,015 円
(イ) 全国道の駅連絡会負担	20,000 円

(ウ) 九州・沖縄「道の駅」連絡会負担	50,000 円
オ その他経費	33,792 円
(4) 農業センター運営費(農業ヘルパー研修修了者数 14人)	9,710,602 円
ア 果樹・野菜専門員報酬等	3,323,505 円
イ 燃料費	185,300 円
ウ 委託料	4,465,956 円
(ア) 圃場等管理委託	1,934,900 円
(イ) ビニールハウス管理委託	2,258,300 円
(ウ) 中尾運動広場管理委託	109,956 円
(エ) 消防用設備保守点検委託	52,800 円
(オ) 電気設備保守委託	110,000 円
エ その他経費(修繕料、消耗品費ほか)	1,735,841 円
(5) 植木センター運営費(利用者数 4,253人)	6,994,310 円
ア 施設修繕料	814,673 円
イ 指定管理に係る委託料	6,159,837 円
ウ その他経費	19,800 円
(6) 野母崎農村活性化センター運営費(利用者数 390人)	158,103 円
ア 光熱水費	130,977 円
イ 下水道使用料	27,126 円
(7) 琴海北部研修センター運営費(利用者数 1,076人)	1,930,186 円
ア 光熱水費	618,193 円
イ 施設修繕料	361,570 円
ウ 委託料	856,389 円
(ア) 清掃委託	266,800 円
(イ) 管理委託	547,789 円
(ウ) 消防用設備保守点検委託	41,800 円
エ その他経費	94,034 円
(8) 四季彩館運営費(利用者数 1,842人)	1,713,769 円
ア 光熱水費	916,274 円
イ 施設修繕料	179,421 円
ウ 委託料	531,949 円
(ア) 清掃委託	169,106 円
(イ) 管理委託	182,443 円
(ウ) 消防用設備保守点検委託	26,400 円



(エ) 浄化槽保守点検委託	154,000 円
エ その他経費	86,125 円
(9) 外海ふれあい農産加工所運営費	1,686,395 円
ア 光熱水費	757,667 円
イ 委託料	434,280 円
(ア) 加工機器点検委託	82,500 円
(イ) 加工機器清掃委託	39,600 円
(ウ) 小型合併浄化槽維持管理委託	58,080 円
(エ) 蒸気ボイラー点検委託	110,000 円
(オ) 冷凍機ガス点検調査委託	60,500 円
(カ) 害虫等駆除委託	83,600 円
ウ 水道使用料負担金	163,472 円
エ その他経費	330,976 円
3 ながさき地産地消推進費	3,118,430 円
(1) ながさきの「食」推進費	1,368,430 円
ア 印刷製本費(ながさきの食PRガイドブック 4,000部)	242,000 円
イ 委託料	622,600 円
(ア) ながさきの「食」に関する市民意識調査集計・分析等委託	324,500 円
(イ) 産業廃棄物処理等委託	298,100 円
ウ その他経費	503,830 円
(2) ながさき実り・恵みの感謝祭実行委員会負担金 (令和3年11月21日～12月6日 道の駅夕陽が丘そとめほか 6会場で分散開催)	1,750,000 円
4 農業金融対策費	585,154,863 円
(1) 農業近代化資金利子補給補助金	9,061 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
長 崎 西 彼 農 業 協 同 組 合	1 件	9,061 円

(2) 農業経営基盤強化資金利子補給補助金 148,314 円

助 成 先	対 象 件 数	金 額
直 接 個 人 分	1 件	148,314 円

(3) 農業活性化特別支援資金利子補給補助金 215,951 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
長 崎 西 彼 農 業 協 同 組 合	24 件	215,951 円

(4) 農業集落排水事業水洗化資金利子補給補助金 7,523 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
長 崎 西 彼 農 業 協 同 組 合	1 件	7,523 円

(5) 台風13号農業経営緊急対策資金利子補給補助金 8,014 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
長 崎 西 彼 農 業 協 同 組 合	4 件	8,014 円

(6) 農業振興資金預託金 584,766,000 円

預 託 先	金 額
長 崎 西 彼 農 業 協 同 組 合	584,766,000 円

5 農業振興費負担金・補助金 19,551,865 円

(越 4,594,000 円)

(1) 農村交流事業補助金(3件) 285,000 円

(2) 水仙栽培推進事業費補助金 60,040 円

(3) 長崎びわ生産推進事業費補助金 1,422,000 円

(4) 長崎びわ収穫体制強化事業費補助金 4,594,000 円

(越 4,594,000 円)

(5) 長崎びわ災害リスク管理支援費補助金 425,825 円

(6) 長崎市農業団体運営費補助金 415,000 円

(7) 長崎市地産地消振興公社運営費補助金 12,350,000 円

6 【単独】農業振興施設整備事業費補助金 85,478,000 円

(越 13,933,000 円)

(1) 担い手農家支援施設 54,454,000 円

ア 担い手農家支援特別対策事業費補助金 54,454,000 円

事 業 主 体	事 業 費	補 助 額	受 益 戸 数	事 業 の 概 要
こ と の う み いちご循環扇利用組合	円 1,678,501	円 839,000	戸 5	琴海地区 いちご循環扇 32台
ハ ウ ス び わ 寒 冷 紗 利 用 組 合	602,250	301,000	3	茂木・三和地区 びわハウス遮光ネット A = 4,100.0㎡
こ と の う み いちご第2機械利用組合	1,520,200	760,000	5	琴海地区 高設いちご用管理機 5台
こ と の う み いちごゼロハン貼り機 利 用 組 合	4,532,000	2,266,000	2	琴海地区 いちごゼロハン貼り機 2台
日 吉 い ち ご 防 風 ネ ッ ト 利 用 組 合	1,538,385	769,000	11	日吉・茂木地区 防風ネット A = 14,472.5㎡

事業主体	事業費	補助額	受益戸数	事業の概要
	円	円	戸	
長崎南部 第7ハウスびわ生産組合	2,673,000	1,336,000	2	三和地区 びわハウス長寿命化
長崎西彼農業協同組合	30,209,388	12,401,000	3	琴海地区 アスパラガスハウス 3棟 A = 3,546.4m <sup>2</sup>
長崎西彼農業協同組合	25,806,000	12,300,000	1	琴海地区 トルコギキョウハウス 1棟 A = 1,200.0m <sup>2</sup>
長崎西彼農業協同組合	34,669,800	12,317,000	2	琴海地区 高設栽培システム 環境測定装置
長崎西彼農業協同組合	31,864,800	11,165,000	3	三重地区 高設栽培システム 環境測定装置 炭酸ガス発生装置 濃度コントローラー
計	135,094,324	54,454,000		

(2) 農業新規参入促進施設	17,091,000 円
ア 農業新規参入促進事業費補助金(琴海地区 3件、茂木地区 2件)	17,091,000 円
(3) 地域特産農産物生産高度化支援施設	13,933,000 円
	(越 13,933,000 円)
ア 地域特産農産物生産高度化支援事業費補助金	13,933,000 円
	(越 13,933,000 円)

事業主体	事業費	補助額	受益戸数	事業の概要
	円	円	戸	
いちご自動環境制御設備 利用組合	20,900,000	13,933,000 (越 13,933,000)	15	茂木北部地区 琴海地区 自動換気 光合成促進装置 環境制御装置

【水産農林部・上下水道局】

4目 土地改良費	予算額	381,575,000 円	決算額	358,414,458 円
			(前年度繰越額)	12,149,000 円)
1 農業用施設管理費				19,759,879 円
(1) 農業用施設維持管理費				19,759,879 円
ア 施設修繕料(農道木場線ほか 11件)				11,436,480 円
イ 委託料				4,431,900 円
(ア) 道路清掃委託				625,900 円
(イ) 土砂撤去委託				352,000 円
(ウ) 倒木処理委託				192,500 円
(エ) 伐採除草委託(農道現川中尾線ほか 7件)				3,261,500 円
ウ 原材料費(生コンクリートほか)				3,367,089 円
エ その他経費				524,410 円

2	土地改良費補助金	869,000	円
	(1) 小規模農業用水利施設改修費補助金(1件)	869,000	円
3	繰出金	293,971,699	円
	(1) 生活排水事業特別会計繰出金(農業集落排水)	293,971,699	円
4	【単独】農業用施設整備事業費	39,196,080	円
	(越)	12,149,000	円)
	(1) 農道	39,196,080	円
	(越)	12,149,000	円)
	ア 施設修繕料(農道千束野2号線)	674,080	円
	イ 委託料	6,068,700	円
	(ア) 測量設計委託	5,569,300	円
	(イ) 除草委託	499,400	円
	ウ 工事費	32,453,300	円
	(越)	12,149,000	円)

事業名	事業費	事業の概要
農道本郷線(農道2号橋)	円	
橋梁補修工事	10,093,600	工事延長 L= 63.0m 表面被覆工 A= 60.0㎡
農道黒瀬線	6,950,900	工事延長 L= 115.0m アスファルト舗装工 A= 469.0㎡ 排水工 L= 119.3m
農道三重西部線	1,953,600	工事延長 L= 58.0m 法面工 A= 54.0㎡ 排水工 L= 29.0m
農道大石線ほか	2,044,900	工事延長 L= 125.7m 法面工 A= 230.0㎡
災害復旧工事	(越) 738,700)	排水工 L= 36.0m
農道大石線ほか	3,934,700	工事延長 L= 32.8m 法面工 A= 81.0㎡
災害復旧工事(2)	(越) 3,934,700)	
農道ニゴラベ線ほか2線	7,475,600	工事延長 L= 301.5m アスファルト舗装工 A= 1,224.0㎡
改良工事	(越) 7,475,600)	擁壁工 L= 14.5m
計	32,453,300	
	(越) 12,149,000)	

5	【単独】自然災害防止事業費	4,617,800	円
	(1) 農道	4,617,800	円
	ア 工事費	4,617,800	円

事業名	事業費	事業の概要
農道日向線	4,617,800	円
自然災害防止工事		工事延長 L= 20.0m 張コンクリート工 A= 73.0㎡

【水産農林部】

5目	畜産業費	予算額	1,000,000	円	決算額	1,000,000	円
	1	畜産業対策費				1,000,000	円
		(1) 「長崎和牛・出島ばらいろ」ブランド強化費				1,000,000	円
		ア 「長崎和牛・出島ばらいろ」消費拡大実行委員会負担金				1,000,000	円

【水産農林部】

6目 県施行事業費負担金	予算額	5,000,000 円	決算額	1,193,500 円
1 農業費負担金				1,193,500 円
(1) 自然災害防止事業費				1,193,500 円

事業名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
自然災害防止事業 (海岸整備)	3,832,400 円	%	%	%	958,100 円	(町田地区) 護岸工一式
	941,600	-	75.0	25.0	235,400	(脇崎地区) 舗装工一式
計	4,774,000				1,193,500	

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	2 林 業 費	(263,779,100) 224,508,100	(238,254,604) 203,739,681	( - ) -	(25,524,496) 20,768,419

【水産農林部】

2目 林業振興費	予算額	21,455,000 円	決算額	18,539,541 円
1 林業振興対策費				17,987,541 円
(1) 間伐材活用促進費				8,654,650 円
ア 間伐材指導専門員報酬等				7,098,848 円
イ 楕円テーブル天板製作委託料				417,340 円
ウ 備品購入費				666,160 円
エ その他経費				472,302 円
(2) 森林・山村多面的機能発揮対策事業費				794,891 円
ア 森林・山村多面的機能発揮対策事業費負担金(1件)				794,891 円
(3) ふるさとの森林(もり)づくり事業費補助金(1件)				491,000 円
(4) ながさき森林づくり担い手対策事業費補助金(1件)				5,172,000 円
(5) 長崎県林業公社貸付金(1件)				2,875,000 円
2 【単独】林業振興対策事業費補助金				552,000 円
(1) 林業用機械導入				552,000 円

事業主体	事業費	補助額	事業の概要
長崎南部森林組合	18,830,000 円	552,000 円	フォワーダ 1台

【水産農林部】

3目 山林管理費	予算額	20,988,000 円	決算額	18,273,000 円
1 山林管理費				836,550 円
(1) 市有林維持管理費				836,550 円
ア 委託料				836,550 円
(ア) 害虫駆除委託				463,650 円
(イ) 産業廃棄物処理委託				49,500 円
(ウ) 支障木伐採委託(3件)				323,400 円
2 山林整備費				500,664 円
(1) 森林整備促進費				500,664 円
ア 森林現況調査委託料				497,640 円
イ その他経費				3,024 円
3 【補助】山林整備事業費				16,935,786 円

(1) 公有林	16,935,786 円
ア 報酬等(公有林整備作業 延 76人)	629,776 円
イ 委託料	15,836,700 円

作 業 内 容	事 業 量	事 業 費	備 考
支 障 木 伐 採	3 件	539,000 円	市有林 A= 1,308.0ha
下刈・防火線・ 防火広場等手入	10.7 ha	3,545,300	
間 伐	6.9 ha	10,038,600	
市有林林分調査	1 件	1,383,800	
間伐材搬出	1 件	330,000	
計		15,836,700	

ウ その他経費 469,310 円

【水産農林部】

4目 林道管理費	予算額	10,165,000 円	決算額	9,753,349 円
1 林道管理費				9,753,349 円
(1) 林道維持管理費				9,753,349 円
ア 施設修繕料(林道権現線ほか 6件)				4,939,000 円
イ 委託料				2,499,200 円
(ア) 除草委託				1,915,100 円
(イ) 支障木伐採委託				95,700 円
(ウ) 交通誘導警備委託				488,400 円
ウ 原材料費(生コンクリートほか)				1,845,800 円
エ その他経費				469,349 円

【水産農林部】

5目 林道建設費	予算額	43,660,100 円	決算額	40,931,726 円
			(前年度繰越額)	10,358,100 円)
1 【補助】林道開設事業費(地方創生道整備推進交付金)				10,000,000 円
(1) 内藪線				10,000,000 円
ア 工事費				10,000,000 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
林道内藪線開設工事	10,000,000 円	工事延長 L= 251.7m コンクリート路面工 A= 615.5m <sup>2</sup> 排水工 一式

2 【単独】森林基幹道整備事業費	404,426 円
(1) 西彼杵半島線	404,426 円

ア 測量登記委託料	404,426 円
3 【単独】林業用施設整備事業費	14,856,596 円
	(越 3,946,100 円)
(1) 林道	14,856,596 円
	(越 3,946,100 円)
ア 施設修繕料(林道大崎線ほか2件)	2,612,500 円
イ 委託料	6,831,596 円
(ア) 測量設計委託	6,589,596 円
(イ) 除草委託	242,000 円
ウ 工事費	5,412,500 円
	(越 3,946,100 円)

事業名	事業費	事業の概要
林道内藪線開設工事	330,100 円	工事延長 L= 8.3m コンクリート路面工 A= 20.3㎡ 排水工 一式
森林基幹道西彼杵半島線ほか1線 道路災害復旧工事	1,136,300	工事延長 L= 59.0m 土工 一式
林道唐八景線 道路改良工事	1,509,200 (越 1,509,200)	工事延長 L= 37.0m アスファルト舗装工 A= 92.0㎡ 排水工 一式
森林基幹道西彼杵半島線 自然災害防止工事	2,436,900 (越 2,436,900)	工事延長 L= 51.2m アスファルト舗装工 A= 341.2㎡
計	5,412,500 (越 3,946,100)	

4 【単独】自然災害防止事業費	15,670,704 円
	(越 6,412,000 円)
(1) 林道	15,670,704 円
	(越 6,412,000 円)
ア 測量設計委託料	8,990,804 円
イ 工事費	6,679,900 円
	(越 6,412,000 円)

事業名	事業費	事業の概要
林道大山線 道路改良工事	5,267,900 円 (越 5,000,000)	工事延長 L= 59.0m アスファルト舗装工 A= 209.8㎡ 排水工 L= 16.0m
森林基幹道西彼杵半島 自然災害防止工事	1,412,000 (越 1,412,000)	工事延長 L= 10.0m 法面工 A= 135.7㎡
計	6,679,900 (越 6,412,000)	

【水産農林部】

6目 市民ふれあいの森費	予算額	27,837,000 円	決算額	26,704,381 円
1 施設管理運営費				23,789,381 円
(1) 市民ふれあいの森運営費				1,413,038 円



ア 光熱水費	169,702 円
イ 施設修繕料	253,000 円
ウ 委託料	898,040 円
(ア) 日見金比羅の森便所清掃消毒委託	372,240 円
(イ) 岩屋山の森バイオトイレ点検委託	30,800 円
(ウ) 防火広場整備委託	495,000 円
エ その他経費	92,296 円
(2) 体験の森運営費(利用者数 13,250人)	22,376,343 円
ア 施設修繕料	575,685 円
イ 委託料	21,745,658 円
(ア) 指定管理に係る委託	21,371,658 円
(イ) 森林体験館案内看板製作設置委託	374,000 円
ウ その他経費	55,000 円
2 【単独】市民ふれあいの森施設整備事業費	2,915,000 円
(1) 三ツ山の森ほか	2,915,000 円
ア 工事費	2,915,000 円

事業名	事業費	事業の概要
市民の森遊歩道整備工事	2,915,000 円	階段工 N= 118基

【水産農林部】

7目 いこいの里費	予算額	100,403,000 円	決算額	89,537,684 円
1 施設管理運営費				84,216,984 円
(1) あぐりの丘運営費				84,216,984 円

入園状況

開園日数	入園者数
353 日	244,770 人

ア 動物飼育員報酬等	19,985,524 円
イ 種苗購入費	483,164 円
ウ 施設管理等消耗品費	2,643,320 円
エ ばら園管理・園内作業車両等燃料費	2,101,290 円
オ 光熱水費	13,523,316 円
カ 施設等修繕料	7,672,194 円
キ 動物用飼料費	622,600 円
ク 委託料	36,395,174 円

(ア) 浄化槽保守点検委託	3,025,000 円
(イ) 受付・案内・体験実施等委託	10,010,000 円
(ウ) 自家用電気工作物保安委託	998,800 円
(エ) 便所清掃委託	3,234,000 円
(オ) 消防用設備等点検委託	154,000 円
(カ) 池水取水設備保守点検委託	347,600 円
(キ) 噴水設備点検委託	253,000 円
(ク) 貯水槽清掃等委託	269,500 円
(ケ) ばら生産施設等管理委託	5,367,141 円
(コ) 棚田・茶畑等管理委託	4,928,000 円
(サ) 警備委託	264,000 円
(シ) 産業廃棄物処理等委託	660,660 円
(ス) ホームページ保守委託	132,000 円
(セ) 園内除草委託	2,322,100 円
(ソ) 花壇管理委託	2,240,953 円
(タ) 花畑管理委託	922,900 円
(チ) 市民活動推進委託	548,900 円
(ツ) 遊具定期点検委託	142,120 円
(テ) その他	574,500 円
ケ その他経費	790,402 円
2 【単独】いこいの里施設整備事業費	5,320,700 円
(1) あぐりの丘	5,320,700 円
ア 工事費	5,320,700 円

事業名	事業費	事業の概要
いこいの里 受電設備改修工事	5,320,700 円	コンデンサー、交流負荷開閉器、断電器、遮断機等取替

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
3	水 産 業 費	(1,462,171,225) 1,228,860,225	(1,118,836,311) 919,936,378	(240,804,833) 240,804,833	(102,530,081) 68,119,014

【水産農林部】

1目	水産業総務費	予算額	62,564,220 円	決算額	59,169,642 円
				(前年度繰越額)	10,939,082 円)
1	指定管理者候補者選定審査会費				65,600 円
	(1) 伊王島海水浴場交流施設(2回)				65,600 円
2	水産業総務費				198,564 円
	(1) 水産振興計画策定費				198,564 円
	ア 水産振興計画審議会開催経費(3回)				198,564 円
3	水産業総務費負担金				700,000 円
	(1) 長崎魚市場協会負担金				700,000 円
4	施設管理運営費				47,266,396 円
	(1) 伊王島海水浴場交流施設運営費				19,346,150 円
	[利用者数 7,712人]				
	ア 施設等修繕料				4,512,952 円
	イ 委託料				14,371,735 円
	(ア) 指定管理に係る委託				9,917,835 円
	(イ) サメ防護網設置・撤去委託				2,970,000 円
	(ウ) 施設周辺誘導・警備委託				1,371,700 円
	(エ) シロアリ調査・駆除委託				112,200 円
	ウ その他経費				461,463 円
	(2) 飛島磯釣り公園運営費				13,286,186 円
	[利用者数 5,221人]				
	ア 施設修繕料				1,223,744 円
	イ 指定管理に係る委託料				11,992,709 円
	ウ その他経費				69,733 円
	(3) 高島海水浴場・高島ふれあいキャンプ場運営費				14,634,060 円
	[利用者数 海水浴場 4,822人 キャンプ場 1,260人]				
	ア 施設等修繕料				3,500,200 円
	イ 委託料				10,698,820 円
	(ア) 指定管理に係る委託				10,004,720 円
	(イ) 産業廃棄物処理等委託				407,000 円
	(ウ) 砂止めネット設置・撤去委託				287,100 円

ウ その他経費	435,040 円
5 【単独】水産業施設整備事業費	10,939,082 円
	(越 10,939,082 円)
(1) 飛島磯釣り公園	1,377,882 円
	(越 1,377,882 円)
ア 工事費	1,377,882 円
	(越 1,377,882 円)

事業名	事業費	事業の概要
東側釣場改修工事	1,377,882 円 (越 1,377,882 )	工事延長 L= 28.8m

(2) 高島海水浴場・高島ふれあいキャンプ場	9,561,200 円
	(越 9,561,200 円)
ア 工事費	9,561,200 円
	(越 9,561,200 円)

事業名	事業費	事業の概要
高島海水浴場管理棟上屋改修ほか工事	9,561,200 円 (越 9,561,200 )	木製ルーバー、支柱塗装等 一式

【水産農林部・上下水道局】

2目 水産業振興費	予算額	259,163,000 円	決算額	170,032,419 円
1 水産業振興対策費				21,330,600 円
(1) 旬の魚イベント拡大支援費				146,497 円
ア 共催費負担金				146,497 円
(ア) 伊王島朝市会・西彼南部漁業協同組合 伊王島朝市「春の大売り出し」				46,497 円
〔 令和3年4月25日 伊王島(沖ノ島)漁港内特設会場 新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため中止 〕				
(イ) 伊王島朝市会・西彼南部漁業協同組合 伊王島朝市「歳末大売り出し」				100,000 円
〔 令和3年12月26日 伊王島(沖ノ島)漁港内特設会場 来場者数 約 200人 〕				
(2) 魚食普及事業費				400,500 円
ア 印刷製本費(サバサンド包装紙 10,000枚)				143,000 円
イ 委託料				180,000 円
(ア) 「親子で学ぶ!くじら食文化教室」開催委託				100,000 円
(イ) 西町小学校くじら料理教室開催委託				80,000 円
ウ 捕鯨を守る全国自治体連絡協議会負担金				10,000 円
エ その他経費				67,500 円
(3) さしみシティ推進事業費				9,921,393 円

ア 印刷製本費	544,500 円
(ア) 戸石とらふぐ料理フェアポスター・チラシ(ポスター 100枚 チラシ 50,000枚)	412,500 円
(イ) 飲食店用PRツール(さしみピック 10,000枚)	132,000 円
イ 広告料	3,580,830 円

媒 体	金 額	摘 要
電 光 掲 示 板	1,083,500 円	長崎駅構内
新 聞 折 込	163,350	長崎新聞
雑 誌	1,893,980	Discover Japan、ながさきプレス
ガ イ ド ブ ッ ク	440,000	長崎空港高速バスシートポケット
計	3,580,830	

ウ 委託料	4,346,540 円
(ア) さしみシティホームページ制作及び運用管理委託	2,090,000 円
(イ) さしみシティ賛同店舗情報発信力向上支援委託	2,090,000 円
(ウ) その他	166,540 円
エ さしみシティ推進事業費補助金(3件)	1,195,000 円
オ その他経費	254,523 円
(4) 離島漁業再生支援交付金事業費	1,037,000 円
ア 離島漁業再生支援交付金	837,000 円

地 区	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
高 島 地 区 漁 業 集 落	837,000 円	837,000 円	いか産卵場の整備、漁場監視、共同出荷体制の整備

イ その他経費	200,000 円
(5) 水産多面的機能発揮対策支援費	7,270,210 円
ア 水産多面的機能発揮対策支援補助金	6,770,210 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
長 崎 県 水 産 多 面 的 機 能 会 発 揮 対 策 地 域 協 議 会	51,793,282 円	6,770,210 円	藻場の保全(モニタリング、海藻の種苗投入、食害生物の除去等) 漂流、漂着物、堆積物の処理 ほか

イ その他経費	500,000 円
(6) 新規漁業就業促進費	2,555,000 円
ア 漁業就業実践研修事業費補助金	2,555,000 円

地 区	金 額	研 修 人 員	研 修 期 間	研 修 内 容
神 ノ 島 地 区	1,130,000 円	1 人	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	刺網漁業
高 島 地 区	1,425,000	1	令和3年4月1日～ 令和4年2月28日	刺網漁業
計	2,555,000	2		

2 漁業金融対策費 714,879 円

(1) 漁業資金債務保証料補助金 696,647 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
九州信用漁業協同組合連合会	54 件	696,647 円

(2) 漁業集落排水事業水洗化資金利子補給補助金 18,232 円

組 合 名	対 象 件 数	金 額
長崎西彼農業協同組合	4 件	18,232 円

3 水産業振興費負担金・補助金 5,864,370 円

(1) 水産種苗放流等事業費補助金 2,749,370 円

ア 水産種苗放流事業費補助 2,498,500 円

事業主体	事業費	金額	事業の概要
	円	円	
大村湾漁業協同組合	2,158,200	981,000	アカガイ種苗放流 10,000 個 ガザミ種苗放流 10,000 尾 ナマコ種苗放流 130,000 個 ヒラメ種苗放流 10,800 尾
新三重漁業協同組合	1,260,000	630,000	抱卵イセエビ放流 250.0 kg
たちばな漁業協同組合	308,000	140,000	アカウニ種苗放流 20,000 個
野母崎三和漁業協同組合	1,644,500	747,500	小型イセエビ放流 230.0 kg
計	5,370,700	2,498,500	

イ いか産卵場造成事業費補助 250,870 円

事業主体	事業費	金額	事業の概要
	円	円	
野母崎三和漁業協同組合	220,000	100,000	いか柴産卵巣設置 1 箇所
西彼南部漁業協同組合	111,914	50,870	いか柴産卵巣設置 7 箇所
たちばな漁業協同組合	254,936	100,000	いか柴産卵巣設置 1 箇所
計	586,850	250,870	

(2) 悪質密漁連携監視事業費負担金 95,000 円

事業主体	事業費	金額	事業の概要
大村湾海域漁場監視 連絡協議会	2,295,000 円	95,000 円	大村湾内における漁場監視活動

(3) 海底浄化推進事業費負担金・補助金 360,000 円

ア 海底浄化推進(海底耕うん)事業費補助 360,000 円

事業主体	事業費	金額	事業の概要
大村湾漁業協同組合	720,000 円	360,000 円	大村湾内における海底耕うん

(4) 漁業集落排水事業水洗化促進費補助金 260,000 円

地 区	対 象 件 数	金 額
野 母 地 区	1 件	260,000 円

(5) 長崎県水産加工振興祭開催費負担金 200,000 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
長崎県水産加工振興祭 実行委員会	8,824,156 円	200,000 円	開催日:令和3年12月10日~12日 会場:出島メッセ長崎

(6) のもぎき伊勢エビまつり開催費負担金 2,200,000 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
のもぎき伊勢エビまつり 実行委員会	2,361,382 円	2,200,000 円	開催日:令和3年9月5日~27日 場 所:野母崎三和漁協活魚流通センター(伊勢エビ販売キャンペーン)、各料理店

4 繰出金 85,227,570 円

(1) 生活排水事業特別会計繰出金(漁業集落排水) 85,227,570 円

5 【補助】経営構造改善事業費補助金 32,933,000 円

(1) 漁協等施設整備 32,933,000 円

ア 経営構造改善事業費補助金 32,933,000 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
長崎漁港水産加工団地 協 同 組 合	108,680,000 円	32,933,000 円	加工用水供給施設の改築 導水管敷設工事 一式(L= 2,844.0m) 配水管敷設工事 一式(L= 1,255.0m)

6 【単独】水産業振興対策事業費負担金・補助金 23,962,000 円

(1) 新水産業経営力強化事業費 23,962,000 円

ア 新水産業経営力強化事業費負担金 267,000 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
大村湾漁業協同組合	4,290,000 円	267,000 円	売上販売管理POSシステム整備

イ 新水産業経営力強化事業費補助金 23,695,000 円

事 業 主 体	事 業 費	金 額	事 業 の 概 要
新三重漁業協同組合	1,914,000 円	1,160,000 円	販売促進用機器整備
長崎蒲鉾水産加工業 協 同 組 合	11,000,000 円	6,667,000 円	排水処理施設機械式ばっ気装置整備
西彼南部漁業協同組合	9,130,000 円	5,534,000 円	冷凍冷蔵庫、2t冷蔵車整備
野母崎三和漁業協同組合	17,346,580 円	10,334,000 円	4t活魚車整備
計	39,390,580 円	23,695,000 円	

【水産農林部】

3目 漁港管理費	予算額	29,311,000 円	決算額	25,501,649 円
1 漁港管理費				25,501,649 円
(1) 漁港維持管理費				4,153,978 円
ア 委託料				1,021,797 円
(ア) 漁港施設管理等委託				365,772 円
(イ) 測量登記委託				656,025 円
イ 負担金				2,398,006 円
(イ) 長崎県漁港漁場協会負担				2,298,006 円
(イ) 水産土木建設技術センター負担				100,000 円
ウ その他経費				734,175 円
(2) 漁港維持管理費(総合事務所)				20,587,974 円
ア 光熱水費				2,809,793 円
イ 施設修繕料				6,107,120 円
ウ 手数料				517,884 円
エ 委託料				10,691,242 円
(ア) 漁港施設管理等委託				8,067,642 円
(イ) 清掃委託				1,340,300 円
(ウ) 剪定・除草委託				781,300 円
(エ) かきどまり漁港かきどまり白浜サメ侵入防護網設置撤去等委託				480,000 円
(オ) 土木設計積算システム再設定等委託				22,000 円
オ その他経費				461,935 円
(3) 県管理漁港維持管理費				759,697 円
ア 光熱水費				435,701 円
イ 漁港施設管理等委託料				323,996 円

【水産農林部】

4目 漁港建設費	予算額	396,913,802 円	決算額	321,117,189 円
			(前年度繰越額)	119,881,902 円 )
1 【補助】水産物供給基盤機能保全事業費				85,421,864 円
			(越)	48,285,500 円 )
(1) 漁港施設機能保全				85,421,864 円
			(越)	48,285,500 円 )



ア 工事費 85,375,400 円  
(越 48,285,500 円)

事業名	事業費	事業の概要
蚊 焼 漁 港 浚 渫 工 事	85,375,400 円 (越 48,285,500)	浚渫工 V= 3,700.0m <sup>3</sup>

イ その他経費 46,464 円

2 【補助】漁村再生交付金事業費 96,020,372 円  
(越 33,454,600 円)

(1) 野野串漁港防波堤改良 96,020,372 円  
(越 33,454,600 円)

ア 委託料 182,380 円

(ア) 土木設計積算システム保守委託 33,880 円

(イ) DynaCAD保守委託 16,500 円

(ウ) 漁港台帳管理システム保守委託 132,000 円

イ 工事費 95,599,100 円  
(越 33,454,600 円)

事業名	事業費	事業の概要
防 波 堤 改 良 工 事	62,144,500 円	消波工 L= 6.7m(異形ブロック製作・据付 25個) 撤去工 一式 付帯工 一式
防 波 堤 改 良 工 事 ( そ の 2 )	33,454,600 円 (越 33,454,600)	消波工 L= 6.7m(異形ブロック製作 38個・据付 37個)
計	95,599,100 円 (越 33,454,600)	

ウ その他経費 238,892 円

3 【補助】農山漁村地域整備交付金事業費 90,631,434 円  
(越 16,639,002 円)

(1) たちばな漁港護岸改良(戸石島の前地区) 24,748,253 円

ア 工事費 24,712,600 円

事業名	事業費	事業の概要
護 岸 改 良 工 事	24,712,600 円	基礎工 L= 34.9m 上部工 L= 11.2m 消波工 L= 25.2m(異形ブロック据付 170個)

イ その他経費 35,653 円

(2) 為石漁港海岸保全施設整備 49,244,179 円

ア 工事費

48,884,000 円

事業名	事業費	事業の概要
離岸堤整備工事	48,884,000 円	消波工 L= 3.6m(異形ブロック製作・据付 31個) 付帯工 一式

イ その他経費

360,179 円

(3) 海岸堤防等老朽化対策

16,639,002 円

(越 16,639,002 円)

ア 工事費

16,639,002 円

(越 16,639,002 円)

事業名	事業費	事業の概要
為石漁港海岸堤防等老朽化対策工事	16,639,002 円 (越 16,639,002)	階段工 一式 ゲート工 一式

4 【補助】漁港施設整備事業費(地方創生港整備推進交付金)

11,913,000 円

(1) たちばな漁港・野野串漁港安全施設整備

11,913,000 円

ア 工事費

11,913,000 円

事業名	事業費	事業の概要
たちばな漁港ほか安全管理施設設置工事	11,913,000 円	車止工 L= 197.0m(たちばな漁港) 車止工 L= 15.0m(野野串漁港)

5 【単独】漁港施設小規模改良事業費

37,130,519 円

(越 21,502,800 円)

(1) 漁港

24,373,250 円

(越 21,502,800 円)

ア かきどまり漁港(福田地区)深浅測量委託料

2,870,450 円

イ 工事費

21,502,800 円

(越 21,502,800 円)

事業名	事業費	事業の概要
そとめ漁港 浚渫工	10,649,867 円 (越 10,649,867)	浚渫工 V= 340.0m <sup>3</sup>
蚊浮焼橋改修工事	3,831,633 円 (越 3,831,633)	躯体工 一式 錠けい工 一式
南風泊漁港 浮棧橋補修工事	3,822,500 円 (越 3,822,500)	係留杭補修工 N= 4箇所 係留杭塗装工 N= 4箇所
南風泊漁港 臨港道路防護柵改修工事	3,198,800 円 (越 3,198,800)	防護柵工 L= 69.0m
計	21,502,800 円 (越 21,502,800)	

(2) 漁港(総合事務所)

12,757,269 円

ア 工事費

12,757,269 円

事業名	事業費	事業の概要
かきどまり漁港(福田地区)付帯施設整備工事	1,985,830	タラップ設置工 N= 2基
そとめ漁港(黒崎地区)防波堤災害復旧工事	568,700	基礎工 V= 30.0m <sup>3</sup>
為石漁港海岸堤防等老朽化対策工事	34,798	階段工 一式 ゲート工 一式
沖の島漁港浮体式係船岸改修工事	1,584,000	浮体式係船岸改修工 一式
蚊焼漁港浚渫工	4,855,733	浚渫工 V= 110.0m <sup>3</sup>
深堀漁港ほか付帯施設整備工事	3,728,208	タラップ設置工 N= 3基(深堀漁港) タラップ設置工 N= 1基(為石漁港)
計	12,757,269	

## 【水産農林部】

5目 水産センター費	予算額	123,217,000 円	決算額	116,952,009 円
			(前年度繰越額	12,756,700 円)
1 水産センター費				67,674,209 円
(1) 水産種苗生産費				24,004,506 円
ア 報酬等				3,828,290 円
イ 燃料費				5,505,788 円
ウ 飼料費				7,583,306 円
エ 種苗生産委託料				168,000 円
オ 長崎県アワビ種苗生産技術研究会負担金				8,000 円
カ その他経費(消耗品費、旅費ほか)				6,911,122 円

種苗名	分譲数	事業の概要	
クマエビ	800,000 尾	橘湾栽培漁業推進協議会ほか(放流用)	800,000 尾
ガザミ	200,000 尾	橘湾栽培漁業推進協議会ほか(放流用)	200,000 尾
クロアワビ	52,000 個	橘湾栽培漁業推進協議会ほか(放流用) 西彼地域栽培漁業推進協議会ほか(放流用)	47,000 個 5,000 個
アカガイ	10,000 個	大村湾漁業協同組合(放流用)	10,000 個
イワガキ	10,500 個 4,590 枚	みなと漁業協同組合ほか(養殖用) たちばな漁業協同組合ほか(養殖用)	10,500 個 4,590 枚
トラフグ	26,000 尾	たちばな漁業協同組合(養殖用)	26,000 尾

種 苗 名	分 譲 数	事 業 の 概 要
シ マ ア ジ	11,400 尾	たちばな漁業協同組合(養殖用)
計	1,114,490	

(2) 水産センター管理運営費	39,696,145 円
ア 報酬等	5,401,824 円
イ 光熱水費	17,516,366 円
ウ 施設等修繕料	7,972,561 円
エ 手数料	2,660,777 円
(ア) 高島事業所不動産鑑定評価	2,420,000 円
(イ) その他	240,777 円
オ 委託料	4,118,202 円
(ア) 警備委託	316,800 円
(イ) 消防用設備保守点検委託	48,400 円
(ウ) 自家用電気工作物保安委託	1,048,080 円
(エ) 浄化槽維持管理委託	100,782 円
(オ) 浄化槽清掃委託	126,610 円
(カ) 温水ボイラー点検委託	528,000 円
(キ) 機械設備点検委託	475,200 円
(ク) 地下タンク点検委託	92,400 円
(ケ) 小型ボイラー排ガス測定委託	169,950 円
(コ) 産業廃棄物処理委託	302,500 円
(サ) 清掃委託	90,200 円
(シ) コンデンサPCB分析委託	71,280 円
(ス) 電気設備調査委託	275,000 円
(セ) 配管現況調査委託	473,000 円
カ 負担金	1,128,900 円
(ア) 橘湾栽培漁業推進協議会負担	300,000 円
(イ) 西彼地域栽培漁業推進協議会負担	700,000 円
(ウ) 大村湾栽培漁業推進協議会負担	100,000 円
(エ) その他	28,900 円
キ その他経費	897,515 円
(3) 水産技術試験研究費	3,973,558 円
ア 報酬等	1,769,508 円
イ 飼料費	573,292 円

ウ その他経費(消耗品費、クローアビ放流効果調査に係る備船料)	1,630,758 円
2 【単独】水産センター施設整備事業費	49,277,800 円
	(越 12,756,700 円)
(1) 水産センター(牧島)	49,277,800 円
	(越 12,756,700 円)
ア 工事費	49,277,800 円
	(越 12,756,700 円)

事業名	事業費	事業の概要
	円	
魚類生産棟温水管及びろ過機械棟海水取水管改修工事	31,296,100	温水管改修工 L= 553.0m 海水取水管改修工 L= 250.0m
浮棧橋改修工事	5,225,000	浮棧橋杭改修 一式
取水ポンプ防護ネット改修工事	12,756,700 (越 12,756,700 )	防護ネット改修工 A= 130.6㎡
計	49,277,800 (越 12,756,700 )	

【水産農林部】

6目 県施行事業費負担金	予算額	357,691,203 円	決算額	227,163,470 円
			(前年度繰越額	153,991,203 円)
1 水産業費負担金				227,163,470 円
			(越	153,991,203 円)

## (1) 漁港事業費

227,163,470 円

(越 153,991,203 円)

事業名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
長崎漁港 水産流通 基盤整備事業	円 2,538,630,687 (越 1,698,350,687)	% 50.0 } 66.7	% 25.0 } 40.0	% 4.6 } 12.5	円 218,054,470 (越 153,115,203)	(旧三重地区) ○外郭施設 導流堤改良工 一式 ○係留施設 -2.0m物揚場(C) 改良工 一式 (三重地区) ○係留施設 -7.5m岸壁改良工 一式 ○係留施設(衛生管理) -6.0m岸壁(C)改良工 一式 -6.0m岸壁(B)改良工 一式 -4.0m岸壁(A)改良工 一式 ○荷捌所(衛生管理) 荷捌所改良工 一式 ○輸送施設 道路(琴海線)改良工 一式 道路(時津線)改良工 一式
長崎漁港 漁港機能強化事業	12,800,000	50.0	40.0	10.0	1,280,000	(三重地区) 浮棧橋工(機能診断) 一式
長崎・野母漁港 漁港機能増進事業	55,631,700	50.0	37.5	12.5	6,953,000	(三重地区) 附属工 (車止・照明) 一式 (野母地区) 浮体式係船岸工 L= 19.0m
式見・樺島漁港 水産業強化 支援事業	7,020,000 (越 7,020,000)				(越 876,000)	(式見・樺島地区) 附属工(車止) 一式
計	2,614,082,387 (越 1,705,370,687)				227,163,470 (越 153,991,203)	

令和3年度一般会計歳入歳出決算における不用額の説明並びに予備費充用の説明(農林水産業費)

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
6 農林水産業費	1 農業費			
		1 農業委員会費		
		2 農業総務費		
		3 農業振興費		
			<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 農業振興対策費 農林振興課 有害鳥獣対策費において、計画していた事業量(捕獲頭数等)が予定を下回ったことによるもの。(10,678千円)</p> <p>農林振興課 グリーンツーリズム推進費において、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部イベントを中止したことにより、団体の補助申請額が予定を下回ったことなどによるもの。(3,374千円)</p> <p>(2) 施設管理運営費 水産農林政策課 道の駅夕陽が丘そとめ運営費において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額でPOSシステムレジスター購入に係る契約を締結できたことなどによるもの。(5,215千円)</p> <p>(3) 農業金融対策費 農林振興課 農業振興資金預託金において、貸付対象となる肥育素牛の購入頭数が予定を下回ったことなどによるもの。(34,420千円)</p> <p>(4) 【補助】農業振興施設整備事業費補助金 農林振興課 担い手農家支援施設において、事業申請数が予定を下回ったことなどによるもの。(129,422千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)	
6 農林水産業費	1 農業費	3 農業振興費	【水産農林部】 (5) 【単独】農業振興施設整備事業費補助金 農林振興課 担い手農家支援施設において、受益者の減による事業量及び事業申請件数が予定を下回ったことなどによるもの。(25,774千円)		
		4 土地改良費			
			【企画財政部】 (1) 繰出金 財政課 生活排水事業特別会計繰出金(農業集落排水)において、繰出し対象である施設維持管理費の支出額が予定を下回ったことなどによるもの。(20,107千円)		
		5 畜産業費			
		6 県施行事業費負担金			
			【水産農林部】 (1) 農業費負担金 農林振興課 自然災害防止事業費において、県施行の自然災害防止事業の工事費が予定を下回ったことによるもの。(3,807千円)		
	2 林業費				
		1 林業総務費			
		2 林業振興費			
		3 山林管理費			
		4 林道管理費			
		5 林道建設費			
			【水産農林部】 (1) 【単独】林業用施設整備事業費 農林振興課 林道において、舗装等の工事費が予定を下回ったことなどによるもの。(2,133千円)		
		6 市民ふれあいの森費			
7 いこいの里費					



款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
6 農林水産業費	2 林業費	7 いこいの里費	<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 施設管理運営費 農林振興課 あぐりの丘運営費において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で受付・案内・体験実施等業務委託契約を締結できたことなどによるもの。 (8, 186千円)</p> <p>(2) 【単独】いこいの里施設整備事業費 農林振興課 あぐりの丘において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で受電設備改修に係る工事請負契約を締結できたことによるもの。(2, 679千円)</p>	
	3 水産業費			
	1 水産業総務費			
	2 水産業振興費		<p>【企画財政部】</p> <p>(1) 繰出金 財政課 生活排水事業特別会計繰出金（漁業集落排水）において、繰出し対象である施設維持管理費の支出額が予定を下回ったことなどによるもの。 (27, 088千円)</p> <p>【水産農林部】</p> <p>(1) 【補助】6次産業化市場規模拡大対策整備交付金 水産振興課 輸出向けHACCP等対応施設整備において、事業者が予定事業の実施を見送ったことによるもの。(24, 565千円)</p>	
	3 漁港管理費		<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 漁港管理費 水産振興課 漁港維持管理費（総合事務所）において、漁港内の漂着ごみ等清掃委託料が予定を下回ったことなどによるもの。(2, 701千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
6 農林水産業費	3 水産業費	4 漁港建設費		
			<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 【補助】漁港施設整備事業費（地方創生港整備推進交付金） 水産振興課 たちばな漁港・野野串漁港安全施設整備において、国庫補助金の内示額が減したことにより事業費が予定を下回ったことなどによるもの。 (6, 200千円)</p>	
		5 水産センター費		
			<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 水産センター費 水産センター 水産センター管理運営費において、高島事業所不動産鑑定評価に係る手数料が予定を下回ったことなどによるもの。(2, 243千円)</p> <p>(2) 【単独】水産センター施設整備事業費 水産センター 水産センター（牧島）において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で温水管改修に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。 (2, 022千円)</p>	
		6 県施行事業費負担金		
			<p>【水産農林部】</p> <p>(1) 水産業費負担金 水産振興課 漁港事業費において、県施行の荷捌所シャーベット製氷施設設置が令和4年度に見送られたことなどにより負担金が予定を下回ったことによるもの。(8, 162千円)</p>	



商 工 費

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	市民生活部	
個別施策	E4-1 消費者トラブルから市民を救済します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	消費者トラブルから救済されている。

### 令和3年度の取組概要

- 消費生活相談員等による相談・苦情対応
  - ・引き続き専門的知識を有する消費生活相談員による消費者相談を行い、被害の回復と未然防止に取り組んだ。
  - ・成年年齢引き下げを見据え、出前講座など若者向けの消費者教育の機会づくりの重要性が更に高まってくることから、消費生活相談体制の充実と消費生活相談窓口のさらなる周知に取り組んだ。
- 消費生活相談員等のレベルアップ
  - ・最近の消費者被害は、まったく同じ手口が時間と場所を変えて全国に広がっていく傾向にあるため、独立行政法人国民生活センター等が開催する研修等で最新の事例を学び、市民への周知を図ることにより、市民の被害の未然・拡大防止につなげた。
- 関係機関との連携
  - ・庁内外の関係機関と連携し、消費者被害の早期発見や、多重債務者の掘り起こし、「ニセ電話詐欺」などの特殊詐欺の未然防止に取り組んだ。
  - ・消費者安全確保地域協議会の構成機関との連携を深め、消費者トラブルを素早く・円滑に消費者センターにつなげ、被害の未然防止・拡大防止を図った。
- 弁護士相談の実施
  - ・法律の専門的な知識を活用しなければ解決できない事例に対応するため、消費生活相談員が弁護士に相談する機会を確保し、難しい相談事例に対して適切に対処した。

### 評価(成果)

- 消費生活相談員による相談・苦情対応
  - ・フリーローン・サラ金、健康食品の通信販売や携帯電話サービスをはじめとする相談・苦情2,925件に対して適切に対応し、被害が発生している場合には速やかに被害回復に向けた取組みを行い、適切な被害の救済ができた。
- 消費生活相談員等のレベルアップ
  - ・通信端末・SNSの仕組みに関する契約トラブル研修6件、消費者推進研修2件、旅行関連の研修2件、土地・住宅関連の消費者トラブル研修や相談員のメンタルヘルス研修など、専門的な研修に参加し、相談対応のスキルを向上させることができた。
- 関係機関との連携
  - ・庁内外の関係機関と連携して相談者をつないでもらうことで、高齢者の消費者被害救済を促進できた。
  - ・消費者安全確保地域協議会総会を開催し、高齢者等を消費者被害から守るための研修(弁護士講話)を行ったり、最新の消費者被害に関する情報共有を行った。
- 弁護士相談の実施
  - ・消費生活相談員では判断困難な事例について、弁護士と連携した相談を11回15件実施し、相談者に的確な助言を行うことができた。

### 評価(問題点とその要因)

- 関係機関との連携
 

高齢者等配慮を要する消費者の消費者被害の救済、未然・拡大防止を進めていくには、消費者安全確保地域協議会における見守り活動から、確実に消費者センターへと消費生活相談がつながってくるような連携強化が必要な状況にある。

コロナ禍の影響もあり、各構成機関の職員等、現場で見守り活動を実施する者に対して、協議会の取組みの理解を深めるための説明会の実施等のアプローチが十分になされていない。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 消費生活相談員等による相談・苦情対応
  - ・引き続き専門的知識を有する消費生活相談員による消費者相談を行い、被害の回復と未然防止に取り組む。
  - ・成年年齢引き下げに伴い、出前講座など若者向けの消費者教育の機会づくりの重要性が更に高まってくることから、消費生活相談体制の充実と相談窓口のさらなる周知に取り組む。
- 消費生活相談員等のレベルアップ
  - ・最近の消費者被害は、まったく同じ手口が時間と場所を変えて全国に広がっていく傾向にあるため、独立行政法人国民生活センター等が開催する研修等で最新の事例を学び、市民への周知を図ることにより、市民の被害の未然・拡大防止につなげる。
- 関係機関との連携
  - ・消費者被害の早期発見や多重債務者の掘り起こし、「ニセ電話詐欺」などの特殊詐欺の未然防止については、今後も庁内外の関係機関と連携しながら取り組む。
  - ・消費者安全確保地域協議会の構成機関との連携を深め、消費者トラブルを素早く・円滑に消費者センターにつなげ、被害の未然防止・拡大防止を図る。
- 弁護士相談の実施
  - ・弁護士等法律の専門家の知識を活用しなければ解決できない事例も増えているため、今後も専門家への相談の機会を十分確保する。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
365	(事業名) 消費生活相談費	成果指標	救済率
	(事業目的) 市民を消費者被害から救済する。	目標値	96.3 %
		実績値	96.8 %
		達成率	100.5 %
	(事業概要) ・消費生活相談員による相談、苦情の処理	決算額	18,807,165 円
	成果指標・目標値の説明	救済率の向上は消費者被害の防止につながると考えられるため、消費生活相談のうちあっせんや助言等により解決できた割合(救済件数/相談受付件数)を成果指標とした。 平成22～25年度の平均救済率96.3%の維持を目標とする。	
	取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・消費生活相談実績 相談件数2,925件 救済率96.8% ・弁護士相談 11回・15件  (成果・課題等) 相談・苦情に対して被害の回復と未然防止に努めた。	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C1-1 域外からの外貨獲得をめざす地場企業を支援します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地場企業が	地域資源を活かした魅力ある製品・サービスの開発により、域外からの来訪者による売上を増やしている。

### 令和3年度の取組概要

- シュガーロードに関する取組み
  - ・シュガーロード連絡協議会(事務局:長崎市)において、令和2年6月に日本遺産の認定を受けた「砂糖文化を広めた長崎街道～シュガーロード」について、域外から長崎街道沿線自治体の8市への来訪者の増加のため、ガイド育成事業やシンポジウム、モニターツアー、ホームページのリニューアルを行うとともに、長崎市においては、スタンプラリーやパネル展などを行うことで、シュガーロードの魅力向上や情報発信に努めた。
- 商店街の意欲的な取組みの支援
  - ・「まちなか商店街誘客事業費補助金」により、小規模事業者が実施する国内外からの観光客等の誘客と消費拡大に資する取組みを支援した。(補助金交付事業者数:15事業者)
  - ・「商店街等にぎわい復活支援事業費補助金」により、新型コロナウイルス感染症により落ち込んだ賑わいを復活させるため、商店街や各業界団体が実施するプレミアム付商品券発行事業や各種イベント事業を支援した。(補助金交付団体数:17団体)
- 「交流の産業化」に資する新たな取組みへの支援
  - ・夜間消費の回復・拡大を図ることを目的とした、ナイトタイムエコノミーを推進するコンテンツを創出する事業の募集を行った。(採択事業:3事業 事業の実施は令和4年度)

### 評価(成果)

- シュガーロードに関する取組み
  - ・長崎街道沿線自治体の8市と連携した情報発信に取り組んだ結果、市民や観光客の認知度が上がった。(ホームページアクセス数:94,363件(前年度83,738件))
- 商店街の意欲的な取組みの支援
  - ・「まちなか商店街誘客事業費補助金」により、多言語表記メニューや多言語のホームページを作成する小規模事業者が増えたことで、国内外からの観光客が買い物や食事を楽しめる環境が一定整備された。
  - ・商店街や各種業界団体が実施するプレミアム付商品券発行事業やスタンプラリー、抽選会、まちゼミなどの各種イベント事業の17事業を支援したことにより、地域内の消費が喚起され、地場事業者の売上につながるとともに、商店街等の体制強化を促すきっかけとなった。
- 「交流の産業化」に資する新たな取組みへの支援
  - ・ナイトタイムエコノミー推進事業を募集し、令和3年度は15件の応募があり、長崎港のヨットクルーズやナイトサップ、MaaSサービスを活用した恐竜博物館イベントの3事業を採択することができた。令和4年度には、夜間消費の回復・拡大のためのナイトタイムエコノミーを推進するコンテンツの創出が見込まれる。また、多くの応募や相談があったことから機運の高まりを実感できた。

### 評価(問題点とその要因)

- シュガーロードに関する取組み
  - ・これまでは主にシュガーロードに関する情報発信に注力していることから、取組み前と比較すると認知度は高まってきているものの、地場事業者の多くが小規模事業者であり、営業力や商品開発力が弱い傾向にあることから、売上げ向上にまではつなげていない。
- 「交流の産業化」に資する新たな取組みへの支援
  - ・夜間の消費拡大につながる魅力向上にはまだまだ開発の余地があるため、ナイトタイムエコノミー推進に資する新しいコンテンツを更に創出する必要がある。また、新しいコンテンツの周知を積極的に行い、市内外からの参加を促す必要がある。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- シュガーロードに関する取組み
  - ・シュガーロードの全国的な認知度を高めるため、展示会イベントやガイド育成事業、旅行商品の造成などを通じて効果的な宣伝及び情報発信に引き続き努めるとともに、地域独自の魅力ある製品・サービスの開発を促すことで、売上増につなげる。
- 商店街の意欲的な取組みの支援
  - ・平成28年度から6年間で「まちなか商店街誘客事業費補助金」により、小規模事業者が行う計116の取組みを支援したことで、商店街の魅力向上や国内外からの観光客の受入体制の整備が一定数図られたため、「まちなか商店街誘客事業費補助金」は令和3年度で終了したが、商店街等の賑わい創出や魅力向上のための取組みを引き続き支援することで、商店街の活性化につなげる。
  - ・「商店街等にぎわい復活支援事業費補助金」などを通じて、商店街や各種業界団体などの取組みを引き続き支援することで、商店街等の活性化につなげる。
- 「交流の産業化」に資する新たな取組みへの支援
  - ・令和4年度も新たにナイトタイムエコノミー推進事業の募集を行い、夜間消費の回復・拡大のための新たなコンテンツの創出につなげる。また、事業の周知についてはDMO等と連携し、市内外へ積極的に情報を発信する。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
371	(事業名) 長崎街道シュガーロード推進費  (事業目的) 江戸時代に貴重品であった「砂糖」が海外から長崎に運ばれ、今なお多くの菓子産業が栄えている長崎街道「シュガーロード」を活かし、長崎から小倉までの都市が連携して食の魅力発信と地域の活性化を行う。  (事業概要) 長崎街道シュガーロードの歴史と文化を掘り起し、沿線自治体と連携し、菓子産業の「食」の発信を行う。	成果指標	シュガーロードホームページアクセス件数
		目標値	69,600 件
		実績値	94,363 件
		達成率	135.6 %
		決算額	2,061,387 円
		成果指標・目標値の説明	シュガーロードと沿線各市の菓子・文化の認知度と発信力を測るため、シュガーロードホームページの年間アクセス件数を成果指標とした。 1か月に5,800件、年間69,600件のアクセス件数を目標値として設定した。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・シュガーロード連絡協議会の開催 総会 年1回 担当者会議 年2回 ・ホームページリニューアル ・シンポジウムの開催 ・ガイド育成 ・学校等と連携した講座の開催 ・モニターツアー ・スタンプラリーの実施 【期間:令和3年12月18日～令和4年2月28日】 ・出島内三番蔵設置タペストリーリニューアル ・メルカつままち5階(市民生活プラザ)にてシュガーロードパネル展 ・長崎開港450フェスタにてシュガーロードブース設置  (成果・課題等) シュガーロード沿線8市と連携し、シュガーロードの認知度アップを図り、ホームページのアクセス件数が増加した。地域独自の魅力ある製品・サービスの開発を促すことで、菓子業界全体の売上増につなげる必要がある。		





【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 販路開拓・拡大への支援
  - ・市と地域商社の情報共有のための連絡会の開催や、地域商社が取り扱う商品を増やすための事業者とのマッチングを行うことなどにより、地場事業者の新商品の開発や販路開拓につなげる。
  - ・商談会については、地場事業者に対し、県や商工会議所、県商工会連合会等が開催する商談会等の情報を提供するとともに、出店に要する経費の一部を支援することで販路拡大につなげる。
  - ・地場事業者の魅力ある製品の開発やSNSマーケティング・ECサイトによる販売促進の取組みを支援することで、地場事業者の販路開拓・拡大につなげる。
- 地域資源を活かした長崎固有の商品ブランド化促進並びに集中的なPR及び販路拡大支援
  - ・「優れモノ」製品として認証できるような魅力ある新製品開発の取組みを支援する。
  - ・長崎市特産推奨品について、認定商品のロゴマークの作成やパッケージ、商談会支援、市のSNS媒体等での積極的なPRなどを行うことにより、制度の認知度向上と認定された商品の販路拡大につなげる。
- 水産練り製品の販路拡大
  - ・水産練り製品製造業者、長崎商工会議所、金融機関、行政等で構成する「長崎かんぼこ王国」と引き続き連携を図りながら、各種イベント出店などを通して情報発信を行うとともに、事業者に対して今回示したロールモデルの普及などを行うことで、長崎かんぼこ全体のブランド力の強化につなげる。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
371	(事業名) 長崎水産練り製品ブランド化支援費	成果指標	長崎水産練り製品出荷額
	(事業目的) 水産練り製品製造業を中心とする食料品加工業の売上増を図る。	目標値	120 億円
		実績値	62 億円
		達成率	51.7 %
		決算額	648,500 円
	(事業概要) 平成22年に発足した「長崎水産練り製品ブランド化推進委員会」により始まった、水産練り製品の売上増を図る取り組みを支援する。	成果指標・目標値の説明	生産高の上昇が事業者の売上の増につながるため、域内における水産練り製品の総出荷額を成果指標とした。 長崎サミットでの目標である令和2年度の総出荷額120億円を目標値としたが、令和2年度において未達であったことから、引き続き120億円を目標値とした。
	取組実績、成果・課題等	(取組実績) 水産練り製品のブランド化、消費拡大を目指すため、水産練り製品製造業者、長崎商工会議所、金融機関、行政等で構成する「長崎かんぼこ王国」と連携し、イベント出店、SNS活用及び専門家による伴走型支援、首都圏での電子広告を行った。特にSNS活用については、ハッシュタグキャンペーンを行い、合計45,582件の閲覧及び71件の投稿があった。専門家による伴走型支援については、付加価値の高い新商品開発の支援を行うことで、水産練り製品販売額の回復を図った。  (成果・課題等) 新型コロナウイルス感染症拡大による観光客減少と、域内での需要減等により、水産練り製品総出荷額は令和2年度と同水準であったが、水産練り製品事業者のSNS活用を支援したことで、長崎かんぼこへの関心が高まった。また、伴走型支援においては、専門家との協力の下で市場分析、商品開発、市場テスト、プロモーションに至るまで一貫して支援を行ったことで新たな需要を獲得するための見本となるようなロールモデルの一例を示すことができた。	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C3-1 人材育成を支援します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地場企業が	人材育成に取り組み、競争力が向上している。

### 令和3年度の取組概要

- 人材育成の取組みへの支援
  - ・長崎地域造船造機技術研修センターの取組みを支援し、次世代の造船業を担う新人の人材育成や経験者研修を行うなど、競争力強化を図った。
  - ・長崎工業会が実施している企業見学バスツアー、品質管理セミナー等の人材育成に向けた取組みを支援した。
  - ・長崎市チャレンジ企業応援補助金において、市内中小事業者の販路開拓をはじめ、新製品開発、生産性向上、新事業展開の取組みに必要な機械設備等の導入や研究開発、人材育成などの取組みを支援した。

### 評価(成果)

- 人材育成の取組みへの支援
  - ・長崎地域造船造機技術研修センターの活動により、技能職の新人研修(6社、9人参加)や経験者研修(3社、5人参加)、安全体感及び感性研修(11社、20名参加)が実施され、地場企業の知識・技能が向上した。
  - ・長崎工業会が実施する品質管理セミナー(43人参加)をはじめ、ものづくり人材育成スクール(35人参加)、IT等活用セミナー(125人参加)、海洋産業関連セミナー(50人参加)の実施により、技能・技術の向上や生産性の向上が図られた。
  - ・市内中小事業者の販路開拓や新事業展開、ICT・IoT技術による生産性向上の際に必要な機械設備等の導入や研究開発、人材育成等の取組みに対して支援を行ったことで(ECサイト参入支援:6件、ネット販売向け新商品開発支援:28件、ICT・IoT技術活用による生産性向上支援:33件、新事業展開支援:19件)、経営の多角化や生産性向上など競争力強化につながった。

### 評価(問題点とその要因)

- 人材育成の取組みへの支援
  - ・売り手市場、市内企業の認知度の低さ、賃金などの労働環境等により、地元で就職する若者が少ないことや、造船業の先行きに不透明感が出てきており、企業側が採用に慎重になっていることを要因として、技術・技能の伝承に支障が出てきている企業が見受けられる。
  - ・ICT・IoT等の情報技術に対する理解が不足している経営者や情報技術に精通している社員がいないことから、IoT導入などの取組みに慎重になっている企業も少なくない。
  - ・コロナ禍により、事業者を取り巻く環境は大きく変化しており、先行きが不透明であることから、新たな取組みに慎重になっている企業も多い。
  - ・コロナ禍により、長崎工業会の現場力向上塾など予定していた人材育成事業の一部が実施できず、オンラインセミナー等に変更して実施したものの、内容が伝わりにくいなどの問題もあり、改善が必要である。

### 今後の取組方針

- 人材育成の取組みへの支援
  - ・長崎地域造船造機技術研修センターにおける新人研修のための施設の確保や中堅人材の研修など基幹製造業の人材育成のあり方について、長崎県造船協同組合、協同組合三菱長船協力会、長崎県などの関係機関と引き続き協議する。
  - ・個々の中小企業では行うことが難しい技能技術の伝承や、高度技術者・営業等の中核的人材の育成について引き続き支援するとともに、経営力強化や技能向上のための人材育成や後継者育成により地域内の経営人材の育成に努める。
  - ・新事業展開やICT・IoT活用技術による生産性向上、新製品開発等の取組みについては、国や県、長崎市の支援制度の更なる活用を促すことにより、企業の設備投資意欲を促し、市内中小企業の競争力強化を図っていく。あわせて、ICTやIoTなど先端情報技術導入による生産性向上の取組みを促すため、先端情報技術導入に向けたセミナーの開催や、ITコーディネーターのサポート活動により企業の人材育成の取組みを支援する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名			
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
369	(事業名) ものづくり支援費	成果指標	①新人研修修了者数[累計] ②現場力向上塾の参加者数[累計]
	①長崎地域造船造機技術研修事業補助	目標値	① 389 人                      ② 258 人
	(事業目的) 市内中小企業における製造技術の向上や技能の伝承を図る。	実績値	① 360 人                      ② 243 人
	(事業概要) 長崎地域造船造機技術センターが実施する新人研修等へ補助金を支出する。	達成率	① 92.5 %                      ② 94.2 %
	②長崎工業会経営力・競争力強化支援事業補助	決算額	6,615,785 円
	(事業目的) 市内中小企業における中核人材の育成、生産現場の改善やものづくりを支える人材確保を図る。	成果指標・ 目標値の説明	①新人研修修了者が増加することで、中小企業の製造技術の向上や専門的かつ特殊性の高い技能伝承につながることから、その人数(累計)を成果指標とした。 新人研修の定員の累計を目標値とし、令和3年度は389人を目標とした。 ②現場力向上塾の参加者が増加することで、ものづくり企業における中核人材や工場のリーダー的人材の育成が図られることから、その人数(受講者数)を成果指標とした。受講予定者数の累計を目標値とし、令和3年度は258人を目標とした。
	(事業概要) 長崎工業会が行う人材育成をはじめとする競争力強化の取組みへ補助金を支出する。	取組実績、 成果・課題等	(取組実績) ①長崎地域造船造機技術研修事業補助 ・新人研修:6社、9人 (うち技術資格取得) ガス溶接7人、玉掛け作業4人、自由研削砥石8人、電気溶接9人、5トン未満クレーン8人、高所作業9人 ・研修支援事業:11社 ・安全体感研修:11社、20人 ・経験者研修:3社、5人 ・次世代事前人材育成事業:67人 ②長崎工業会経営力・競争力強化支援事業補助 ・現場力向上塾:中止 ・企業見学バスツアー:8回、380人 ・会員企業プレゼンテーション会:1回、55人 ・企業相互訪問会:中止 ・人材育成スクール:2回、35人 ・IT等活用セミナー:1回、125人 ・経営力強化セミナー:2回、93人  (成果・課題等) ①長崎地域造船造機技術研修事業補助 中小造船所における採用が難しくなる一方で、造船関連では受注減により、採用を控える中小企業が増えてきている。 若手技能者の育成が図られている一方で、中堅人材の育成が課題となっている。 ②長崎工業会経営力・競争力強化支援事業補助 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の人材育成の取組みは中止となり、企業の人材育成の取組みは進まなかった。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C3-2 人材の確保を支援します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地場企業が	若年者を雇用し、採用を増やしている。

### 令和3年度の取組概要

- 企業情報等の発信
  - ・企業紹介動画を8社分制作し、動画投稿サイト(YouTube)で公開するとともに、ケーブルテレビ番組内での紹介を併せて行った。
  - ・学生団体と連携し、企業情報や長崎で暮らす魅力、学生の就職活動に有益な情報を、SNS(Twitter、Instagram)で週2回発信した。
  - ・平成30年度から令和2年度までに制作した企業紹介書籍の記事96社分を集約した企業紹介サイトを制作・公開し、オンラインでの企業情報発信の充実を図った。
  - ・市内企業のインターンシップ募集情報に加え、学生目線での企業の魅力発信を行うため、インターンシップに参加した学生を取材し、そのレポートを市ホームページで発信した。
  - ・学生の就職先決定に大きな影響力を持つ保護者を対象に、地元就職を促進するためのセミナーを開催した。
- 働き方改革の推進
  - ・働き方改革や若者が望む多様な働き方の必要性を広く伝えるための啓発セミナーと、社内で取組みを推進するキーパーソンを育成するための企業内推進リーダー養成講座(3講座/期×2期)をそれぞれ開催した。
- 採用活動の支援
  - ・企業の人材確保のための各種広告費やPR動画の制作費、就職イベントへの出展費など、オンラインを含む採用活動に要する経費の一部を支援した。

### 評価(成果)

- 企業情報等の発信
  - ・SNS、企業紹介サイトについて、学生や市内外の大学等へのチラシ配布、各種広告等により、幅広く周知したことで、SNSのフォロワー獲得や企業紹介サイトの閲覧につなげることができた(SNSフォロワー計:5,106人(うち10~20代:約1,100人)、企業紹介サイト閲覧数:3,879件)。
  - ・市内企業のインターンシップ募集情報を発信(12件)するとともに、取材レポートを公開(4社)することで、市内企業のインターンシップへの参加を促すことができた。
  - ・保護者向けのセミナー開催(参加者61人)により、保護者に対し地元就職促進に資する情報を発信するとともに、就職活動の実情や子どもへのサポートの在り方など、子どものより良い就職活動につながる情報を提供することができた。
  - ・これらの取組みにより、学生や保護者に対する、市内企業の情報並びに長崎で働く魅力の認知度向上につながった。
- 働き方改革の推進
  - ・コロナ禍でテレワークやリモートワークなど、多様な働き方への対応が急務となった中、啓発セミナー開催(参加者:78社99人)により、参加者へ幅広く意識の啓発を図ることができた。また、養成講座参加者(2期合計26社40人)の8割以上が、講座後に社内で働き方改革を実践するなど、取組みを推進することができた。
- 採用活動の支援
  - ・企業の採用活動に要する経費の一部を支援(利用企業数:29社)し、企業の積極的な採用活動を促進することができた。

### 評価(問題点とその要因)

- 企業情報等の発信
  - ・企業紹介動画の閲覧状況を分析すると、1本当たり10分前後の動画に対し、平均再生時間は3分程度であることから、学生にとって魅力的かつ訴求力の高いものとは言い難い状況であった。これまでの周知活動により市内外の教育機関における就職支援担当者の認知度は一定高まったと思われるが、若者の思考やニーズに合ったものとなっておらず、学生世代における認知度が十分でない。

### 今後の取組方針

- 企業情報等の発信
  - ・学生世代における情報収集媒体の多様化や、動画に関する趣向も変化していることから、学生の思考やニーズ等を分析したうえで、よりマッチした形で効果的かつ効率的に企業情報や長崎で働く魅力を発信する。
- 働き方改革の推進
  - ・コロナ禍以降、若者の地方への関心が高まっているとともに、テレワークやリモートワーク、週休3日制、副業解禁など働き方に対する意識も変化・多様化していることなどから、雇用の受け皿となる市内企業の受入れ態勢の整備が重要であるため、特に若者が望む「時間や場所に縛られない働き方」の導入に関する意識の啓発と取組みの推進を図る。
- 採用活動の支援
  - ・引き続き市内企業における積極的な採用活動を促すことが重要であるため、オンラインを含む採用活動の支援に取り組む。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名		
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等
369	<p>(事業名) 若年者雇用促進費</p> <p>(事業目的) 若年者の地元就職・UIJターン就職を促進する。</p> <p>(事業概要) 企業紹介動画やサイト、SNSを活用し、企業情報及び長崎で暮らす魅力を発信する。 また、市内企業の受入れ態勢の整備に資するため働き方改革を推進するとともに、積極的な採用活動を促進するため採用活動に要する経費の一部を支援する。</p>	<p>成果指標</p> <p>県内大卒者の県内就職率</p>
		<p>目標値</p> <p>53.0 %</p>
		<p>実績値</p> <p>37.1 %</p>
		<p>達成率</p> <p>70.0 %</p>
		<p>決算額</p> <p>25,223,306 円</p>
		<p>成果指標・目標値の説明</p> <p>若年者の地元就職の実態を端的に表す数値として、県内大卒者の県内就職率を成果指標とした。 長崎大学による地方創生推進事業(COC+)における目標が5ヵ年で10ポイント増であったことから、毎年度2ポイント増を目標とし、令和3年度においては、令和2年度目標が未達だったため、同数を目標値とした。</p>
<p>取組実績、成果・課題等</p> <p>(取組実績) ①企業情報等の発信 【企業紹介動画】 ・紹介企業数8社、動画再生回数46,596回 【SNSでの情報発信】 ・フォロワー数: Twitter4,283人、Instagram823人 【企業紹介サイト】 ・紹介企業数96社、サイト閲覧数3,879件 【インターンシップ募集情報、取材レポート発信】 ・募集情報12件、取材企業数4社 【保護者向け地元就職促進セミナー】 ・参加者数61人 ②働き方改革の推進 【啓発セミナー】 ・参加者数78社99人 【養成講座】 ・参加者数(第1期)17社26人、(第2期)9社14人 ③採用活動の支援 【人材確保支援費補助金】 ・利用件数29社  (成果・課題等) 企業情報の発信について、大学の就職支援担当者における認知度は一定高まったものと考えられるが、学生の思考やニーズに合った内容となっておらず、訴求力の高い情報発信ができていない状況である。 今後は、より学生の思考やニーズにマッチした形で市内企業や長崎で暮らす魅力の発信を行う必要がある。 また、若者の地方への関心の高まりや働き方に関する意識の変化・多様化が見られることなどから、引き続き市内企業の受入れ態勢の整備及び積極的な採用活動の促進を行う必要がある。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C3-3 経営の効率化や生産性強化を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地場企業が	経営の効率化や生産性の強化を図り、経営力が向上している。

### 令和3年度の取組概要

- 経営革新等へ意欲的に取り組む地場企業への支援
  - ・中小企業の経営の安定化を図るため、融資制度として9種の融資資金を設け、金融機関及び事業者へ制度周知を行った。
  - ・融資資金のうち、中小企業創業資金については、商工会議所・商工会及び創業サポート長崎と連携した制度体系としており、創業に係る融資の円滑化を図った。
- 経営面や技術面の課題解決の取組みへの支援
  - ・中小企業の経営・金融・生産性向上等の課題について、中小企業サポート活動による相談、指導等により解決のための支援を行った。(令和3年度から新たにITコーディネーターを配置)
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により経営が悪化している市内事業者に対し、中小事業者等一時金を支給することにより、事業の継続を支援した。
- 生産性向上の取組み支援
  - ・長崎工業会が実施している品質管理セミナーなどの生産性向上に向けた取組みを支援した。
  - ・中小企業者が先端設備を導入する際に税制支援が受けられるよう、市内中小企業の先端設備等導入計画の認定を行った。
  - ・チャレンジ企業応援補助金において、市内企業がICTやIoTを活用して生産性向上を図る取組みを促進するため、取組みに必要となる機械設備等の導入や研究開発、人材育成に要する経費の一部を補助した。

### 評価(成果)

- 経営革新等へ意欲的に取り組む地場企業への支援
  - ・中小企業への融資制度については、計80件、417,350千円の融資を実行し、厳しい経営状況が続く中小企業に対する資金繰り支援策として、経営の安定化が図られた。
- 経営面や技術面の課題解決の取組みへの支援
  - ・中小企業サポート活動については、新型コロナウイルス感染症の影響により企業訪問等の活動に支障が生じた時期があったものの、中小企業の経営課題解決、経営相談、金融相談といった相談や解決支援にに対し、中小企業の新たな取組みを促し、経営力強化が図られた。
- 生産性向上の取組み支援
  - ・長崎工業会が実施する品質管理セミナーなどの取組みにより、生産性向上等に対する企業の意識向上につながった。
  - ・チャレンジ企業応援補助金における生産性向上の支援件数は33件、また、先端設備等導入計画の認定件数が16件になるなど、市内中小企業の生産性向上の取組みが図られた。

### 評価(問題点とその要因)

- 経営革新等へ意欲的に取り組む地場企業への支援
  - ・県等の他の融資制度との優位性などにより、各種融資資金の中で利用に偏りが見られ、近年は利用件数が減少傾向にある。
- 経営面や技術面の課題解決の取組みへの支援
  - ・売り手市場、市内企業の認知度の低さ、賃金などの労働環境等により、地元で就職する若者が少ないことにより、特に、製造業、建設業、サービス業等の一部の業種では人材が不足しており、人材不足に関する相談が増えている。
  - ・景気の不透明さや事業環境の変化、人材不足、経営者及び従業員の高齢化による経営の先行きの不透明さから新しい取組みに慎重になり、中小企業サポート活動における助言等を受けても新しい取組みに着手する余裕がない企業も見受けられる。
- 生産性の向上の取組み支援
  - ・長崎工業会が実施する生産性向上や人材育成などの取組みの中には、研修期間が長期(10ヶ月)に及ぶことや、研修時間帯が勤務時間中又は勤務時間後となることから、会社や参加者の負担となり、参加できない会員企業が見受けられる。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の取組みが中止となった。
  - ・IoT・ICTへの理解不足や、導入による費用対効果の算出ができない企業も多く、積極的にICT・IoT技術活用による生産性の向上の取組みを行っている企業が少ない。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 経営革新等へ意欲的に取り組む地場企業への支援
  - ・今後も経済情勢を十分に考慮しながら、環境問題へ取り組む事業者への支援など市が進める施策の観点からの見直しを行い、経営の安定化のためだけでなく、経営革新を進めるための制度融資の充実を図る。
- 経営面や技術面の課題解決の取組みへの支援
  - ・今後も中小企業サポート活動による中小企業のニーズや求人等の情報収集に努め、内容に応じた専門的かつきめ細かい支援を行っていくほか、関係機関との相互連携を図る。
  - ・国・県の動きを十分に注視しながら、生産性向上の取組みにかかる支援策について検討を進める。
  - ・IoT等の技術革新のツールを活用した生産性向上の取組みを検討する中小企業の支援を進める。
  - ・中小企業における若手技術者に対する技術・技能の伝承のほか、中堅技能者に対する高度な専門技術、コスト低減のための知識取得に対する支援を継続し、人材育成及び経営力強化に努める。
- 生産性向上の取組み支援
  - ・長崎工業会会員企業の改善に向けた取組みや情報共有・相互理解を進め、更なる連携強化を図る。
  - ・IoTをはじめロボット、RPAなど先端情報技術導入による生産性向上の取組みを促すため、先端情報技術導入に向けたセミナーの開催をはじめ、専門家派遣、企業の人材育成の取組みを支援する。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
369	(事業名) 中小企業サポート活動費	成果指標	中小企業サポート活動による助言を受けて新たな取組みを行った企業の延べ件数[累計]	
	(事業目的) 中小企業が直面する、経営面、技術面等の課題について、相談や解決支援を行い、経営力の強化を図る。	目標値	200 件	
		実績値	149 件	
		達成率	74.5 %	
		決算額	6,171,193 円	
	(事業概要) ①中小企業コーディネーターの配置 ・各種支援制度の活用、商品開発、販路開拓等の相談、支援を行う。 ②ITコーディネーターの配置 ・デジタル化等の課題解決に向けた相談、助言、支援制度の紹介を行う。 ③金融相談員の配置 ・本市の中小企業融資制度の相談・受付、セーフティネット保証の審査、経営指導、他の制度資金等の紹介を行う。	成果指標・目標値の説明	件数が増加することで、個々の企業が抱える課題への対応が図られ、企業活動の活性化につながることから、その件数(累計)を成果指標とした。 令和3年度までに200件を目標とした。	
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・新たな取組みを行った企業の件数:31件 【各種相談等】 ①中小企業コーディネーター ・訪問相談:107件 ②ITコーディネーター ・訪問相談:72件 ③金融相談員 ・金融相談:244件  (成果・課題等) 中小企業が単独では解決困難な経営面・技術面の課題について、解決が図られているが、地場中小企業において人材確保が喫緊の課題である。	



## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C4-1 産学官や異業種間で連携しながら、創業や新分野への進出を促します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	地場企業が	産学官や異業種間で連携を図り、創業や新分野進出を進めている。

### 令和3年度の取組概要

#### ●新分野への参入の促進

- ・市内中小企業の新事業進出の取組みを促進するため、製造業をはじめとする市内事業者を対象に、新事業進出の際に必要な機械設備等の導入や研究開発、人材育成の取組みに対する支援を行った。
- ・独立行政法人中小企業基盤整備機構が運営する「D-FLAG」の運営支援及び入居企業に対する賃料補助(19件)を行い、県・長崎大学・長崎県立大学・長崎総合科学大学と連携して新事業の創出への支援を行った。
- ・県や金融機関、メディア、他自治体などとともに支援チーム「NAIGAI CREW」を構成し、地域課題解決を切り口に、オープンイノベーションの手法を活用して、地場企業と県外企業との協業による新規事業の創出を支援した。
- ・新規事業創出に向けたプロジェクトの初期段階の支援を行うため、新たに「長崎市オープンイノベーション型新規事業創出支援補助金」を創設した。
- ・新たなビジネスモデルを活用した新規事業創出を図るため、スタートアップ支援の取組みとして、株式会社FFGベンチャービジネスパートナーズと連携し、セミナー、ワークショップ、起業家育成プログラムなどを行う「Nagasaki Startup Compass」を展開した。
- ・市内でIT産業を支える人材の育成を図るため、長崎大学情報データ科学部の実社会課題解決プロジェクトに参画した。

#### ●創業の促進

- ・市内の商工団体や金融機関など全13機関で連携したチーム体制「創業サポート長崎」において、創業相談に対応した。
- ・前年度に引き続き、創業希望者や創業5年未満の創業者の広報活動全般に利用できる「創業者広報活動支援補助金」の利用を促し、創業者の販路拡大等への活用促進に取り組んだ。

### 評価(成果)

#### ●新分野への参入の促進

- ・長崎市チャレンジ企業応援補助金の新事業展開支援において、経営の多角化を目指す市内中小事業者を対象に、新規事業参入に必要な機械設備等の導入や研究開発、人材育成など19件の取組みを支援した。
- ・D-FLAGで入居企業に対して研究課題や経営課題の解決に向けた指導・助言及び支援機関の紹介等の支援を行う中で、産学官や異業種間の連携が深まり、共同研究や特許出願等につながるなど(産学官での共同研究 21件、特許出願・登録 6件、事業化 2件)、新事業の創出・育成を図ることができた。
- ・関係機関が組織横断的に連携した新たな支援モデルが構築され、オープンイノベーションの手法による、様々なプロジェクトを支援した結果、地域課題である「漁業者の所得向上」の解決を目指す「おさかなサブスク」の事業化に向けたモニター型実証実験が実施されるなど、新産業の種となりうる取組み事例が創出された。
- ・地場企業や都市部企業が交流するイベントなどを通じて、コミュニティが醸成されたことで、オープンイノベーションの手法を活用した新規事業創出の理解促進につながった。(イベント参加者計119名 内県外企業参加者数40名)
- ・オープンイノベーション型新規事業創出支援補助金にて市内漁協と県外大学発ベンチャーによる「養殖業向け海洋モニタリングシステムの実証実験」など、4件のオープンイノベーション案件について支援し、推進が図られた。
- ・スタートアップに対する機運の醸成のため、セミナーを計4回、ワークショップを計4回実施し(セミナー参加者:計97名、ワークショップ参加者:計33名)、スタートアップに求められる視点や在り方を模索するきっかけが提供され、参加者のスタートアップに対する理解促進につながった。
- ・起業を目指す人を対象に、ビジネスモデルのブラッシュアップから事業アイデアの仮説検証までを行う起業家育成プログラム「ココデショ!」を実施し、最終的に5名の起業希望者が自身の事業アイデアを具体化して発表するなど、起業を目指す人材の発掘・育成が図られた。
- ・長崎大学情報データ科学部の実社会課題解決プロジェクトに参画(19社参画)し、企業と連携して、学生の課題解決に向けた実践的取組みを促したことで、成長分野であるIT産業を担う人材の育成を図ることができた。

#### ●創業の促進

- ・創業サポート長崎を構成する各支援機関において、創業の各段階に応じた支援を行った結果、創業者数は213者となり、創業希望者の事業計画の実行性の向上が図られ、創業が促進された。
- ・創業者広報活動支援補助金が25件活用され、創業時における認知度向上や販路拡大につながった。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

### 評価(問題点とその要因)

- 新分野への参入の促進
  - ・市内の製造業を取り巻く環境は厳しく、コロナ禍により経営環境がさらに悪化している企業もある中で、リスクを伴う新事業進出の取組みに慎重になっている事業者も見受けられる。
  - ・産学官金が組織横断的に連携してオープンイノベーション型新規事業創出を支援するという新たな支援モデルが構築され、コミュニティの醸成が進んでいるが、支援案件の増加に応じた体制整備が課題となっている。
  - ・市内においてオープンイノベーションの手法を活用した新規事業創出に取り組む機運の醸成が不十分である。

### 今後の取組方針

- 新分野への参入の促進
  - ・今後成長が期待できる海洋再生可能エネルギー分野への進出などの新事業展開や生産性向上を図る地場企業の取組みを支援する。
  - ・設立後間もなく、経営基盤が脆弱な場合が多い、D-FLAG入居企業に対しては、事業成果につながるよう、大学や関係機関と十分に連携しながら、企業の実情や体質に合わせた必要な支援を行う。
  - ・地場企業及び県外企業等による地域課題の解決に向けた協業・事業化を産学官金で連携して推進するとともに、支援に携わる関係者の掘り起こしや役割分担の整理を行いながら体制強化に努める。
  - ・セミナーやワークショップの開催を通じ、市内におけるオープンイノベーションに対する機運の醸成及び手法の浸透を図る。
  - ・金融機関(ふくおかフィナンシャルグループ)等と共にスタートアップ支援事業「Nagasaki Startup Compass」において、セミナー等を企画・開催することや専門人材が起業家コミュニティを定期的に訪問することなどにより、スタートアップの機運醸成を図り、スタートアップを目指す人材を発掘し起業を支援する。
- 創業の促進
  - ・創業サポート長崎内で各支援機関同士で調整を行うことにより、創業者に対して創業の段階に応じた適切な支援を行う。

### 関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
366	(事業名) 産学連携・創業支援費  (事業目的) 創業の支援及び創業後の事業の安定と持続化のため、地域の特性を踏まえた包括的支援を実施する。  (事業概要) 産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」を策定し、市を総合受付窓口として13の支援機関の連携による支援体制「創業サポート長崎」を構築しており、創業希望者に対し専門家による指導助言、創業セミナー、相談会、インキュベーション施設入居者支援事業等を実施し、継続的な支援により創業希望者が経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識を習得する「特定創業支援等事業」を行う。	成果指標	創業サポート長崎の支援による創業者数	
		目標値	244	者
		実績値	213	者
		達成率	87.3	%
		決算額	17,158,632	円
		成果指標・目標値の説明	創業者が増加することで、地域の経済に活力が生まれることから、創業サポート長崎の支援を受けて創業した者の実数を成果指標とした。 令和3年度における目標値は、平成28年度から令和元年度の増加率を考慮して、令和元年度の実績から毎年度5%増加を見込んだ244者としている。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 創業サポート長崎の支援による創業者数 213者 <b>【支援・相談件数】</b> 市の総合受付窓口での支援:12者 市以外の機関による支援:520者  (成果・課題等) 目標達成のため、各支援機関の継続的な支援が必要である。			

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
367	<p>(事業名) 新産業・起業チャレンジ促進費</p> <p>(事業目的) 企業や事業者、大学等の様々な主体が持つ知見や技術等を把握し、それらを組み合わせる新たな産業の創出を図る。</p> <p>(事業概要) 長崎市での新産業創出やスタートアップといった新たなチャレンジに対して支援を行い、新たな産業の種を育てる取組みを推進する。</p>	成果指標	新たな産業の種となり得る産業の数
		目標値	1 産業
		実績値	0 産業
		達成率	0.0 %
		決算額	10,445,881 円
		成果指標・目標値の説明	<p>地域経済を活性化させるためには、大学、誘致企業及び地場企業等が持つ様々な知見やノウハウを組み合わせる新たな産業を創出することが重要であるため、新たな産業の“種”となり得る産業の数を成果指標とした。</p> <p>マッチングや事業化などに長期間の取組みが必要であるため、令和4年度までに新たな産業の種となり得る産業を1つ創出することを、目標値とした。</p>
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) オープンイノベーションの手法を用い、長崎の地域課題解決を切口とした新規事業創出を目指す様々なプロジェクトを県・金融機関・他自治体・メディア等と協力して支援した。</p> <p>スタートアップに対する機運の醸成のため、「Nagasaki Startup Compass」を展開し、セミナー、ワークショップ、起業家育成プログラム「コッコデショ！」等を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 地方におけるオープンイノベーション型の新規事業創出を県や金融機関、他自治体、メディア等が組織横断的に連携して支援するという新たな支援モデルが構築されるとともに、「おさかなサブスク」の事業化に向けた実証実験をはじめとした新たな産業の種となり得る具体的事例が生まれた。</p> <p>スタートアップに対する機運の醸成と、新たな分野であるIT産業を担う人材の育成を図ることができた。</p>

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	商工部	
個別施策	C4-2 域外から新たな企業の立地を促進します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市外企業が	長崎市内に立地し、産業を多様化して経済を活性化している。

### 令和3年度 of 取組概要

#### ●企業立地の推進

- ・企業立地奨励制度において、大企業が高度専門業務を行う場合の雇用要件を緩和した。
- ・(公財)長崎県産業振興財団に職員を3人(長崎に2人、東京に1人)派遣し、県と連携した企業誘致活動を行った。
- ・企業立地奨励制度を活用し、市外からの企業立地や事業規模を拡大する市内企業の増設・移設を促した。
- ・誘致企業の雇用が円滑に進むよう、(公財)長崎県産業振興財団と連携し、採用活動の支援等のアフターフォローを行った。
- ・(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構等の関係機関とともに、田中町(卸団地横)において企業立地用地の整備を進めた。

### 評価(成果)

#### ●企業立地の推進

- ・小規模で事業を開始することが多い大企業の研究開発拠点の誘致において、競争力が向上した。
- ・研究開発拠点(3社)を含め、158人の新たな雇用が見込まれる企業立地(新設4社、増設1社)が決定し、特に若年層が期待する良質な雇用機会が確保された。
- ・高い技術を持つ市外企業の立地により、地場企業との協業による新たな製品・サービスの創出に向けた取組みが生まれた。

### 評価(問題点とその要因)

#### ●企業立地の推進

- ・IT関連企業(情報通信業)を中心に市内への企業立地が相次いでいるなか、IT人材においては、全国的に人手不足となっていることなどから、誘致企業の人材採用が課題となっている。

### 今後の取組方針

#### ●企業立地の推進

- ・誘致企業の雇用が円滑に進むよう、引き続き採用活動の支援等のアフターフォローを進める。
- ・企業の設備投資や本社機能移転などの動向を捉えるとともに、今後成長する産業や、本市に適している業種などを分析し、訪問先企業の効果的な選定を行う。
- ・「地震の危険性が少ない」、「優秀な人材が確保しやすい」、「今後、IT人材の輩出が見込まれる」などの本市の強みや「新型コロナウイルス感染症の影響による地方回帰の機運の高まり」などを活かした誘致活動を積極的に行う。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
369	(事業名) 企業立地推進費	成果指標	企業立地件数(市外企業新設[累計])
	(事業目的) 域外企業の立地や域内企業の増設を促進し、本市の雇用の拡大と所得の向上を図る。	目標値	32 件
	(事業概要) ・立地企業に対する企業立地奨励条例に基づく奨励金の交付 ・(公財)長崎県産業振興財団への職員派遣、連携強化 ・立地情報の収集や誘致のPRのための、長崎市内出身者や縁故者によるネットワークの構築とその活用	実績値	35 件
		達成率	109.4 %
		決算額	345,050,792 円
		成果指標・目標値の説明	<p>市外からの新設は、域外からの新たな企業進出の指標となるため、企業立地奨励制度で市外企業の新設として指定された企業の立地件数を成果指標とした。 令和2年度末時点で目標値の17社を大きく上回る31社となっており、令和2年度末の実績から1件増を目標とした。</p> <p>(取組実績) ・企業立地奨励条例を改正し、大企業が高度専門業務を行う際の雇用要件を緩和 ・企業立地奨励制度を活用して、市外からの企業の立地や市内企業の増設を促進するとともに、立地を検討する企業に対する提案等活動 ・市独自での市外企業訪問活動 ・立地企業に対する採用活動の支援等のアフターフォロー</p> <p>(成果・課題等) (公財)長崎県産業振興財団・県と連携した企業誘致活動を行い、企業立地奨励制度を活用した結果、立地件数は令和2年度の31社から令和3年度末には35社と4社増加した。 今後も、誘致を成功させるため、県や(公財)長崎県産業振興財団と連携し、積極的な誘致活動を引き続き行う必要がある。</p>
取組実績、成果・課題等			

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	文化観光部		
個別施策	A3-1 長崎独自の観光資源を掘り起こし、磨きます		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	観光資源が	磨かれ、活用されている。	

### 令和3年度の取組概要

- 長崎らしい魅力あるイベントの展開
  - ・長崎帆船まつりについては、令和3年4月23日(金)から4月27日(火)までの5日間開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。
  - ・長崎ランタンフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としたが、令和4年2月1日(火)から2月15日(火)までの15日間、コロナ収束と市民の皆様を応援する希望の灯りとして提灯装飾を行うとともに、翌年に向けたオンライン等を活用したPRを実施した。
- 観光メニューの開発・強化
  - ・長崎さるくについて、これまでの課題であった、観光客が求める観光スタイルの多様化への対応、持続可能なまち歩き制度への転換に向け、新しいまち歩き運営の仕組みの整理を行った。
- 出島の運営
  - ・コロナ禍において、team NAGASAKI SAFETYの認証施設となったり、非接触型決済(QRコード、交通系ICカード)を導入したり、来場者が安心・安全に過ごすことができる環境づくりを推進した。
  - ・指定管理者が主体となり、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、時機をとらえたイベントを開催した。企画展関連イベントとして、10月にポルトガルの文化を楽しむ「ポルトガルデイ」、11月に長崎開港450周年を記念して「出島フェスタ」を開催した。「出島フェスタ」では、普段なかなか観光施設を訪れることのない市民の入場を無料とした。
  - ・長崎開港450周年を記念して、出島のはじまりとなるポルトガル時代の出島に焦点を当てた企画展「ポルトガル展」を7月から10月まで、出島の築造と開国後の出島に焦点を当てた企画展「出島が海に開くとき」を11月から1月まで開催し、指定管理者と協力しながら出島の価値や魅力の発信を行った。
  - ・「出島かわら版 開港450周年記念号」を発行し、市有施設に配布した。また、長崎ケーブルメディアのテレビガイドにコラムを掲載し、出島について周知啓発を図った。
  - ・令和元年度に策定した既存建物の改修計画に基づき、料理部屋、新石倉、旧石倉の3棟の改修工事を行った。
- 旧出島橋の調査
  - ・出島表門橋架橋工事現場から出土した旧出島橋の石材を活用した橋の再構築に向けた取り組みとして、「旧出島橋復元に関する庁内連絡調整会議」を開催し、架橋に際しての課題や条件の整理、架橋候補地の集約を行った。
  - ・架橋場所として、県庁舎跡地を候補の1つとすることができないか長崎県に要望を行った。

### 評価(成果)

- 長崎らしい魅力あるイベントの展開
  - ・長崎帆船まつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったものの、国が示すイベント開催基準をもとにコロナ禍でのイベントの在り方の検討・整理を進め、具体的な対策等のノウハウを得ることができた。
  - ・長崎ランタンフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったものの、2年ぶりに長崎のまちなかにランタンの灯りが灯ったことで来年の開催に向けた機運醸成が図られるとともに、これまで認知度が低かった関東エリアの若い世代を中心にオンラインによるPRを実施したことで、知名度の向上が図られた。
- 観光メニューの開発・強化
  - ・長崎さるくについては、これまで(一社)長崎国際観光コンベンション協会が事務局として各まち歩きのPRから受付、ガイドの配置、コースの造成等を実施していたが、新しいまち歩き運営の仕組みとして、各まち歩き団体・個人が実施主体としてコースの造成からガイドの配置までを行い、市はその活動をホームページ等でPRするよう整理した。各まち歩き団体・個人のノウハウや得意分野を活かした魅力的なコース造成及び多様化するニーズへの対応が期待できる。
- 出島の運営
  - ・指定管理者が主体となって新型コロナウイルス感染症対策を行いながらイベントを実施したこと等により、昨年度よりも入場者数が31,801人増加した。(令和2年度 165,191人 → 令和3年度 196,992人 19.3%増)
  - ・「出島フェスタ」では、普段なかなか観光施設を訪れることのない市民の入場を無料としたことにより、イベント開催期間中の入場者のうち、市民の入場者割合が49.4%であった。(入場者数 5,885人)
  - ・企画展の開催や、出島かわら版の発行など、出島に関する情報発信を行うことにより、出島の価値や魅力がより多くの人に伝わった。
  - ・既存建物の改修工事を行ったことで、入場者が危険なく快適に出島を見学できた。
- 旧出島橋の調査
  - ・庁内連絡調整会議で出た意見を集約することで、条件の整理、課題が明確になった。

### 評価(問題点とその要因)

- 長崎らしい魅力あるイベントの展開
  - ・長崎帆船まつりについて、新規の来場者の獲得に向けた、新たなターゲットへの情報発信が行えていない。
- 観光メニューの開発・強化
  - ・長崎さるくについて、新型コロナウイルス感染症の影響により積極的な情報発信が十分にできず、ガイドの活動機会も少なかった。
- 出島の運営
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響で休場したことや、国内外の人の移動が制限されたことなどにより、入場者数は例年と比較して大幅に減少している。
  - ・復元事業の開始から20年が経過し、既存建物の経年劣化が生じているため、令和元年度に改修計画を策定したが、改修費用の増により、改修が遅れている。
- 旧出島橋の調査
  - ・復元すべき橋の規模、意匠を確定するためには、場所の確定が必要である。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

### 今後の取組方針

- 長崎らしい魅力あるイベントの展開
  - ・長崎帆船まつりについて、新規の来場者の獲得に向け、DMOを中心として、新たなターゲットに向けた情報発信を行う。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組み等を取り入れながら、リピーター対策として、ファミリー層向けのイベントや体験型のイベント、陸上イベントの充実を図るとともに、新規帆船の招聘に向けて取組み、常に新たな魅力づくりに努める。
  - ・長崎ランタンフェスティバルについて、「100年続くおまつり」を目標に、長崎の冬季の観光をけん引するイベントとして、全国的な認知度を高めるため、効果的な宣伝及び情報発信に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症の状況や国が示すイベント開催制限等に臨機応変に対応した、賑わいと感染防止対策が両立したイベント開催を目指す。また、期間中、平日への集客の取組みとして、魅力ある平日開催のイベントの創出等、魅力づくりに努める。
  - ・西九州新幹線開業効果を最大化し、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済を活性化するため、新幹線を利用して長崎を訪れたいくなるようなイベント等を創出する。
- 観光メニューの開発・強化
  - ・長崎さるくについて、令和4年4月1日からリニューアル稼働しており、各媒体を用いたPRを検討・実施していくことで、新たなターゲットの確保に務める。
- 出島の運営
  - ・今後、コロナ禍の制限が緩和され、入場者数の回復が見込まれることから、指定管理者と連携し、民間が持つおもてなしのノウハウとアイデアを活かした施設の管理運営を行うことで、さらなる集客を図る。また、史跡指定100周年という時機をとらえたイベントを開催し、出島の価値と魅力を高める。
  - ・江戸時代後期の長崎の絵師川原慶賀筆屏風「長崎湾の出島の風景」の複製制作や、かつて出島に設置されていたオランダ国旗を掲揚するための旗竿を再現することで、出島に新たな魅力を創出する。
  - ・国指定史跡として、土地や建物の加工に制限がかかっている中で、効果的な施設の活用方法について、引き続き指定管理者と協議を行う。
  - ・改修が必要な箇所については、限られた財源の中で優先順位を検討しながら計画的に改修工事を実施する。また、有利な財源がないか引き続き情報収集を行う。
- 旧出島橋の調査
  - ・県庁舎跡地については、長崎県が県庁舎跡地整備基本構想を策定し、令和4年から5年にかけて暫定供用後、詳細な設計を予定していることから、長崎県の動向を注視する。

### 関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
375	(事業名) 長崎さるく推進費  (事業目的) 「長崎さるく」を長崎観光の大きな柱と位置づけ、その推進に向け取り組んでいる。さるくガイド、(一社)長崎国際観光コンベンション協会など関係団体と連携して、持続可能な仕組みづくりを行う。  (事業概要) 長崎のまち歩き「長崎さるく」の新しい運営体制の整理を進め、多様なニーズへの対応、持続可能なまち歩きへの転換を図る。	成果指標	長崎さるく参加者数
		目標値	35,000 人
		実績値	24,080 人
		達成率	68.8 %
		決算額	31,549,402 円
		成果指標・目標値の説明	今年度は新しい体制への移行期間であることから、長崎さるくのうち、通年で実施したながさき修学旅行ガイドの参加者数を成果指標とし、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の実績を基準とし目標値を設定した。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) さるくガイド、(一社)長崎国際観光コンベンション協会など関係団体と連携し、新しいまち歩き体制の構築を図った。  (成果・課題等) これまで(一社)長崎国際観光コンベンション協会が事務局として各まち歩きのPRから受付、ガイドの配置、コースの造成等を実施していたが、新しいまち歩き運営の仕組みとして、各まち歩き団体・個人が実施主体としてコースの造成からガイドの配置までを行い、市はその活動をホームページ等でPRするよう整理した。 併せて新たな長崎さるくホームページの制作を行った。 各まち歩き団体・個人のノウハウや得意分野を活かした魅力的なコース造成及び多様化するニーズへの対応が期待できる。  <b>【ながさき修学旅行ガイド実績】</b> 368校 24,080人		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
377	<p>(事業名) 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金</p> <p>(事業目的) 冬季における観光客を誘致し、滞在型観光を推進して地域経済の活性化に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業概要) 中国の旧正月(春節)を祝う行事で、約15,000個のランタンやオブジェで幻想的な灯りの祭りを演出し、冬の観光客誘致を図る。</p> <p>【主催】 長崎ランタンフェスティバル実行委員会</p> <p>【会場】 湊公園、中央公園、中島川公園ほか</p> <p>【期間】 令和4年2月1日(火)～2月15日(火)</p> <p>【内容】 ・ランタン、オブジェによる装飾 ・皇帝パレード、媽祖行列 ・龍踊り、中国獅子舞、中国雑技団体等イベント ・会場周遊スタンプラリー</p>	成果指標	集客数
		目標値	1,000,000 人
		実績値	0 人
		達成率	0.0 %
		決算額	52,432,488 円
		成果指標・目標値の説明	<p>本負担金はより多くの来場者を得て、長崎への経済効果を生み出し、併せて長崎の魅力発信をしようとするものであることから、ランタンフェスティバルの来場者数を成果指標とした。</p> <p>また、ランタンフェスティバルは旧暦による開催のため、毎年開催時期が変わることから、以前同時期に開催された際の実績数を目標値とした。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止としたが、令和4年2月1日(火)から2月15日(火)までの15日間、コロナ収束と市民の皆様を応援する希望の灯りとして提灯装飾を行うとともに、翌年に向けたオンライン等を活用したPRを実施した。</p> <p>(成果・課題等) 2年ぶりに長崎のまちなかにランタンの灯りが灯ったことで来年の開催に向けた機運醸成が図られるとともに、これまで認知度が低かった関東エリアの若い世代を中心にオンラインによるPRを実施したことで、知名度の向上が図られた。</p> <p>・来場者数:実施中止のためゼロ。 ・動画閲覧回数 計735,066回</p>		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
377	<p>(事業名) 長崎帆船まつり事業共催費負担金</p> <p>(事業目的) 長崎港に国内外の帆船を招聘し、新たな賑わいの場を創出し、観光による地域の活性化及び港、海に対する啓発を図る。</p> <p>(事業概要) 国内外の帆船を招聘し、入港パレードやセイルドリル、船内一般公開などの帆船を中心としたイベントのほか、陸上イベントや打ち上げ花火等を実施し、集客を図る。</p> <p>【会場】 長崎港(長崎水辺の森公園、出島ワープ周辺)</p> <p>【内容】 [海上イベント] セイルドリル、ライトアップ・イルミネーション [その他] 長崎の特産品や農林水産物などの出店</p>	成果指標	来場者数
		目標値	200,000 人
		実績値	0 人
		達成率	0.0 %
		決算額	19,438,005 円
		成果指標・目標値の説明	<p>賑わい創出を示す数値として来場者数を成果指標とした。</p> <p>過去の参加帆船数等を比較し、同規模開催の年の来場者数を参考に目標値を設定した。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催ができなかった。</p> <p>(成果・課題等) 今後のイベント開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症対策等を講じて実施する必要がある。</p> <p>・来場者数:実施中止のためゼロ。</p>		



## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	文化観光部	
個別施策	A3-2 国内外からの観光客、MICEの誘致を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	より多くの来訪者が	様々な目的で訪れている。

### 令和3年度の取組概要

- 夜景観光の推進
  - ・日本新三大夜景認定都市である札幌市及び北九州市と連携したホームページの構築による情報発信や、長崎市へ世界夜景サミットを誘致し、さらに世界新三大夜景及び日本新三大夜景に再認定された。
- 観光客誘致推進
  - ・訪日外国人観光客の誘致推進のため、民間の放送事業者や関係自治体と連携し、欧州等の海外メディアを活用した長崎市の魅力を発信する放送コンテンツの制作・放送する事業を行った。
- MICE誘致・受入れの推進
  - ・長崎市、DMO及び出島メッセ長崎の指定管理者である(株)ながさきMICEの3者が主体となり、地元経済界や大学などと連携しながら誘致・PR活動を行った。
  - ・MICE開催に伴う市内受注を促進するため、長崎MICE事業者ネットワークを中心に、地元事業者のスキルアップを図るとともに、(株)ふくおかフィナンシャルグループが主体となり、令和元年度から令和3年度にかけて長崎MICEスクールを実施した。
  - ・まちMICEプロジェクトの取組みとして、ユニークベニューや体験型コンテンツのガイドブックのリニューアルを行い、これまで制作した各種ツールも活用し、セールス活動を行った。
- 長崎市DMOの形成・確立
  - ・長崎市観光ブランドコンセプト(スローガン「暮らしのそばに、ほら世界。」及びロゴマーク)を、専門家を含めた検討委員会、市民ワークショップ、訪問客等へのニーズ調査を経て構築するとともに、域外向けの誘客プロモーションフレーズとして「長崎で、会いましょう。」を作成した。
  - ・体験型コンテンツ等を紹介するWEBサイトを制作するとともに、SNSやWEB広告などデジタルを中心に、年間を通した一貫性のある誘客プロモーションを実施した。

### 評価(成果)

- 夜景観光の推進
  - ・市への世界夜景サミットの誘致を行い、コロナ禍で海外からの誘致はかなわなかったものの、国内に在住の10の国及び地域の方々を招き、リアル会議で開催でき、世界新三大夜景の再認定を獲得できた。
  - また、日本新三大夜景の再認定に向け、市の夜景の魅力を国内外へアピールしたことで、夜景観賞を目的とする観光客の割合が高い水準で推移している。
  - ・「夜景観賞」を目的とする観光客の割合  
令和元年度:23.5% ⇒ 令和2年度:24.2%【出典:令和3年観光動向調査】
- 観光客誘致推進
  - ・欧州等においてプロモーションを行ったことにより、市の認知度が向上し、新型コロナウイルス感染症収束後に当該地域から観光客の来訪が期待される。
- MICE誘致・受入れの推進
  - ・地元経済界や大学などと連携し、オール長崎による誘致活動が促進され、コロナ禍ではあるものの、出島メッセ長崎の年間61万人の利用者目標に対して、令和4年5月17日時点で利用想定人数は約63万2,000人、達成率は約104%となっている。
  - ・MICE事業者ネットワークに約160事業者が参画し、地元事業者の意識醸成とスキルアップが図られた。
- 長崎市DMOの形成・確立
  - ・一貫したプロモーションを行うことにより、ポストコロナ社会を見据え、市への旅行を喚起することが期待できる。
  - ・観光客のニーズに対応したコンテンツの充実により、観光客の誘客と消費拡大が期待できる。

### 評価(問題点とその要因)

- 夜景観光の推進
  - ・世界夜景サミットの誘致の際には、多くの海外からの出席をしてもらうことで、長崎市の夜景の魅力を実際に体感していただく予定であったが、コロナ禍で国内の在住の国及び地域の方々に限定した招へいとなった。
- 観光客誘致推進
  - 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により移動が制限・自粛されているため、国外からの来訪はほぼ皆無の状態である。
- MICE誘致・受入れの推進
  - ・DMOがMICEの開催を支援・受入れするワンストップ窓口として、市内事業者の受注につなげていく仕組みが不十分である。
  - ・MICE参加者による市内消費拡大を行うために整備したコンテンツ情報を届ける仕組みが不足している。
- 長崎市DMOの形成・確立
  - ・これまで企画・作成したコンテンツの販売促進が不十分である。
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客数は例年と比較して大幅に減少しており、特に海外からの来訪はほぼ皆無であった。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 夜景観光の推進
  - ・日本新三大夜景認定都市である札幌市及び北九州市との連携により、効果的なプロモーションを実施する。
  - ・世界新三大夜景及び日本新三大夜景に再認定された長崎の夜景の魅力をアピールし、国内外の観光客の誘致を図る。
- 観光客誘致推進
 

新型コロナウイルス感染症の収束後におけるインバウンドのV字回復につなげるため、引き続き訪日外国人観光客の来訪を促進するようなプロモーションを行う。
- MICE誘致・受入れの推進
  - ・誘致においては、市、DMO及び出島メッセ長崎の指定管理者である(株)ながさきMICEの3者で、誘致に係る情報を共有するなど、連携の強化を図り、多角的に戦略的なセールス・PR活動を行う。
  - ・MICE開催による市内受注を促進するため、DMOにおけるワンストップ機能を向上させ、主催者のニーズを把握するとともに市内事業者への受注につなげる仕組みを確立する。
  - ・「まちMICE」の取組みとして、MICE参加者の滞在・周遊を促進し、消費拡大を図るため、DMOや民間事業者と連携し、ユニークベニューや体験プログラムをさらに拡充するとともに、作成したガイドブックやWEBサイトを活用し、MICEの主催者への提案等を行い、参加者へ届ける仕組みを確立する。
- 長崎市DMOの形成・確立
  - ・市内事業者等と構築した観光ブランドコンセプトを共有し、長く親しみ、活用していくための具体的な取組みを検討・実行する。
  - ・継続的かつ効果的な情報発信を行うことで、新型コロナウイルス感染症収束後の国内外からの誘客を図る。
  - ・滞在時間と消費額の拡大につながる体験型コンテンツの販売促進のため、来訪(予定)者に届けるための取組みを強化する。
  - ・西九州新幹線開業効果の最大化のため、「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン」との連動を図るとともに、開業前と開業後にも、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら段階的にターゲットエリアに対する国内観光誘客プロモーションを強化する。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
374	(事業名) 観光地域づくり推進費 (DMO推進費〔令和2年度から全額繰越〕)  (事業目的) 観光地域づくり法人(DMO)において、多様な関係者と連携しながら、地域資源を活かした魅力づくりを行うとともに、観光客やMICEの誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげるもの。  (事業概要) 観光地域づくりの舵取り役としての役割を果たす観光地域づくり法人(DMO)に対し支援を行う。	成果指標	観光客数(暦年)
		目標値	4,331,000 人
		実績値	2,585,700 人
		達成率	59.7 %
		決算額	206,923,915 円
		成果指標・目標値の説明	観光客数が増加することで、観光地域づくり法人が推進する交流の産業化による長崎創生の実現に向けた取組みが進んでいると考えられるため、観光客数(暦年)を成果指標とした。 令和2年度に観光・MICE戦略が制定され、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮した令和3年以降の各年における観光客数が再設定されたことから、令和3年の目標値を433万人とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 長崎市観光ブランドコンセプト(スローガン「暮らしのそばに、ほら世界。」及びロゴマーク)を、専門家を含めた検討委員会、市民ワークショップ、訪問客等へのニーズ調査を経て構築するとともに、域外向けの誘客プロモーションフレーズとして「長崎で、会いましょう。」を作成した。 体験型コンテンツ等を紹介するWEBサイトを制作するとともに、SNSやWEB広告などデジタルを中心に、年間を通した一貫性のある誘客プロモーションを実施した。  (成果・課題等) 市内事業等とブランドの価値を共有し、長く親しみ、活用していくための具体的な取組みを検討・実行していく。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光客数は例年と比較して大幅に減少しており、特に海外からの来訪はほぼ皆無であったが、継続的かつ効果的な情報発信を行うことで、新型コロナウイルス感染症収束後の国内外からの誘客を図る。 また、滞在時間と消費額の拡大につながる体験型コンテンツの販売促進のため、来訪(予定)者に届けるための取組みを強化する。		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
375	<p>(事業名) MICE推進費</p> <p>(事業目的) MICEの誘致・受入を推進することにより交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図る。</p> <p>(事業概要) (一社)長崎国際観光コンベンション協会、出島メッセ長崎の指定管理者等と連携しながら、政府系会議、国際会議等の誘致に取り組むとともに、長崎が持つ地域資源を活用し、新たなユニークベニューの開拓、活用促進等を行うことで、MICEの誘致・受入を推進するもの。</p>	成果指標	MICE参加者数(暦年)
		目標値	650,000 人
		実績値	268,341 人
		達成率	41.3 %
		決算額	958,573 円
成果指標・目標値の説明	<p>交流人口を拡大し、地域経済の活性化を図るためには、国内外から多くのMICE参加者が市内へ来訪することが重要であるため、MICEの参加者数を成果指標とした。 平成24年から平成26年までの3年間(スポーツコンベンションについては国体開催前の3年間)の平均値に、令和3年に向けた観光客数の伸び率を乗じて算出した数値を目標とする。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、目標値には及ばなかったものの、コンベンション開催件数は、488件で、対前年比210件の増、全体の参加者は、対前年比198,566人増の268,341人であった。</p> <p>(成果・課題等) 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、コンベンションの開催件数及び参加者数は伸び悩んでいる。 市、DMO及び出島メッセ長崎の指定管理者である(株)ながさきMICEの3者で、誘致に係る情報を共有する等、連携の強化を一層図り、戦略的なセールス・PR活動を行っていく必要がある。</p>		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
377	<p>(事業名) 世界・日本新三大夜景推進費</p> <p>(事業目的) 「世界新三大夜景」及び「日本新三大夜景」に認定されている長崎市の夜景の魅力をアピールし、国内外の観光客の誘致を図る。</p> <p>(事業概要) 他都市と連携した情報発信や夜景サミットへの参画等により、長崎市の夜景の魅力を国内外へアピールする。</p>	成果指標	「夜景観賞」を目的とする観光客の割合
		目標値	5.5 %
		実績値	24.4 %
		達成率	443.6 %
		決算額	17,558,487 円
成果指標・目標値の説明	<p>市の夜景の魅力のアピールにより「夜景観賞」を目的とする観光客数の増加が図られると考えられるため、「夜景観賞」を目的とする観光客の割合を成果指数とした。 平成27年度観光動向調査における割合3.8%を基準値として、令和3年度に過去の調査で最高となる5.5%(平成25年度調査結果)とすることを目標値と設定しており、令和3年度は5.5%としている。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・日本新三大夜景認定都市(札幌市・北九州市・長崎市)の連携によるプロモーションの実施 ・市への世界夜景サミットの誘致 ・市の世界新三大夜景再認定 ・市の日本新三大夜景再認定</p> <p>(成果・課題等) 実績値は目標値を大きく上回ったが、今後も「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づく整備を行っている夜景を国内外にプロモーションし、誘客につなげる必要がある。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	文化観光部	
個別施策	A3-3 交流のための都市機能を高め、受入態勢の整備とおもてなしの充実を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民・事業者・行政が	来訪者の受入態勢を整えている。

### 令和3年度の実施概要

- 交流拠点施設の整備・開業
  - ・建設工事は予定どおり完了し、竣工確認を行い、令和3年8月18日に施設の引渡しを受けた。
  - ・施設は令和3年11月1日に開業し、出島メッセ長崎・ヒルトン長崎・長崎放送合同開業記念式典を開催した。
- 観光客の受入れ態勢整備
  - ・観光客が観光情報の収集を行う際の通信環境向上のため、公衆無線LANの運営を引き続き行い、整備が進む長崎駅周辺には、新たなアクセスポイントを整備した。
- 世界遺産の受入れ態勢整備
  - ・構成資産におけるガイド配置並びにガイドブック及びパンフレットの配布やトイレの管理を実施した。

### 評価(成果)

- 交流拠点施設の整備・開業
  - ・令和3年8月18日に施設の引渡しを受け、予定どおり令和3年11月1日に開業した。
- 観光客の受入環境整備
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、外国人観光客の来訪はほぼ皆無であったが、日本人観光客を中心とした来訪者等の通信環境の向上に寄与できた。
- 世界遺産の受入れ態勢整備
  - ・「大変満足」の割合 25.9%【目標値51.0%】
  - 新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、施設の閉館や、イベントの中止等により「大変満足」「満足」の満足度が減少したものの、一定満足度の向上に寄与できた。【出典：令和3年観光動向調査】

### 評価(問題点とその要因)

- 観光客の受入れ環境整備
  - ・コロナ禍における観光客の受入れにおいて、新型コロナウイルス感染症対策が引き続き必要であり、特に、外国人観光客の受入れにあたっては、感染症予防・医療体制も含めて対応が必要である。
- 世界遺産の受入れ態勢整備
  - ・世界遺産登録から3年が経過し、観光客数も一定落ち着いたことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、施設の閉館やイベントの中止等により満足度が減少した。新型コロナウイルス感染症への対策とともに、引き続きPRする必要がある。

### 今後の取組方針

- 観光客の受入れ環境整備
  - ・来訪者へのおもてなしを充実させつつ、国内・国外の観光客共に快適・安全に滞在できるように取組みを推進する。
- 世界遺産の受入れ態勢整備
  - ・世界遺産観光客の満足度向上につながる受入態勢の整備について検討する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
377	<p>(事業名) 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金</p> <p>(事業目的) 同委員会への負担金支出により、効果的なクルーズ振興、観光・物産振興に寄与する。</p> <p>(事業概要) 来航するクルーズ客船の受入れ行事・接遇を行う同委員会へ負担金を支出する。</p>	成果指標	クルーズ客船乗客・乗務員数(暦年)
		目標値	94,000 人
		実績値	547 人
		達成率	0.6 %
		決算額	3,461,000 円
		成果指標・目標値の説明	長崎港に来港するクルーズ客船のほとんどは国際クルーズ客船であり、来港する国際クルーズ客船の乗客・乗務員数の増加が、国際観光都市の交流機能の充実度を示すものと考えられるため、合計人数を成果指標とした。 入港数や乗客乗務員数の見込みから、令和3年の目標を94,000人と設定した。
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 新型コロナウイルス感染症の影響により、クルーズ船の来港はほとんどなかったものの、今後入港再開した際の受入れ環境整備のため、多言語パンフレットの製作等を行った。</p> <p>(成果・課題等) 新型コロナウイルス感染症対策等留意する必要がある。</p>		
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
386	<p>(事業名) 【補助】交流拠点施設整備事業費</p> <p>(事業目的) 国内外から多くの来訪者を呼び込むとともに市民交流を促進するためにMICE機能を有する施設と、都市ブランドの向上を図るホテル、地域の賑わいと活力を生み出す民間収益施設の複合施設を整備・運営することで、交流人口を拡大と雇用の創出及び所得の向上を図り、定住促進に繋がる地域経済の好循環を目指すもの。</p> <p>(事業概要) 交流人口の拡大による地域経済の活性化を図るため、新長崎駅西側の用地において、国内外から多くの来訪者を呼び込むとともに市民交流を促進するためにMICE機能を有する施設と、都市ブランドの向上を図るホテル、地域の賑わいと活力を生み出す民間収益施設からなる複合施設を整備するもの。 【事業期間】平成30年度～令和3年度 【総事業量】整備面積A=33,517㎡ 【総事業費】14,699,556千円 【事業費累計】14,699,556千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
		目標値	100.0 %
		総事業進捗率	100.0 %
		達成率	100.0 %
		決算額	4,196,047,668 円
		当該年度執行率	100.0 %
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費((仮称)長崎市交流拠点施設整備・運営事業費)に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 令和3年7月に建設工事が完了し、竣工確認を行い、8月18日に施設の引渡しを受けた。</p> <p>(成果・課題等) 施設は予定どおり令和3年11月1日に開業した。</p>

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部	
個別施策	A3-1 長崎独自の観光資源を掘り起こし、磨きます	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	観光資源が	磨かれ、活用されている。

令和3年度 of 取組概要

●夜間景観の魅力向上  
 ・平成29年5月に策定した「環長崎港夜間景観向上基本計画」に基づき、「中・近景の夜間景観づくり」として館内・新地エリア及び中島川・寺町エリアにおいて、地域のランドマーク施設のライトアップ整備等を行った。

評価(成果)

●夜間景観の魅力向上  
 ・令和3年度に館内・新地エリア及び中島川・寺町エリア等においてライトアップを整備し、夜間景観の魅力向上が図られた。

評価(問題点とその要因)

●夜間景観の魅力向上  
 ・基本計画に基づく、主要なランドマークのライトアップや回遊路の街路灯などの整備は進んでいるものの、夜間景観の魅力向上には周辺の民間施設においても計画に基づいたライトアップ等の取組みが重要である。

今後の取組方針

●夜間景観の魅力向上  
 ・公共施設や一定規模以上の民間建築物等の新築や改修時における景観協議等において、基本計画に基づく夜間景観に配慮した設計を指導するとともにその他の施設等についても所有者への意識醸成を図る。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
386	(事業名) 【補助】都市構造再編事業費 夜間景観整備  (事業目的) 夜景の更なる魅力向上を図るため、平成29年に策定した環長崎港夜間景観向上基本計画に基づく「中・近景の夜間景観づくり」による施設のライトアップや、それらをつなぐ回遊路の街路灯などの整備及び「遠景の夜景の夜景みがき」による演出照明の整備を行う。  (事業概要) 【事業期間】平成29年度～令和7年度 【総事業費】948,200千円 【事業費累計】701,769千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	74.7	%
		総事業進捗率	74.0	%
		達成率	99.1	%
		決算額	34,720,194	円
		当該年度執行率	85.1	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 「中・近景の夜間景観づくり」として館内・新地エリア及び中島川・寺町エリアにおいて、夜間照明の整備を行った。  (成果・課題等) 夜間景観の魅力向上に向け、事業の推進が図られた。 当該年度執行率が低くなった理由は、入札差金等が生じたためであり、当初計画の事業は完了している。			

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
7	商 工 費	(25,640,257,979) 24,571,479,182	(19,627,141,730) 19,065,841,427	(2,693,072,220) 2,495,884,220	(3,320,044,029) 3,009,753,535
1	商 工 費	(25,640,257,979) 24,571,479,182	(19,627,141,730) 19,065,841,427	(2,693,072,220) 2,495,884,220	(3,320,044,029) 3,009,753,535

【市民生活部】

1目 商工総務費	予算額	43,910,000 円	決算額	38,073,376 円
1 商工総務費				920,854 円
(1) 計量行政費				920,854 円
ア 使用料及び賃借料				376,653 円
(ア) 駐車場借上				337,900 円
(イ) その他				38,753 円
イ 全国特定市計量行政協議会負担金				18,000 円
ウ その他経費				526,201 円
2 消費者行政費				37,152,522 円
(1) 消費生活相談費				18,807,165 円
ア 消費者苦情処理委員会開催経費(1回)				24,400 円
イ 消費生活相談員報酬等(5人)				17,941,945 円
ウ その他経費				840,820 円
消費生活相談状況				

区 分	件 数	区 分	件 数	区 分	件 数
	件		件		件
フリーローン・サラ金	116	アダルト情報	75	光ファイバー	39
携帯電話サービス	96	出会い系サイト・アプリ	68	建物清掃サービス	34
賃貸アパート	89	修理サービス	52	その他	2,238
健康食品	79	電 気	39	計	2,925

(2) 消費者啓発推進費	416,641 円
ア 報償費	200,000 円
イ その他経費	216,641 円

講座開催状況

講 座 名	回 数	受 講 者 数
	回	人
消費生活出前講座	31	1,992
暮らしの講座	1	21
計	32	2,013

(3) 消費生活相談員等レベルアップ事業費	411,380	円
(4) 消費生活相談体制整備事業費	2,157,859	円
(5) 消費者教育・啓発活性化事業費	759,000	円
(6) 若年者消費者教育強化事業費	3,777,296	円
ア 消費者教育推進員報酬等(1人)	3,099,709	円
イ その他経費	677,587	円
(7) 消費者センター運営費	10,823,181	円
ア 委託料	212,684	円
(ア) 清掃委託	160,313	円
(イ) 電動パネルシャッター保守点検委託	52,371	円
イ 使用料及び賃借料	6,832,820	円
(ア) メルカつきまち建物借上	6,758,900	円
(イ) その他	73,920	円
ウ 負担金	3,334,840	円
(ア) メルカつきまち共同管理費負担	2,982,180	円
(イ) メルカつきまち光熱水費負担	352,660	円
エ その他経費	442,837	円

【商工部】

2目 商工振興費	予算額	17,693,203,304	円	決算額	12,923,185,067	円
				(前年度繰越額)	1,991,016,552	円)
1 商工振興企画費					10,288,380	円
				(越)	9,986,680	円)
(1) 経済活性化審議会費(4回)					301,700	円
(2) 経済成長戦略策定費					9,986,680	円
				(越)	9,986,680	円)
ア 経済成長戦略策定に係る調査・策定支援委託料					9,986,680	円
				(越)	9,986,680	円)
2 新産業創造推進費					27,745,689	円
(1) 産学連携・創業支援費					17,158,632	円
ア 負担金及び補助金					17,158,632	円
(ア) ながさき出島インキュベータ(D-FLAG)入居者実地支援負担					5,550,600	円
(イ) ながさき出島インキュベータ(D-FLAG)入居者賃料補助(19件)					7,017,032	円
(ウ) 広報活動支援補助(25件)					4,591,000	円



(2) 新産業・起業チャレンジ促進費	10,445,881 円
ア 長崎市スタートアップ支援委託料	8,031,060 円
イ オープンイノベーション型新規事業創出プロジェクト推進費補助金(4件)	1,965,000 円
ウ その他経費	449,821 円
(3) 高校生チャレンジショップ事業費	141,176 円
3 商業振興対策費	11,838,867,323 円
	(越 1,812,910,872 円)
(1) ナイトタイムエコノミー推進費	104,955 円
ア ナイトタイムエコノミー推進事業費補助金交付選定審査会開催経費(3回)	104,955 円
(2) 営業時間短縮要請協力金	9,076,254,593 円
ア 支給等委託料	76,377,593 円
イ 営業時間短縮要請協力金	8,999,877,000 円

区分	要 請 期 間	支 給 店 舗 数	協 力 金 支 給 額
第1期	令和3年4月28日～令和3年5月11日	2,496 店	1,069,348,000 円
第2期	令和3年5月12日～令和3年5月31日	2,509	1,550,700,000
第3期	令和3年6月1日～令和3年6月7日	2,481	531,727,000
第4期	令和3年8月10日～令和3年8月23日	2,486	1,094,282,000
第5・6期	令和3年8月24日～令和3年8月26日 令和3年8月27日～令和3年9月12日	5,014	1,846,087,000
第7期	令和4年1月21日～令和4年2月13日	2,126	1,861,200,000
第8期	令和4年2月14日～令和4年3月6日	1,527	1,046,533,000
	計	18,639	8,999,877,000

(3) 中小事業者等一時金	2,743,468,775 円
	(越 1,812,910,872 円)
ア 広告料	27,577,550 円
	(越 15,675,176 円)
イ 委託料	57,875,853 円
	(越 33,587,088 円)
(ア) 審査等委託	54,364,128 円
	(越 31,778,895 円)
(イ) データ入力委託	3,187,225 円
	(越 1,642,313 円)
(ウ) CM制作委託	324,500 円
	(越 165,880 円)

ウ 中小事業者等一時金

2,656,189,000 円

(越 1,762,462,000 円)

区分	申請期間	支給事業者数	一時金支給額
第1期	令和3年3月8日～令和3年5月31日	4,208	1,077,300,000 (越 1,077,300,000)
第2期	令和3年6月28日～令和3年8月31日	4,857	1,164,811,000 (越 685,162,000)
第3期	令和3年10月8日～令和3年11月30日	2,955	414,078,000
計		12,020	2,656,189,000 (越 1,762,462,000)

エ その他経費(手数料、報酬ほか)

1,826,372 円

(越 1,186,608 円)

(4) まちなか商店街誘客費補助金(15件)

2,998,000 円

事業区分	件数	事業費	補助額	事業の概要
外国人誘客事業	14	4,234,230	2,798,000	多言語による看板、多言語メニュー、ホームページの作成等
新規需要開拓事業	1	302,390	200,000	ファサード改修等
計	15	4,536,620	2,998,000	

(5) 商店街等にぎわい創出支援費補助金

370,000 円

事業主体	事業費	補助額	事業の概要
長崎市新大工町商店街振興組合	611,424 円	370,000 円	商店街活性化プラン策定事業

(6) 長崎市中心市街地活性化協議会補助金

119,000 円

(7) 長崎市地区商工会補助金(3商工会)

15,100,000 円

(8) 長崎県中小企業団体中央会補助金

452,000 円

4 貿易振興対策費

12,802,116 円

(1) 貿易対策活動費

2,966,116 円

ア 貿易相談員報酬等

2,966,116 円

(2) 長崎港活性化センター補助金

4,000,000 円

(3) 日本関税協会負担金

48,000 円

(4) 日本貿易振興機構長崎貿易情報センター負担金

1,923,000 円

(5) 長崎県貿易協会上海事務所運営費負担金

1,661,000 円

(6) 長崎県貿易協会補助金

794,000 円

(7) 長崎開港記念行事費補助金

1,410,000 円

5 工業振興対策費	346,685,092 円
(1) 企業立地推進費	345,050,792 円
ア 使用料及び賃借料	1,150,490 円
(ア) 派遣職員宿舍借上	1,128,000 円
(イ) その他	22,490 円
イ 負担金及び補助金	342,783,228 円
(ア) 企業立地奨励金	341,045,000 円

区 分	件 数	金 額
	件	円
施設等整備奨励金	12	148,222,000
建物等賃借奨励金	8	100,123,000
雇用奨励金	12	92,700,000
計	32	341,045,000

(イ) 職員研修活動負担	1,678,228 円
(ウ) その他	60,000 円
ウ その他経費(消耗品費、印刷製本費ほか)	1,117,074 円
(2) 長崎県産業振興財団負担金	1,500,000 円
(3) 長崎県発明協会補助金	134,300 円
6 中小企業対策費	178,768,284 円
	(越 140,393,000 円)
(1) 中小企業サポート活動費	6,171,193 円
ア 報酬等	5,946,803 円
イ その他経費	224,390 円
(2) ものづくり支援費	6,615,785 円
ア 産業技術審査会開催経費(1回)	27,410 円
イ 補助金	6,237,000 円
(ア) 長崎地域造船造機技術研修事業補助(延参加者数 101人)	3,500,000 円
(イ) 長崎工業会経営力・競争力強化支援事業補助(延参加者数 688人)	2,537,000 円
(ウ) 製品・技術「優れモノ」PR補助(1件)	200,000 円
ウ その他経費	351,375 円
(3) 若年者雇用促進費	25,223,306 円

区 分	主 な 内 容	実 績
企業紹介動画制作	企業紹介動画を制作し、動画投稿サイト(YouTube)で公開するとともに、ケーブルテレビで放送	紹介企業数 8社 年度内動画再生回数 46,596回

区 分	主 な 内 容	実 績
SNS等での情報発信	SNS(Twitter、Instagram)を活用し、毎週2回、学生団体と連携し、企業情報や長崎で暮らす魅力、学生の就職活動に有益な情報を発信	フォロワー数 Twitter 4,283人 Instagram 823人
企業紹介サイト制作	平成30年度から令和2年度に制作した企業紹介書籍の記事を集約した企業紹介サイトを制作・公開	令和4年1月サイト公開 紹介企業数 96社 年度内サイト閲覧数 3,879件
保護者向け地元就職促進セミナー	学生の保護者を対象とした、地元就職を促進するためのセミナー	参加者数 61人
働き方の新しいスタイル推進	働き方改革や若者が望む多様な働き方の必要性を広く伝えるための啓発セミナーと、社内で取組みを推進するキーパーソンを育成するための企業内推進リーダー養成講座をそれぞれ開催	啓発セミナー(1回) 参加者数 78社 99人 企業内推進リーダー養成講座(2期(3講座/期)) 参加者数 26社 40人(2期合計)

ア 広告料	1,162,000 円
イ 委託料	18,524,000 円
(ア) 企業紹介動画制作委託	5,082,000 円
(イ) SNS等地元就職促進情報発信委託	2,486,000 円
(ウ) 企業紹介サイト制作委託	5,511,000 円
(エ) 保護者向け地元就職促進セミナー配信等委託	363,000 円
(オ) 働き方の新しいスタイル推進委託	4,994,000 円
(カ) 企業紹介動画及びSNS周知用チラシデザイン制作委託	88,000 円
ウ 人材確保支援費補助金(29件)	4,552,000 円
エ その他経費	985,306 円
(4) 事業承継支援費	1,900,000 円
	(越 1,900,000 円)
ア 事業承継支援補助金(3件)	1,900,000 円
	(越 1,900,000 円)
(5) 労働者福祉向上支援費補助金	365,000 円
(6) チャレンジ企業応援補助金	138,493,000 円
	(越 138,493,000 円)

区 分	件 数	金 額
モール型ECサイト参入・販売促進支援	6	2,426,000 円 (越 2,426,000 円)
ネット向け新商品開発支援	28	42,987,000 円 (越 42,987,000 円)
ICT・IoT技術活用による生産性向上支援	33	51,875,000 円 (越 51,875,000 円)
新事業展開支援	19	41,205,000 円 (越 41,205,000 円)
計	86	138,493,000 円 (越 138,493,000 円)

7 中小企業金融対策費 349,234,074 円

(1) 商工業振興対策資金預託金 331,510,000 円

預託先	金額	預託先	金額
	円		円
十八親和銀行	215,136,000	長崎三菱信用組合	6,079,000
長崎銀行	40,248,000	西日本シティ銀行	6,934,000
たちばな信用金庫	41,445,000	福岡銀行	192,000
北九州銀行	9,476,000	三菱UFJ銀行	12,000,000
		計	331,510,000

(2) 中小企業金融円滑化特別資金預託金 11,031,000 円

預託先	金額	預託先	金額
	円		円
十八親和銀行	10,978,000	佐賀銀行	52,000
長崎銀行	1,000	計	11,031,000

(3) 商工業振興対策資金等保証料補助金 6,693,074 円

資金名	補助額	資金名	補助額
	円		円
小企業振興資金	523,882	中小企業エコ資金	398,731
中小企業短期資金	273,668	中小企業金融円滑化特別資金	122,969
中小企業創業資金	5,006,367	中小企業いきいき企業者支援資金	18,647
中小企業災害復旧等支援資金	345,495	中小企業いきいき労働環境整備資金	3,315
		計	6,693,074

8 物産振興対策費 3,441,967 円

(1) 物産振興推進費 698,080 円

- ア 放映データ制作委託料 33,000 円
- イ 長崎市ブランド振興会負担金 500,000 円
- ウ その他経費 165,080 円

(2) 長崎水産練り製品ブランド化支援費 648,500 円

- ア 長崎水産練り製品ブランド化支援事業補助金 500,000 円
- イ その他経費 148,500 円

(3) 長崎街道シュガーロード推進費 2,061,387 円

- ア 委託料 584,210 円
  - (ア) シュガーロード関連展示タペストリー製作等委託 149,710 円
  - (イ) シュガーロードスタンプラリー実施委託 434,500 円

イ シュガーロード連絡協議会負担金	400,000 円
〔 長崎街道シュガーロードリーフレット作成 15,000部 ホームページのリニューアル・管理・運営 年間アクセス件数 94,363件 〕	
ウ その他経費(印刷製本費、旅費ほか)	1,077,177 円
(4) 長崎県物産振興協会補助金	34,000 円
9 施設管理運営費	79,946,342 円
(1) 市民生活プラザ運営費	79,946,342 円
ア 委託料	11,963,980 円
(ア) 指定管理に係る委託	11,868,280 円
(イ) インターネット用配線等整備委託	95,700 円
イ メルカつきまち建物借上料	45,025,572 円
ウ 負担金	22,540,792 円
(ア) メルカつきまち共益費負担	22,512,792 円
(イ) 全国公立文化施設協会負担	28,000 円
エ その他経費	415,998 円
10 地域消費喚起対策費	27,726,000 円
	(越 27,726,000 円)
(1) 商店街等にぎわい復活支援費	27,726,000 円
	(越 27,726,000 円)
ア にぎわい復活支援費補助金	27,726,000 円
	(越 27,726,000 円)

区 分	件 数	補 助 額	事 業 の 概 要
プレミアム付商品券	11 件	19,179,000 円 (越 19,179,000)	地域や業界の実情に合わせて独自にプレミアム付商品券を発行する事業 (各種イベントとの併用含む)
各種イベント	6	8,547,000 円 (越 8,547,000)	スタンプラリー、まちゼミ、県産品が当たる抽選会、商店街の周年イベント、既存イベントに子供向け企画を加えたイベント等
計	17	27,726,000 円 (越 27,726,000)	

11 【単独】商工振興施設整備事業費	28,179,800 円
(1) 市民生活プラザ	28,179,800 円
ア 産業廃棄物等処理委託料	37,400 円
イ 工事費	5,636,400 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
舞台照明設備改修工事	5,636,400 円	配線工事 一式、電源盤 一式

ウ 備品購入費(LEDスポットライト 52台、可搬型調光器 4台)	21,990,870 円
-----------------------------------	--------------

エ その他経費 515,130 円

12 【単独】商店街等にぎわい創出支援事業費補助金 19,500,000 円

(1) 商店街共同施設等 19,500,000 円

事業主体	事業費	補助額	事業の概要
長崎浜市商店街振興組合	47,756,500 円	19,500,000 円	浜市アーケード屋根材張替等

【商工部】

3目 市場費 予算額 109,632,000 円 決算額 98,685,034 円

1 市場費 63,981,929 円

(1) 市設小売市場費 63,981,929 円

ア 中央小売市場 60,343,812 円

(ア) 委託料 3,502,840 円

a 専用荷捌きエレベータ保守点検委託 1,042,800 円

b グリストラップ及び雑排水管清掃委託 2,371,600 円

c 光熱水費検針委託 88,440 円

(イ) メルカつきまち建物借上料 32,851,464 円

(ウ) 負担金 23,802,508 円

a メルカつきまち共同管理費負担 17,346,792 円

b メルカつきまち光熱水費負担 6,455,716 円

(エ) その他経費 187,000 円

イ 高島市場 1,671,293 円

(ア) 委託料 542,463 円

a 清掃委託 502,863 円

b 消防用設備等保守点検委託 39,600 円

(イ) その他経費(光熱水費、修繕料ほか) 1,128,830 円

ウ 池島総合食料品小売センター 1,966,824 円

(ア) 委託料 863,900 円

a 清掃委託 389,580 円

b 消防用設備等保守点検委託 59,400 円

c 浄化槽保守点検委託 414,920 円

(イ) その他経費(光熱水費、修繕料ほか) 1,102,924 円

2 繰出金 34,703,105 円

(1) 中央卸売市場事業特別会計繰出金 34,703,105 円

【文化観光部・まちづくり部】

4目 観光費	予算額	6,343,533,878 円	決算額	5,695,802,356 円
			(前年度繰越額	115,882,598 円)
1 指定管理者候補者選定審査会費				32,850 円
(1) 伊王島灯台記念館(1回)				32,850 円
2 観光振興対策費			(越	429,285,851 円)
				72,112,935 円)
(1) 観光・MICE戦略推進費				173,494 円
ア 長崎市観光・MICE振興審議会開催経費(1回)				86,364 円
イ その他経費				87,130 円
(2) DMO推進費			(越	48,055,935 円)
				48,055,935 円)
ア プロモーション・セールス委託料				36,290,872 円
			(越	36,290,872 円)

事業名	事業の概要
観光マスターブランド構築	長崎市が誇る「歴史・文化」を中心に、「食」「海」「平和」など普遍的な観光の魅力を包括する観光ブランドコンセプト(スローガン「暮らしのそばに、ほら世界。」及びロゴマーク)の構築、域外向けの誘客プロモーションフレーズ「長崎で、会いましょう。」の作成
メディアプロモーション	年間を通して継続的に長崎市への来訪を促し、滞在満足度を高めるため、四季折々の長崎市の魅力、イベント及び着地型体験商品等を訴求するWebを中心とした誘客プロモーション等を実施

イ DMO推進補助金		11,765,063 円
		(越 11,765,063 円)
(ア) MICE誘致・受入事業費補助		11,765,063 円
[ 情報発信及びMICE誘致セールス・受入事業ほか ]		(越 11,765,063 円)
(3) 観光地域づくり推進費		158,867,980 円
ア プロモーション・セールス委託料		114,510,017 円

事業名	事業の概要
国内誘致メディアプロモーション	長崎市への誘客促進を図るためのプロモーション特設ページの制作、WebやSNS等の多様なメディアを活用したPRの実施
体験コンテンツ魅力発信	長崎市の着地型体験商品のデータベース構築及びWebサイトの制作
各種調査	観光動向調査に加え、市内宿泊・観光関連事業者への受入環境水準調査、モバイル空間統計の分析の実施

イ DMO推進補助金		44,357,963 円
(ア) CMO人件費補助		8,703,590 円
(イ) マーケティング事業費補助		2,230,636 円
[ マーケティングに係る人件費、多様な関係者との戦略の共有ほか ]		



(ウ) MICE誘致・受入事業費補助 〔 情報収集及び情報発信、MICE誘致セールス・受入事業ほか 〕	33,423,737 円
(4) MICE推進費	958,573 円
(5) 長崎さるく推進費	31,549,402 円
ア 報償費	4,089,000 円
イ 委託料	26,778,952 円
(ア) ながさき修学旅行ガイド管理運営委託 〔 参加者数 ながさき修学旅行ガイド 24,080人 〕	17,578,286 円
(イ) 長崎さるく情報発信等委託	8,106,056 円
(ウ) 映像コンテンツ制作委託	495,000 円
(エ) 司会進行委託	33,000 円
(オ) 看板製作等委託	55,000 円
(カ) ながさき平和・歴史ガイド予約システム改修委託	299,200 円
(キ) 写真撮影委託	132,000 円
(ク) 産業廃棄物処理委託	80,410 円
ウ その他経費	681,450 円
(6) 観光資源魅力推進費	6,237,080 円
	(越 4,285,000 円)
ア 修繕料	1,180,300 円
イ 委託料	4,731,900 円
	(越 4,235,000 円)
(ア) 琴海景観形成地区廃棄物撤去委託	99,000 円
(イ) 馬込教会前臨時駐車場杭等取替委託	97,900 円
(ウ) 「巡る島 伊王島スタンプラリー」ノベルティ配布委託	300,000 円
(エ) 埋込式案内板製作設置委託	4,235,000 円
	(越 4,235,000 円)
ウ その他経費	324,880 円
	(越 50,000 円)
(7) 事業持続化支援金	156,371,834 円
ア 補助金	156,355,664 円
(ア) 宿泊事業者事業持続化支援	145,559,666 円
(イ) 軍艦島観光船協議会事業持続化支援	4,866,666 円
(ウ) 観光バス事業者事業持続化支援	5,929,332 円
イ その他経費	16,170 円



(6) 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金 (入港数 1隻、乗客・乗務員数 547人)	3,461,000 円
(7) 長崎県クルーズ振興協議会負担金	170,000 円
(8) 長崎県空港活性化推進協議会負担金	300,000 円
(9) team NAGASAKI SAFETY事業費負担金 (認証施設数:宿泊施設 137件、観光施設 35件、ロープウェイ 1件、遊覧船 2件)	1,433,487 円
	(越) 1,433,487 円)
4 夜景観光推進費	20,630,859 円
(1) 世界・日本新三大夜景推進費	17,558,487 円
ア 新「長崎ノ夜景」パンフレットデザイン制作委託料	6,490,000 円
イ 負担金	10,110,767 円
(ア) 「世界夜景サミット in 長崎」開催負担	9,095,767 円
(イ) 「日本新三大夜景」共同プロモーション負担	1,000,000 円
(ウ) 「夜景サミット2022 in 札幌」出席負担	15,000 円
ウ その他経費	957,720 円
(2) 観光施設等ライトアップ事業費	2,510,817 円
ア 消耗品費	1,083,500 円
イ 電気使用料(公共施設ライトアップ)	204,080 円
ウ 施設修繕料	378,400 円
エ 委託料	339,900 円
(ア) 樹木剪定等委託	249,700 円
(イ) 照明設備設置委託	90,200 円
オ 電気使用料負担金(民間施設ライトアップ)	504,937 円
(3) 稲佐山山頂魅力向上推進費	561,555 円
ア 稲佐山山頂電波塔ライトアップ照明機器保守等委託料	154,000 円
イ 電気使用料負担金	294,035 円
ウ その他経費	113,520 円
5 イベント共催費負担金	73,611,979 円
	(越) 19,438,005 円)
(1) 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金 (新型コロナウイルス感染症予防のため提灯装飾及びオンラインPRのみ実施)	52,432,488 円
(2) 長崎帆船まつり事業共催費負担金 (新型コロナウイルス感染症予防のため中止)	19,438,005 円
	(越) 19,438,005 円)
(3) 長崎居留地まつり事業共催費負担金 (令和3年9月18日 オンライン開催)	1,000,000 円
(4) 「写真の街 長崎」事業共催費負担金	741,486 円

6 観光振興団体負担金・補助金	4,679,000 円
(1) 日本政府観光局負担金	300,000 円
(2) 日本観光振興協会負担金	270,000 円
(3) 長崎県観光連盟負担金	4,109,000 円
7 観光施設管理運営費	471,443,560 円
(1) 総合観光案内所運営費	13,567,534 円

利用状況

利 用 種 別	利 用 者 数	利 用 種 別	利 用 者 数
観 光 案 内 全 般	13,542 人	文 書 案 内	126 人
ホ テ ル 旅 館 案 内	3	外 国 人 案 内	504
電 話 案 内	2,412	計	16,587

ア 委託料	10,487,400 円
(ア) 案内等委託	8,909,340 円
(イ) 仮設総合観光案内所移設委託	847,000 円
(ウ) 公衆無線LANサービス用配線移設委託	82,500 円
(エ) 設備再設置等委託	385,000 円
(オ) 通信ケーブル用配管等設置委託	88,000 円
(カ) 電気設備接続委託	99,000 円
(キ) 一般廃棄物処理委託	76,560 円
イ 長崎駅ターミナルビル建物借上料	2,402,400 円
ウ 光熱水費等負担金	122,307 円
エ その他経費	555,427 円
(2) 東山手十二番館運営費	3,817,705 円
〔 入館者数 9,107人 〕	
ア 光熱水費	429,932 円
イ 施設修繕料	17,600 円
ウ 委託料	3,067,100 円
(ア) 受付等委託	2,786,556 円
(イ) 警備委託	73,920 円
(ウ) 害虫駆除委託	178,904 円
(エ) 消防用設備保守点検委託	27,720 円
エ 下水道使用料	14,388 円
オ その他経費	288,685 円

(3) 出島運営費	123,001,759 円
〔 入場者数 196,992人 〕	
ア 施設修繕料	1,211,760 円
イ 委託料	115,519,250 円
(ア) 指定管理に係る委託	113,344,000 円
(イ) 害虫駆除委託	544,742 円
(ウ) 空調設備保守点検委託	191,400 円
(エ) 産業廃棄物処理委託	198,858 円
(オ) 燻蒸委託	495,000 円
(カ) 企画展パネル製作等委託	338,250 円
(キ) 遺構保存処理委託	407,000 円
ウ 負担金	5,588,444 円
(ア) 指定管理者運営経費負担(令和2年度分)	4,988,878 円
(イ) 光熱水費負担	599,566 円
エ その他経費	682,305 円
(4) 亀山社中記念館運営費	16,662,813 円
〔 入館者数 17,730人 〕	
ア 印刷製本費	528,000 円
イ 光熱水費	346,873 円
ウ 委託料	14,054,325 円
(ア) 受付等委託	10,440,716 円
(イ) 清掃委託	40,000 円
(ウ) 警備・誘導等委託	3,217,223 円
(エ) 害虫等駆除委託	66,386 円
(オ) 樹木剪定等委託	290,000 円
エ 土地建物借上料	1,200,000 円
オ 下水道使用料	15,576 円
カ その他経費	518,039 円
(5) 旧香港上海銀行長崎支店記念館運営費	8,106,302 円
〔 入館者数 3,176人 〕	
ア 施設修繕料	156,200 円
イ 指定管理に係る委託料	7,950,102 円

(6) 古写真資料館等運営費	3,869,173 円
〔 古写真・埋蔵資料館入館者数 814人 〕	
ア 光熱水費	217,252 円
イ 施設修繕料	83,600 円
ウ 委託料	3,426,343 円
(ア) 受付等委託	2,810,788 円
(イ) 清掃委託	232,425 円
(ウ) 警備委託	84,480 円
(エ) 害虫駆除委託	259,380 円
(オ) 消防用設備保守点検委託	39,270 円
エ 下水道使用料	53,592 円
オ その他経費	88,386 円
(7) ベつ甲工芸館運営費	5,318,086 円
〔 入館者数 1,231人 〕	
ア 光熱水費	805,318 円
イ 施設修繕料	206,965 円
ウ 委託料	4,057,970 円
(ア) 受付等委託	3,892,750 円
(イ) 警備委託	76,560 円
(ウ) 空調設備保守点検委託	40,700 円
(エ) 消防用設備保守点検委託	27,720 円
(オ) 電気設備調査委託	20,240 円
エ 下水道使用料	14,322 円
オ その他経費	233,511 円
(8) 歴史民俗資料館運営費	8,266,209 円
〔 入館者数 6,478人 〕	
ア 委託料	4,433,240 円
(ア) 指定管理に係る委託	2,230,000 円
(イ) 警備委託	13,200 円
(ウ) 展示等委託	1,673,040 円
(エ) 収蔵庫燻蒸委託	330,000 円
(オ) 産業廃棄物処理委託	187,000 円
イ その他経費(報酬、職員手当等ほか)	3,832,969 円

(9) 外海歴史民俗資料館運営費	5,807,323 円
〔 入館者数 4,903人 〕	
ア 光熱水費	1,073,909 円
イ 施設修繕料	616,110 円
ウ 委託料	1,624,821 円
(ア) 警備委託	89,760 円
(イ) 自家用電気工作物保安委託	155,760 円
(ウ) 浄化設備等保守点検委託	485,980 円
(エ) 消防用設備等保守点検委託	34,100 円
(オ) 樹木剪定等委託	859,221 円
エ その他経費(報酬、印刷製本費ほか)	2,492,483 円
(10) サント・ドミンゴ教会跡資料館運営費	2,568,829 円
〔 入館者数 2,195人 〕	
ア 光熱水費	217,720 円
イ 施設修繕料	46,750 円
ウ 委託料	2,245,424 円
(ア) 受付等委託	2,125,084 円
(イ) 警備委託	85,800 円
(ウ) 消防用設備等保守点検委託	34,540 円
エ 下水道使用料	8,175 円
オ その他経費	50,760 円
(11) 中の茶屋運営費	5,946,893 円
〔 入館者数 清水崑展示館 1,072人 〕	
ア 光熱水費	468,549 円
イ 施設修繕料	96,140 円
ウ 委託料	5,016,607 円
(ア) 受付等委託	3,005,136 円
(イ) 警備委託	60,720 円
(ウ) 清掃委託	452,551 円
(エ) 消防用設備等保守点検委託	22,000 円
(オ) 樹木剪定等委託	1,439,900 円
(カ) 害虫駆除委託	36,300 円
エ 下水道使用料	14,542 円
オ その他経費	351,055 円

(12) 伊王島灯台記念館運営費	2,586,426 円
〔 入館者数 2,508人 〕	
ア 指定管理に係る委託料	2,586,426 円
(13) 高島石炭資料館運営費	1,302,319 円
〔 入館者数 19,779人 〕	
ア 光熱水費	207,320 円
イ 施設修繕料	132,000 円
ウ 委託料	847,926 円
(ア) 監視委託	631,886 円
(イ) 警備委託	200,640 円
(ウ) 消防用設備等保守点検委託	15,400 円
エ 下水道使用料	13,200 円
オ その他経費	101,873 円
(14) ド・ロ神父記念館運営費	3,892,991 円
〔 入館者数 5,214人 〕	
ア 光熱水費	515,880 円
イ 施設修繕料	87,796 円
ウ 委託料	2,872,749 円
(ア) 受付等委託	2,728,759 円
(イ) 警備委託	64,680 円
(ウ) 消防用設備等保守点検委託	28,600 円
(エ) 浄化設備等保守点検委託	50,710 円
エ その他経費	416,566 円
(15) シーボルト記念館運営費	11,614,232 円
〔 入館者数 3,502人 〕	
ア 光熱水費	1,678,426 円
イ 施設修繕料	680,570 円
ウ 委託料	4,983,804 円
(ア) 警備委託	87,120 円
(イ) 清掃委託	1,410,566 円
(ウ) 消防用設備等保守点検委託	174,900 円
(エ) 自家用電気工作物保安委託	155,760 円
(オ) エレベータ保守点検委託	1,293,600 円
(カ) 空調設備保守点検委託	880,000 円



(キ) 貯水槽清掃等委託	44,000 円
(ク) 自動ドア保守点検委託	49,500 円
(ケ) 樹木剪定等委託	283,358 円
(コ) 収蔵庫燻蒸等委託	484,000 円
(サ) チラシ等作成委託	121,000 円
エ 下水道使用料	24,200 円
オ 博物館協会負担金	5,000 円
カ その他経費(報酬、消耗品費ほか)	4,242,232 円
(16) 野口彌太郎記念美術館運営費	9,075,927 円
〔 入館者数 905人 〕	
ア 物品修繕料	596,970 円
イ 委託料	5,309,944 円
(ア) 受付等委託	4,723,624 円
(イ) 警備委託	13,200 円
(ウ) 展示等委託	573,120 円
ウ 光熱水費等負担金	2,577,284 円
エ その他経費	591,729 円
(17) 須加五々道美術館運営費	3,863,659 円
〔 入館者数 262人 〕	
ア 光熱水費	413,532 円
イ 施設修繕料	18,480 円
ウ 委託料	3,345,452 円
(ア) 受付等委託	3,005,136 円
(イ) 警備委託	62,040 円
(ウ) 清掃委託	196,326 円
(エ) 消防用設備等保守点検委託	22,000 円
(オ) 樹木剪定等委託	59,950 円
エ 下水道使用料	13,904 円
オ その他経費	72,291 円
(18) 伊王島ふれあい広場運営費	1,781,157 円
ア 光熱水費	905,768 円
イ 施設修繕料	37,950 円
ウ 委託料	767,677 円
(ア) 草刈等委託	261,800 円

(イ) 消防用設備等保守点検委託	33,000 円
(ウ) クラブハウスイレ等維持管理委託	472,877 円
エ 下水道使用料	28,182 円
オ その他経費	41,580 円
(19) ペーロン体験施設運営費	1,134,247 円
〔 利用者数 48校 6,319人 〕	
ア 光熱水費	405,500 円
イ 施設修繕料	520,080 円
ウ し尿汲取手数料	164,667 円
エ 消防用設備等保守点検委託料	44,000 円
(20) しまの宿五平太運営費	7,370,118 円
〔 利用者数 495人 〕	
ア 燃料費	237,505 円
イ 光熱水費	1,154,720 円
ウ 施設修繕料	961,070 円
エ 委託料	4,370,674 円
(ア) 貯水槽清掃等委託	51,700 円
(イ) 受付等委託	3,522,574 円
(ウ) エレベータ保守点検委託	488,400 円
(エ) 消防用設備等保守点検委託	110,000 円
(オ) 自家用電気工作物保安管理委託	171,600 円
(カ) 電気通信設備保守委託	26,400 円
オ 下水道使用料	228,540 円
カ その他経費	417,609 円
(21) 端島見学施設運営費	8,169,603 円
〔 入場者数 60,471人 〕	
ア 端島見学施設運営審議会開催経費( 1回)	41,150 円
イ 印刷製本費	1,896,400 円
ウ 施設修繕料	425,700 円
エ 使用料徴収事務手数料	1,751,103 円
オ 保険料	610,769 円
カ 委託料	3,320,770 円
(ア) 施設点検等委託	2,220,000 円
(イ) アスベスト飛散状況調査委託	295,570 円

(ウ) 転落防止柵設置委託	176,000 円
(エ) 転落防止柵撤去委託(A工区)	132,000 円
(オ) 転落防止柵撤去・再設置委託(A・B工区)	497,200 円
キ その他経費	123,711 円
(22) 池島炭鉱体験施設運営費	22,880,977 円
〔 入館者数 525人 〕	
ア 委託料	22,880,977 円
(ア) 指定管理に係る委託	22,387,000 円
(イ) 坑外見学誘導委託	493,977 円
(23) 長崎(小島)養生所跡資料館運営費	3,562,440 円
〔 入館者数 1,015人 〕	
ア 光熱水費	219,637 円
イ 委託料	3,193,562 円
(ア) 受付等委託	2,907,916 円
(イ) 警備委託	55,440 円
(ウ) 清掃委託	196,326 円
(エ) 消防用設備等保守点検委託	33,880 円
ウ 下水道使用料	6,297 円
エ その他経費	142,944 円
(24) 長崎のもぎき恐竜パーク運営費(軍艦島資料館)	4,794,701 円
〔 入館者数 16,315人 〕	
ア 委託料	4,794,701 円
(ア) 指定管理に係る委託	3,968,051 円
(イ) 空調機器取替等委託	679,800 円
(ウ) インフォメーションセンター看板撤去及び製作設置委託	66,550 円
(エ) 長崎のもぎき恐竜パーク(軍艦島資料館)看板製作委託	80,300 円
(25) 長崎歴史文化博物館運営費	183,813,754 円
〔 入館者数 167,231人 〕	
ア 負担金	183,813,754 円
(ア) 運営費負担	183,791,574 円
(イ) 災害保険料負担	22,180 円
(26) 長崎歴史文化博物館特別企画展負担金	3,015,383 円
(令和3年4月24日～6月6日 特別企画展「長崎開港450周年記念展～ふたつの開港～」 入館者数 3,064人)	

(27) 長崎近代交流史と孫文・梅屋庄吉ミュージアム運営費 5,653,000 円

[ 入館者数 3,176人 ]

ア 運営費負担金 5,653,000 円

8 繰出金 230,660,941 円

(1) 観光施設事業特別会計繰出金 230,660,941 円

9 【補助】観光施設整備事業費 3,473,580 円

(1) 総合観光案内所 3,473,580 円

ア 委託料 1,235,300 円

(ア) 屋外デジタルサイネージ設置委託 495,000 円

(イ) 屋外デジタルサイネージ電気配線等設置委託 99,000 円

(ウ) デジタルサイネージSTB設置等委託 641,300 円

イ 屋外デジタルサイネージ購入 2,200,000 円

ウ その他経費 38,280 円

10 【補助】交流拠点施設整備事業費 4,196,047,668 円

(1) 交流拠点施設 4,196,047,668 円

ア 委託料 1,929,807 円

(ア) 出島メッセ長崎開業周知看板製作等委託 59,400 円

(イ) 長崎市交流拠点施設整備・運営事業法務支援委託 1,870,407 円

イ 公有財産購入費 4,190,556,000 円

(ア) 長崎市交流拠点施設整備・運営事業 4,190,556,000 円

事業名	事業費	事業の概要
長崎市交流拠点施設整備・運営事業	4,190,556,000 円	建設工事相当、開業準備業務相当

ウ その他経費(印刷製本費、広告料ほか) 3,561,861 円

11 【補助】都市構造再編事業費 34,720,194 円

(1) 夜間景観整備 34,720,194 円

ア 委託料 4,682,700 円

(ア) 環長崎港夜間景観整備(中・近景)デザイン検討委託 1,987,700 円

(イ) 環長崎港夜間景観整備実施設計委託(東山手・南山手エリア) 2,695,000 円

イ 工事費 29,541,600 円

事業名	事業箇所	事業費	事業の概要
電気工事	館内・新地地区ほか	11,731,500 円	湊公園中華門 照明設置 N= 20基 福建会館 照明設置 N= 6基
	市道出来大工町桶屋町線	17,810,100	街路灯設置 N= 25基
計		29,541,600	

ウ その他経費 495,894 円

12 【単独】観光施設整備事業費	166,994,042 円
(1) 出島	85,635,770 円
ア 委託料	5,157,570 円
(ア) 復元建造物等改修実施設計委託	4,079,570 円
(イ) 復元建造物等改修支援委託	1,078,000 円
イ 工事費	80,478,200 円

事業名	事業費	事業の概要
建造物等改修建築工事	73,883,700 円	料理部屋(瓦・小屋梁漆喰補修、雨戸取替ほか) 旧石倉(外壁砂岩補修、目地補修、瓦漆喰補修ほか) 新石倉(外壁砂岩補修、目地補修、瓦漆喰補修ほか)
建造物等改修電気工事	6,594,500	料理部屋、旧石倉、新石倉、旧出島神学校
計	80,478,200	

(2) 長崎歴史文化博物館	24,687,752 円
ア 施設改修負担金	24,687,752 円

事業費	負担割合		市負担金	事業の概要
	県	市		
74,063,275 円	2/3	1/3	24,687,752 円	屋根改修、空調・展示・防犯設備改修、収蔵資料データベース更新、Wi-Fi環境整備

(3) 稲佐山山頂魅力向上整備	2,674,820 円
ア 修繕料	2,674,820 円
(ア) 稲佐山光のトンネル修繕	1,874,070 円
(イ) 稲佐山山頂電波塔ライトアップ設備修繕	800,750 円
(4) 野母漁港浮棧橋	51,465,700 円
ア 工事費	51,465,700 円

事業名	事業費	事業の概要
野母漁港浮体式係船岸整備工事	51,465,700 円	浮体式係船岸工 一式、撤去工 一式、雑工 一式 工事延長 L= 27.0m

(5) 池島炭鉱体験施設	2,530,000 円
ア トロッコ用充電器購入	2,530,000 円

【商工部】

5目 企業立地基盤整備費	予算額	381,200,000 円	決算額	310,095,594 円
1 【単独】企業立地用地整備事業費				310,095,594 円
(1) 田中町				310,095,594 円
ア 用地測量委託料				7,617,964 円

## イ 工事費

268,853,700 円

事業名	事業費	事業の概要
造成工事	30,467,800	排水構造物工 L= 233.0m 防護柵工 L= 163.0m
造成工事(2)	40,887,000	排水構造物工 L= 303.0m 法面工 L= 295.0m
造成工事(3)	19,393,000	ブロック積工 A= 363.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L= 330.0m 集水柵工 N= 10箇所
配水管布設工事	12,254,200	配水管布設 L= 399.0m
配水管布設工事(2)	19,694,400	配水管布設 L= 247.4m
污水管布設工事	37,054,600	污水管布設 L= 555.2m
道路改良工事	81,499,000	法面工 A= 2,391.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L= 616.0m 舗装工 A= 3,784.0m <sup>2</sup> 縁石工 L= 746.0m 防護柵工 L= 337.0m
道路改良工事(2)	20,203,700	舗装工 A= 2,012.0m <sup>2</sup> 縁石工 L= 149.0m 区画線工 L= 2,038.0m
道路改良工事(3)	7,400,000	舗装工 A= 1,350.0m <sup>2</sup> 防護柵工 L= 363.0m 吹付工 A= 1,890.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L= 60.0m
計	268,853,700	

ウ 負担金 32,627,000 円

(ア) 給水区域外給水開発負担 27,500,000 円

(イ) 公共下水道事業計画区域外流入負担 5,127,000 円

エ その他経費 996,930 円

令和3年度一般会計歳入歳出決算における不用額の説明並びに予備費充用の説明(商工費)

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費			
		1 商工総務費		
		2 商工振興費	<p>【商工部】</p> <p>(1) 新産業創造推進費 産業雇用政策課 産学連携・創業支援費において、予算編成時に見込んでいた大学連携型起業家育成施設入居者賃料補助金に係る新規入居が予定を下回ったことなどによるもの。(2,581千円)</p> <p>産業雇用政策課 新産業・起業チャレンジ促進費において、予算編成時に見込んでいた実証実験支援補助金の申請件数が予定を下回ったことなどによるもの。(4,824千円)</p> <p>(2) 商業振興対策費 商工振興課 営業時間短縮要請協力金において、予算編成時に見込んでいた申請金額が予定を下回ったことなどによるもの。(1,841,671千円)</p> <p>商工振興課 中小事業者等一時金において、予算編成時に見込んでいた申請件数が予定を下回ったことなどによるもの。(517,906千円)</p> <p>(3) 貿易振興対策費 商工振興課 長崎開港記念行事費補助金において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響によりながさきみなとまつりが中止になったことによるもの。(10,590千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	<p>【商工部】</p> <p>(4) 工業振興対策費 産業雇用政策課 企業立地推進費において、施設等整備奨励金及び雇用奨励金が見込みを下回ったことなどによるもの。(93,842千円)</p> <p>(5) 中小企業対策費 商工振興課 中小企業サポート活動費において、相談員等の報酬が予定を下回ったことなどによるもの。(3,243千円)</p> <p>商工振興課 ものづくり支援費において、予算編成時に見込んでいた優れモノ認証品PR補助金の申請件数が予定を下回ったことなどによるもの。(2,441千円)</p> <p>商工振興課 チャレンジ企業応援補助金において、事業の一部に計画の変更や取下げがあったことによるもの。(11,507千円)</p> <p>(6) 中小企業金融対策費 産業雇用政策課 商工業振興対策資金預託金において、新規貸付による融資残額の増額に対し、既往貸付分の償還による融資残高の減少が進んだため、予算編成時に見込んでいた預託額を下回ったことによるもの。(187,690千円)</p> <p>産業雇用政策課 中小企業金融円滑化特別資金預託金において、既往貸付の償還が見込みよりも進んだため、予算編成時に見込んでいた預託額を下回ったことによるもの。(9,169千円)</p> <p>産業雇用政策課 商工業振興対策資金等保証料補助金において、新規貸付による融資残額の増額に対し、既往貸付分の償還による融資残高の減少が進んだため、予算編成時に見込んでいた保証料補助金額を下回ったことによるもの。(8,104千円)</p>	



款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	<p>【商工部】</p> <p>(7) 地域消費喚起対策費 商工振興課 商店街等にぎわい復活支援費において、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により商店街等にぎわい復活支援事業費補助金に係る事業を縮小して実施したことなどによるもの。 (2, 274千円)</p> <p>(8) 【単独】商工振興施設整備事業費 商工振興課 市民生活プラザにおいて、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で長崎市市民生活プラザホール舞台照明機器等の購入に係る契約を締結できたことなどによるもの。(11, 620千円)</p>	
		3 市場費	<p>【企画財政部】</p> <p>(1) 繰出金 財政課 中央卸売市場事業特別会計繰出金において、電気使用料の収入額が予定を上回ったこと及び繰出し対象である事務費の支出額が予定を下回ったことなどによるもの。(9, 479千円)</p>	
		4 観光費	<p>【企画財政部】</p> <p>(1) 繰出金 財政課 観光施設事業特別会計繰出金において、繰出し対象であるロープウェイ事業管理費の支出額が予定を下回ったことなどによるもの。 (7, 177千円)</p> <p>【文化観光部】</p> <p>(1) 観光振興対策費 観光政策課 Sea級グルメ九州大会開催費補助金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により事業が中止となったことによるもの。 (2, 000千円)</p> <p>観光交流推進室 観光地域づくり推進費において、市の職員を派遣したことにより、人件費が当初見込みを下回ったことなどによるもの。(6, 949千円)</p> <p>観光交流推進室 長崎さるく推進費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、修学旅行ガイドの謝礼金の支払い件数が予定を下回ったことなどによるもの。(3, 505千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費	4 観光費	<p><b>【文化観光部】</b></p> <p>(1) 観光振興対策費</p> <p>観光交流推進室 事業持続化支援金において、旅館業の停止・廃止届出がなされていない施設があったことなどにより、支援金の申請が見込みを下回ったことなどによるもの。(28,498千円)</p> <p>観光交流推進室 アニメツーリズム推進費において、関係者との調整に時間を要し、スタンプラリーなどを実施できなかったことによるもの。(8,831千円)</p> <p>観光交流推進室 長崎くんち踊り会場運営費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、行事が中止となったことによるもの。(5,580千円)</p> <p>観光交流推進室 コンベンション開催費補助金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交付件数が見込みを下回ったことによるもの。(11,950千円)</p> <p>観光交流推進室 「新しい生活様式」対応型イベント開催費補助金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、交付額が見込みを下回ったことによるもの。(18,089千円)</p> <p>(2) 観光客誘致対策費</p> <p>観光交流推進室 観光客誘致推進費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、プロモーション活動が実施できなかったことなどによるもの。(3,723千円)</p> <p>観光交流推進室 お得に泊まって長崎市応援キャンペーン事業費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりクーポン券の利用が見込みを下回ったことによるもの。(17,616千円)</p> <p>観光交流推進室 WELCOME TO NAGASAKI キャンペーン事業費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、宿泊割引キャンペーンを実施しなかったことによるもの。(268,505千円)</p> <p>観光交流推進室 長崎港クルーズ客船受入委員会負担金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、クルーズ客船の入港が大幅に減少し、歓迎行事等の経費が見込みを下回ったことによるもの。(6,339千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費	4 観光費	<p>【文化観光部】</p> <p>(3) 夜景観光推進費 観光政策課 稲佐山山頂魅力向上推進費において、ライトアップ設備の点検及び落雷被害調査を実施せず、 【単独】観光施設災害復旧費において実施したことによるもの。(2, 031千円)</p> <p>(4) イベント共催費負担金 観光交流推進室 長崎ランタンフェスティバル事業共催費負担金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントが中止になったことによるもの。(46, 224千円)</p> <p>観光交流推進室 長崎帆船まつり事業共催費負担金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントが中止になったことによるもの。(34, 879千円)</p> <p>観光交流推進室 国内ペーロン大会派遣事業共催費負担金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、大会派遣が中止となったことなどによるもの。(2, 000千円)</p> <p>観光交流推進室 「写真の街 長崎」事業共催費負担金において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、フォトフェスティバルなどが実施できなかったことによるもの。(3, 259千円)</p> <p>(5) 観光施設管理運営費 観光政策課 端島見学施設運営費において、予算編成時に見込んでいた端島見学施設転落防止柵の撤去・再設置の回数が予定を下回ったことなどによるもの。(15, 360千円)</p> <p>(6) 事務費 観光政策課 観光費事務費において、予算編成時に見込んでいた郵送件数が予定を下回ったことなどによるもの。(3, 047千円)</p> <p>(7) 【単独】観光施設整備事業費 観光政策課 ペーロン体験施設において、当初修繕することとしていたが、建物の状態を精査した結果建替える方針にしたことに伴い、修繕を中止したことによるもの。(5, 300千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
7 商工費	1 商工費	4 観光費	<p>【文化観光部】  (7) 【単独】観光施設整備事業費  文化財課  長崎歴史文化博物館において、県が実施した一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で施設改修に係る工事請負契約が締結されたことなどにより、県への負担金が予定を下回ったことによるもの。  (12,712千円)</p> <p>出島復元整備室  出島において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で工事請負契約を締結できたことによるもの。  (2,164千円)</p> <p>【まちづくり部】  (1) 【補助】都市構造再編事業費  景観推進室  夜間景観整備において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で工事請負契約を締結できたことなどによるもの。  (6,080千円)</p>	
		5 企業立地基盤整備費		

土 木 費

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	土木部	
個別施策	D4-2 自然とふれあう場と機会を創出します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	自然とふれあうことで、安らぎや潤いを感じている。

令和3年度の取組概要

- 自然とのふれあいの場の整備
  - ・大井手川の河川改修工事において、自然環境に配慮した河川整備を行った。

評価(成果)

- 自然とのふれあいの場の整備
  - ・大井手川において、防災性向上にあわせて、環境保全積ブロック等の自然環境に配慮した河川整備が進んでいる。

評価(問題点とその要因)

- 自然とのふれあいの場の整備
  - ・大井手川の両岸は住宅等が建ち並んでいることから、自然環境に配慮した河川整備の区間が限られている。
  - ・まちなかを流れる河川では事業用地の確保が難しく、自然とふれあうことができる場所の整備が限定される。

今後の取組方針

- 自然とのふれあいの場の整備
  - ・令和4年度に、大井手川の自然環境に配慮した河川整備区間が完了予定である。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
445	(事業名) 【補助】河川等整備事業費(社会資本整備総合交付金) 大井手川  (事業目的) 防災性向上とあわせ、潤いのある河川環境を形成するため、整備を行う。  (事業概要) 【事業期間】平成13～令和5年度 【総事業量】道ノ尾駅付近から寺川内橋まで L=2,150m 【総事業費】2,500,000千円 【事業費累計】1,779,731千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
		目標値	76.4 %
		総事業進捗率	71.2 %
		達成率	93.2 %
		決算額	206,562,160 円
		当該年度執行率	61.2 %
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 環境護岸L=326.7m、支障物件移設補償2件を実施した。  (成果・課題等) 県施行の道路工事との調整により、市が施工する河川工事が完了しなかったため、119,182千円を令和4年度へ繰り越した。 自然環境に配慮した整備区間を令和4年度に完了させる。		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所	
個別施策	E1-1 都市の防災機能向上を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	都市の防災機能が	整備され有効に機能している。

令和3年度 of 取組概要

- 急傾斜地崩壊対策事業の実施(土木部)
  - ・木鉢2丁目(3)地区、女ノ都2丁目(2)地区、三重(28)地区、田中(10)の市施行4箇所及び葉山2丁目(4)地区、三重(2)地区、横尾地区、茂木(6)地区の県施行4箇所に着手した。
- 河川の整備(土木部・総合事務所)
  - ・防災上緊急に整備を要する河川の整備を行った。

評価(成果)

- 急傾斜地崩壊対策事業の実施(土木部)
  - ・新たに8箇所着手し、令和3年度末の累計着手数が295件となった。
- 河川の整備(土木部・総合事務所)
  - ・長崎市地域防災計画において、水害危険予想区域に掲げられている河川の整備を行ったことで浸水被害の軽減が図られた。

評価(問題点とその要因)

- 急傾斜地崩壊対策事業の実施(土木部)
  - ・土地の寄附への同意が得られないことや、登記簿上の所有者が死亡し、その権利を承継する相続人の所在が不明なため、急傾斜地崩壊対策事業において、要望を受けながらも着手できない箇所がある。

今後の取組方針

- 急傾斜地崩壊対策事業の実施(土木部)
  - ・登記簿上の所有者死亡の土地の同意について、その相続人の調査及び同意取得を支援する。
- 河川の整備(土木部・総合事務所)
  - ・河川については、引き続き防災性向上に配慮した整備を行う。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
444	<p>[土木部] (事業名) 【補助】河川等整備事業費(社会資本整備総合交付金) 江川川</p> <p>(事業目的) 水害に対する防災性の向上と自然環境に調和した潤いのある河川環境を形成するため、整備を行う。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】昭和56～令和7年度 【総事業量】L=2,530m 【総事業費】3,162,000千円 【事業費累計】2,912,229千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
		目標値	92.2 %
		総事業進捗率	92.1 %
		達成率	99.9 %
		決算額	50,444,704 円
		当該年度執行率	94.7 %
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 河川改修工事 L=142.4m、建物補償1件を実施した。  (成果・課題等) 護岸工事において、補償建物の解体時期との調整に時間を要し、工事着手が遅れたことから、2,816千円を令和4年度へ繰り越した。 引き続き防災性向上に配慮した河川整備を行う。		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
446	<p>[総合事務所] (事業名) 【単独】自然災害防止事業費 河川</p> <p>(事業目的) 重要水防区域における河川の災害を未然に防止する。</p> <p>(事業概要) 河川改良工事等 ・見上川ほか4河川</p>	成果指標	整備箇所数
		目標値	7 箇所
		実績値	5 箇所
		達成率	71.4 %
		決算額	36,992,200 円
		成果指標・目標値の説明	河川の災害を未然に防止するため、事業費の中で防災性護岸等の河川整備を行っているため、整備箇所数を成果指標とした。 当該年度の整備予定数を目標値とした。
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・見上川 護岸工 L=49.0m ・大平川 護岸工 L=15.0m ・小崎川 浚渫 L=70.0m ・川原古川 ブロック積・石張 L=17.0m ・藤田尾川 ブロック積 L= 9.8m  (成果・課題等) 工事費の増により着手できない箇所については、他事業により対応するなど、洪水・溢水等への対策が図られている。



【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
446	<p>[土木部] (事業名) 【単独】自然災害防止事業費 急傾斜地崩壊対策</p> <p>(事業目的) 土砂災害から市民の生命、身体を守る。</p> <p>(事業概要) 【中央総合事務所管内】 [田上(6)地区] 【事業期間】平成29～令和10年度 【総事業量】L=70.0m(待受防護柵) 【総事業費】200,000千円 [木鉢2丁目(3)地区] 【事業期間】令和3～令和5年度 【総事業量】L=25.0m A=450.0m<sup>2</sup> 【総事業費】50,000千円 [女ノ都2丁目(2)地区] 【事業期間】令和3～令和6年度 【総事業量】L=50.0m A=1,070.0m<sup>2</sup> 【総事業費】80,000千円 [金堀町地区] 【事業期間】令和3～令和5年度 【総事業量】L=15.0m A=290.0m<sup>2</sup> 【総事業費】40,000千円 [木鉢2丁目(3)地区] 【事業期間】令和3～令和5年度 【総事業量】L=25.0m A=390.0m<sup>2</sup> 【総事業費】50,000千円 [三原(8)地区] 【事業期間】令和4～令和10年度 【総事業量】L=85.0m A=2,000.0m<sup>2</sup> 【総事業費】200,000千円 [小ヶ倉2丁目(4)地区] 【事業期間】令和4～令和6年度 【総事業量】L=45.0m A=500.0m<sup>2</sup> 【総事業費】60,000千円 【東総合事務所管内】 [東町地区] 【事業期間】平成29～令和4年度 【総事業量】L=87.0m(待受擁壁,待受防護柵) 【総事業費】150,000千円 [東上蛸道地区] 【事業期間】令和4～令和6年度 【総事業量】L=50.0m A=500.0m<sup>2</sup> 【総事業費】60,000千円 [田中(10)地区] 【事業期間】令和3～令和4年度 【総事業量】L=10.0m A=150.0m<sup>2</sup> 【総事業費】40,000千円 【南総合事務所管内】 [深堀5丁目地区] 【事業期間】平成30～令和6年度 【総事業量】L=92.0m A=1,330.0m<sup>2</sup> 【総事業費】180,000千円 【北総合事務所管内】 [三重(28)地区] 【事業期間】令和3～令和4年度 【総事業量】L=20.0m A=350.0m<sup>2</sup> 【総事業費】60,000千円</p>	<p>成果指標</p> <p>目標値</p> <p>実績値</p> <p>達成率</p> <p>決算額</p> <p>成果指標・ 目標値の説明</p> <p>取組実績、 成果・課題 等</p>	<p>事業着手箇所数【累計】</p> <p>291 箇所</p> <p>295 箇所</p> <p>101.4 %</p> <p>370,482,054 円</p> <p>土砂災害から市民の生命、身体を守るため、事業着手箇所数(累計)を成果指標とした。 当該年度の事業着手箇所数(累計)を目標値とした。</p> <p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三川(8)地区 A=237.0m<sup>2</sup></li> <li>・小峰(1)地区 A=398.0m<sup>2</sup></li> <li>・田上(6)地区 土砂捕捉工 L=14.0m</li> <li>・入船(7)地区 測量・設計</li> <li>・東町地区 土砂捕捉工 L=38.0m</li> <li>・塩町地区 A=278.0m<sup>2</sup></li> <li>・深堀5丁目地区 A=589.0m<sup>2</sup></li> <li>・木鉢2丁目(3)地区 測量・設計、用地測量</li> <li>・女ノ都2丁目(2)地区 測量・設計、用地測量</li> <li>・金堀町地区 測量・設計</li> <li>・江崎(2)地区 A=507.0m<sup>2</sup>、測量・設計</li> <li>・松ノ迫(12)地区 A=417.0m<sup>2</sup>、測量・設計</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>県施行の急傾斜地崩壊対策事業との調整に伴う事業内容の見直しに時間を要し、工事着手が遅れたことから、37,939千円を令和4年度へ繰り越した。 予算は増えているが、事業の申請件数も増えている。市民の生命・身体を守るため、事業中の箇所を早期に完成させ、新たな申請箇所への事業着手を促進したい。</p>

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	土木部	
個別施策	E7-1 良好な道路ネットワークを形成します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	目的地まで迅速かつ安全・快適に移動している。

### 令和3年度の取組概要

- 広域幹線道路網の整備促進**
  - ・九州横断自動車道長崎大分線のうち、暫定2車線区間である長崎インターチェンジ～長崎芒塚インターチェンジ間の令和3年度の完全4車線化に向け、国等に対して積極的に要望を行った。
  - ・高規格道路長崎南北幹線道路及び西彼杵道路の早期整備に向け、道路の早期建設を強力に促進することを目的に地方公共団体や関係団体で設立した期成会を中心に、国や県等に対して積極的に要望を行った。
- 幹線道路網の整備促進**
  - ・一般国道499号(栄上・岳路工区)、長崎外環状線(新戸町～江川町工区)等の早期完成に向け、本市と関係団体で設立した協議会を中心に、県や県議会に対して積極的に要望を行った。
- 補助幹線道路の整備**
  - ・江平浜平線、中川鳴滝3号線、虹が丘町西町1号線、新地町稲田町線などの路線について、継続して事業を進めた。
- 既存道路の安全性・快適性の向上**
  - ・一般国道34号馬町交差点の改良に向け、道路管理者や交通管理者、軌道事業者の関係機関などと協議・調整を進めた。
  - ・一般国道202号(福田本町工区・小浦工区)の早期整備に向け、本市と関係団体で設立した協議会を中心に、県や県議会に対して積極的に要望を行った。

### 評価(成果)

- 広域幹線道路網の整備促進**
  - ・九州横断自動車道長崎大分線のうち、長崎インターチェンジ～長崎芒塚インターチェンジ間の4車線化について、令和4年3月に完成し、長崎自動車道全線が4車線化された。
  - ・高規格道路長崎南北幹線道路について、未着手区間である長崎市茂里町～西彼杵郡時津町野田郷間のうち、茂里町～滑石2丁目までの区間(茂里町～滑石工区)が令和4年3月に新規事業化された。
  - ・高規格道路西彼杵道路(時津工区)について、令和4年度の完成を目指し着実に事業の進捗が図られた。また、未着手区間である西海市平山郷～西彼杵郡時津町日並郷のうち、西海市西彼町平山郷～西海市西彼町白似田郷までの区間(大串白似田バイパス)が、令和4年3月に新規事業化された。
- 幹線道路網の整備促進**
  - ・一般国道499号(栄上・岳路工区)の道路拡幅、長崎外環状線(新戸町～江川町工区)の道路整備について、用地買収や工事などが進み、着実に事業の進捗が図られた。このうち、一般国道499号(岳路工区)においては令和4年3月に拡幅整備が完成した。
- 補助幹線道路の整備**
  - ・江平浜平線、中川鳴滝3号線、虹が丘町西町1号線、新地町稲田町線などの路線において整備を行った(6路線)。
- 既存道路の安全性・快適性の向上**
  - ・一般国道34号の切通地区において、交差点付近の歩道拡幅整備がなされ、事業が完了した。
  - ・一般国道202号の福田本町工区において、歩道やバスベイ整備に向けて、事業の進捗が図られた。また、小浦工区においても、令和2年度から交通安全対策事業に着手され、測量・設計などが進められた。

### 評価(問題点とその要因)

- 広域幹線道路網の整備促進**
  - ・高規格道路長崎南北幹線道路及び西彼杵道路の未着手区間について、一部の区間で事業化されたが、整備区間が長く、ルートを選定や構造など検討すべき項目が多岐にわたることから、全ての区間において事業化に至っていない。
- 幹線道路網の整備促進**
  - ・一般国道499号(栄上工区)や長崎外環状線(新戸町～江川町工区)について、用地交渉等が難航しているため、事業が長期化している。
- 補助幹線道路の整備**
  - ・現在整備中の多くの路線で用地交渉等が難航しているため、事業が長期化している。
- 既存道路の安全性・快適性の向上**
  - ・一般国道202号(福田本町工区)について、用地交渉等が難航しているため、事業が長期化している。
  - ・馬町交差点の改良については、関係者が多岐にわたるため、渋滞対策や電停バリアフリー化など複数の課題を同時に解決する具体的な整備計画の策定に時間を要している。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 広域幹線道路網の整備促進
  - ・高規格道路長崎南北幹線道路については、茂里町～滑石工区の早期整備着手及び未着手区間(滑石2丁目～時津町野田郷)の早期事業化、高規格道路西彼杵道路については、未着手区間(西海市西彼町白仁田郷～時津町日並郷)の早期事業化、時津工区の早期完成及び大串白似田バイパスの早期整備着手に向け、引き続き、国や県などに対して期成会を中心に要望を行う。
- 幹線道路網の整備促進
  - ・一般国道499号(栄上工区)の早期完成に向け、引き続き、県や県議会に対して協議会を中心に要望を行う。
  - ・一般国道499号のバイパス道路となる長崎外環状線(新戸町～江川町工区)の早期完成に向け、引き続き、県や県議会に対して協議会を中心に要望を行う。
  - ・その他の幹線道路については、事業中区間の早期完成、未整備区間の早期事業化に向け、引き続き、国や県などに対して要望を行う。
- 補助幹線道路の整備
  - ・事業の進捗を図るため、引き続き、予算確保に向け国や県に対して要望を行うとともに、用地交渉においては民間とも連携しながら整備を推進する。
- 既存道路の安全性・快適性の向上
  - ・一般国道34号の馬町交差点の改良については、引き続き、道路管理者や交通管理者、軌道事業者などの関係機関や地元住民との協議・調整を進め、早期に整備計画を策定し、令和4年度中の工事着手を目指す。
  - ・一般国道202号(福田本町工区・小浦工区)の早期完成に向け、引き続き、県や県議会に対して協議会を中心に要望を行う。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
431	(事業名) 【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金) 江平浜平線  (事業目的) 江平地区の交通環境の改善及び居住環境の向上、市内交通混雑の緩和を図るため、道路の新設と拡幅改良を行う。  (事業概要) 【事業期間】平成9～令和11年度 【総事業量】L=2,260m、W=9.75m 【総事業費】3,900,000千円 【事業費累計】3,594,030千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	92.2	%
		総事業進捗率	92.2	%
		達成率	100.0	%
		決算額	226,490,042	円
		当該年度執行率	100.0	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 工事L=279.0m、道路詳細設計等を実施した。  (成果・課題等) トンネルの本体工事が完了したが、今後も未買収地の用地交渉を進め、引き続き用地取得と事業進捗を図る。			

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
433	<p>(事業名) 【補助】道路新設改良事業費(地方創生道整備推進交付金) 虹が丘町西町1号線</p> <p>(事業目的) 市道油木町西町線から分岐し、虹が丘町までの道路を新設することにより、幹線道路の慢性的な交通渋滞を緩和するとともに、市内北西部地区における交通の利便性と防災性の向上を図るため、道路の新設を行う。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成9～令和11年度 【総事業量】L=1,950m、W=10.0m 【総事業費】4,000,000千円 【事業費累計】2,800,155千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	70.9	%
		総事業進捗率	70.0	%
		達成率	98.7	%
		決算額	236,934,532	円
		当該年度執行率	87.5	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 工事L=439.2m、用地取得A=151.6㎡、損失等補償6件、測量設計等を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 道路改良工事において、切土掘削工で岩盤が想定よりも硬く、掘削工に不測の時間を要したことなどから、33,945千円を令和4年度へ繰り越した。 今後も用地交渉を進め、用地取得と事業期間内での事業進捗を図る。</p>			

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
467	<p>(事業名) 【補助】都市計画街路整備事業費(社会資本整備総合交付金) 新地町稲田町線</p> <p>(事業目的) 十善寺地区の交通環境の改善及び居住環境の向上、まちなかの回遊性向上を図るため、道路の拡幅改良を行う。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成12～令和4年度 【総事業量】L=400m、W=15.0m 【総事業費】4,100,000千円 【事業費累計】3,261,593千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	80.2	%
		総事業進捗率	79.6	%
		達成率	99.3	%
		決算額	24,039,313	円
		当該年度執行率	51.7	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 工事L=91.1m、用地取得A=60.3㎡、移転補償2件を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 国の1次補正に伴う事業が年度内に完了しないことにより、26,200千円を令和4年度に繰り越した。 用地未買収部分の交渉を進め、電線類地中化との工事連携を図りながら事業進捗に努める。</p>			

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所	
個別施策	E8-1 だれもが安全・快適に利用できる道路の整備を進めます	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	道路が	安全・快適に利用されている。

### 令和3年度の取組概要

- 道路環境の改善と施設の長寿命化への推進(土木部・総合事務所)
  - ・大橋町赤迫1号線において、事業が完了し、道路を令和4年3月に供用開始した。
  - ・密集市街地などの斜面地における要望路線において、新たな車みち整備に着手するため、三原町27号線ほか5路線における用地測量や関係機関との調整等を実施した。
  - ・斜面市街地再生事業を実施している8地区において、用地交渉及び道路改良工事を行った。
  - ・長崎市個別施設計画(橋梁)及び橋梁点検の結果に基づき、15橋の補修を実施した。
- 効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進(土木部)
  - ・二輪車等駐車場(18施設)において、指定管理者制度を導入した。
  - ・浦上駅周辺地区において、長崎市浦上駅二輪車等駐車場が令和4年1月に供用開始した。
  - ・市営駐車場において、設備や躯体などの改修工事を行った。

### 評価(成果)

- 道路環境の改善と施設の長寿命化への推進(土木部・総合事務所)
  - ・大橋町赤迫1号線において、道路の供用開始により、近接する中園踏切の交通量の軽減が期待されるとともに、交通の円滑化と安全性が向上した。
  - ・密集市街地などの斜面地において、車みち整備事業が進んだことにより、住環境の改善と防災性の向上に繋がった。
  - ・斜面市街地再生事業を実施している8地区のうち立山地区において、道路改良工事を施工し事業の進捗を図った。
  - ・市道神浦江川町1号線(江川橋3)ほか14橋の補修を実施し、安全性が向上した。
- 効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進(土木部)
  - ・二輪車等駐車場(18施設)において、指定管理者制度を導入したことにより、施設の適切な管理運営が図られた。
  - ・長崎市浦上駅二輪車等駐車場(収容台数:90台)の供用開始により、路上駐車の防止や道路交通の円滑化が図られた。
  - ・既設の駐車場において、老朽化した施設の改修や修繕を実施し、施設の長寿命化が図られ、安全性が向上した。

### 評価(問題点とその要因)

- 道路環境の改善と施設の長寿命化への推進(土木部・総合事務所)
  - ・車みち整備事業について、事業化に至るまでの地元の合意形成に時間を要している。
  - ・斜面市街地再生事業について、用地交渉等が難航し、事業用地が確保できていない部分がある。
  - ・橋梁を含む多くの道路構造物の老朽化が進行しているため、維持管理費の向上が予想される。
- 効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進(土木部)
  - ・市営駐車場の老朽化が進み、大規模修繕の必要性が高まっている。また、現有施設機能と駐車場の利用者ニーズとの不一致も見受けられる。その要因は、建設時からの社会情勢の変化等により、自動車のハイルーフ化や精算時におけるキャッシュレス化など、駐車場利用者のニーズが多様化していることが考えられる。

### 今後の取組方針

- 道路環境の改善と施設の長寿命化への推進(土木部・総合事務所)
  - ・住環境の改善と防災性の向上を図るため、引き続き、車みち整備事業については、要望路線において地元協議を進め、事業を推進するとともに、車みち整備事業の対象区域外においては、くらしの道整備事業を推進する。
  - ・斜面市街地再生事業については、事業着手している生活道路の早期完成に努めるとともに、未着手部分については、急速な人口減少と高齢化に対応するため、「車みち整備事業」など即効性のある事業も含め、より効果的な事業への見直しを進め、引き続き、防災性の向上及び住環境の改善に取り組む。
  - ・交通渋滞の解消や安全性・快適性の向上を図るため、引き続き、生活道路の整備や市道一斉点検により抽出した危険箇所の改善に努める。
  - ・橋梁を含め道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修に努める。
- 効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進(土木部)
  - ・駐車場については、駐車場施設整備基金への積み立てを進め、将来の大規模修繕等に備える。また、駐車場や駐輪場の管理は、利用料金制による指定管理者制度へ移行しており、引き続き、利用者ニーズに対応しながら適切な管理・運営に努める。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
432	<p>〔土木部〕 〔事業名〕 【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金) 大橋町赤迫1号線</p> <p>〔事業目的〕 道路拡幅による安全性の確保とJR長崎本線との立体交差化により近接する中園踏切の交通量を軽減することで、交通の円滑化と安全性の向上を図るため、拡幅改良を行う。</p> <p>〔事業概要〕 【事業期間】平成20～令和3年度 【総事業量】L=60m、W=10.5m 【総事業費】974,857千円 【事業費累計】974,857千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
		目標値	100.0 %
		総事業進捗率	100.0 %
		達成率	100.0 %
		決算額	99,511,258 円
		当該年度執行率	100.0 %
成果指標・目標値の説明	<p>事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) JR長崎本線との立体交差点周辺の舗装工及び橋梁工を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 事業が完了し、令和4年3月に道路を供用開始した。</p>		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
432 434	<p>〔土木部〕 〔事業名〕 【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金) 道路構造物等補強</p> <p>【補助】道路新設改良事業費(道路メンテナンス事業) 道路構造物等補強</p> <p>〔事業目的〕 市民が安心して道路を利用できるよう、橋梁など道路構造物等の適正な維持管理に努める。</p> <p>〔事業概要〕 長寿命化修繕計画及び定期点検の結果に基づき、道路構造物等を計画的かつ予防的な補修等を行うことで耐久性の向上を図り、道路利用者の安全確保と第三者の被害を未然に防ぐ。</p> <p>〔事業概要〕 【事業期間】平成19～令和5年度 【総事業量】150橋 【総事業費】2,882,230千円 【事業費累計】2,471,590千円</p>	成果指標	補強工事を実施した橋梁数[累計]
		目標値	122 橋
		実績値	87 橋
		達成率	71.3 %
		決算額	245,571,512 円
成果指標・目標値の説明	<p>橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁定期点検の結果に基づき補修工事を実施した橋梁数(累計)を成果指標とした。計画期間である令和5年度までに、橋梁150橋の補修工事を実施することを目標としており、令和3年度の目標値を122橋とした。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 橋梁長寿命化修繕計画において、修繕が必要とされる150橋のうち、令和3年度末までに87橋が完了した。</p> <p>(成果・課題等) 補修工事費用などの増加により達成率は目標の7割弱という結果ではあるが、令和3年度は予定していた橋梁数(15橋)の補修工事完了により、利用者等の安全性の向上につなげることができた。 しかしながら、継続している定期点検等の結果において、新たに補修が必要な橋梁などが抽出されていることから、効率的かつ速やかな対応が望まれる。 国の1次補正予算に伴う事業が年度内に完了しないことなどにより、86,079千円を令和4年度に繰り越した。</p>		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等			
438	〔総合事務所〕 (事業名) <b>【単独】</b> 道路新設改良事業費 車みち整備事業費  (事業目的) 密集市街地の斜面地において、住環境の改善と防災性向上のため、車が乗り入れできない市道や里道を「車みち」として整備するもの。  (事業概要) <b>【事業期間】</b> 平成25～令和5年度 <b>【総事業量】</b> 32路線 <b>【総事業費】</b> 1,380,000千円 <b>【事業費累計】</b> 917,524千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)		
		目標値	70.9	%	
		総事業進捗率	66.5	%	
		達成率	93.8	%	
		決算額	9,352,400	円	
		当該年度執行率	13.4	%	
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。		
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 三原町27号線ほか5路線における用地測量や関係機関との調整等を実施した。  (成果・課題等) 斜面市街地における住環境の改善や防災性の向上に向けて事業進捗が図られた。 今後も引き続き地元と調整を行いながら事業の進捗を図る必要がある。 なお、関係機関(埋設管理者等)との調整に不測の日数を要し、事業が年度内に完了しないことなどにより、60,648千円を令和4年度に繰り越した。				

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所	
個別施策	E8-3 だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めます	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	公園が	再整備により快適に利用されている。

### 令和3年度の取組概要

- 安全で快適な公園の整備(土木部・総合事務所)
  - ・公園施設の計画的な補修や改修による安全性の確保とライフサイクルコストの縮減を図るための公園施設長寿命化計画に基づき、立山公園などにおいて老朽化施設の再整備を行った。
- 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備(総合事務所)
  - ・男女兼用の便所を設置している場所で男女別便所に建替えた。
  - ・魚の町公園において、新市庁舎の建設及び周辺道路のバスベイ等整備と併せ公園再整備を行った。
- 安全で快適な動線と滞在空間の確保(土木部)
  - ・稲佐山公園において、園路の改良工事や遊具の更新を行った。

### 評価(成果)

- 安全で快適な公園の整備(土木部・総合事務所)
  - ・公園便所のバリアフリー化が進んだことにより、利用者の安全性や快適性が向上した。
  - ・公園施設長寿命化計画に基づき公園施設の補修や改修を計画的に実施することで、維持管理費の低減に向けた環境が整った。
- 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備(総合事務所)
  - ・市民ニーズに対応した魅力ある公園再整備が進んだことにより、満足度が向上した。
  - ・公園便所の男女別化が進んだことや、だれもが楽しく遊べる遊具が増えたことにより、利用者の安全性や快適性が向上した。
- 安全で快適な動線と滞在空間の確保(土木部)
  - ・園路を改良し、一部遊具の更新を実施したことにより、公園の安全性や快適性が向上した。

### 評価(問題点とその要因)

- 安全で快適な公園の整備(土木部・総合事務所)
  - ・公園施設の維持管理費の低減を図るため、適切な点検や補修等の予防保全的管理を実施しているが、老朽化の進んだ施設数が膨大であり、十分対応できていない。
- 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備(総合事務所)
  - ・再整備した公園数は目標値を達成しているが、多様な市民ニーズがある中で、健康遊具や幼児用遊具等の各世代に応じた整備が、十分対応できていない。
- 安全で快適な動線と滞在空間の確保(土木部)
  - ・公園施設長寿命化計画に基づき総合公園等の施設の更新や改修を予定しているが、施設規模が大きく、事業費が大きいため、国の補助金を含む予算確保が課題となっている。

### 今後の取組方針

- 安全で快適な公園の整備(土木部・総合事務所)
  - ・利用者が安全に楽しく公園を利用できるよう、今後も公園施設長寿命化計画に基づき老朽化した施設の再整備を推進する。
- 多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備(総合事務所)
  - ・幅広い年齢層に対応できるよう地域のニーズを把握しながら健康遊具や幼児用遊具等の再整備を検討し整備を行う。
- 安全で快適な動線と滞在空間の確保(土木部)
  - ・総合公園等において、公園施設長寿命化計画に基づき、国の補助金を活用しながら老朽化した施設について更新や補修を行う。



【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名			
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
473	[土木部] (事業名) <b>【補助】公園等施設整備事業費</b> 金比羅公園  (事業目的) 金比羅公園において、園路や駐車場の整備を行い、公園利用者の利便性の確保と身近に自然を感じる公園としての機能向上を図る。  (事業概要) <b>【事業期間】</b> 平成24～令和8年度 <b>【総事業費】</b> 588,000千円 <b>【事業費累計】</b> 193,642千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
		目標値	56.0 %
		総事業進捗率	32.9 %
		達成率	58.8 %
		決算額	50,759,190 円
		当該年度執行率	27.2 %
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 園路工事L=47.0mを実施した。  (成果・課題等) 保安林解除に係る手続きが完了したことから、早期の園路完成に向けて工事の進捗を図る。 保安林解除に不測の日数を要し、園路整備工事が年度内に完了しないことにより、111,250千円を令和4年度へ繰り越した。		
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
477	[土木部・総合事務所] (事業名) <b>【単独】公園便所整備事業費</b> 既設公園	成果指標	①バリアフリー化、施設の改築・更新を実施した公園数[累計] ②遊具等の再整備を実施した公園数[累計]
		目標値	① 71 箇所 ② 154 箇所
473	<b>【補助】公園等施設整備事業費</b> 魚の町公園 都市公園 都市基幹公園 住区基幹公園	実績値	① 69 箇所 ② 180 箇所
		達成率	① 97.2 % ② 116.9 %
474	<b>【単独】公園施設整備事業費</b> 稲佐山公園 都市基幹公園 住区基幹公園 特殊公園	決算額	484,180,271 円
		成果指標・目標値の説明	①事業の進捗を客観的に判断できる数値として、園路や便所のバリアフリー化整備、施設の改築・更新を実施した公園数の累計を成果指標とした。 直近値47箇所(平成26年度)から、28箇所増を目標とし、令和4年度までに75箇所の整備を目標とした。  ②事業の進捗を客観的に判断できる数値として、遊具等の公園施設の再整備を実施した公園数の累計を成果指標とした。 直近値112箇所(平成26年度)から、86箇所増を目標とし、令和7年度までに198箇所の整備を目標とした。
477	<b>【単独】公園再整備事業費</b> 日の出町公園ほか  ①バリアフリー化等改築・更新 (事業目的) 公園における園路の段差解消及び多目的便所の設置等、施設の改築・更新等を行う。  (事業概要) <b>【事業期間】</b> 平成21～令和4年度 <b>【総事業量】</b> 75箇所 <b>【事業量累計】</b> 69箇所  ②遊具等の再整備 (事業目的) 公園施設利用者の安全及び利便性の向上を図る。  (事業概要) 既設公園の老朽化した施設の改修等を行う。 <b>【事業期間】</b> 昭和60～令和7年度 <b>【総事業量】</b> 198箇所 <b>【事業量累計】</b> 180箇所	取組実績、成果・課題等	(取組実績) ①2公園のバリアフリー化を行った。 ②37公園の整備を行った。 街区公園 25箇所、近隣公園 5箇所、地区公園 1箇所 総合公園 2箇所、運動公園 1箇所、特殊公園 1箇所 緑地 2箇所  (成果・課題等) ①入札不調のため、25,582千円(2公園)を令和4年度に繰り越した。 別の2公園は完成し、利用者の安全性及び利便性の向上が図られた。 ②事業期間内で、予定箇所数を上回っている。 遊具等の再整備において、新型コロナウイルスの影響により、一部の資材納入に不測の日数を要したことから事業が年度内に完了しないことなどにより、31,600千円を令和4年度へ繰り越した。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部	
個別施策	A2-1 地域の景観や自然など個性を活かしたまちづくりを推進します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	景観や自然等の地域の個性が	まちづくりに活かされている。

### 令和3年度の取組概要

- 良好な景観形成に係る助言・指導
  - ・建造物の外観に地域の景観上の特徴を有し、良好な景観を形成するうえで重要な建造物である景観重要建造物の維持管理に係る助成2件を行った。
  - ・景観法に基づく民間の建築行為等の届出があった177件に対して、景観計画の景観形成基準に基づく審査を行うとともに、大規模な建築物等については、「ながさきデザイン会議」12件や、町家等への改修に際し、「ながさきデザインアドバイザー協議」7件の助言等、その地域の特色に応じた意匠・形態や色彩へと誘導を行った。
  - ・屋外広告物条例に基づく許可申請のあった549件に対して、審査を行い必要に応じて指導を行った。また、未申請や更新申請のなされていない広告物については許可申請の徹底を図るための周知を行った。
  - ・屋外広告物の研修会において関係者に周知を図った。
- 公共空間のデザイン向上
  - ・良好な景観形成を先導するため、景観法等に基づく公共工事の通知のあった111件について審査を行い必要に応じて指導を行った。
  - ・景観形成重点地区内の事業を含む市の公共事業について景観専門監協議を284回、「ながさきデザイン会議」を5件開催し、その地域の特色に応じた意匠・形態や色彩へと誘導を行った。
  - ・市職員の景観に対する意識と技術の向上を図るため、職員研修所と連携し、新規採用職員144人及び採用10年目の職員86人を対象に景観専門監による研修を行った。
  - ・安全で快適な案内・誘導のため、景観に配慮した誘導サインの追加を3箇所及び、案内サインの修繕を2箇所、誘導サインの修繕を2箇所実施した。
- 市民協働の推進
  - ・他都市のまちづくり関係者と市民とが交流できる開港5都市景観まちづくり会議を開催した。
  - ・長崎市景観まちづくり地域団体である風頭公園景観振興会について、地域の景観形成を推進する景観まちづくり地域団体活動助成を行った。
  - ・新たな景観建築物の発見のため、市民公募型の長崎市都市景観賞を開催した。
- 歴史的資源を活かしたまちづくりの推進
  - ・令和3年11月、国の認定を受けた「長崎市歴史的風致維持向上計画」の重点区域である東山手・南山手地区において、地域主体の長崎居留地歴史まちづくり協議会と協働でまちの将来像や取組方針等についてまとめた長崎居留地歴史まちグランドデザインを策定した。

### 評価(成果)

- 良好な景観形成に係る助言・指導
  - ・景観重要建造物の適切な保全のための改修助成を行うことで、建造物が適正に維持管理され、良好な景観が保たれた。
  - ・景観法に基づく民間の建築行為等の届出に対する審査及び「ながさきデザイン会議」、「ながさきデザインアドバイザー」の助言等による意匠・形態の誘導により、良好なまちなみの形成が進んだ。
- 公共空間のデザイン向上
  - ・景観専門監協議や「ながさきデザイン会議」等の意見も踏まえて長崎駅周辺の各施設など、質の高い公共空間となった。
  - ・景観専門監による新規採用職員研修や担当職員のOJTを行うことにより、職員の景観に関する意識向上がなされた。
- 市民協働の推進
  - ・開港5都市景観まちづくり会議において多くの分科会を開催したことで他都市のまちづくり関係者と市民とが多岐にわたり交流することで、より一層景観に対する意識が向上した。
  - ・風頭公園景観振興会へ助成をすることで、風頭公園周辺のまちづくり活動の推進となり、良好な景観が整備された。
- 歴史的資源を活かしたまちづくりの推進
  - ・長崎居留地歴史まちづくり協議会と市との協働で、重点区域歴史まちづくり計画(長崎居留地歴史まちグランドデザイン)を策定した。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

評価(問題点とその要因)

- 良好な景観形成に係る助言・指導
  - ・景観法に基づく届出が必要な行為であっても建築主及び設計者、施工者の一部に法的手続きの認識が不足しているため、未届のまま建築行為等が行われる場合がある。
  - ・屋外広告物条例に基づく許可申請が必要なものであっても、広告主及び設計者、施工者の一部に法的手続きの認識が不足しているため、未申請のまま表示・設置される場合がある。
- 公共空間のデザイン向上
  - ・新規採用職員から研修を実施し、採用年度による研修を行っているが、全ての職員について景観に対する意識醸成が十分とは言えない。
- 市民協働の推進
  - ・地域のまちづくり活動がその中心的な役割を担う人材の高齢化により十分に機能しておらず、次の世代への継承が必要となっているが、少子化と合わせて若年世代の地域外への流出等担い手となる人材が不足している。
- 歴史的資源を活かしたまちづくりの推進
  - ・歴史的な営みや活動を継続する担い手が少子高齢化で減少している。
  - ・歴史的建造物の所有者が高齢化しており、また、伝統建築に関する知識を有する技術者が不足しているため保存が難しくなっている。
  - ・公開されている市有の歴史的建造物の多くが展示型となっており、経済効果や賑わいの創出としては、十分に生かされていない。また、体験型などの施設が少ない。

今後の取組方針

- 良好な景観形成に係る助言・指導
  - ・景観法に基づく民間の建築行為等の届出及び屋外広告物条例に基づく許可申請を徹底するため、建設等の関係団体に対して周知を図る。
- 公共空間のデザイン向上
  - ・市職員の景観に対する技術研鑽のため、職員研修所と連携をはかり、景観専門監による研修を新規採用職員のみでなく、引き続き採用10年次の職員研修を行っていくとともに、今後は研修対象者の拡大を図る。
- 市民協働の推進
  - ・将来の地域の担い手となる子供達が自分達のまちの景観や自然に関心を持つために景観教室を行う。
- 歴史的資源を活かしたまちづくりの推進
  - ・地域主体の長崎居留地歴史まちづくり協議会と協働し、ランドデザインに基づく事業・取組みについてまとめた重点区域歴史まちづくり実施計画(長崎居留地歴史まちアクションプラン)を策定する。
  - ・ランドデザインやアクションプランに基づき、地区計画の導入、景観まちづくりガイドライン策定、修景整備等を行う。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
457	(事業名) ながさきデザイン会議費  (事業目的) 公共事業及び大規模な建築物等の民間事業について、地域の特徴を活かしたデザインに配慮された質の高い公共空間をつくり、長崎の魅力を高めるため、計画段階から建築、デザイン、色彩の専門家によるデザイン等に関する助言を行う。  (事業概要) ・建築物等の色彩、デザインに関する助言	成果指標	ながさきデザイン会議の回数
		目標値	12 回
		実績値	12 回
		達成率	100.0 %
		決算額	342,620 円
成果指標・目標値の説明	ながさきデザイン会議においては、公共事業及び民間事業ともに、計画的かつ細やかな助言を行うことにより、より質の高い公共空間となりうるため、ながさきデザイン会議の回数を成果指標とした。 月に1度開催する計画とし、目標値を年12回とした。		
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・ながさきデザイン会議を12回開催した。 ・民間事業12件に対し、助言を行った。 ・公共事業5件に対し、助言を行った。  (成果・課題等) ・地域の特徴を活かしたデザインに配慮された。 ・ながさきデザイン会議において、景観形成に基づく景観形成基準を補完するガイドラインの作成が求められている。 ・会議を計画的かつ定期的に開催する必要がある。		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
458	(事業名) 屋外広告物対策費	成果指標	屋外広告物許可申請件数	
		目標値	584 件	
	(事業目的) 屋外広告物の規制や違反広告物の簡易除却等を通じて、良好な景観形成と風致の維持を図る。	実績値	549 件	
		達成率	94.0 %	
		決算額	3,008,371 円	
	(事業概要) ・屋外広告物許可制度の運用。 ・違反広告物の簡易除却。 ・屋外広告物に関する講習会の開催。 ・ふれあい掲示板の運用。	成果指標・目標値の説明	良好な景観形成を図るためには、適法に許可を受けた屋外広告物を増やしていくことが必要であるため、許可申請件数を評価指標として設定した。 目標値は3ヶ年(平成30年～令和2年度)平均申請件数の実績平均584件とした。	
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 許可申請件数 549件  (成果・課題等) 平成25年度に実施した掲出状況実態調査の成果に基づき、現地調査を行い、申請指導を継続して実施した。引き続き、未許可広告物の申請指導に計画的に取り組む。	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部	
個別施策	A2-2 まちの回遊性を高め、歩いて楽しいまちなかをつくります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象
	まちなかが	市民や観光客で賑わっている。

### 令和3年度の取組概要

- エリア別の主な取組み
  - ・新大工エリアでは、市街地再開発事業や新大工町商店街プラン策定、商店街と事業者の連携イベントに対して支援を行った。
  - ・中島川・寺町・丸山エリアでは、和の魅力を高めるため、まちなみ形成及び地域による歳時イベント等の支援を行った。また、丸山・小島養生所跡資料館・館内エリアをつなぐマップを作成し、回遊性の向上に取り組んだ。
  - ・浜町・銅座エリアでは、市街地再開発事業や商店街と事業者の連携した取組み、地元商店街が主催するイベント等に対する支援を行った。また、銅座川プロムナード整備を進め、活用に係る地元を含めた検討会議等を行った。
  - ・館内・新地エリアでは、唐人屋敷跡の顕在化に係る整備等を実施するとともに、唐人屋敷跡の魅力発信や、地元と高校生が連携した取組みに対する支援を行った。
  - ・東山手・南山手エリアでは、文化財、伝統的建造物の保存整備を行うとともに、エリアの情報発信等を行う地元や事業者の取組みに対する支援をした。また、地元まちづくり協議会と連携し、歴史まちづくり計画(グランドデザイン)の策定等を行った。
- 軸づくりの取組み
  - ・まちぶらプロジェクト映像の編集及び周知活動、放映先の開拓を行った。また、「まちなかの食」へ誘導するポスター等を制作し、長崎駅周辺等で、掲示や配布を行った。
- 地域力によるまちづくり
  - ・まちなかの賑わい創出に取り組む市民等の活動を促進するための助成及び認定、町家等を活用する事業への助成を行った。

### 評価(成果)

- エリア別の取組み
  - ・新大工エリアでは、市街地再開発事業に対する技術的助言等を行うとともに、新大工町商店街プラン策定の支援を行い、商店街の今後の在り方についての協議を通し、まちづくりへの機運が高まった。
  - ・中島川・寺町・丸山エリアでは、町家風外観整備に対する助成を4件行うとともに、歳時の情報発信等を行うことで、和の魅力が向上した。また、丸山・小島養生所跡資料館・館内エリアをつなぐマップを制作し、エリアの回遊性向上に向けた準備が整った。
  - ・浜町・銅座エリアでは、市街地再開発準備組合の理事会等で、技術的助言等を行い検討が進んだ。また、銅座川プロムナードの事業進捗が図られ、パース等により、完成後のイメージを共有したことで、地域のまちづくりへの意識醸成が図られた。
  - ・館内・新地エリアでは、唐人屋敷跡の修景整備等により顕在化を進めるとともに、リーフレット等により魅力発信を行い、回遊性が向上した。また、地元や高校生の協力によるまちづくり等、地元主体の取組みを支援することでまちづくりへの機運が高まった。
  - ・東山手・南山手エリアでは、居留地の歴史的な建造物の保存整備が進み、旧グラバー住宅の保存修理工事が完了するなど、魅力の顕在化が進んだ。また、地元と連携しながら歴史まちづくり計画の策定を行い、地域のまちづくりへの意識醸成が図られた。
- 軸づくりの取組み
  - ・まちぶらプロジェクト映像の短縮版を制作し、映像の放映先が増え、プロジェクトの効果的な周知が進んだ。また、「まちなかの食」へ誘導するポスター等を制作し、長崎駅や出島メッセで掲示や配布するなど、エリアの魅力の情報発信が進んだ。
- 地域力によるまちづくり
  - ・賑わい創出に貢献する市民や企業等の取組みをまちぶらプロジェクトに認定(9件)するとともに、初動期の活動に対する助成(4件)を行うことで、まちなかの賑わいづくりの当事者としての意識醸成がなされた。
  - ・まちなか町家等活用助成(1件)を行い、まちづくりに取り組みやすい環境づくりが進んだ。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

### 評価(問題点とその要因)

#### ●エリア別の主な取組み

・新大工エリアでは、地元の取組みへの支援は進めているものの、集客拠点が工事により一時閉店していることや、市場が閉店したこと等により、商店街の賑わいが低下している。

・中島川・寺町・丸山エリアでは、回遊性向上のための道路整備や情報発信等、ハード・ソフトの取組みが進んでいるものの、眼鏡橋等の集客拠点の賑わいをエリア全体に十分に波及できていない。

・浜町・銅座エリアでは、市街地再開発事業の地権者間の合意形成や、浜町全体の具体的な取組みについて検討に時間を要している。また、銅座川プロムナードが整備中であるが、事業の進捗に時間を要している。

・新地・館内エリアでは、唐人屋敷跡の顕在化事業は進んでいるものの、館内エリアでは中国文化を体験できる場所が少なく、エリアの魅力が活かされていない。また、館内エリアと新地エリア間の一体感が十分でない。

・東山手・南山手エリアでは、洋館活用の仕組みを検討中であり、市民等のニーズに合った活用が進んでいない。また、土地利用等の規制により、消費・交流につながる機能の導入が難しく、集客拠点の賑わいをエリア全体へ十分に波及できていない。

#### ●軸づくりの取組み

・新型コロナウイルス感染症拡大のため、民間案内所等に係る事業者との連携に時間を要しており、まちなかへのさらなる人流の誘導が図れていない。

#### ●地域力によるまちづくり

・市民のまちづくりに対する機運は向上中であるものの、まちぶらプロジェクトの認知度が低く、新たなまちづくりの一員として参画する余地がある。

### 今後の取組方針

#### ●エリア別の主な取組み

・新大工エリアでは、令和4年度に市街地再開発事業が完成する予定であり、事業完成後も商店街の取組みを引き続き支援し、魅力や賑わいの向上に努める。

・中島川・寺町・丸山エリアでは、地域主体の歳時の顕在化への取組みの支援や町家助成等を引き続き行い、和の魅力を高める。また、眼鏡橋等や、新市庁舎の集客を波及させるため、回遊路整備や情報発信を進める。

・浜町・銅座エリアでは、市街地再開発準備組合や、地元商店街・企業への支援を引き続き行い、魅力や賑わいの向上に努める。また、銅座川プロムナードの活用方法や交流を生む仕掛けづくり等について地元と検討を進める。

・館内・新地エリアでは、唐人屋敷跡の顕在化に係る広場等の整備を引き続き行い、エリアの賑わいの基盤づくりを進めるとともに、中国文化の体験ができる場の創出や、まちの魅力の発信等に地元と連携し取り組む。

・東山手・南山手エリアでは、地元協議会と連携し、実施計画(アクションプラン)について検討及び実施を行う。また、歴史まちづくり計画等に基づき、居留地の歴史・文化を活かした賑わいづくりを進める。

#### ●軸づくりによる取組み

・回遊性向上を図るため、情報発信を工夫し、人の行動変容を促していく。また、長崎駅等の集客施設からまちなかへ人を誘導するため、民間事業者との連携も含め検討を進める。

#### ●地域力によるまちづくり

・まちぶらプロジェクトの周知を図り、まちづくりへの市民の参画を促すため、10周年イベントやまちぶらプロジェクトの映像等により、効果的にまちなかの情報発信を行う。

・事業者間の相乗効果を生むために、職員のコーディネート力を向上させるとともに、事業者の中でもそうしたコーディネーターができる人を発掘していく。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
454	(事業名) まちなか再生推進費	成果指標	まちなかの1日あたりの歩行者通行量	
	(事業目的) まちなかの人の回遊性を促すため、まちなか軸の活性化を中心に、各エリアの魅力を高める。	目標値	平日142,600人 休日134,200人	
	(事業概要) ・地域まちづくり活動支援の取組み ・まちなか町家等活用助成 ・まちなみ整備等の取組み ・まちなか賑わいづくり活動の支援等	実績値	平日103,690人 休日100,838人	
		達成率	平日72.7% 休日75.1%	
		決算額	16,607,042 円	
		成果指標・目標値の説明	歴史や文化を実感でき、またこれらを発信することで、人々が集い賑わうまちなかを目指すため、歩行者通行量を成果指標とした。	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町家等の保全、顕在化のための助成(4件)</li> <li>・まちなか町家等活用助成(1件)</li> <li>・まちなか賑わいづくり活動支援補助 (4件)</li> <li>・丸山～小島養生所跡資料館～館内エリアをつなぐマップの作成</li> <li>・地元と高校生が連携した取組みに対する支援</li> <li>・まちぶらプロジェクトの取組み概要やまちの魅力を発信する映像の放映先追加</li> <li>・まちなか魅力発信ポスターの作成及び配布</li> <li>・賑わい創出に寄与する市民等の取組みをまちぶらプロジェクト認定(9件)</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>新型コロナウイルスによる影響を受け、目標に及ばなかった。</p> <p>一方で、まちなか賑わいづくり活動支援事業によるまちなかの魅力を発信する新たな土産物の開発、事業者と地元商店街が連携したイベントの実施もあり、コロナ禍においても、新たな賑わい創出の工夫が見られた。</p> <p>今後、さらにまちなかの賑わいを創出していくため、まちなかの魅力向上を図り、長崎駅等の集客拠点から、まちなかへ人を誘導することが今後の課題である。</p>	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部	
個別施策	A3-3 交流のための都市機能を高め、受入態勢の整備とおもてなしの充実を図ります。	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民・事業者・行政が	来訪者の受入態勢を整えている。

### 令和3年度 of 取組概要

- 長崎駅周辺地区の再整備
  - ・長崎駅周辺土地区画整理事業において、令和4年9月の新幹線開業に向け、駅東側整備の進捗を図った。
  - ・長崎駅周辺再整備事業の将来の姿や新幹線開業に向けた進捗を市民に知ってもらうため、広報誌やホームページ、SNSなどを活用して周知を図った。

### 評価(成果)

- 長崎駅周辺地区の再整備
  - ・目標は達成できなかったものの、事業進捗率が45.4%から61.5%に向上するなど、着実に事業の進捗を図ることができた。
  - ・広報誌等による広報活動により市民の機運が高まり、イベント(駅舎見学等)に多くの市民が参加した。

### 評価(問題点とその要因)

- 長崎駅周辺地区の再整備
  - ・長崎駅周辺土地区画整理事業区域内では、東口駅前広場内において、道路、広場、建築(キャノピー、シェルター、昇降場等)、下水道、新駅ビルなど多くの工事が輻輳しているほか、供用中の国道上での工事(軌道移設、道路改良等)を行っていることから、事業進捗への影響が懸念される。

### 今後の取組方針

- 長崎駅周辺地区の再整備
  - ・長崎駅周辺土地区画整理事業について、令和4年9月の新幹線開業における東口駅前広場の暫定供用開始、令和7年度における東口駅前広場や多目的広場等の全体完成に向け、事業区域内の関連工事や関係機関と十分な調整を図りながら、計画的に事業進捗を図る。



【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
460	(事業名) 【補助】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区(予算補助)	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)
464	【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺地区	目標値	72.9 %
		総事業進捗率	61.5 %
		達成率	84.4 %
	(事業目的) 長崎駅周辺の未利用地を解消し、土地利用の 転換と有効活用を図り、国際観光都市長崎の陸 の玄関口にふさわしい都市拠点を形成する。	決算額	2,463,533,998 円
		当該年度執行率	58.3 %
	(事業概要) 【事業期間】平成21～令和5年度(令和10年度 に変更協議中) 【総事業量】A=19.2ha 【総事業費】15,368,963千円(約17,300,000千 円に変更協議中) 【事業費累計】9,447,470千円	成果指標・ 目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費 に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標と した。 同事業の資金計画における総事業費に占める事業費累 計の割合を目標値とした。
		取組実績、 成果・課題 等	(取組実績) 令和3年度は、業務委託35件、道路工事等32件、移転補 償等21件などを実施した。 また、関連工事の施工調整に日時を要したことなどによ り、工事費等において、1,728,457千円を令和4年度に繰り 越した。  (成果・課題等) 目標は達成できなかったものの、令和4年9月の新幹線 開業に向け、必要な整備等の進捗を図ることができた。 今後も令和4年9月の新幹線開業、令和7年度の全体完 成に向けて、駅東側の整備を推進するため、関連工事、関 係機関と十分な調整を図りながら進捗を図っていきたい。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部・中央総合事務所	
個別施策	E5-3 住環境の改善及び再生を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	各地区が	防災性の向上や住環境の改善が図られ、住みやすくなっている。

### 令和3年度の取組概要

- 斜面市街地再生事業の実施(まちづくり部・中央総合事務所)
  - ・斜面市街地再生事業を実施している8地区において、用地交渉及び道路改良工事を行った。
- 東長崎平間・東地区土地区画整理事業の実施
  - ・道路や緑地の整備、街区の整地、電線路移設補償等を行った。
  - ・土地区画整理事業の完了に向け、事業計画の内容を精査し、変更認可を受けた。
- 東長崎地区における都市基盤施設整備事業の実施
  - ・東長崎縦貫線の用地買収及び建物移転補償を推進し、道路改良工事を施工した。
  - ・つつじが丘西線の用地平面図等の作成及び建物等調査に着手した。
  - ・(仮称)清藤公園の整備工事を施工した。

### 評価(成果)

- 斜面市街地再生事業の実施(まちづくり部・中央総合事務所)
  - ・斜面市街地再生事業を実施している8地区のうち立山地区において、道路改良工事を施工し事業の進捗を図った。
- 東長崎平間・東地区土地区画整理事業の実施
  - ・道路や緑地の整備、街区の整地等を精力的に行い、事業区域内の整備が大きく進捗し、事業完了の目途を立てることができた。
- 東長崎地区における都市基盤施設整備事業の実施
  - ・東長崎縦貫線において、用地買収13件、建物移転補償14件を完了し、道路改良工事を一部施工した。
  - ・つつじが丘西線の用地平面図等の作成及び建物等調査に着手した。
  - ・(仮称)清藤公園において整備工事を施工した。

### 評価(問題点とその要因)

- 斜面市街地再生事業の実施(まちづくり部・中央総合事務所)
  - ・斜面市街地再生事業について、用地交渉等が難航し、事業用地が確保できていない部分がある。
- 東長崎平間・東地区土地区画整理事業の実施
  - ・宅地整備1件について、権利者との協議が難航している。
- 東長崎地区における都市基盤施設整備事業の実施
  - ・東長崎縦貫線の用地買収1件について、権利者との協議が難航している。

### 今後の取組方針

- 斜面市街地再生事業の実施(まちづくり部・中央総合事務所)
  - ・斜面市街地再生事業については、事業着手している生活道路の早期完成に努めるとともに、未着手部分については、急速な人口減少と高齢化に対応するため、「車みち整備事業」など即効性のある事業も含め、より効果的な事業への見直しを進め、引き続き、防災性の向上及び住環境の改善の推進に取り組む。
- 東長崎平間・東地区土地区画整理事業の実施
  - ・面地、道路等の残工事の施工や換地処分に向けた手続きを精力的に進め、土地区画整理事業の完了を目指す。
- 東長崎地区における都市基盤施設整備事業の実施
  - ・東長崎縦貫線等の都市計画道路や公園の整備工事を精力的に行い、事業の計画的な進捗を図る。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
459	<p>(事業名) 【補助】斜面市街地再生事業費 十善寺地区ほか7地区</p> <p>(事業目的) 生活道路の整備により、住環境の改善と防災・防火性の向上を図る。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】 ・平成7年度～令和6年度 【総事業量】 ・生活道路総延長 L=3,773m 十善寺地区 L= 330m 江平地区 L= 387m 稲佐・朝日地区 L= 587m 北大浦地区 L= 380m 南大浦地区 L= 515m 水の浦地区 L= 459m 岩瀬道・立神地区 L= 400m 立山地区 L= 715m</p>	成果指標	車道隣接宅地	
		目標値	1,010	棟
		実績値	981	棟
		達成率	97.1	%
		決算額	28,034,600	円
		成果指標・目標値の説明	<p>宅地が車道に隣接することで、生活の利便性や防災性が向上すると考えられるため、事業区域内の車道近接宅地の棟数を指標とする。 なお、事業による道路整備の完成状態を基に目標値を定めた。</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) ・立山地区 道路改良工事 L=57.5m</p> <p>(成果・課題等) 令和3年度の達成率は97.1%であり、目標を達成できなかったが、一部、道路改良工事を実施した。なお、引き続き用地交渉を進め、工事の完成に努める。</p>			

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
463	<p>(事業名) 【単独】土地区画整理事業費 東長崎平間・東地区</p> <p>(事業目的) 東長崎平間・東地区の健全かつ良好な住環境を有する住宅地の形成を図る。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成14年度～令和8年度 【総事業量】 ・施設面積A=30.0ha ・道路整備L=9,865m ・建物等移転補償213戸 【総事業費】11,000,000千円 【事業費累計】10,851,519千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	98.8	%
		総事業進捗率	98.7	%
		達成率	99.9	%
		決算額	164,515,029	円
		当該年度執行率	90.3	%
		成果指標・目標値の説明	<p>事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。</p>	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 道路や緑地の整備、街区の整地、電線路移設補償などを実施した。 土地区画整理事業の完了に向け、事業計画の内容を精査し、変更認可を受けた。</p> <p>(成果・課題等) 今後画地、道路等の残工事の施工や換地処分に向けた手続きを精力的に進めていく必要がある。</p>			

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	まちづくり部		
個別施策	E7-2 公共交通の利便性や安全性の向上を図ります		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市民が	充実された公共交通機関を利用している。	

### 令和3年度の取組概要

- 公共交通機関の維持
  - ・将来にわたり持続可能な公共交通へと転換していくための取り組むべき施策を示すものとして、令和3年8月に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づく「長崎市地域公共交通計画」を策定した。
  - ・令和3年4月から、南部地区の野母崎線でハブ&スポーク型運行を開始した。
  - ・コミュニティバス外海線で利用実態に応じたダイヤ・ルートの見直しを実施した。
  - ・大雨による道路災害でバスが不通となった千々・大崎地区において、タクシーによる代替輸送を行った。
  - ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い利用者が大幅に減少したため、各交通事業者に対して支援金を支出した。
- 公共交通機関の利便性向上と利用促進
  - ・路面電車のバリアフリー化を促進するため、超低床式路面電車(1両)の導入に対して支援を行った。
  - ・路面電車のLRT化に取り組む都市の市長等が参加し、それぞれの都市の取組みや路面電車の魅力を全国に発信する「LRT都市サミット」を開催した。

### 評価(成果)

- 公共交通機関の維持
  - ・「長崎市地域公共交通計画」を策定したことを契機に、長崎バスと県営バスとで共同経営計画の策定が進められるなど、持続可能なバス路線網の構築の取組みが進んだ。
  - ・南部地区のハブ&スポーク化により、令和3年4月のダイヤ改正では野母崎～栄上間の大幅な減便が避けられ、あわせて事業者の運行コスト縮減の効果も生じた。
  - ・バスが不通となった期間の千々・大崎地区の日常の移動手段が確保された。
  - ・新型コロナウイルス感染症関連では、路線バス、路面電車、タクシーの各事業者に市独自の支援金を支出したことで、公共交通の運行継続につながった。
- 公共交通機関の利便性向上と利用促進
  - ・超低床式路面電車1両が導入され、高齢者や障害者をはじめ全ての人にやさしく、利用しやすい公共交通機関の整備が図られた。
  - ・LRT都市サミットは、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い急遽リモート開催への変更を余儀なくされたが、YouTubeでのライブ配信等で不特定多数が視聴し、また路面電車フォトコンテストにも多数の応募があったなど、路面電車への関心を高められた。

### 評価(問題点とその要因)

- 公共交通機関の維持
  - ・人口減少と新型コロナウイルス感染症拡大による利用者の急減により、交通事業者は依然として厳しい経営状況にあり、大幅な減便や不採算路線からの撤退の可能性は高まっている。
  - ・縁辺部は人口規模が小さく、高齢化も進行し、通勤・通学など毎日の利用者も多くは見込めないことから、コミュニティバスや乗合タクシー、デマンド交通(予約型乗合タクシー)では、乗車率が低迷している路線があり、補助金が増加傾向である。

### 今後の取組方針

- 公共交通機関の維持
  - ・「長崎市地域公共交通計画」に掲げた「既存路線の効率化・見直し」の取組みに従い、路線の維持・確保に向けた対応策を市民や公共交通事業者と一体となって推進するとともに、東部地区での路線網や運行形態の見直しを更に後押ししていくため、「長崎市地域公共交通利便増進実施計画」を令和4年度に策定する。
  - ・コミュニティバスや乗合タクシー、デマンド交通(予約型乗合タクシー)は、利用実態等を踏まえるとともに、利用者や事業者等の関係者と協議・調整を図りながら、地域の生活実態に即した運行内容へ見直しを行うなど、路線の維持に努める。
  - ・離島航路は、離島と本土を繋ぐ唯一の移動手段であることから、利用実態等を踏まえるとともに、利用者や事業者等の関係者との協議・調整を図りながら、「航路改善計画」に掲げる方策を実施し、航路の維持に努める。
  - ・公共交通はポストコロナの社会でも必要不可欠な社会基盤であることから、交通事業者の実情を把握しながら、可能な限り支援を検討する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
455	<p>(事業名) 離島航路維持対策費</p> <p>(事業目的) 離島と本土をつなぐ唯一の移動手段である離島航路を維持する。</p> <p>(事業概要) 長崎～伊王島～高島間の定期航路及び池島～神浦間の不定期航路に対して運航補助を行う。</p>	成果指標	年間輸送人員(長崎～伊王島～高島航路)
		目標値	173,834 人
		実績値	154,000 人
		達成率	88.6 %
		決算額	88,488,042 円
		成果指標・目標値の説明	離島地区の住民の利便性確保を客観的に判断する指標として、長崎～伊王島～高島航路の年間輸送人員を成果指標とした。 事業者が算出した、令和3年度の年間輸送人員を目標値を設定した。
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 運航回数(1日あたり) ・長崎～伊王島～高島航路:8往復 ・神浦～池島航路:4往復</p> <p>(成果・課題等) ・長崎～伊王島～高島航路:154,000人 ・神浦～池島航路:3,729人 航路の維持により住民の移動手段の確保が図られた。</p>		
456	<p>(事業名) コミュニティバス運行費</p> <p>(事業目的) バス空白地域や不便地域における地区住民の利便性の向上を図る。</p> <p>(事業概要) バス空白地域や不便地域において、コミュニティバス及びデマンド交通(予約型乗合タクシー)の運行を行う。(合計9路線) ・離島バス路線: 伊王島線、高島線、池島線 ・地域コミュニティバス: 外海線、琴海尾戸線、香焼三和線、三和線、野母崎線 ・デマンド交通(予約型乗合タクシー): 琴海区域</p>	成果指標	年間輸送人員
		目標値	91,000 人
		実績値	91,135 人
		達成率	100.1 %
		決算額	77,145,968 円
		成果指標・目標値の説明	住民の利便性向上を客観的に判断する指標として、年間の輸送人員(全路線合計)を成果指標とした。 人口減少の中でも利用者数は前年度並みの実績を維持することを目標とした。
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 運行回数(1日あたり) ・離島バス路線: 伊王島線(10便)、高島線(17便)、池島線(22便) ・地域コミュニティバス: 外海線(21便)、琴海尾戸線(6便)、 香焼三和線(8便)、三和線(4便)、 野母崎線(10便) ・デマンド交通(予約型乗合タクシー): 琴海区域(最大24便)</p> <p>(成果・課題等) 年間輸送人員:91,135人(9路線合計) ・各路線の運行により住民の利便性向上が図られた。</p>		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	建築部	
個別施策	E5-3 住環境の改善及び再生を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	各地区が	防災性の向上や住環境の改善が図られ、住みやすくなっている。

令和3年度の取組概要

- 老朽危険空き家の除却及び跡地整備
  - ・老朽危険空き家のうち、市への寄付等の一定条件を満たす老朽危険空き家を除去し、跡地を広場等に整備する老朽危険空き家対策事業を実施した。
  - ・「長崎市空家等対策計画」に基づき、特定空家等除却費補助金助成制度の活用も促しながら、除却へ向けた指導を行った。

評価(成果)

- 老朽危険空き家の除却及び跡地整備
  - ・老朽危険空き家のうち、老朽危険空き家対策事業を1件実施し、跡地をポケットパークとして整備した。
  - ・特定空家等除却費補助金制度により37件の除却に対して補助を行った。

評価(問題点とその要因)

- 老朽危険空き家の除却及び跡地整備
  - ・老朽危険空き家対策事業について、要件(老朽度や所有権、地元の同意等)に合致する空き家に関する相談が少ないため。

今後の取組方針

- 老朽危険空き家の除却及び跡地整備
  - ・老朽危険空き家対策事業については、市民へ事業の周知を図る。また、「長崎市空家等対策計画」に基づき、老朽危険空き家の所有者への指導の際に、特定空家等除却費補助金制度の活用による除却を促し、空き家対策の更なる推進に取り組む。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
427	(事業名) 老朽危険空き家対策推進費 うち老朽危険空き家対策事業  (事業目的) 老朽危険空き家を除却し、跡地を公共空間として整備することで、住環境の改善と防火性の向上を図る。  (事業概要) 【事業期間】平成18年度～令和3年度 【事業費累計】223,709千円 【対象区域】全市域 【対象要件】 土地・建物を市に寄付できること等	成果指標	除却件数
		目標値	62 件
		実績値	54 件
		達成率	87.1 %
		決算額	3,738,666 円
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、除却件数を成果指標とした。 直近値(平成25年度)から毎年度3件増を目標とした。
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・相談受付、現地調査 ・登記測量業務発注 ・除却工事(跡地整備含む)  (成果・課題等) ・申込相談2件、除却1件 ・特定空家等除却費補助金相談者や空き家所有者への指導の際に、対策事業についても紹介した。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	建築部	
個別施策	E6-1 子どもから高齢者までが快適に安心して住める市営住宅を供給します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市営住宅を必要とする世帯が	市営住宅で安心して暮らしている。

### 令和3年度の取組概要

- 市営住宅の改善
  - ・社会情勢にあわせた適正な戸数の確保と安全・快適に暮らせるよう、公共施設マネジメント及び「長崎市公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅の建替え((仮称)野母崎団地)や改修等を行い、管理戸数の縮減を図るとともに居住水準の向上を図った。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・市営住宅におけるコミュニティを活性化するため、新築住宅や住戸改善住宅等の入居者募集時に定期借家制度(10年間の入居期間を設定)による子育て世帯を対象とした募集を行った。
  - ・空き住宅の入居者募集時に、特定目的住宅として子育て世帯を対象に優先枠を設定して募集を行った。
  - ・台所、風呂等の水廻りを中心に子育てしやすい住宅となるよう改善工事を行い、新たに子育て世帯を対象とした募集を行った。
- 新規就労者・移住者への住まいの支援
  - ・単身の新規就労者(満30歳未満)及び移住者を対象とした募集を行った。
- 島しょ部での集約移転事業
  - ・島しょ部における集約化を図るため、高島地区において、耐震性のある3住棟へのエレベーター設置によって利便性向上を図り、移転を進めた。また、耐震性が低い住宅の入居者と、集約移転の協議を実施した。
  - ・池島地区において、集約移転のために入居者との協議を実施した。

### 評価(成果)

- 市営住宅の改善
  - ・(仮称)野母崎団地の新築主体工事へ着手するとともに、市内各地域の市営住宅改修を行い、長寿命化を図ることにより、居住水準が向上した。
- 子育て世帯への住まいの支援
  - ・定期借家制度による入居が6戸、特定目的住宅による入居が14戸あった。
  - ・新たに子育てしやすい住宅に改修した住戸が17戸整備され、3戸の入居があった。
- 新規就労者・移住者への住まいの支援
  - ・令和3年度から単身の新規就労者(満30歳未満)及び移住者が入居可能となるよう市営住宅の入居要件を緩和したことで、新たに1戸の入居があった。
  - ・社会実験として宿町アパートの2戸に学生が入居して自治会活動に参加したことで、多世代交流が生まれ、市営住宅におけるコミュニティの活性化の可能性が確認できた。
- 島しょ部での集約移転事業
  - ・高島光町住宅の3住棟へのエレベーター設置が完了したことで、高層階への集約移転が容易となり、耐震性のある同住棟へ移転集約が進み、安全安心な居住環境の確保につながった。
  - ・池島地区の入居者との協議を行うことで意向を把握した。

### 評価(問題点とその要因)

- 市営住宅の改善
  - ・既存の市営住宅について、多数の住宅が同時期に建設されていることから、建物の耐用年限内での建替えや長寿命化計画に基づく修繕周期での各種改修・改善工事等の時期も集中しており、平準化した対応が難しい状況である。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・子育てに適した住宅の供給に当たって、供給する住宅の条件として、空き駐車場があること、学校に近いことなどの基準を満たした住宅を選定したが、交通の利便性が高い等、子育て世帯のニーズにあった地域での住戸供給が限られていたため、特定目的住宅については、募集住戸数に対して応募住戸数が少なく、空き住戸が生じた。
  - ・地域により子育て世帯の入居希望者の偏りがあることなど、ニーズを把握しつつ募集数を調整していく必要がある。
- 新規就労者・移住者への住まいの支援
  - ・単身の新規就労者(満30歳未満)及び移住者向け住戸として23戸を募集したが、初年度で周知がまだ十分されていないことから、1戸の入居にとどまった。
- 島しょ部での集約移転事業
  - ・高島地区は耐震性のある住棟への集約を進めているが、入居者のニーズに合うエレベーターを設置した住棟の空き住戸が依然として不足していることから、集約が進まない状況が続いている。
  - ・池島地区は住民との協議を実施したが、各住民の諸事情により、移転について理解を得られず、集約が進んでいない。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 市営住宅の改善
  - ・令和2年度に「長崎市公営住宅等長寿命化計画」の改定を行ったことから、同計画等に基づき、建替・改善・改修を行うとともに、大規模団地における建替計画をPPP/PFIの活用も含めて検討を進める。
  - ・野母崎地区において移転集約及び地域の担い手を増やすための住宅建設を進める。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・入居要件の検討や、募集住宅の選定にあたり、子育て世帯が求める住居の立地や設備等、細かいニーズを探る。
  - ・引き続き、市営住宅の一部を子育て世帯に適した住戸に改修し、供給する。
- 新規就労者・移住者への住まいの支援
  - ・単身の新規就労者(満30歳未満)及び移住者に対し、引き続き市営住宅募集枠を設けるとともに、インターネットを活用した申込み方法の検討等を進め、入居の促進に努める。
- 島しょ部での集約移転事業
  - ・高島地区及び池島地区について、住民との意見交換を行いながら引き続き集約移転を進める。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
483	(事業名) <b>【補助】公営住宅建設事業費</b> 大園団地  (事業目的) 老朽化した公営住宅の建替により居住水準の向上を図り、住宅に困窮する市民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。  (事業概要) 平成19年度から令和3年度までをⅢ期に分けて、710戸から440戸に建て替える。  <b>【事業期間】</b> 平成19年度～令和3年度 <b>【総事業量】</b> 建替戸数440戸 <b>【総事業費】</b> 7,028,914千円 <b>【事業費累計】</b> 6,959,651千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	99.0	%
		総事業進捗率	99.0	%
		達成率	100.0	%
		決算額	4,922,500	円
		当該年度執行率	100.0	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 繰越事業である敷地の確定測量及び登記を実施した。  (成果・課題等) 上記事業が完了した。 ※全体事業が完了した。			

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
483	(事業名) <b>【補助】公営住宅建設事業費</b> (仮称)野母崎団地  (事業目的) 建物の経年劣化に加えて、水回り機能の低下やバリアフリーに対応していない市営住宅を建て替えることで、居住水準の向上を図り、住宅に困窮する市民の生活の安定と社会福祉の増進に寄与する。  (事業概要) 野母崎地区において昭和41年度から昭和59年度にかけて建設された補強コンクリートブロック造の小規模な住宅である5団地7棟(21戸)を集約し、別敷地において鉄筋コンクリート造により建替事業を行う。  <b>【事業期間】</b> 令和2年度～令和5年度 <b>【総事業量】</b> 建替戸数20戸 <b>【総事業費】</b> 558,750千円 <b>【事業費累計】</b> 167,464千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	31.5	%
		総事業進捗率	30.0	%
		達成率	95.2	%
		決算額	139,014,000	円
		当該年度執行率	94.2	%
		成果指標・目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 新築主体工事、管工事、電気工事に着手した。  (成果・課題等) 計画通り進捗している。			



## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	建築部	
個別施策	E6-2 民間住宅ストックの有効活用を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	既存の民間住宅が	改善等により健全な状態で維持され、長く活用されている。

### 令和3年度の実施概要

- 空家・空き地の活用支援
  - ・空家活用の促進のため、活用可能な空家の調査を行って、所有者の意向が確認できたものから、空家・空き地情報バンクのホームページにて情報提供を行った。
  - ・空家を有効活用することにより、移住促進及び地域コミュニティの活性化を図ることを目的として、戸建て空家のリフォーム工事等を行う者に対してその費用の一部を助成した(定住促進空家活用補助金)。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・民間住宅を安全で快適な状態で長く活用するとともに、子育て家庭の経済的負担の軽減や、家族の支え合いによる子育てをしやすい環境をつくるため、多子世帯、又は新たに三世代で同居若しくは近居するために住宅を新築、取得又は改修を行う世帯に対して、その費用の一部を助成した(長崎市子育て住まいづくり支援費補助金)。

### 評価(成果)

- 空家・空き地の活用支援
  - ・市民等への広報周知を実施し、令和3年度の空家・空き地情報バンクへの登録実績は12件となった。
  - ・「定住促進空家活用補助金」について、市外からの住み替えを目的とした空家のリフォーム工事に対しては5件、家財処分に対しては1件の補助を行い、空家の活用及び移住定住の促進につながった。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・「長崎市子育て住まいづくり支援費補助金」について、子育て世帯等に対し、64件(三世代同居・近居35件、多子世帯29件)の補助を行い、子育て家庭の経済的負担の軽減や、家族の支え合いによる子育てしやすい環境づくりにつながった。

### 評価(問題点とその要因)

- 空家・空き地の活用支援
  - ・長崎市内の空家数に対して空家・空き地情報バンク登録数が少ない。相続放棄や相続などで複雑となった所有権の問題や、所有者が空家を倉庫などに利用していたり、家財処分などができないなどの問題が登録増につながらない要因と想定される。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・子育て世帯の負担軽減に加え、既存住宅の活用や空家の解消を図りたいが、子育て世帯は新築住宅の希望が多いことや、子育て世帯が希望する空家等の供給や情報等が少ないことから、空家を含めた中古物件の活用につながりにくい。

### 今後の実施方針

- 空家・空き地の活用支援
  - ・空家・空き地情報バンクへの登録について、新たに対象者・移住者を市内在住者まで拡大させるほか、登録を増加させる取組みとして、「広報ながさき」等の広報媒体、自治会回覧等に加え、平成29年度から空家対策に関する出前講座を実施しており、引き続きその制度の周知に努める。
  - ・モデル地区での空家調査を実施し、自治会と協力した空家の把握やバンク登録物件の掘り起こしを行う。
  - ・平成29年度から開始した定住促進空家活用補助金制度の周知に努め、空家の活用及び移住定住を促進する。
- 子育て世帯の住まいの支援
  - ・「長崎市子育て住まいづくり支援費補助金」について、補助制度をより一層周知するとともに、中古物件の活用を促進する。
  - ・住まい方や住まいに関する価値観が多様化しているため、空家を活用したリノベーションなどの新しいライフスタイルの情報を発信し、自分らしい暮らしの周知・啓発を行う。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
480	(事業名) 定住促進空き家活用補助金	成果指標	移住支援空き家リフォーム補助利用件数
	(事業目的) 戸建て空き家を移住や地域コミュニティ促進等での活用を目的としたリフォーム工事等を行う場合、費用の一部を助成することで空き家の活用を図る。	目標値	6 件
	(事業概要) (1)移住支援空き家リフォーム補助 ・市外からの住み替えを目的とした空き家のリフォーム工事費用の一部助成	実績値	5 件
	(2)特定目的活用支援空き家リフォーム補助 ・空き家を地域コミュニティ促進に資する用途で活用することを目的としたリフォーム工事費用の一部助成	達成率	83.3 %
	(3)空き家家財処分費補助 ・市外からの住み替えを目的とした空き家に残る家財等の撤去・処分費用の一部助成	決算額	3,379,932 円
		成果指標・目標値の説明	移住・定住の促進と空き家活用のため、移住支援空き家リフォーム補助の利用件数を成果指標とし、見込み件数を目標値とした。
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 補助金の利用件数 (1)5件 (2)0件 (3)1件  (成果・課題等) 都心部等からの移住・定住促進に取り組んだが、目標値に届かなかった。今後も、空き家バンク登録者や移住希望者へ制度を更に周知し、制度の利用及び空き家の活用を促進する。

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	建築部	
個別施策	E6-3 安全・安心な民間住宅・建築物の普及を促進します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図
	市民が	安全に安心して住みつけられる住まいに暮らしている。

### 令和3年度の実施概要

- 木造戸建て住宅の耐震化
  - ・市民が安心して建物を利用できるよう、耐震化に係る市民への直接的な働きかけとして戸別訪問の実施や新たに「固定資産税・都市計画税に関するお知らせ」に支援事業の周知文を掲載するなど、耐震化促進の啓発及び事業周知を引き続き継続し、耐震改修工事費の助成を行った。
- 老朽危険建築物の除却
  - ・市民が安心して生活できるよう、老朽危険空き家のうち、市への寄付等の一定条件を満たす老朽危険空き家を除去し、跡地を広場等に整備する老朽危険空き家対策事業を実施した。
  - ・「長崎市空家等対策計画」に基づき、特定空家等除却費補助金助成制度の活用も促しながら、除却へ向けた指導を行った。

### 評価(成果)

- 木造戸建て住宅の耐震化
  - ・戸別訪問(400戸)や連携する関係団体の相談会等による案内により、周知・啓発を図り、耐震改修工事費等の助成(耐震診断29件、耐震改修工事補助15件、除却工事補助4件)を行うことにより、耐震性がない木造戸建て住宅の件数が減少し、既存の木造戸建て住宅において、安全・安心に住み続けられるようになった。
- 老朽危険建築物の除却
  - ・所有者等への指導を行い、113件の除却が行われ、うち37件は特定空家等除却費補助金が活用された。
  - ・老朽危険空き家のうち、老朽危険空き家対策事業を1件実施し、ポケットパークを整備した。

### 評価(問題点とその要因)

- 木造戸建て住宅の耐震化
  - ・民間住宅においては、建て替え等により、一定数の耐震化が進んでいるものの、補助金を活用した木造戸建て住宅の耐震改修工事件数が少ない。耐震化の必要性に関する認識や耐震化コスト等により改修工事の実施に至らないケースが多いことが要因の一つである。
- 老朽危険建築物の除却
  - ・人口減少により空き家の相談が年々増加傾向にあり、老朽危険空き家も増加することが見込まれる。所有者不明、或いは所有者において除却後の跡地利用が見込めないこと、経済的な負担が大きいことなどが改善が進まない主な要因となっている。

### 今後の取組方針

- 木造戸建て住宅の耐震化
  - ・耐震化に係る市民の意識をさらに高めるため、様々な広報媒体の活用や戸別訪問等、市民への直接的な働きかけによる周知・啓発活動に更に取り組む。
  - ・国や県に対し、補助事業財源の確保について強く要望するなど財源の確保に努める。
  - ・耐震補強のための耐震改修や内外装等のリフォームと併せた耐震改修に加え、建替による耐震化を促し、住宅の耐震化を図る。
- 老朽危険建築物の除却
  - ・特定空家等除却費補助金の周知を徹底するとともに所有者に対し、改善へ向けた指導を粘り強く行う。
  - ・「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき策定した「空家等対策計画」の基本方針に則り、命令・行政代執行まで踏み込んだ指導強化を図る。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
427	<p>(事業名) 特定空家等除却費補助金</p> <p>(事業目的) 長年放置され、周辺の住環境を悪化させている危険な空き家住宅を除却する費用の一部を助成し、安全・安心な住環境づくりを促進する。</p> <p>(事業概要) 老朽化し危険な空き家住宅の除却費の40% (上限50万円)を助成する。</p>	成果指標	除却件数
		目標値	40 件
		実績値	37 件
		達成率	92.5 %
		決算額	17,740,000 円
		成果指標・目標値の説明	危険な空家を除却するために、本事業が有効な手段であることから、本事業を活用し、除却工事を行った件数を成果指標にしている。目標値は、過去の実績を勘案して設定した。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) <補助金によるもの> 目標値 40件 実績値 37件 <指導によるもの> 目標値 40件 実績値 76件 <合計> 目標値 80件 実績値 113件		
	(成果・課題等) 目標を達成でき住環境の改善が図られた。しかし、老朽危険空き家を含めた特定空家等の残存件数は増加しているため、対策の強化が必要である。		
頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
427	<p>(事業名) 安全・安心住まいづくり支援費</p> <p>(事業目的) 地震による住宅の倒壊等を防止し、被害の軽減を図る。</p> <p>(事業概要) 昭和56年の建築基準法の改正以前の旧耐震基準により建築された木造戸建住宅の耐震診断、耐震改修設計及び耐震改修工事に要する費用の一部を助成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断費の一部助成 (診断費61.5千円のうち51千円)</li> <li>耐震改修設計・工事の総合支援 (工事費の4/5、上限1,000千円)</li> <li>除却工事費の一部助成 (工事費の23%、上限300千円)</li> <li>防火改修工事費の一部助成 (工事費の1/2、上限300千円)</li> </ul>	成果指標	木造戸建て住宅の耐震改修工事件数
		目標値	40 件
		実績値	15 件
		達成率	37.5 %
		決算額	18,172,000 円
		成果指標・目標値の説明	木造戸建住宅の耐震化率を上げるには、耐震化を図ることが重要であるため、本事業を活用し、耐震改修工事を行った件数を成果指標にしている。目標値は、過去の実績を勘案して設定した。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・耐震診断: 29件 ・総合支援: 15件 (うち防火改修工事を含むもの2件) ・除却工事: 4件		
	(成果・課題等) 広報媒体の活用や個別訪問の実施などで啓発強化を図っているが、いまだ改善件数は十分ではない。今後も他課との連携を強化し、市民へのさらなる周知を図るとともに、実施に係る財源確保に努めていく必要がある。		

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
8	土 木 費	(29,913,692,753) 26,749,542,730	(22,930,149,321) 20,104,037,320	(5,209,825,742) 4,974,740,742	(1,773,717,690) 1,670,764,668
	1 土 木 管 理 費	(1,119,662,140) 364,328,000	(987,704,577) 248,926,848	(34,324,000) 29,139,000	(97,633,563) 86,262,152

【土木部・まちづくり部・中央総合事務所・東総合事務所・北総合事務所】

1目 土木総務費	予算額	205,222,000 円	決算額	141,579,320 円
			(前年度繰越額)	31,406,439 円)
1 土木総務費				141,579,320 円
			(越)	31,406,439 円)
(1) 地籍調査費				139,786,648 円
			(越)	31,406,439 円)
ア 委託料				132,962,500 円
			(越)	30,085,000 円)
(ア) 一筆地調査等委託				132,632,500 円
			(越)	30,030,000 円)
(イ) 地籍調査支援システム保守委託				330,000 円
			(越)	55,000 円)
イ 長崎県国土調査推進協議会負担金				410,000 円
ウ その他経費(報酬、通信運搬費ほか)				6,414,148 円
			(越)	1,321,439 円)
(2) 九州自然歩道管理受託費				1,574,672 円
ア 九州自然歩道パトロール委託料				1,511,840 円
イ 消耗品費				62,832 円
(3) 長崎県道路協会負担金				218,000 円

【建築部】

2目 建築指導費	予算額	159,106,000 円	決算額	107,347,528 円
			(前年度繰越額)	14,643,000 円)
1 建築指導費				61,043,528 円
			(越)	14,643,000 円)
(1) 建築審査会費(3回)				188,140 円
(2) 建築行政協力員費				309,000 円
(3) 建築指導行政費				7,764,722 円
ア 委託料				3,342,130 円
(ア) 建築行政共用データベースシステム利用及びデータ管理委託				1,630,750 円

(イ) 指定道路情報管理用システム等保守委託	1,161,380 円
(ウ) 指定道路情報等窓口閲覧システム移行委託	550,000 円
イ 負担金	226,100 円
(ア) 日本建築行政会議負担	100,000 円
(イ) その他	126,100 円
ウ その他経費(消耗品費、OA機器借上料ほか)	4,196,492 円
(4) 老朽危険空き家対策推進費	21,951,666 円
ア 委託料	844,566 円
(ア) 境界確定委託(1件)	371,566 円
(イ) 緊急安全代行措置委託(1件)	473,000 円
イ 工事費	3,367,100 円

事業箇所	事業費	事業の概要
[家屋解体工事]		
野 母 町	3,367,100 円	木造2階建解体 延床面積 A = 88.7m <sup>2</sup> ポケットパーク A = 78.7m <sup>2</sup>

ウ 特定空家等除却費補助金(37件)	17,740,000 円
(5) アスベスト対策費補助金(5件)	404,000 円
(6) ブロック塀等除却費補助金(7件)	895,000 円
(7) 宅地のがけ災害対策費補助金(31件)	29,531,000 円
	(越 14,643,000 円)
2 耐震化推進費補助金	18,172,000 円
(1) 安全・安心住まいづくり支援費	18,172,000 円
ア 耐震診断委託料(29件)	1,479,000 円
イ 補助金	16,693,000 円
(ア) 除却工事費補助(4件)	1,093,000 円
(イ) 耐震改修設計・工事費補助(15件)	15,000,000 円
(ウ) 防火改修工事費補助(2件)	600,000 円
3 【補助】耐震化推進事業費補助金	28,132,000 円
(1) 要緊急安全確認大規模建築物	28,132,000 円
ア 耐震改修工事費補助(1件)	28,132,000 円

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
2	道路橋りょう費	(5,569,671,813) 4,622,916,692	(4,494,205,718) 3,682,988,731	(755,606,570) 664,606,570	(319,859,525) 275,321,391

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

1目	道路橋りょう総務費	予算額	97,971,947 円	決算額	76,283,282 円
1	道路橋りょう総務費				75,309,712 円
	(1) 道路管理費				15,616,721 円
	ア 委託料				12,471,921 円
	(ア) 道路台帳システム保守委託				3,781,800 円
	(イ) 道路台帳更新測量委託				5,680,400 円
	(ウ) 分筆登記委託				1,305,003 円
	(エ) 訴訟委託				1,704,718 円
	イ その他経費(修繕料、土地借上料ほか)				3,144,800 円
	(2) 道路管理費(総合事務所)				44,394,110 円
	ア 委託料				37,844,086 円
	(ア) 市道清掃委託				31,186,540 円
	(イ) 看板製作等委託				188,100 円
	(ウ) 用地測量等委託				4,959,476 円
	(エ) 訴訟委託				220,000 円
	(オ) 道路異常個所通報システム改修等委託				996,600 円
	(カ) 放置車両等撤去委託				105,600 円
	(キ) その他				187,770 円
	イ 道路事故見舞金(2件)				21,918 円
	ウ その他経費(保険料、燃料費ほか)				6,528,106 円
	(3) 現場事務所維持管理費				15,298,881 円
	ア 光熱水費				4,491,523 円
	イ 委託料				3,486,455 円
	(ア) 清掃委託				2,708,975 円
	(イ) 警備委託				209,880 円
	(ウ) 害虫駆除委託				88,000 円
	(エ) 空調設備保守点検委託				231,000 円
	(オ) 消防用設備保守点検委託				83,600 円
	(カ) 自家用電気工作物保安委託				132,000 円
	(キ) 貯水設備保守点検等委託				33,000 円
	ウ 下水道使用料				1,267,926 円

エ 水道利用加入負担金	275,000 円
オ その他経費(修繕料、燃料費ほか)	5,777,977 円
2 【単独】私道整備事業費補助金	973,570 円
(1) 鳴滝3丁目ほか(1件)	973,570 円

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

2目 道路橋りょう維持費	予算額	1,063,200,374 円	決算額	1,035,632,408 円
			(前年度繰越額	60,610,880 円)
1 道路橋りょう維持費				827,171,506 円
			(越	60,610,880 円)
(1) 街灯維持管理費(41,410灯)				152,647,256 円
ア 電気料				105,662,483 円
イ 施設修繕料				33,570,647 円
ウ 保守点検委託料				13,308,886 円
エ その他経費				105,240 円
(2) 斜面移送システム維持管理費(天神町、立山3丁目、水の浦町)				2,761,930 円
ア 電気料				61,760 円
イ 保守点検委託料				2,607,000 円
ウ その他経費				93,170 円
(3) グラバースカイロード維持管理費				6,589,076 円
ア 電気料				1,317,663 円
イ 施設修繕料				213,400 円
ウ 委託料				5,003,013 円
(ア) 警備・管理委託				2,745,813 円
(イ) 保守点検委託				2,257,200 円
エ その他経費				55,000 円
(4) 生活道路環境改善費				236,280 円
ア 委託料				236,280 円
(ア) 警備・管理委託				126,720 円
(イ) 自家用電気工作物保安委託				109,560 円
(5) 生活道路環境改善費(総合事務所)				664,936,964 円
			(越	60,610,880 円)
ア 道路維持作業員報酬等				35,124,519 円
イ 市道修繕料				423,601,392 円
			(越	60,610,880 円)



ウ 委託料		137,949,003 円
(ア) 警備・管理委託		3,549,150 円
(イ) 害虫駆除委託		616,000 円
(ウ) 工事資材等運搬委託		41,870,490 円
(エ) 廃棄物処理等委託		346,500 円
(オ) 橋梁点検委託		990,000 円
(カ) 測量委託		77,484 円
(キ) 特殊車両運転代行委託		152,460 円
(ク) 剪定・除草等委託		57,693,408 円
(ケ) 街路樹等剪定・管理委託		32,181,611 円
(コ) 看板製作等委託		113,300 円
(サ) 清掃委託		99,000 円
(シ) 土砂撤去等委託		259,600 円
エ 維持補修工事費		8,110,092 円
オ 維持補修用原材料費(ガードパイプ、生コンクリートほか)		24,483,920 円
カ 負担金		10,500 円
(ア) 安全運転管理者協議会負担		6,000 円
(イ) その他		4,500 円
キ その他経費(消耗品費、報償費ほか)		35,657,538 円
2 【単独】街路灯整備事業費		29,501,450 円
(1) LED街路灯(新設 343灯)		29,501,450 円
ア 工事費		29,501,450 円
3 【単独】道路照明灯整備事業費		176,438,872 円
(1) LED道路照明灯(LED化 1,124灯)		176,438,872 円
ア 工事費		176,438,872 円
4 【単独】次世代自動車購入費		2,520,580 円
(1) 電気自動車		2,520,580 円
ア 電源整備等委託料		77,000 円
イ 備品購入費(電気自動車 1台)		2,434,950 円
ウ その他経費		8,630 円

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

3目 道路橋りょう新設改良費	予算額	3,277,320,630 円	決算額	2,423,719,818 円
			(前年度繰越額	549,401,188 円 )

1 【補助】道路新設改良事業費(社会資本整備総合交付金)	603,776,473 円
	(越 355,673,654 円)
(1) 江平浜平線	226,490,042 円
	(越 23,490,042 円)
ア 測量設計等委託料	19,285,200 円
イ 工事費(L= 279.0m)	204,204,842 円
	(越 23,490,042 円)
ウ その他経費(給料、手数料ほか)	3,000,000 円
(2) 中川鳴滝3号線	22,782,560 円
	(越 927,741 円)
ア 委託料	9,458,680 円
(ア) 用地測量委託	1,202,300 円
(イ) 詳細設計委託	8,008,000 円
(ウ) 分筆登記委託	149,380 円
(エ) 補償説明委託	99,000 円
イ 工事費等	12,531,555 円
	(越 927,741 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円 12,531,555 (越 927,741)	円 1,330,488 L= 38.4m	円 1,274,267 (越 514,341) A= 23.7m <sup>2</sup>	円 9,926,800 (越 413,400) 通損補償、軌道施設

ウ その他経費	792,325 円
(3) 川上町出雲線	10,840,885 円
	(越 2,390,885 円)
ア 工事費等	10,440,885 円
	(越 2,390,885 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円 10,440,885 (越 2,390,885)	円 8,963,903 (越 2,390,885) L= 42.3m	円 982,634 A= 34.1m <sup>2</sup>	円 494,348 工作物等

イ その他経費	400,000 円
(4) 清水町白鳥町1号線	27,398,000 円
	(越 13,600,000 円)

ア 委託料	25,847,800 円
	(越 13,000,000 円 )
(ア) 詳細設計委託	7,921,100 円
	(越 6,611,000 円 )
(イ) 建物調査委託	7,763,800 円
(ウ) 地質調査委託	1,778,700 円
(エ) 交通解析委託	8,384,200 円
	(越 6,389,000 円 )
イ 用地購入費 (A = 2.8㎡)	350,200 円
ウ その他経費 (手数料、給料ほか)	1,200,000 円
	(越 600,000 円 )
(5) 大橋町赤迫1号線	99,511,258 円
	(越 99,511,258 円 )
ア 工事費 (L = 122.0m)	99,511,258 円
	(越 99,511,258 円 )
(6) 矢上町現川町線	25,242,742 円
	(越 25,242,742 円 )
ア 工事費 (L = 340.0m)	25,000,000 円
	(越 25,000,000 円 )
イ その他経費	242,742 円
	(越 242,742 円 )
(7) 西山目覚町線	1,000,000 円
(8) 籠町稲田町1号線 (電線類地中化)	25,200,000 円
	(越 25,200,000 円 )
ア 工事費 (L = 231.4m)	24,000,000 円
	(越 24,000,000 円 )
イ その他経費 (給料、旅費)	1,200,000 円
	(越 1,200,000 円 )
(9) 道路構造物等補強	165,310,986 円
	(越 165,310,986 円 )
ア 委託料	50,313,006 円
	(越 50,313,006 円 )
(ア) 橋梁定期点検委託	29,036,806 円
	(越 29,036,806 円 )

(イ) 橋梁調査設計委託

21,276,200 円

(越 21,276,200 円)

イ 工事費

114,997,980 円

(越 114,997,980 円)

路 線 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
昭 和 川 平 町 線 ( 昭 和 町 1 号 橋 ほ か )	円 17,190,800 (越 17,190,800 )	L= 27.4m
中 腹 循 環 線 ( 五 平 太 高 架 橋 )	14,291,200 (越 14,291,200 )	L= 20.5m
平 間 町 線 ( 新 田 頭 橋 )	1,785,300 (越 1,785,300 )	L= 4.7m
西 山 9 号 線 ( 西 山 町 6 号 橋 )	9,025,500 (越 9,025,500 )	L= 4.7m
神 浦 江 川 町 1 号 線 ( 江 川 橋 3 )	27,252,500 (越 27,252,500 )	L= 3.6m
光 町 1 2 号 線 ( 光 町 2 号 橋 )	2,897,400 (越 2,897,400 )	L= 1.3m
宿 町 網 場 町 1 号 線 ( 界 町 3 号 橋 )	9,656,900 (越 9,656,900 )	L= 6.7m
田 中 町 1 号 線 ( 中 尾 大 橋 )	6,497,700 (越 6,497,700 )	L= 82.0m
野 母 町 2 号 線 ( 向 川 橋 )	20,245,500 (越 20,245,500 )	L= 8.1m
三 川 町 2 3 号 線 ( 下 の 角 橋 )	6,155,180 (越 6,155,180 )	L= 6.2m
計	114,997,980 (越 114,997,980 )	

2 【補助】道路新設改良事業費(地方創生道整備推進交付金)

236,934,532 円

(越 40,879,538 円)

(1) 虹が丘町西町1号線

236,934,532 円

(越 40,879,538 円)

ア 委託料

21,073,756 円

(ア) 詳細設計委託

16,337,200 円

(イ) 地質調査委託

4,628,800 円

(ウ) 分筆登記委託

107,756 円

イ 工事費等

207,968,532 円

(越 40,879,538 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円 207,968,532 (越 40,879,538)	円 207,062,200 (越 40,879,538) L= 439.2m	円 727,632 A= 151.6m <sup>2</sup>	円 178,700 通損補償、立竹木

ウ その他経費(給料、手数料ほか)

7,892,244 円

3 【補助】道路新設改良事業費(道路メンテナンス事業)

80,260,526 円

(1) 道路構造物等補強

80,260,526 円

ア 委託料

60,813,706 円

(ア) 橋梁定期点検委託

55,669,006 円

(イ) 橋梁調査設計委託

5,144,700 円

イ 工事費

16,746,820 円

路線名	事業費	事業の概要
		工事
光町12号線 (光町2号橋)	円 5,858,600	L= 2.7m
大浜町14号線 (大浜町3号橋)	円 5,287,700	L= 4.0m
三川町23号線 (下の角橋)	円 5,600,520	L= 5.7m
計	円 16,746,820	

ウ その他経費(橋梁維持管理システム借上料、消耗品費ほか)

2,700,000 円

4 【補助】都市構造再編事業費

25,141,601 円

(1) 新市庁舎周辺道路

24,614,201 円

ア 委託料

6,379,901 円

(ア) 用地測量委託

577,632 円

(イ) 詳細設計委託

3,677,300 円

(ウ) 工作物調査委託

1,626,900 円

(エ) 分筆登記委託

498,069 円

イ 工事費(L= 58.4m)

15,794,936 円

ウ その他経費(報酬、手数料ほか)

2,439,364 円

(2) 新市庁舎周辺道路(電線類地中化)

527,400 円

ア 資材価格調査委託料

477,400 円

イ その他経費	50,000 円
5 【単独】道路新設改良事業費	1,241,927,189 円
	(越 90,807,121 円)
(1) 地方道路等整備事業費	203,044,513 円
ア 手数料	1,145,247 円
(ア) 土地鑑定評価手数料	1,108,200 円
(イ) その他	37,047 円
イ 委託料	24,537,022 円
(ア) 測量設計委託	15,182,750 円
(イ) 分筆登記委託	1,112,949 円
(ウ) 建物調査委託	8,115,373 円
(エ) その他	125,950 円
ウ 工事費等	170,182,947 円

路線名	事業費	事業の概要		
		工事	用地購入	支障物件補償
江平浜平線	2,898,558 円	L= 2,898,558 円 6.0 m		
中川鳴滝3号線	578		578 利子	
川上町出雲線	3,742,245	L= 3,742,197 円 17.7 m	48 利子	
清水町白鳥町1号線	18,284,524		A= 18,284,524 円 30.9 m <sup>2</sup>	
大橋町赤迫1号線	7,895,532	L= 7,307,542 円 19.0 m		587,990 ガス管
虹が丘町西町1号線	105,600	L= 105,600 円 0.4 m		
籠町稲田町1号線	1,204,300	L= 1,204,300 円 11.6 m		
土井首町磯道町線	3,688,300	L= 3,688,300 円 24.0 m		
出来大工町江戸町線	1,690,664	L= 1,690,664 円 4.2 m		
上田町相生町2号線 (グラバースカイロード)	34,100,000	34,100,000 円 部品取替工		
水の浦町大鳥町1号線 (斜面移送機器)	44,000,000	44,000,000 円 昇降機本体取替工ほか		
平瀬町水路整備	52,572,646	L= 11,411,400 円 139.0 m	A= 41,161,246 円 605.1 m <sup>2</sup>	
計	170,182,947	110,148,561	59,446,396	587,990

エ 長崎港小ヶ倉・毛井首地区合併実施協定負担金	6,475,269 円
オ その他経費	704,028 円
(2) 地方道路等整備事業費(総合事務所)	928,699,625 円
	(越 23,129,353 円)

ア 土地鑑定評価手数料	1,137,400 円
イ 委託料	21,443,123 円
(7) 測量設計委託	8,025,358 円
(イ) 分筆登記等委託	1,421,378 円
(ウ) 建物調査等委託	673,200 円
(エ) 計画策定等委託	2,554,879 円
(オ) 道路構造物点検委託	3,934,028 円
(カ) 道路異常箇所通報システム保守等委託	3,848,680 円
(キ) その他	985,600 円
ウ 工事費等	851,919,872 円
	(越 23,129,353 円)

路線名	事業費	事業の概要		
		工事	用地購入	支障物件補償
	円	円	円	円
昭和川平町線	598,400	L= 598,400 1.0 m		
三川町23号線	2,813,800	L= 2,813,800 2.9 m		
青山町16号線	5,775,058		A= 5,616,058 107.6 m <sup>2</sup>	159,000 損失補償
曙町稲佐町線	32,861,400	L= 32,861,400 520.0 m		
伊勢町大浦町線	20,651,400	L= 20,651,400 124.4 m		
稲田町6号線	91,044,466	L= 37,704,100 116.3 m	A= 48,560,665 295.6 m <sup>2</sup>	4,779,701 損失補償
ほか1線		L= 2,731,900 49.9 m		
太田尾町1号線	2,731,900	L= 2,731,900 49.9 m		
大浜町飽の浦町線	9,565,600	L= 9,565,600 126.8 m		
ほか1線		L= 9,497,400 107.0 m		
大浜町木鉢町線	9,497,400	L= 9,497,400 107.0 m		
樺島町恵美須町1号線	2,800,000	L= 2,800,000 10.0 m		
川上町出雲1号線	28,057,819	L= 25,052,400 35.4 m	A= 512,320 64.0 m <sup>2</sup>	2,493,099 立木、電柱、水道管
北浦町三景台町線	11,342,100	L= 11,342,100 85.0 m		
栄町恵美須町2号線	14,439,700	L= 14,439,700 120.0 m		
城山町5号線	4,591,376	L= 4,347,200 18.5 m		244,176 ガス管
住吉町文教町線	22,567,600	L= 22,567,600 415.6 m		
ダイヤモンド磯道町1号線	21,968,100	L= 21,968,100 363.0 m		
立山24号線	2,213,200	L= 2,213,200 4.5 m		
滑石93号線	10,942,800	L= 10,942,800 148.8 m		
ほか2線		L= 53,200,000 24.0 m		
葉山線	53,200,000	L= 53,200,000 24.0 m		
平野町橋口町2号線	5,012,000	L= 5,012,000 8.8 m		
文教町家野町線	18,216,000	L= 18,216,000 461.0 m		
ほか2線		L= 73,151,600 262.0 m		
星取川上町1号線	73,151,600	L= 73,151,600 262.0 m		

路線名	事業費	事業の概要		
		工事	用地購入	支障物件補償
	円	円	円	円
万才町賑町1号線 ほか1線	7,804,500	L= 7,804,500 181.2 m		
三ツ山町1号線	12,769,400	L= 12,769,400 61.8 m		
三原三川町線	13,477,200	L= 13,477,200 193.7 m		
三原上野町線 ほか1線	28,061,000	L= 28,061,000 581.7 m		
向町滑石線	13,574,000	L= 13,574,000 287.0 m		
女の都60号線	7,863,900	L= 7,863,900 63.0 m		
柳谷町19号線 ほか1線	10,530,300	L= 10,530,300 94.7 m		
つつじが丘8号線	13,359,500	L= 13,359,500 102.5 m		
つつじが丘33号線	6,727,000	L= 6,727,000 122.7 m		
古賀町線	11,180,864	L= 10,287,200 56.0 m		電線類 893,664
戸石町6号線	10,016,600	L= 10,016,600 91.0 m		
松原町古賀町 1号線	17,815,990	L= 7,060,900 23.9 m	A= 3,381,607 57.1 m <sup>2</sup>	建物 7,373,483
中里町つつじが丘 1号線	23,450,200	L= 23,450,200 287.3 m		
田中町2号線 ほか1線	6,430,600	L= 6,430,600 72.3 m		
田中町29号線 ほか2線	14,227,400	L= 14,227,400 367.0 m		
田中町中里町線 ほか1線	23,694,000	L= 23,694,000 391.0 m		
矢上町現川町線	7,764,600	L= 7,764,600 40.0 m		
平山町平山台1号線	18,238,000 (越 10,631,500 )	(越 18,238,000 10,631,500 ) L= 170.0 m		
磯道町柳田町線 ほか1線	19,969,400 (越 12,450,553 )	(越 19,969,400 12,450,553 ) L= 87.8 m		
中腹循環線	47,300 (越 47,300 )	(越 47,300 47,300 ) L= 0.1 m		
平山台7号線	11,289,300	L= 11,289,300 90.0 m		
形上岳線	36,042			電線類 36,042
琴海大平町1号線 ほか1線	14,508,694	L= 14,226,100 180.9 m	A= 282,594 414.8 m <sup>2</sup>	
神浦扇山町6号線	308,712			電線類 308,712
三重町榎山町線 ほか1線	42,049,700	L= 42,049,700 237.1 m		
道路舗装単価契約 (市内一円)	72,683,951	A= 72,683,951 9,367.8 m <sup>2</sup>		
計	851,919,872 (越 23,129,353 )	(越 777,278,751 23,129,353 )	58,353,244	16,287,877

エ 負担金

50,829,000 円

(7) 電気軌道敷設補修工事費負担(出来大工町江戸町線ほか1線)

50,647,100 円



(イ) その他	181,900 円
オ その他経費(OA機器借上料、消耗品費ほか)	3,370,230 円
(3) 車みち整備事業費	9,352,400 円
ア 委託料	4,052,400 円
(7) 測量設計委託	3,610,200 円
(イ) 用地測量委託	442,200 円
イ 工事費	5,300,000 円

路 線 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
三 原 2 7 号 線 ほ か 2 線	5,300,000 円	L= 32.6m

(4) ぐらしの道整備事業費	14,538,700 円
	(越 10,221,200 円 )
ア 測量設計委託料	14,538,700 円
	(越 10,221,200 円 )
(5) 合併地区道路等整備事業費	53,658,000 円
	(越 36,446,800 円 )
ア 委託料	44,267,300 円
	(越 27,446,800 円 )
(7) 詳細設計委託	19,054,200 円
	(越 2,330,500 円 )
(イ) 地質調査委託	25,213,100 円
	(越 25,116,300 円 )
イ 工事費	9,390,700 円
	(越 9,000,000 円 )

路 線 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
相 川 町 四 杖 町 1 号 線	9,390,700 円	L= 315.0m
	(越 9,000,000 )	

(6) 合併地区道路等整備事業費(総合事務所)	19,035,431 円
	(越 12,832,268 円 )
ア 鑑定評価手数料	2,000,900 円
イ 委託料	7,387,006 円
	(越 3,874,483 円 )
(7) 測量設計等委託	5,677,100 円
	(越 2,655,177 円 )

(イ) 分筆登記等委託	765,006 円	(越	765,006 円)
(ウ) 立木補償調査委託	454,300 円	(越	454,300 円)
(エ) 工作物調査再算定委託	490,600 円		
ウ 工事費等	9,546,205 円	(越	8,858,065 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円	円	円	円
9,546,205	5,214,000	3,109,261	1,222,944
(越 8,858,065 )	(越 5,214,000 )	(越 3,109,261 )	(越 534,804 )
	L = 56.6m	A = 527.8m <sup>2</sup>	通損補償

エ その他経費	101,320 円	(越	99,720 円)
(7) 道路改良事業費	5,421,020 円		
ア 施設修繕料	2,427,370 円		
イ 樹木伐採等委託料	2,993,650 円		
(8) 新市庁舎周辺道路(電線類地中化)	8,177,500 円	(越	8,177,500 円)
ア 電線共同溝詳細設計委託料	8,027,500 円	(越	8,027,500 円)
イ その他経費	150,000 円	(越	150,000 円)
6 【単独】辺地対策事業費	31,505,890 円	(越	17,182,000 円)
(1) 形上岳線	31,505,890 円	(越	17,182,000 円)
ア 分筆登記委託料	324,500 円	(越	312,400 円)
イ 工事費等	31,181,390 円	(越	16,869,600 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円	円	円	円
31,181,390	30,086,100	792,184	303,106
(越 16,869,600 )	(越 15,774,310 )	(越 792,184 )	(越 303,106 )
	L = 164.1m	A = 1,536.4m <sup>2</sup>	立木、損失補償

7 【単独】過疎対策事業費	37,679,475 円
	(越 23,396,775 円)
(1) 伊王島循環線	37,679,475 円
	(越 23,396,775 円)
ア 委託料	2,904,775 円
	(越 2,904,775 円)
(ア) 建物調査等委託	1,886,500 円
	(越 1,886,500 円)
(イ) 分筆登記等委託	1,018,275 円
	(越 1,018,275 円)
イ 工事費	34,030,700 円
	(越 19,748,000 円)

事業名	事業費	事業の概要
伊王島循環線 道路改良工事	34,030,700 (越 19,748,000)	工事延長 L= 43.5m、土工 一式 大型ブロック積工 L= 30.0m、ブロック積工 A= 22.0㎡ アスファルト舗装工 A= 288.0㎡、防護柵工 L= 40.0m

ウ その他経費	744,000 円
	(越 744,000 円)

8 【単独】道路リフレッシュ事業費	98,405,600 円
	(越 6,710,000 円)
(1) 合併7地区	98,405,600 円
	(越 6,710,000 円)
ア 工事費	98,405,600 円
	(越 6,710,000 円)

路線名	事業費	事業の概要
		工事
晴海台町34号線	6,710,000 (越 6,710,000)	L= 152.0m
香焼町4号線	12,578,500	L= 729.0m
野母崎樺島町1号線ほか1線	16,181,000	L= 145.0m
晴海台町13号線ほか1線	18,397,500	L= 345.6m
伊王島循環線	4,538,600	L= 56.0m
上黒崎線ほか1線	15,159,400	L= 139.4m
琴海大平町1号線ほか	12,226,900	L= 167.8m
琴海戸根町2号線ほか1線	12,613,700	L= 336.0m
計	98,405,600 (越 6,710,000)	

9 【単独】自然災害防止事業費	68,088,532 円
	(越 14,752,100 円)
(1) 道路	68,088,532 円
	(越 14,752,100 円)
ア 工事費	67,644,200 円
	(越 14,752,100 円)

路 線 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
	円	
三 ッ 山 町 2 号 線	4,257,000	L= 19.9m
中 里 町 船 石 町 1 号 線	11,033,000	L= 99.8m
川 原 町 3 2 号 線	5,600,100 (越 5,600,100 )	L= 12.0m
高 島 町 3 号 線	9,152,000 (越 9,152,000 )	L= 38.0m
蚊 焼 町 6 号 線	12,129,700	L= 55.0m
大 山 町 三 和 町 線	10,872,400	L= 55.0m
上 黒 崎 線 ほ か 1 線	14,600,000	L= 74.5m
計	67,644,200 (越 14,752,100 )	

イ その他経費 444,332 円

【中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

4目 交通安全施設費	予算額	104,204,941 円	決算額	99,076,703 円
			(前年度繰越額)	15,860,103 円)
1 【単独】交通安全施設整備事業費				99,076,703 円
			(越	15,860,103 円)
(1) 交通安全施設				63,538,700 円
			(越	3,538,700 円)
ア 工事費				63,538,700 円
			(越	3,538,700 円)

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
	円	
区 画 線 設 置 工 事	33,652,646	L= 29,766.9m
道 路 反 射 鏡 設 置 工 事	18,470,045	N= 68基 新設
防 護 柵 設 置 工 事	11,416,009 (越 3,538,700 )	L= 271.7m
計	63,538,700 (越 3,538,700 )	

(2) 園児等移動経路緊急安全対策

35,538,003 円

(越 12,321,403 円)

ア 工事費

35,538,003 円

(越 12,321,403 円)

事業名	事業費	事業の概要	
		工事	
市道出雲17号線ほか2線 (園児等移動経路) 道路改良工事	11,236,500 円	L= 686.0m	
市道稲佐町若草町線ほか1線 (園児等移動経路) 道路改良工事	4,324,100	L= 24.0m	
市道平野町5号線 交通安全施設(ハンプ)設置工事	7,656,000	ハンプ工 N= 2箇所 区画線工 一式 車線分離標工 N= 12本	
南部地区交通安全施設 設置工事	5,007,200 (越 5,007,200)	防護柵工 L= 134.0m 車止め工 N= 22基	
南部地区交通安全施設 設置工事(その2)	7,314,203 (越 7,314,203)	防護柵工 L= 145.0m 車止め工 N= 8基 排水構造物工 L= 262.0m	
計	35,538,003 (越 12,321,403)		

## 【土木部】

5目 県施行事業費負担金

予算額

80,218,800 円

決算額

48,276,520 円

(前年度繰越額 9,623,800 円)

1 道路橋りょう費負担金

48,276,520 円

(越 9,623,800 円)

(1) 道路事業費

48,276,520 円

(越 9,623,800 円)

路線名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
国道206号 道改良	10,755,000 円	%	%	%	1,613,250 円	測量・設計 一式
野母崎宿線 道改良	75,726,707 (越 3,112,487)				11,359,006 (越 466,873)	改良工(土工・法面・補強土壁・ 舗装) L= 135.0m 測量・設計 一式 用地補償 一式
神ノ浦港線 道改良	29,205,554 (越 9,417,000)	-	85.0	15.0	4,380,833 (越 1,412,550)	改良工(土工・擁壁) L= 119.0m 用地補償 一式
奥ノ平時津線 道改良	34,125,000				5,118,750	改良工(軽量盛土・舗装) L= 64.0m
長崎漁港線 道改良	59,531,054 (越 26,879,027)				8,929,658 (越 4,031,854)	改良工(法面・舗装) L= 102.0m 安全対策工 一式

路線名		事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
			国	県	市		
東長崎長与線	道改路良	47,775,000 円	%	%	%	7,166,250 円	用地補償 一式
深堀三和線	道改路良	30,693,000 (越 1,443,000 )	-	85.0	15.0	4,603,950 (越 216,450 )	改良工(土工・法面) L= 80.0m
長与大橋町線	道改路良	9,376,027 (越 9,376,027 )				1,406,404 (越 1,406,404 )	交差点設計 一式
長崎畝刈線	道改路良	10,725,000				1,608,750	地質調査 一式
長崎式見港線	道改路良	13,931,127 (越 13,931,127 )				2,089,669 (越 2,089,669 )	交通シミュレーション 一式
計		321,843,469 (越 64,158,668 )					

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
3	河川海岸費	(1,488,420,930) 1,281,201,930	(1,065,611,452) 962,957,032	(356,763,386) 256,763,386	(66,046,092) 61,481,512

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

1目	河川総務費	予算額	93,186,000 円	決算額	70,658,824 円
				(前年度繰越額)	38,996,100 円)
1	河川総務費				70,658,824 円
				(越)	38,996,100 円)
(1)	河川等維持管理費				31,613,724 円
	ア 光熱水費				173,207 円
	イ 施設修繕料				22,975,700 円
	ウ 委託料				8,459,977 円
	(ア) 土砂撤去委託				1,984,400 円
	(イ) 剪定・除草等委託				6,235,577 円
	(ウ) 管理等委託				240,000 円
	エ その他経費				4,840 円
(2)	洪水ハザードマップ作成費				38,996,100 円
				(越)	38,996,100 円)
	ア 浦上川洪水ハザードマップ作成委託料				38,996,100 円
				(越)	38,996,100 円)
(3)	長崎県治水砂防・防災協会負担金				49,000 円

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

2目	河川改良費	予算額	918,152,200 円	決算額	692,187,418 円
				(前年度繰越額)	329,306,110 円)
1	【補助】河川等整備事業費(社会資本整備総合交付金)				257,006,864 円
				(越)	172,841,310 円)
(1)	江川川				50,444,704 円
				(越)	35,260,940 円)
	ア 分筆登記委託料				277,893 円
				(越)	277,893 円)

イ 工事費等 49,168,104 円  
(越 34,584,340 円)

事業費	事業の概要	
	工事	支障物件補償
円 49,168,104 (越 34,584,340 )	円 27,336,100 (越 12,752,336 ) L= 142.4m	円 21,832,004 (越 21,832,004 ) 建物

ウ その他経費 998,707 円  
(越 398,707 円)

(2) 大井手川 206,562,160 円  
(越 137,580,370 円)

ア 委託料 7,632,165 円

(ア) 河川調査委託 4,510,000 円

(イ) 建物調査委託 2,227,500 円

(ウ) 用地測量委託 367,116 円

(エ) 分筆登記委託 57,849 円

(オ) 資材価格調査委託 447,700 円

(カ) その他 22,000 円

イ 工事費等 192,859,582 円  
(越 132,904,382 円)

事業費	事業の概要	
	工事	支障物件補償
円 192,859,582 (越 132,904,382 )	円 185,282,660 (越 132,904,382 ) L= 326.7m	円 7,576,922 電線類、損失補償

ウ 大井手川改修事業費負担金 4,675,988 円  
(越 4,675,988 円)

エ その他経費(給料、OA機器借上料ほか) 1,394,425 円

2 【単独】河川等整備事業費 27,706,300 円  
(越 1,290,300 円)

(1) 江川川 1,158,300 円

ア 工事費(L= 15.8m) 1,158,300 円

(2) 大井手川 497,000 円

ア 工事費(L= 2.5m) 497,000 円



(3) 銅座川ほか	25,534,000 円
	(越 1,290,300 円)
ア 施設修繕料(銅座川浚渫 L= 25.0m)	1,290,300 円
	(越 1,290,300 円)
イ 工事費	24,243,700 円

河川名	事業費	事業の概要	
		工事	
銅座川 (本石灰町)	4,672,800 円	工事延長 L= 60.0m 板石設置工 A= 16.0㎡ 目地工 A= 300.0㎡	
宮摺川 (宮摺町)	2,761,000	工事延長 L= 114.3m 河川土工 一式	
古賀若杉川 (古賀町)	4,097,500	工事延長 L= 29.3m コンクリート三面張水路工 L= 17.0m 階段水路工 L= 7.0m 集水柵工 N= 3箇所 帯工 N= 1箇所	
風破木川 (高浜町)	6,338,200	工事延長 L= 37.3m 練石積工 A= 92.0㎡ 階段工 N= 1箇所	
江川 (竿浦町)	3,555,200	工事延長 L= 20.0m 排水構造物工 L= 20.0m コンクリート張工 A= 24.0㎡	
大平川 (琴海大平町)	2,819,000	工事延長 L= 9.0m 法覆護岸工 L= 53.3m	
計	24,243,700		

(4) 河川改良事業費	517,000 円
ア 施設修繕料	198,000 円
イ 除草等委託料	319,000 円
3 【単独】自然災害防止事業費	407,474,254 円

	(越 155,174,500 円)
(1) 河川	36,992,200 円
	(越 1,995,400 円)
ア 工事費	36,992,200 円
	(越 1,995,400 円)

河川名	事業費	事業の概要	
		工事	
小崎川 (川原町)	1,995,400 円 (越 1,995,400 円)	工事延長 L= 70.0m 浚渫工 V= 150.0㎡	
藤田尾川 (藤田尾町)	3,346,200	工事延長 L= 9.8m 練積ブロック工 A= 38.0㎡	
川原古川 (川原町)	6,650,600	工事延長 L= 17.0m コンクリートブロック積工 A= 52.0㎡ 石張工 A= 8.0㎡ 大型土のう積工 N= 34袋	
見上川 (琴海戸根町)	20,307,100	工事延長 L= 54.0m 擁壁護岸工 L= 49.0m	
大平川 (琴海大平町)	4,692,900	工事延長 L= 15.0m 法覆護岸工 L= 88.7m	
計	36,992,200 円 (越 1,995,400 円)		

(2) 急傾斜地崩壊対策	370,482,054 円
	(越 153,179,100 円)

ア 委託料	48,233,246 円
	(越 15,293,000 円)
(ア) 測量設計等委託	40,877,900 円
	(越 13,753,000 円)
(イ) 施設点検委託	825,000 円
(ウ) 境界確定測量等委託	6,363,146 円
	(越 1,540,000 円)
(エ) その他	167,200 円
イ 工事費	321,379,300 円
	(越 137,886,100 円)

地 区 名	事 業 費	事 業 の 概 要
		工 事
三 川 ( 8 ) 地 区 ( 三 川 町 )	17,086,300 円	L= 15.9m A= 237.0㎡
田 上 ( 6 ) 地 区 ( 田 上 1 丁 目 )	34,024,100	L= 14.0m 土砂捕捉工
小 峰 ( 1 ) 地 区 ( 小 峰 町 )	40,573,500 (越 40,573,500 )	L= 17.7m A= 398.0㎡
東 町 地 区 ( 東 町 )	46,857,800	L= 38.0m 土砂捕捉工
塩 町 地 区 ( 伊 王 島 町 2 丁 目 )	24,302,300	L= 27.0m A= 278.0㎡
深 堀 5 丁 目 地 区 ( 深 堀 町 5 丁 目 )	61,222,700	L= 56.0m A= 589.0㎡
松ノ迫 ( 1 2 ) 地 区 ( 西 海 町 )	38,060,000 (越 38,060,000 )	L= 19.0m A= 417.0㎡
江 崎 ( 2 ) 地 区 ( 西 海 町 )	59,252,600 (越 59,252,600 )	L= 26.0m A= 507.0㎡
計	321,379,300 (越 137,886,100 )	

ウ その他経費 869,508 円

【土木部】

3目 海岸保全費	予算額	60,000,000 円	決算額	60,000,000 円
			(前年度繰越額)	10,000,000 円)
1 【補助】海岸保全事業費(社会資本整備総合交付金)				60,000,000 円
			(越)	10,000,000 円)
(1) 東望地区				60,000,000 円
			(越)	10,000,000 円)

ア 工事費(L= 45.0m)	58,003,727 円
	(越 10,000,000 円)
イ その他経費(給料、消耗品費ほか)	1,996,273 円

【土木部】

4目 県施行事業費負担金	予算額	209,863,730 円	決算額	140,110,790 円
			(前年度繰越額	84,436,730 円)
1 河川海岸費負担金				140,110,790 円
			(越	84,436,730 円)
(1) 急傾斜地崩壊対策事業費				140,110,790 円
			(越	84,436,730 円)

地区名	事業費 円	負担割合			市負担金 円	事業の概要
		国 %	県 %	市 %		
三川(3)地区	20,800,000				1,040,000	L= 20.0 m 法面工 A= 300.0 m <sup>2</sup>
多以良(4)地区	20,000,000				1,000,000	L= 10.0 m 法面工 A= 400.0 m <sup>2</sup>
滑石3丁目(4)地区	67,148,000 (越 67,148,000)				3,357,400 (越 3,357,400)	L= 33.6 m 法面工 A= 952.9 m <sup>2</sup>
若竹(4)地区	30,000,000	47.5	47.5	5.0	1,500,000	L= 15.0 m 法面工 A= 400.0 m <sup>2</sup>
大浜(19)地区	200,000				10,000	設計 一式
田中(2)地区	4,400,000				220,000	分筆登記 一式
金堀(6)地区	109,400,000 (越 20,000,000)				5,470,000 (越 1,000,000)	L= 45.0 m 法面工 A= 1,750.0 m <sup>2</sup>
現川地区	3,600,000				360,000	分筆登記 一式
上黒崎地区	65,935,800 (越 65,935,800)				6,593,580 (越 6,593,580)	L= 31.3 m 法面工 A= 833.8 m <sup>2</sup>
戸町2丁目(7-1)地区	1,800,000				180,000	分筆登記 一式
葉山2丁目(4)地区	20,000,000	45.0	45.0	10.0	2,000,000	測量調査設計 一式
大園(4)地区	298,840,600 (越 217,100,000)				29,884,060 (越 21,710,000)	L= 125.5 m 土砂捕捉工
田中(2)地区	46,200,000 (越 25,000,000)				4,620,000 (越 2,500,000)	L= 25.0 m 法面工 A= 600.0 m <sup>2</sup>
金堀(6)地区	43,060,000 (越 30,260,000)				4,306,000 (越 3,026,000)	L= 39.6 m 法面工 A= 778.3 m <sup>2</sup>

地区名	事業費 円	負担割合			市負担金 円	事業の概要
		国 %	県 %	市 %		
滑石3丁目(5)地区	130,950,000 (越 67,350,000)	45.0	45.0	10.0	13,095,000 (越 6,735,000)	L= 54.3 m 法面工 A= 1,973.5 m <sup>2</sup>
三川(3)地区	30,000,000				3,000,000	L= 20.0 m 法面工 A= 400.0 m <sup>2</sup>
大園(3)地区	28,000,000 (越 20,000,000)				2,800,000 (越 2,000,000)	分筆登記 一式 測量調査設計 一式
小ヶ倉1丁目(4)地区	28,830,000 (越 27,230,000)				2,883,000 (越 2,723,000)	L= 38.9 m 法面工 A= 641.9 m <sup>2</sup> 確定測量 一式
神ノ島地区	35,520,000 (越 4,720,000)				3,552,000 (越 472,000)	L= 31.2 m 法面工 A= 417.7 m <sup>2</sup>
川平地区	34,697,500 (越 34,697,500)				3,469,750 (越 3,469,750)	L= 12.4 m 法面工 A= 247.8 m <sup>2</sup>
大宮(3)地区	124,200,000 (越 73,000,000)	40.0	40.0	20.0	24,840,000 (越 14,600,000)	L= 90.9 m 法面工 A= 1,232.9 m <sup>2</sup>
西北(5)地区	1,000,000				200,000	分筆登記 一式
田中(61)地区	48,500,000 (越 42,300,000)				9,700,000 (越 8,460,000)	L= 46.5 m 法面工 A= 584.2 m <sup>2</sup>
滑石5丁目(6)地区	50,150,000 (越 38,950,000)				10,030,000 (越 7,790,000)	L= 26.5 m 法面工 A= 392.1 m <sup>2</sup>
戸町2丁目(7-2)地区	1,300,000				260,000	分筆登記 一式
三重(2)地区	20,000,000				4,000,000	測量調査設計 一式
赤迫(2)地区	8,700,000	1,740,000	測量調査設計 一式 分筆登記 一式			
計	1,273,231,900 (越 733,691,300)				140,110,790 (越 84,436,730)	

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	4 港 湾 費	(765,510,133) 727,204,133	(325,472,592) 290,352,022	(186,038,500) 186,038,500	(253,999,041) 250,813,611

【まちづくり部・南総合事務所・北総合事務所】

1目 港湾管理費	予算額	35,237,398 円	決算額	28,962,967 円
			(前年度繰越額)	12,506,998 円)
1 港湾施設管理費				11,430,969 円
(1) ターミナル等管理費				5,780,778 円
ア 茂木港船客待合所管理費				3,133,300 円
(ア) 光熱水費				1,754,834 円
(イ) 施設修繕料				101,200 円
(ウ) 委託料				988,592 円
a 建物清掃委託				832,909 円
b 消防用設備等保守点検委託				19,800 円
c 空調機器保守点検委託				83,600 円
d 産業廃棄物処理委託				52,283 円
(エ) 下水道使用料				128,018 円
(オ) その他経費				160,656 円
イ 伊王島港ターミナル管理費				1,554,872 円
(ア) 光熱水費				1,437,622 円
(イ) 下水道使用料				103,774 円
(ウ) その他経費				13,476 円
ウ 高島港ターミナル管理費				896,962 円
(ア) 光熱水費				739,760 円
(イ) 産業廃棄物処理委託料				118,580 円
(ウ) 下水道使用料				25,146 円
(エ) その他経費				13,476 円
エ 池島港船客待合所管理費				195,644 円
(ア) 光熱水費				195,644 円
(2) ターミナル等管理費(総合事務所)				5,650,191 円
ア 伊王島港ターミナル管理費				2,348,247 円
(ア) 施設修繕料				423,830 円
(イ) 委託料				1,850,145 円
a 建物清掃委託				499,895 円
b 消防用設備等保守点検委託				19,800 円

c 剪定・除草等管理委託	966,900 円
d 交通誘導警備委託	363,550 円
(ウ) その他経費	74,272 円
イ 高島港ターミナル管理費	2,250,481 円
(ア) 施設修繕料	1,701,810 円
(イ) 建物清掃委託料	529,558 円
(ウ) その他経費	19,113 円
ウ 池島港船客待合所管理費	1,051,463 円
(ア) 施設修繕料	643,500 円
(イ) 委託料	402,963 円
a 建物清掃委託	282,733 円
b 浄化槽維持管理委託	120,230 円
(ウ) その他経費	5,000 円
2 港湾管理費負担金・補助金	5,025,000 円
(1) 海の日行事開催費負担金	100,000 円
(2) 長崎港清掃協議会補助金	4,500,000 円
(3) 長崎県港湾協会負担金	425,000 円
3 【単独】港湾施設整備事業費	12,506,998 円
	(越 12,506,998 円)
(1) 形上海岸海洋スポーツ支援広場	12,506,998 円
	(越 12,506,998 円)
ア 工事費等	12,506,998 円
	(越 12,506,998 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円	円	円	円
12,506,998	3,632,200	8,842,998	31,800
(越 12,506,998 )	(越 3,632,200 )	(越 8,842,998 )	(越 31,800 )
	A= 3,050.0m <sup>2</sup>	A= 1,012.4m <sup>2</sup>	損失補償

【まちづくり部】

2目 県施行事業費負担金	予算額	691,966,735 円	決算額	261,389,055 円
			(前年度繰越額	100,980,735 円)
1 港湾費負担金				261,389,055 円
			(越	100,980,735 円)

## (1) 港湾事業費

261,389,055 円

(越 100,980,735 円)

事業名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
長崎港改修	円 154,000,000	% 63.25	% 25.5	% 11.25	円 17,325,000	松が枝地区 岸壁改良工 一式
	440,000,000	57.5	30.0	12.5	55,000,000	松が枝地区 浚渫工 一式
	58,677,400 (越 52,917,400 )	33.34	50.0	16.66	9,779,567 (越 8,819,567 )	皇后・神ノ島地区 浮棧橋改良工 一式 道路改良工 一式 測量設計 一式
	39,528,000 (越 34,920,000 )				6,588,000 (越 5,820,000 )	小ヶ倉柳地区 岸壁改良工 一式
	328,533,330	40.0	45.0	15.0	49,280,000	松が枝地区 岸壁改良工 一式 調査設計 一式
	4,272,000	50.0	37.5	12.5	534,000	松が枝地区 通信機器設置工 一式 調査設計 一式
	35,510,309 (越 21,139,400 )	45.0	41.25	13.75	4,882,668 (越 2,906,668 )	松が枝地区 岸壁改良工 一式 測量設計 一式
	356,584,544 (越 345,210,000 )				49,030,375 (越 47,466,375 )	元船・常盤・出島地区 浮棧橋改良工 一式 岸壁改良工 一式 緑地改良工 一式 調査設計 一式
5,781,355 (越 2,452,784 )	50.0	43.0	7.0	404,695 (越 171,695 )	小ヶ倉・毛井首地区 家屋事後調査・補償 一式	
茂木港改修	74,251,200 (越 4,251,200 )	40.0	45.0	15.0	11,137,680 (越 637,680 )	茂木港 物揚場改良工 一式
東望港改修	162,562,885 (越 123,248,600 )	50.0	43.0	7.0	11,379,402 (越 8,627,402 )	東望港 護岸改良工 一式 調査設計 一式
伊王島港改修	36,972,000	33.34	50.0	16.66	6,162,000	伊王島港 浮棧橋改良工 一式
高島港改修	6,472,000	50.0	37.5	12.5	809,000	高島港 浮棧橋改良工 一式
形上海岸改修	216,028,571 (越 205,400,000 )	50.0	43.0	7.0	15,122,000 (越 14,378,000 )	形上海岸 護岸改良工 一式 物件等事前調査 一式
年崎海岸改修	134,600,000 (越 134,600,000 )				9,422,000 (越 9,422,000 )	年崎海岸 離岸堤設置工 一式
香焼西海岸改修	24,900,000				1,743,000	香焼西海岸 測量設計 一式
高島海岸改修	83,229,600 (越 14,429,600 )	55.0	40.0	5.0	4,161,480 (越 721,480 )	高島海岸 護岸改良工 一式 測量設計 一式

事業名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
県単独改修	円 1,800,000	% -	% 75.0	% 25.0	円 450,000	古里港 舗装工 一式
	71,116,400 (越 28,172,400 )	-	93.0	7.0	8,178,188 (越 2,009,868 )	古里港、平床海岸、脇岬港 突堤改良工 一式 護岸改良工 一式 浮棧橋改良工 一式
計	2,234,819,594 (越 966,741,384 )				261,389,055 (越 100,980,735 )	



款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
5	都市計画費	(18,363,582,626) 17,354,970,864	(13,799,812,595) 12,868,974,740	(3,626,532,286) 3,587,632,286	(937,237,745) 898,363,838

【土木部・まちづくり部・南総合事務所・北総合事務所】

1目	都市計画総務費	予算額	1,624,795,099 円	決算額	1,224,474,341 円
				(前年度繰越額	171,943,415 円)
1	都市計画推進費				42,580,763 円
				(越	16,009,400 円)
	(1)	都市計画審議会費(3回)			449,120 円
	(2)	都市計画基礎調査費			5,516,500 円
		ア 都市計画区域内調査負担金			5,516,500 円
	(3)	国土基本図作成費			1,643,070 円
	(4)	まちなか再生推進費			16,607,042 円
		ア まちなか賑わいづくり活動支援補助金交付審査会開催経費(1回)			16,910 円
		イ 委託料			1,569,260 円
		(ア) まちぶらプロジェクト情報発信等委託			1,405,250 円
		(イ) 唐人屋敷跡音楽録音編集委託			99,000 円
		(ウ) 東山手エリアまちなみ修景委託			56,760 円
		(エ) その他			8,250 円
		ウ 補助金			12,461,000 円
		(ア) 中島川・寺町地区まちなみ整備助成(4件)			6,814,000 円
		(イ) まちなか町家等活用助成(1件)			4,000,000 円
		(ウ) まちなか賑わいづくり活動支援補助(4件)			1,647,000 円
		エ その他経費(印刷製本費、消耗品費ほか)			2,559,872 円
	(5)	歴史的風致維持向上推進費			16,562,473 円
				(越	16,009,400 円)
		ア 歴史的風致維持向上協議会開催経費(1回)			84,310 円
				(越	11,000 円)
		イ 東山手・南山手地区歴史まちづくり計画策定等委託料			15,998,400 円
				(越	15,998,400 円)
		ウ 歴史まちづくり協議会活動助成金(1件)			479,763 円
	(6)	都市計画情報システム管理費			1,747,558 円
		ア 委託料			818,510 円
		(ア) 都市計画情報システム保守等委託			699,380 円
		(イ) 指定道路情報等窓口閲覧システム保守委託			110,880 円

(ウ) DynaCAD年間保守委託	8,250 円
イ 使用料及び賃借料	588,928 円
(ア) 都市計画情報システム借上	473,428 円
(イ) ファイルサーバー等借上	115,500 円
ウ その他経費	340,120 円
(7) 長崎駅周辺連続立体交差事業整備促進費	25,000 円
ア 全国連続立体交差事業促進協議会負担金	25,000 円
(8) 長崎県都市計画協議会負担金	30,000 円
2 都市交通対策費	500,920,610 円
	(越 43,723,740 円)
(1) 都市交通審議会費(2回)	224,180 円
(2) バリアフリー基本構想策定費	159,110 円
ア 移動等円滑化推進協議会開催経費(2回)	159,110 円
(3) 地域公共交通活性化推進費	3,784,802 円
ア 地域公共交通利便増進実施計画策定費負担金	3,784,802 円
(4) 幹線道路整備推進費	3,624,601 円
ア 旅費	956,380 円
イ 委託料	1,018,380 円
(ア) 登記測量委託	602,800 円
(イ) 長崎自動車道ハイウェイウォーキングイベント会場設営委託	415,580 円
ウ 負担金	1,242,000 円
(ア) 九州国道協会負担	60,000 円
(イ) 一般国道499号道路整備促進協議会負担	200,000 円
(ウ) 一般国道34号道路整備促進協議会負担	360,000 円
(エ) 全国街路事業促進協議会負担	40,000 円
(オ) 長崎外環状線道路建設促進協議会負担	200,000 円
(カ) 西彼杵道路・長崎南北幹線道路建設促進期成会負担	182,000 円
(キ) 一般国道202号(福田バイパス)道路整備促進協議会負担	200,000 円
エ その他経費	407,841 円
(5) 路線バス運行対策費	18,814,392 円
ア 路線バス運行対策費補助金	18,814,392 円
(ア) 香焼恵里線	8,241,697 円
(イ) 滑石式見線	10,572,695 円
(6) 離島航路維持対策費	88,488,042 円

ア 離島航路維持対策費補助金	88,486,062 円
(ア) 長崎～伊王島～高島航路	74,270,322 円
(イ) 池島～神浦航路	14,215,740 円
イ その他経費	1,980 円
(7) 公共交通空白地域対策費	28,771,982 円
ア 乗合タクシー運行費補助金	28,771,982 円
(ア) 丸善団地地区	3,579,842 円
(イ) 矢の平・伊良林地区	5,451,093 円
(ウ) 北大浦地区	5,994,494 円
(エ) 金堀地区	8,945,794 円
(オ) 西北地区	4,800,759 円
(8) コミュニティバス運行費	77,145,968 円
ア 補助金	76,450,768 円
(ア) コミュニティバス運行費補助	74,868,768 円
a 外海線	9,096,683 円
b 香焼三和線	11,421,296 円
c 三和線	6,916,083 円
d 野母崎線	6,258,587 円
e 伊王島線	11,186,295 円
f 高島線	15,801,090 円
g 池島線	6,002,577 円
h 琴海尾戸線	8,186,157 円
(イ) デマンド交通運行費補助(琴海区域)	1,582,000 円
イ その他経費	695,200 円
(9) 千々町・大崎町公共交通災害対策費	162,740 円
(10) 公共交通確保支援金	269,577,590 円
	(越 43,723,740 円)
ア 公共交通緊急対策支援金	269,570,000 円
	(越 43,720,000 円)
(ア) バス(4件)	162,960,000 円
	(越 21,360,000 円)
(イ) 路面電車(2件)	63,920,000 円
	(越 9,520,000 円)

(ウ) タクシー(63件)	42,690,000 円
	(越 12,840,000 円)
イ その他経費	7,590 円
	(越 3,740 円)
(11) 二輪車等駐車場維持管理費	4,933,709 円
ア 委託料	1,999,031 円
(ア) 築町二輪車等駐車場指定管理に係る委託	1,444,843 円
(イ) 施設管理委託	65,788 円
(ウ) 二輪車等駐車場通信機器設置委託	213,400 円
(エ) その他	275,000 円
イ その他経費(修繕料、家屋借上料ほか)	2,934,678 円
(12) バス待合所維持管理費	1,141,354 円
(13) LRT都市サミット開催費 (令和4年1月28日 出島メッセ長崎 新型コロナウイルス感染症拡大のためオンライン開催)	4,092,140 円
ア サミット運営委託料	3,453,700 円
イ その他経費	638,440 円
3 新幹線事業推進費	12,663,494 円
(1) 長崎新幹線・鉄道利用促進協議会負担金	2,704,000 円
(2) 事務費	9,959,494 円
ア 委託料	7,977,528 円
(ア) 看板撤去・再設置委託	270,600 円
(イ) 新幹線絵画コンクール展示等委託	456,060 円
(ウ) 段ボール新幹線展示等委託	528,000 円
(エ) 西九州新幹線開業1年前PRブース運営等委託	3,958,963 円
(オ) 西九州新幹線開業カウントダウンボード除幕式運営等委託	358,050 円
(カ) 長崎駅西口「まちびらき」イベント運営等委託	1,999,955 円
(キ) その他	405,900 円
イ 九州新幹線西九州ルート沿線5市ネットワーク会議負担金	1,500,000 円
ウ その他経費	481,966 円
4 景観対策費	10,571,654 円
(1) 景観審議会費(1回)	89,820 円
(2) ながさきデザイン会議費(12回)	342,620 円
(3) 景観推進費	7,130,843 円
ア 景観専門監報酬	2,467,200 円
イ 委託料	556,930 円

(ア) 誘導・案内サイン設置等委託	451,000 円
(イ) 景観教室実施委託	97,680 円
(ウ) DynaCAD年間保守委託	8,250 円
ウ 補助金等	3,163,000 円
(ア) 景観形成助成(2件)	1,363,000 円
(イ) 景観まちづくり地域団体活動助成(1件)	200,000 円
(ウ) 長崎市都市景観賞表彰実行委員会負担	400,000 円
(エ) 開港5都市景観まちづくり会議長崎大会実行委員会負担	1,200,000 円
エ その他経費	943,713 円
(4) 屋外広告物対策費	3,008,371 円
ア 委託料	1,824,333 円
(ア) ふれあい掲示板運営管理等委託	1,428,333 円
(イ) 屋外広告物管理台帳システム保守委託	396,000 円
イ その他経費(修繕料、通信運搬費ほか)	1,184,038 円
5 【単独】都市交通対策事業費	32,500,000 円
(1) 超低床式路面電車導入事業費補助金	32,500,000 円
6 【単独】新幹線整備推進事業費	590,570,660 円
	(越 112,210,275 円)
(1) 九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金	590,570,660 円
	(越 112,210,275 円)
7 【単独】駐車場施設整備事業費	34,667,160 円
(1) 二輪車等駐車場	34,667,160 円
ア 工事費	34,667,160 円

事業名	事業費	事業の概要
(仮称)浦上駅二輪車等駐車場整備工事	9,692,100 円	整備面積 A= 448.0㎡ コンクリート舗装工 A= 435.0㎡ 車止め設置工 N= 9基 立入防止柵設置工 L= 95.0m 縁石工 L= 87.0m サイン設置工 N= 2基 区画線工 一式
(仮称)浦上駅二輪車等駐車場整備電気工事	24,975,060	駐車管制設備 一式 監視カメラ設備 N= 2基 電灯設備 N= 4基
計	34,667,160	

【まちづくり部・建築部・中央総合事務所】

2目 都市開発費	予算額	7,254,376,445 円	決算額	4,466,939,948 円
			(前年度繰越額	1,932,657,445 円)
1 都市開発推進費				94,850 円

(1) 開発審査会費(2回)	94,850 円	
2 歴史的地区環境整備費	1,646,653 円	
(1) 唐人屋敷情報発信施設運営費	1,646,653 円	
ア 委託料	476,784 円	
(ア) 蔵の資料館管理委託	264,000 円	
(イ) 多目的トイレ(十善寺地区)清掃委託	212,784 円	
イ その他経費(報償費、光熱水費ほか)	1,169,869 円	
3 土地区画整理事業費	14,112,127 円	
	(越 4,482,000 円)	
(1) 長崎駅周辺エリアデザイン検討費	14,112,127 円	
	(越 4,482,000 円)	
ア 委託料	7,636,265 円	
(ア) 長崎駅西口駅前広場利活用支援等委託	4,928,000 円	
(イ) 長崎駅西口駅前広場社会実験管理運営委託	1,076,405 円	
(ウ) 長崎駅国道横断デッキ昇降場VRデータ修正等委託	498,300 円	
(エ) 長崎駅舎・駅前広場等デザイン検討会議運営支援委託	495,000 円	
(オ) 長崎駅新幹線駅舎現場見学会管理運営委託	496,980 円	
(カ) その他	141,580 円	
イ 長崎駅周辺エリアデザイン検討費負担金	5,685,304 円	
	(越 4,141,000 円)	
ウ その他経費	790,558 円	
	(越 341,000 円)	
4 【補助】斜面市街地再生事業費	28,034,600 円	
	(越 28,034,600 円)	
(1) 立山地区	28,034,600 円	
	(越 28,034,600 円)	
ア 工事費	28,034,600 円	
	(越 28,034,600 円)	

事業名	事業費	事業の概要
立山地区市道立山24号線 道路改良工事	28,034,600 円 (越 28,034,600 )	改良工 L= 57.5m

5 【補助】市街地再開発事業費	1,444,382,031 円	
	(越 300,298,000 円)	

(1) 新大工町地区	1,433,846,760 円
	(越 300,298,000 円)
ア 補助金等	1,433,816,000 円
	(越 300,298,000 円)
(ア) 新大工町地区市街地再開発事業費補助	1,433,716,000 円
	(越 300,298,000 円)
(イ) 全国市街地再開発協会負担	80,000 円
(ウ) その他	20,000 円
イ その他経費	30,760 円
(2) 新大工歩道橋	10,535,271 円
ア 支障物件移設補償金(電気通信線路 1件)	10,535,271 円
6 【補助】歴史的地区環境整備事業費	26,969,190 円
(1) 唐人屋敷顕在化	26,969,190 円
ア 施設修繕料	2,024,000 円
イ 委託料	2,208,800 円
(ア) 牟田口市場産業廃棄物処理委託	645,700 円
(イ) 牟田口市場看板設置委託	66,000 円
(ウ) (仮称)土神堂前公園産業廃棄物処理委託	969,100 円
(エ) (仮称)土神堂前公園除草等委託	484,000 円
(オ) (仮称)土神堂前公園アスベスト含有分析調査委託	44,000 円
ウ 工事費等	22,524,390 円

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
22,524,390 円	12,636,800 円 解体工一式	4,851,764 円 A = 125.8m <sup>2</sup>	5,035,826 円 建物、損失補償

エ その他経費 212,000 円

7 【補助】土地区画整理事業費	1,249,963,474 円
	(越 970,296,772 円)
(1) 長崎駅周辺地区(予算補助)	1,249,963,474 円
	(越 970,296,772 円)
ア 委託料	497,988,734 円
	(越 425,214,324 円)
(ア) 路面電車軌道移設工事委託	221,935,950 円
	(越 210,128,440 円)

(イ) 建物等撤去工事委託	196,578,384 円
	(越 196,578,384 円)
(ウ) 国道202号歩道橋設計等委託	51,557,000 円
(エ) 土壌汚染調査委託	18,507,500 円
	(越 18,507,500 円)
(オ) 建物調査委託	6,609,900 円
(カ) 長崎駅東通り線ほか2路線植栽ほか設計委託	2,800,000 円
イ 工事費	189,604,806 円
	(越 45,287,573 円)

事業箇所	事業費	事業の概要
	円	
国道202号 交差点照明設置工事	23,000,000	照明灯設置工 N= 9基 管路工 L= 323.0m
国道202号 照明設置工事(その1)	9,250,000	工事延長 L= 137.0m 照明灯設置工 N= 3基 機器移設工 一式
国道202号 電線共同溝整備工事	22,340,953	工事延長 L= 148.0m 管路延長 L= 1,350.0m マンホール設置工 N= 1基
国道202号 道路改良工事(その1)	5,507,381	工事延長 L= 225.0m 擁壁工 L= 24.0m 排水構造物工 L= 50.0m 舗装工 A= 589.0㎡
多目的広場等敷地整備工事	30,571,200	撤去工 一式 仮設工 一式
多目的広場等 敷地整備工事(その2)	2,365,334	撤去工 一式 仮設工 一式
長崎駅西口広場 ほか付帯工事	6,753,224 (越 6,753,224 )	工事延長 L= 520.0m 植栽工 一式
長崎駅西口広場 整備工事(その2)	31,937,040 (越 31,937,040 )	工事延長 L= 140.0m 縁石工 L= 288.0m 区画線工 L= 6.0m 排水構造物工 L= 180.0m 舗装工 A= 2,305.0㎡
長崎駅東口駅前交通 広場整備工事(その1)	16,280,000	工事延長 L= 160.0m 地盤改良工 A= 4,840.0㎡ 給水設備工 L= 194.0m 電気施設工 一式
長崎駅東西線 道路改良工事(その1)	9,054,100	工事延長 L= 85.0m 排水構造物工 L= 146.0m
長崎駅東西線 道路改良工事(その2)	25,948,265	工事延長 L= 172.0m 縁石工 L= 456.0m 排水構造物工 L= 152.0m 舗装工 A= 3,027.0㎡ 区画線工 一式
電線共同溝整備工事(その7)	1,487,126 (越 1,487,126 )	工事延長 L= 600.0m 管路延長 L= 13.0m ハンドホール設置工 N= 1基
歩行者専用道路改良工事	5,110,183 (越 5,110,183 )	工事延長 L= 82.0m 排水構造物工 L= 138.0m
計	189,604,806 (越 45,287,573 )	

ウ 支障物件等移転補償金(建物、借家人等 16件)	549,964,936 円
	(越 499,794,875 円)



エ その他経費(給料、OA機器借上料ほか)	12,404,998 円
8 【補助】都市基盤施設整備事業費	206,864,603 円
	(越 107,530,636 円)
(1) 東長崎地区	206,864,603 円
	(越 107,530,636 円)
ア 委託料	7,894,700 円
(ア) 建物等調査委託	6,469,100 円
(イ) 工作物等調査委託	434,500 円
(ウ) 取付道路図面作成委託	498,300 円
(エ) 平面図等作成委託	492,800 円
イ 工事費	124,495,000 円
	(越 39,239,492 円)

事業名	事業費	事業の概要
東長崎縦貫線 (清藤地区)道路改良工事(1)	34,717,100 (越 18,008,255 円)	工事延長 L= 122.0m 舗装工 A= 1,455.0m <sup>2</sup>
東長崎縦貫線 (清藤地区)道路改良工事(2)	9,254,300	工事延長 L= 26.0m ブロック積擁壁工 A= 36.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L= 25.0m 舗装工 A= 160.0m <sup>2</sup> 防護柵工 L= 15.0m 擁壁工 L= 34.0m
(仮称)清藤公園造成工事	19,821,200 (越 19,821,200 円)	整備面積 A= 3,100.0m <sup>2</sup> 排水工 L= 63.0m 重力式擁壁工 L= 13.0m ブロック積工 A= 204.0m <sup>2</sup> 法面工 A= 178.0m <sup>2</sup> 路盤工 A= 256.0m <sup>2</sup> 地下排水工 L= 128.0m
(仮称)清藤公園整備工事(1)	45,008,700 (越 1,410,037 円)	整備面積 A= 2,800.0m <sup>2</sup> コンクリートブロック工 A= 618.0m <sup>2</sup>
(仮称)清藤公園整備工事(2)	15,693,700	整備面積 A= 2,800.0m <sup>2</sup> 擁壁工 L= 59.0m 排水構造物工 L= 281.0m 地下排水工 L= 131.0m 汚物排水工 L= 16.0m 付帯工 A= 50.0m <sup>2</sup>
計	124,495,000 (越 39,239,492 円)	

ウ 用地購入費等	74,474,903 円
	(越 68,291,144 円)

事業費	事業の概要	
	用地購入	支障物件補償
74,474,903 円 (越 68,291,144 円)	30,218,018 円 (越 30,218,018 円) 東町 A= 1,127.5m <sup>2</sup>	44,256,885 円 (越 38,073,126 円) 建物、工作物等 14件

9 【補助】都市構造再編事業費	84,857,468 円
(1) 長崎駅周辺地区	84,857,468 円
ア 給料	1,000,000 円

## イ 工事費

83,857,468 円

事業名	事業費	事業の概要
国道横断デッキ昇降場建設主体工事	56,540,000 円	鉄骨造 階数 地上2階 建築面積 A= 289.7㎡ 延べ面積 A= 99.6㎡
国道横断デッキ昇降場建設昇降機工事	22,287,468	昇降設備 一式
国道横断デッキ昇降場建設設管工事	5,030,000	衛生器具設備 一式 給水設備 一式 排水設備 一式 換気設備 一式
計	83,857,468	

## 10 【単独】土地区画整理事業費

1,378,085,553 円

(越 513,782,437 円)

## (1) 東長崎平間・東地区

164,515,029 円

## ア 東長崎平間・東地区土地区画整理事業評価員会議開催経費(1回)

24,250 円

## イ 委託料

46,509,597 円

## (ア) 事業計画変更図書作成等委託

41,924,300 円

## (イ) 建物事後調査委託

2,302,300 円

## (ロ) 転落防護柵設置等委託

385,000 円

## (ハ) 除草委託

237,545 円

## (ニ) 清掃委託

435,744 円

## (ホ) 分筆登記委託

1,060,926 円

## (ヘ) その他

163,782 円

## ウ 工事費

96,980,400 円

事業名	事業費	事業の概要
6-18号線ほか道路改良その他工事	6,393,200 円	工事延長 L= 49.0m 工事面積 A= 563.0㎡ 排水構造物工 L= 52.0m 舗装工 A= 305.0㎡ 擁壁工 L= 21.0m
29街区ほか整地その他工事	27,307,500	工事面積 A= 1,068.0㎡ 工事延長 L= 3.0m 擁壁工 L= 22.0m コンクリートブロック擁壁工 A= 91.0㎡ 舗装工 A= 52.0㎡ 排水構造物工 L= 24.0m
東長崎縦貫線ほか道路改良工事	30,010,200	工事延長 L= 219.0m 舗装工 A= 3,085.0㎡ 排水構造物工 L= 329.0m 縁石工 L= 146.0m
矢上町山手線ほか歩道改良その他工事	5,259,100	工事延長 L= 97.0m 舗装工 A= 433.0㎡ 排水構造物工 L= 37.0m 縁石工 L= 14.0m
29街区ほか整地その他工事(2)	7,879,300	工事面積 A= 734.0㎡ 工事延長 L= 89.0m コンクリートブロック擁壁工 A= 74.0㎡ アスファルト舗装工 A= 362.0㎡ 区画線工 L= 10.0m
東長崎縦貫線擁壁等附帯工事	3,988,600	コンクリート舗装工 A= 25.0㎡ 場所打擁壁工 V= 36.0m³ 排水構造物工 L= 5.0m
2号緑地整備工事	3,707,000	整備面積 A= 801.0㎡ 地被類植栽工 N= 1,602鉢 転落防護柵工 L= 13.0m

事業名	事業費	事業の概要
八郎川東川端線 道路改良工事	3,880,800	工事延長 L= 115.0m アスファルト舗装工 A= 311.0㎡ 転落防護柵工 L= 115.0m
8-3号線ほか 道路改良その他工事	3,793,900	工事延長 L= 129.0m アスファルト舗装工 A= 633.0㎡ 区画線工 L= 168.0m
矢上町山手線 道路植栽工事	4,760,800	道路植栽工 N= 24本
計	96,980,400	

エ 負担金	1,273,300 円
(ア) 上水道配水管布設工事費負担	1,241,400 円
(イ) その他	31,900 円
オ 支障物件等移転補償金(電線、配水管ほか9件)	12,952,089 円
カ その他経費(報酬、修繕料ほか)	6,775,393 円
(2) 長崎駅周辺地区	1,213,570,524 円
	(越 513,782,437 円)
ア 委託料	232,393,034 円
	(越 187,206,767 円)
(ア) 路面電車軌道移設工事委託	96,815,000 円
	(越 96,815,000 円)
(イ) 建物等撤去工事委託	10,568,141 円
	(越 3,444,141 円)
(ウ) 長崎駅東口仮設通路移設工事委託	28,463,484 円
	(越 28,312,126 円)
(エ) 電線共同溝整備工事(管路整備)委託	2,036,100 円
(オ) 長崎駅舎東口キャンピ―等設計委託	56,640,100 円
	(越 56,640,100 円)
(カ) 国道202号歩道橋設計等委託	22,033,681 円
(キ) 土壌汚染調査委託	2,567,400 円
	(越 1,995,400 円)
(ク) 長崎駅西口広場ほか植栽管理委託	2,178,000 円
(ケ) 長崎駅西口駅前広場サイン設置委託	966,400 円
(コ) 建物調査委託	579,700 円
(サ) 安全対策委託	459,800 円
(シ) 交差点計画検討委託	6,600,000 円

(ス) 長崎駅東通り線交通量調査委託	251,900 円
(セ) 長崎駅東西線交通解析委託	495,000 円
(シ) 長崎駅東口仮設通路照明設備等設置委託	815,043 円
(タ) その他	923,285 円
イ 工事費	713,196,846 円
	(越 237,482,951 円)

事業箇所	事業費	事業の概要
国道横断デッキ昇降場建設昇降機工事	9,960,132 円	昇降設備 一式
国道横断デッキ昇降場建設膜屋根ほか工事	20,680,000	鉄骨造 建築面積 A = 303.0m <sup>2</sup>
国道202号電線共同溝整備工事	306,047	工事延長 L = 148.0m 舗装工 A = 9.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L = 6.0m
国道202号道路改良工事(その1)	7,192,619	工事延長 L = 225.0m 舗装工 A = 589.0m <sup>2</sup> 縁石工 L = 135.0m 防護柵工 L = 56.0m 区画線工 一式
植栽移植工事	2,734,600	移植工 N = 4本
多目的広場等敷地整備工事	19,372,100	撤去工 一式 排水工 L = 57.0m 舗装工 A = 1,200.0m <sup>2</sup> 区画線工 L = 1,095.0m
多目的広場等敷地整備工事(その2)	3,022,666	軟弱地盤処理工 一式 排水工 L = 10.0m
長崎駅西口広場ほか付帯工事	40,855,476 (越 40,855,476)	工事延長 L = 520.0m 植栽工 一式 縁石工 L = 224.0m 舗装工 A = 925.0m <sup>2</sup> 区画線工 一式
長崎駅西口広場整備工事(その2)	21,167,860 (越 19,906,421)	工事延長 L = 140.0m 排水構造物工 L = 180.0m 縁石工 L = 288.0m 舗装工 A = 2,305.0m <sup>2</sup>
長崎駅西口広場付帯工事	9,718,500 (越 9,179,500)	サイン工 N = 4基 身障者駐車場設置工 N = 1基
長崎駅東口仮設通路整備工事	19,939,700 (越 17,169,887)	工事延長 L = 237.7m 舗装工 A = 1,229.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L = 30.0m
長崎駅東西線道路改良工事(その1)	5,385,600	工事延長 L = 85.0m 排水構造物工 L = 146.0m
長崎駅東西線道路改良工事(その2)	5,746,735	工事延長 L = 172.0m 縁石工 L = 456.0m 排水構造物工 L = 152.0m 舗装工 A = 3,027.0m <sup>2</sup>
電線共同溝整備工事(その7)	69,577,674 (越 64,891,125)	工事延長 L = 600.0m 管路延長 L = 3,044.0m マンホール設置工 N = 8基 ハンドホール設置工 N = 14基
電線共同溝整備工事(その8)	50,900,000	工事延長 L = 333.0m 管路延長 L = 4,867.0m マンホール設置工 N = 7基 ハンドホール設置工 N = 12基
歩行者専用道路ほか道路付帯工事	13,500,000	工事延長 L = 150.0m 排水構造物工 L = 22.0m 縁石工 L = 63.0m 舗装工 A = 250.0m <sup>2</sup> 防護柵設置工 L = 14.0m
歩行者専用道路改良工事	6,250,517 (越 5,837,542)	工事延長 L = 82.0m 排水構造物工 L = 138.0m 舗装工 A = 26.0m <sup>2</sup>

事業箇所	事業費	事業の概要
長崎駅西口広場照明設備設置工事	円 29,315,000 (越 29,315,000)	車道照明 N= 5基 歩道照明 N= 8基 ベンチ照明 N= 10基 フットライト N= 24基
長崎駅東口キャンピー・ロングルーフほか建設主体工事	325,495,720	キャンピー 鉄骨造 建築面積 A= 188.5㎡ ロングルーフ 鉄骨造一部木造 建築面積 A= 744.0㎡ シェルター 鉄骨造 建築面積 A= 151.3㎡
長崎駅東口仮設通路 上屋設置工事	48,436,900 (越 46,689,000)	鉄骨造 建築面積 A= 877.7㎡
長崎駅東口仮設通路 電気設備設置工事	3,639,000 (越 3,639,000)	LED照明器具 N= 68基
計	713,196,846 (越 237,482,951)	

ウ 負担金	171,522,209 円 (越 88,709,300 円)
(ア) 上水道工事費負担	22,092,200 円 (越 12,095,000 円)
(イ) 下水道工事費負担	147,553,900 円 (越 76,614,300 円)
(ウ) 長崎駅西口駅前広場清掃負担	1,566,245 円
(エ) その他	309,864 円
エ 支障物件移設等補償金(支障物件 4件、仮換地指定補償 1件)	88,279,351 円 (越 383,419 円)
オ その他経費(修繕料、印刷製本費ほか)	8,179,084 円
11 【単独】都市基盤施設整備事業費	31,929,399 円 (越 8,233,000 円)
(1) 東長崎地区	31,929,399 円 (越 8,233,000 円)
ア 委託料	13,070,199 円
(ア) 分筆登記等委託	4,041,958 円
(イ) 地質調査委託	4,665,100 円
(ウ) 擁壁工予備設計委託	3,050,212 円
(エ) 道路台帳作成委託	399,300 円
(オ) 公園台帳作成委託	424,600 円
(カ) 工作物等再調査・再算定委託	489,029 円

イ 工事費

15,789,800 円

(越 8,233,000 円)

事業名	事業費	事業の概要
東長崎縦貫線 (清藤地区)道路改良工事(1)	3,132,800 円	工事延長 L=122.0m 舗装工 A=1,455.0m <sup>2</sup>
東長崎縦貫線 (清藤地区)道路改良工事(2)	944,900	工事延長 L=26.0m ブロック積擁壁工 A=36.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L=25.0m 防護柵工 L=15.0m 擁壁工 L=34.0m 舗装工 A=160.0m <sup>2</sup>
(仮称)清藤公園造成工事	7,242,800 (越 7,242,800)	整備面積 A=3,100.0m <sup>2</sup> 排水工 L=63.0m 重力式擁壁工 L=13.0m ブロック積工 A=204.0m <sup>2</sup> 法面工 A=178.0m <sup>2</sup> 路盤工 A=256.0m <sup>2</sup> 地下排水工 L=128.0m
(仮称)清藤公園整備工事(2)	4,469,300 (越 990,200)	整備面積 A=2,800.0m <sup>2</sup> 擁壁工 L=59.0m 排水構造物工 L=281.0m 地下排水工 L=131.0m 汚物排水工 L=16.0m 付帯工 A=50.0m <sup>2</sup>
計	15,789,800 (越 8,233,000)	

ウ その他経費(修繕料、手数料ほか)

3,069,400 円

## 【土木部・まちづくり部】

## 3目 街路事業費

予算額

939,228,635 円

決算額

615,015,806 円

(前年度繰越額 198,674,724 円)

## 1 【補助】都市計画街路整備事業費(社会資本整備総合交付金)

385,797,935 円

(越 160,697,935 円)

## (1) 新地町稲田町線

24,039,313 円

(越 24,039,313 円)

## ア 分筆登記委託料

158,017 円

(越 158,017 円)

## イ 工事費等

23,539,313 円

(越 23,539,313 円)

事業費	事業の概要		
	工事	用地購入	支障物件補償
円 23,539,313 (越 23,539,313)	円 16,128,215 (越 16,128,215) L=91.1 m	円 3,170,334 (越 3,170,334) A=60.3 m <sup>2</sup>	円 4,240,764 (越 4,240,764) 建物等

## ウ その他経費

341,983 円

(越 341,983 円)

## (2) 銅座町松が枝町線(銅座工区)

337,608,622 円

(越 115,658,622 円)

## ア 委託料

33,680,229 円

(越 14,858,622 円)

(ア) 測量設計委託	4,267,340 円
(イ) 建物調査委託	14,456,200 円
(ウ) 交通解析委託	14,199,900 円
	(越 14,158,622 円)
(エ) 分筆委託	756,789 円
	(越 700,000 円)
イ 用地購入費等	290,235,182 円
	(越 96,782,000 円)

事業費	事業の概要	
	用地購入	支障物件補償
円	円	円
290,235,182	234,061,552	56,173,630
(越 96,782,000 )	(越 40,608,370 )	(越 56,173,630 )
	A= 90.7 m <sup>2</sup>	建物等

ウ その他経費(給料、OA機器借上料ほか)	13,693,211 円
	(越 4,018,000 円)
(3) 片淵線(新大工工区)	24,150,000 円
	(越 21,000,000 円)
ア 工事費(L= 87.8m)	23,000,000 円
	(越 20,000,000 円)
イ その他経費(給料、手数料)	1,150,000 円
	(越 1,000,000 円)

2 【補助】都市構造再編事業費	88,027,378 円
	(越 37,976,789 円)
(1) 長崎駅中央通り線	50,050,589 円
ア 工事費	49,573,800 円

事業名	事業費	事業の概要
交差点照明設置工事	円 16,070,000	照明灯設置工 N= 6基
道路改良工事	33,503,800	工事延長 L= 55.5m 舗装工 A= 938.0m <sup>2</sup> 排水構造物工 L= 186.0m 縁石工 L= 139.0m
計	49,573,800	

イ その他経費	476,789 円
(2) 長崎駅東通り線	37,976,789 円
	(越 37,976,789 円)

ア 建物調査委託料	2,024,000 円	(越 2,024,000 円)
イ ガス供給施設移設補償金	35,952,789 円	(越 35,952,789 円)
3 【単独】都市計画街路整備事業費	141,190,493 円	
(1) 長崎駅中央通り線	12,311,200 円	
ア 工事費	12,311,200 円	

事業名	事業費	事業の概要
道路改良工事	12,311,200 円	工事延長 L= 55.5m 排水構造物工 L= 186.0m 縁石工 L= 139.0m

(2) 地方道路等整備事業費	126,418,593 円
ア 委託料	33,773,464 円
(ア) 測量設計委託	1,504,360 円
(イ) 建物調査委託	30,820,900 円
(ウ) 分筆登記委託	963,192 円
(エ) その他	485,012 円
イ 工事費等	85,752,311 円

路線名	事業費	事業の概要	
		工事	用地購入
新地町 稲田町線	1,602,447 円	1,585,085 円 L= 8.9 m	17,362 円 A= 1.0 m <sup>2</sup>
銅座町松が枝町線 (銅座工区)	47,098 円		47,098 円 A= 1.0 m <sup>2</sup>
片淵線 (新大工工区)	576,300 円	576,300 円 L= 2.2 m	
片淵線 (経済裏工区)	8,836,466 円		8,836,466 円 A= 21.6 m <sup>2</sup>
竹の久保町 川口町1号線	74,690,000 円	74,690,000 円 L= 54.0 m	
計	85,752,311 円	76,851,385 円	8,900,926 円

ウ その他経費(修繕料、手数料ほか)	6,892,818 円
(3) 街路改良事業費	2,460,700 円
ア 施設修繕料	1,988,800 円
イ 除草委託料	471,900 円



【上下水道局】

4目 公共下水道費	予算額	4,496,978,000 円	決算額	4,434,254,324 円
1 繰出金				4,434,254,324 円
(1) 下水道事業会計繰出金				4,434,254,324 円
ア 負担金				2,175,170,178 円
イ 補助金				16,489,146 円
ウ 出資金				2,242,595,000 円

【中央総合事務所・東総合事務所】

5目 都市下水路費	予算額	8,621,000 円	決算額	5,961,336 円
1 都市下水路費				5,486,336 円
(1) 都市下水路維持管理費				5,486,336 円
ア 施設修繕料				2,488,200 円
イ 委託料				2,979,416 円
(ア) 清掃委託				1,064,316 円
(イ) 剪定・除草等委託				1,415,700 円
(ウ) 土砂撤去等委託				499,400 円
ウ その他経費				18,720 円
2 【単独】都市下水路整備事業費				475,000 円
(1) 岩原都市下水路				475,000 円
ア 調査委託料				475,000 円

【土木部・中央総合事務所・東総合事務所・南総合事務所・北総合事務所】

6目 公園費	予算額	2,000,705,400 円	決算額	1,714,436,267 円
			(前年度繰越額)	245,164,600 円)
1 公園企画費				3,521,760 円
(1) 平和公園再整備基本計画策定費				3,521,760 円
ア 平和公園再整備基本計画検討委員会開催経費(3回)				401,760 円
イ 基本計画策定委託料				3,120,000 円
2 公園等維持管理費				984,283,646 円
(1) 施設維持管理費				532,587,388 円
ア 光熱水費				65,610,795 円
イ 公園維持作業員報酬等				44,220,598 円
ウ 施設修繕料				101,641,912 円
エ 委託料				271,306,225 円

(ア) 公園清掃等委託	115,961,155 円
(イ) 公園便所清掃委託	39,189,123 円
(ウ) 公園樹木管理等委託	74,916,923 円
(エ) 公園花壇植栽管理委託	132,000 円
(オ) 浄化槽保守点検委託	2,824,527 円
(カ) 自家用電気工作物保安委託	1,143,120 円
(キ) 遊具等設置・撤去委託	1,485,000 円
(ク) 駐車場整理委託	843,150 円
(ケ) エレベータ保守点検委託	1,016,400 円
(コ) 消防用設備等保守点検委託	144,100 円
(サ) 公園警備委託	2,284,516 円
(シ) 清掃用具配送委託	1,061,868 円
(ス) 清掃道具箱製作委託	546,700 円
(セ) 貯水槽等保守点検委託	742,500 円
(ソ) 公園遊具点検等委託	1,276,000 円
(タ) 市有街路樹灯保守管理委託	1,211,114 円
(チ) ラグビー・サッカー場警備委託	48,840 円
(ツ) 平和公園乙女の像機械警備委託	244,200 円
(テ) 平和公園エスカレーター保守点検委託	8,157,600 円
(ト) 市営庭球場照明料金精算機保守点検委託	336,600 円
(ナ) 市営庭球場照明使用料等収納事務委託	377,520 円
(ニ) 公園管理システム保守等委託	495,000 円
(ヌ) 看板設置等委託	1,534,500 円
(ネ) アスベスト含有分析調査委託	731,500 円
(ノ) 産業廃棄物処理委託	99,275 円
(ハ) 計画策定等委託	13,669,700 円
(ヒ) その他	833,294 円
オ 使用料及び賃借料	14,188,148 円
(ア) 土地借上	3,154,359 円
(イ) 下水道使用料	10,335,315 円
(ウ) その他	698,474 円
カ 補助金等	16,369,000 円
(ア) 公園清掃補助金( 384箇所、234自治会)	16,361,000 円
(イ) その他	8,000 円

キ 物損事故見舞金(1件)	83,600 円
ク その他経費(消耗品費、手数料ほか)	19,167,110 円
(2) 管理運営費	412,445,565 円
ア 施設修繕料	29,263,520 円
イ 委託料	369,876,249 円
(ア) 長崎東公園指定管理に係る委託	107,618,951 円
(イ) 長崎市総合運動公園指定管理に係る委託	112,229,400 円
(ウ) 野母崎総合運動公園指定管理に係る委託	12,914,169 円
(エ) 稲佐山公園指定管理に係る委託	117,162,883 円
(オ) 長崎公園指定管理に係る委託	18,849,746 円
(カ) 特定動物(ニホンザル)マイクロチップ埋込委託	473,000 円
(キ) その他	628,100 円
ウ 使用料及び賃借料	3,640,056 円
(ア) 長崎東公園プール入退場ゲートシステム借上	640,200 円
(イ) 長崎稲佐山スロープカー中腹駅ほか印刷式自動券売機借上	2,715,240 円
(ウ) AED機器借上	284,616 円
エ 備品購入費(屋内運動器具、乗用草刈機ほか)	7,438,420 円
オ その他経費(消耗品費、通信運搬費)	2,227,320 円
(3) 管理事務所維持管理費	5,422,507 円
ア 光熱水費	3,327,253 円
イ 施設修繕料	1,101,650 円
ウ 委託料	173,800 円
(ア) 消防用設備等保守点検委託	33,000 円
(イ) 害虫等駆除委託	140,800 円
エ 下水道使用料	153,013 円
オ その他経費	666,791 円
(4) 公衆便所維持管理費	33,828,186 円
ア 光熱水費	4,206,847 円
イ 施設修繕料	2,649,130 円
ウ 委託料	23,319,112 円
(ア) 公衆便所清掃委託	22,529,312 円
(イ) 浄化槽保守点検委託	498,300 円
(ウ) アスベスト含有分析調査委託	291,500 円
エ 下水道使用料	2,282,139 円

オ 公衆便所上下水道使用料負担金	175,436 円
カ その他経費(消耗品費、手数料)	1,195,522 円
3 【補助】公園等施設整備事業費	328,444,990 円
	(越 196,160,300 円)
(1) 金比羅公園	50,759,190 円
	(越 38,874,500 円)
ア 委託料	691,900 円
(ア) 費用対効果再分析委託	492,800 円
(イ) 樹木剪定等委託	199,100 円
イ 工事費	21,219,000 円
	(越 12,874,500 円)

事業名	事業費	事業の概要
園路整備工事	21,219,000 円 (越 12,874,500)	工事延長 L= 47.0m 土工 一式 重力式擁壁工 L= 32.0m 排水構造物工 L= 40.0m ガードパイプ基礎工 L= 30.0m 舗装工 A= 298.0㎡

ウ 用地購入費(立山5丁目ほか A= 346.8㎡)	2,591,990 円
エ 支障物件移設補償金(水道施設)	25,506,300 円
	(越 25,500,000 円)
オ その他経費	750,000 円
	(越 500,000 円)
(2) 魚の町公園	90,000,000 円
ア 工事費	90,000,000 円

事業名	事業費	事業の概要
公園整備工事	90,000,000 円	整備面積 A= 2,600.0㎡ 擁壁工 L= 161.0m 照明設備工 一式 コンクリート舗装工 A= 1,530.0㎡ デッキ工 N= 2基 ベンチ・スツール工 N= 29基 ほか

(3) 都市公園	157,285,800 円
	(越 157,285,800 円)
ア 工事費	157,285,800 円
	(越 157,285,800 円)

事業名	事業費	事業の概要
長崎市総合運動公園ほか3公園 遊具設置工事	5,790,423 円 (越 5,790,423)	長崎市総合運動公園 遊具設置工 N= 2基 滑石3丁目中の公園 遊具設置工 N= 2基 滑石中央公園 遊具設置工 N= 3基 富士見公園 遊具設置工 N= 1基
長崎公園ほか4公園 遊具設置工事	34,393,877 円 (越 34,393,877)	長崎公園 遊具設置工 N= 1基 太田尾港緑地公園 遊具設置工 N= 1基 片淵近隣公園 遊具設置工 N= 1基 西山台南公園 遊具設置工 N= 2基 立山公園 遊具設置工 N= 2基

事業名	事業費	事業の概要
末広公園ほか1公園 遊具設置工事	18,087,740 (越 18,087,740)	末広公園 遊具設置工 N=2基 木鉢1丁目公園 遊具設置工 N=3基
立山公園 夜間照明設備 改修工事	40,225,900 (越 40,225,900)	照明設備工 N=5基
風頭公園遊具設置工事	5,150,633 (越 5,150,633)	遊具設置工 N=4基
東望山公園ほか3公園 遊具改修工事	18,774,627 (越 18,774,627)	東望山公園 遊具設置工 N=2基 日見公園 遊具設置工 N=2基 東望公園 遊具設置工 N=3基
えがわ運動公園 遊具設置工事	10,286,100 (越 10,286,100)	遊具設置工 N=3基
香焼第2児童公園 遊具設置工事	8,113,900 (越 8,113,900)	遊具設置工 N=2基
三京中央公園ほか 整備工事	16,462,600 (越 16,462,600)	三京中央公園 遊具設置工 N=5基 さくらの里西公園 遊具設置工 N=1基
計	157,285,800 (越 157,285,800)	

(4) 都市基幹公園 3,995,000 円

ア 工事費 3,995,000 円

事業名	事業費	事業の概要
稲佐山公園遊具設置工事	3,995,000 円	遊具設置工 N=2基 コンクリート舗装工 A=95.0㎡

(5) 住区基幹公園 26,405,000 円

ア 工事費 26,405,000 円

事業名	事業費	事業の概要
梁川公園ほか1公園 遊具設置工事	16,565,025	梁川公園 遊具設置工 N=6基 小瀬戸公園 遊具設置工 N=3基
城山公園ほか2公園 遊具設置工事	9,839,975	城山公園 遊具設置工 N=2基 小江原台西公園 遊具設置工 N=2基
計	26,405,000	

4 【単独】公園施設整備事業費 233,050,081 円

(越 40,972,800 円)

(1) 稲佐山公園 15,000,000 円

ア 工事費 15,000,000 円

事業名	事業費	事業の概要
園路舗装工事	15,000,000 円	工事延長 L=420.0m アスファルト舗装工 A=2,693.0㎡ 区画線工 L=481.0m

(2) 都市基幹公園	65,884,990 円
ア 実施設計委託料	5,309,590 円
イ 工事費	60,575,400 円

事業名	事業費	事業の概要
	円	
長崎市総合運動公園ほか3公園 遊具設置工事	977	遊具設置工 一式
長崎公園ほか4公園 遊具設置工事	9,723	遊具設置工 一式
稲佐山公園遊具設置工事	3,067,000	遊具設置工 N= 2基 コンクリート舗装工 A= 71.0㎡
稲佐山公園園路舗装工事	7,342,100	工事延長 L= 180.0m アスファルト舗装工 A= 1,155.0㎡ 区画線工 L= 207.0m
長崎市総合運動公園 園路舗装工事(1)	15,814,700	工事延長 L= 862.0m アスファルト舗装工 A= 3,190.0㎡
長崎市総合運動公園 園路舗装工事(2)	22,243,100	工事延長 L= 675.0m アスファルト舗装工 A= 4,410.0㎡
稲佐山公園 中腹駐車場舗装工事	12,097,800	アスファルト舗装工 A= 2,310.0㎡ 区画線工 L= 825.0m
計	60,575,400	

(3) 住区基幹公園	92,698,581 円
ア 工事費	89,748,532 円

事業名	事業費	事業の概要
	円	
魚の町公園整備工事	101,000	散水施設工 N= 2箇所
長崎市総合運動公園ほか3公園 遊具設置工事	21,000	遊具設置工 一式
末広公園ほか1公園 遊具設置工事	46,860	遊具設置工 一式
風頭公園遊具設置工事	2,351,367	遊具撤去工 N= 8基
梁川公園ほか1公園 遊具設置工事	1,050,375	遊具設置工 一式
城山公園ほか2公園 遊具設置工事	2,155,525	小江原台西公園 水飲み場設置工 N= 1基 滑石3丁目中の公園 ベンチ設置工 N= 4基
日の出町公園整備工事	1,579,200	遊具補修工 一式
古賀団地北公園ほか4公園 整備工	10,613,900	古賀団地北公園 ベンチ設置工 N= 4基 休養施設工 N= 1基 古賀山の田公園 防護柵工 L= 35.9m
東望山公園ほか3公園 遊具改修工事	709,673	東望山公園 コンクリート舗装工 A= 9.0㎡ 車止め設置工 N= 3基 矢上団地近隣公園 遊具設置工 N= 2基

事業名	事業費	事業の概要
平山台緑地ほか1公園 整備備工	22,486,200 円	平山台緑地 園路広場整備工 A= 95.0m <sup>2</sup> 防護柵工 L= 283.0m 香焼第2児童公園 防護柵工 L= 94.0m
香焼第2児童公園 遊具設置工	4,592,732	ベンチ設置工 N= 8基 車止め設置工 N= 4基
京泊緑道ほか1公園 整備工	32,093,600	京泊緑道 アスファルト舗装工 A= 2,190.0m <sup>2</sup> 京泊公園 遊具設置工 N= 2基
京泊緑道整備工事	11,947,100	カラーアスファルト舗装工 A= 764.0m <sup>2</sup>
計	89,748,532	

イ 用地購入費(A= 10.6m<sup>2</sup>) 2,950,049 円

(4) 特殊公園 400,000 円

ア 施設修繕料 400,000 円

(5) 既設公園 59,066,510 円

(越 40,972,800 円)

ア 工事費 59,066,510 円

(越 40,972,800 円)

事業名	事業費	事業の概要
長崎東公園 コンクリートブロック 改修工	1,457,500 円 (越 1,457,500)	防護柵工 L= 49.7m
大宮公園ほか1公園 コンクリートブロック 改修工事	11,632,500 (越 11,632,500)	大宮公園 防護柵工 L= 65.0m 金堀西部公園 防護柵工 L= 19.0m
おりおん座公園ほか2公園 コンクリートブロック 改修工事	8,290,700 (越 8,290,700)	おりおん座公園 防護柵工 L= 37.8m かに座公園 防護柵工 L= 49.9m 小ヶ倉なかまち公園 防護柵工 L= 67.0m
宮の下公園ほか1公園 コンクリートブロック 改修工事	4,386,800 (越 4,386,800)	宮の下公園 防護柵工 L= 56.0m 曙公園 防護柵工 L= 45.0m
江里町公園ほか1公園 コンクリートブロック 改修工事	3,776,300 (越 3,776,300)	江里町公園 防護柵工 L= 25.7m 西郷橋公園 防護柵工 L= 23.3m
鳴見台ひかり公園ほか2公園 外構整備工	11,429,000 (越 11,429,000)	鳴見台ひかり公園 防護柵工 L= 28.7m 鳴見台東公園 防護柵工 L= 28.4m 鳴見台西公園 防護柵工 L= 25.2m
黒崎永田湿地自然公園 整備工	13,834,510	工事面積 A= 3,790.0m <sup>2</sup> 土工 V= 1,770.0m <sup>3</sup>
琴海南部公園 フットライト改修工	4,259,200	電灯設備 一式
計	59,066,510 (越 40,972,800)	

5 【単独】公園再整備事業費 8,031,500 円

(越 8,031,500 円)

(1) 日の出町公園ほか	8,031,500 円
	(越 8,031,500 円)
ア 工事費	8,031,500 円
	(越 8,031,500 円)

事業名	事業費	事業の概要
日の出町公園整備工事	円 8,031,500 (越 8,031,500)	工事面積 A= 540.0㎡ 擁壁工 L= 18.0m ベンチ設置工 N= 3基 ほか

6 【単独】公園便所整備事業費	24,479,400 円
(1) 既設公園	24,479,400 円
ア 工事費	24,479,400 円

事業名	事業費	事業の概要
築廻公園便所 新築ほか工事	円 12,940,400	鉄筋コンクリート造平屋建 A= 21.9㎡
樺島灯台公園便所 新築ほか工事	11,539,000	鉄筋コンクリート造平屋建 A= 21.6㎡
計	24,479,400	

7 【単独】公園灯整備事業費	132,624,890 円
(1) LED公園灯	132,624,890 円
ア 工事費(N= 508灯)	131,958,640 円
イ その他経費	666,250 円

【土木部・まちづくり部】

7目 県施行事業費負担金	予算額	1,030,266,285 円	決算額	407,892,718 円
			(前年度繰越額)	361,018,285 円)
1 都市計画費負担金			(越	361,018,285 円)
(1) 社会資本整備総合交付金事業費			(越	64,118,062 円
			(越	42,123,271 円)

路線名	事業費	負担割合			市負担金	事業の概要
		国	県	市		
滑石町線 (大神宮工区) 道路改良	円 641,180,620 (越 421,232,710)	% 57.5	% 32.5	% 10.0	円 64,118,062 (越 42,123,271)	改良工(排水工) L= 26.0m 河川改修 一式 用地補償 一式



## (2) 街路事業費

20,076,381 円

(越 10,024,879 円)

路 線 名	事 業 費	負 担 割 合			市 負 担 金	事 業 の 概 要
		国	県	市		
長 崎 南 北 調 査 幹 線 道 路	円 40,152,762 (越 20,049,758 )	% -	% 50.0	% 50.0	円 20,076,381 (越 10,024,879 )	調査一式 交通解析一式 道路予備設計一式

## (3) 旧地方特定道路整備事業費

6,426,055 円

(越 4,125,135 円)

路 線 名	事 業 費	負 担 割 合			市 負 担 金	事 業 の 概 要
		国	県	市		
滑 石 町 線 道 路 (大神宮工区)改良	円 32,130,275 (越 20,625,675 )	% -	% 80.0	% 20.0	円 6,426,055 (越 4,125,135 )	改良工(排水工) L= 48.0m 交通解析一式

## (4) JR長崎本線連続立体交差事業費

317,272,220 円

(越 304,745,000 円)

路 線 名	事 業 費	負 担 割 合			市 負 担 金	事 業 の 概 要
		国	県	市		
長崎駅周辺連続鉄道 立体交差事業高架	円 1,301,107,773 (越 1,276,053,333 )	% 55.0	% 22.5	% 22.5	円 317,272,220 (越 304,745,000 )	浦上駅前広場整備工 一式 鉄道施設撤去工一式

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
	6 住 宅 費	(2,606,845,111) 2,398,921,111	(2,257,342,387) 2,049,837,947	(250,561,000) 250,561,000	(98,941,724) 98,522,164

【建築部】

1目 住宅管理費	予算額	2,175,198,111 円	決算額	1,845,341,167 円
			(前年度繰越額)	86,990,800 円)
1 市営住宅管理費				598,704,690 円
(1) 維持補修費				38,846,193 円
ア 施設修繕料				8,173,950 円
イ 委託料				10,445,533 円
(ア) 消防用設備等保守点検委託				198,000 円
(イ) 貯水設備等保守点検委託				684,200 円
(ウ) 機械設備保守点検委託				5,951,330 円
(エ) 測量委託				499,875 円
(オ) シルバーハウジング住宅緊急通報システム設置・保守委託				3,112,128 円
ウ 工事費				19,467,800 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
高架水槽取替工事	10,429,100 円	宿町第2団地8・11号棟
緑地改修工事	9,038,700	二本松団地
計	19,467,800	

エ 池島・高島地区移転集約事業に係る移転補償金(2件)	428,910 円
オ その他経費	330,000 円
(2) 指定管理費	495,916,566 円
ア 市営住宅指定管理に係る委託料	495,916,566 円
(3) 管理事務費	35,060,252 円
ア 住宅管理人報酬	9,143,735 円
イ 光熱水費	4,783,642 円
ウ 委託料	1,827,420 円
(ア) DynaCAD年間保守委託	24,750 円
(イ) 納付通知書印字封入封緘等委託	405,738 円
(ウ) コンビニエンスストア収納事務委託	1,114,589 円
(エ) インターネットバンキング、クレジットカード及び電子マネー収納事務委託	282,343 円
エ 負担金	5,926,106 円
(ア) チトセピアアパート共用管理費負担	5,209,185 円

(イ) 共益費負担	33,164	円
(ウ) 日本住宅協会負担	18,000	円
(エ) 池島公営住宅浄化槽保守点検負担	665,757	円
オ 新戸町住宅敷地内の事故に係る損害賠償金	130,111	円
カ その他経費(消耗品費、印刷製本費ほか)	13,249,238	円
(4) 建物保険料	8,755,279	円
(5) 借上公営住宅借上料(89戸)	20,126,400	円
ア 戸町団地(42戸)	2,955,400	円
イ 松が枝団地(47戸)	17,171,000	円
2 優良賃貸住宅供給費	6,425,890	円
(1) 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進費補助金(2件)	6,425,890	円
3 住宅リフォーム支援費	145,427,214	円
(1) ながさき住みよ家リフォーム補助金	77,259,349	円
ア 自動車安全運転講習会実施委託料	25,872	円
イ ながさき住みよ家リフォーム補助金(904件)	63,653,000	円
ウ その他経費(報酬、職員手当等ほか)	13,580,477	円
(2) 住宅性能向上リフォーム補助金	49,910,306	円
ア 住宅性能向上リフォーム補助金(618件)	49,844,000	円
イ その他経費	66,306	円
(3) 子育て住まいづくり支援費補助金	18,257,559	円
ア 子育て住まいづくり支援費補助金(64件)	18,200,000	円
イ その他経費	57,559	円
4 定住促進空き家活用費	3,379,932	円
(1) 定住促進空き家活用補助金	3,379,932	円
ア 印刷製本費	1,240,932	円
イ 移住支援空き家リフォーム補助金(5件)	2,039,000	円
ウ 空き家家財処分費補助金(1件)	100,000	円
5 【補助】既設公営住宅改善事業費	937,361,490	円
	(越	26,109,000 円)
(1) 塩町団地ほか	815,023,220	円
	(越	26,109,000 円)
ア 委託料	5,408,700	円
(ア) アスベスト含有分析調査委託	1,527,900	円
(イ) 土質調査委託	1,866,700	円

(ウ) 実施設計委託

2,014,100 円

イ 工事費

808,473,948 円

(越 26,109,000 円)

事業名	事業費	事業の概要
昇降路増築工事	311,203,200 円	高島光町団地A・B棟
昇降路増築電気工事	11,289,300	高島光町団地A・B棟
外壁改修工事	192,357,152 (越 24,118,000)	深浦団地K3棟、池島第3団地B2棟、塩町団地5号棟、野母第2団地3号棟、網場団地、矢上第3団地1・3号棟、鶴の尾団地1号棟、小ヶ倉団地6・10号棟
屋上防水改修工事	142,897,455	茂木団地1・2・3号棟、西町第2団地1・2・3号棟、若竹団地1・2号棟、深浦団地K3棟、網場団地、鶴の尾団地1号棟、塩町団地5・6号棟、野母第2団地3号棟、池島第3団地B2棟
昇降機改修工事	104,979,000	若葉団地、千歳団地南棟、小ヶ倉団地4号棟、矢上第3団地2号棟
排水管改修工事	26,601,000	狩股団地1～4・6号棟
浴室改修工事	13,176,000 (越 1,991,000)	銭座団地1・2号棟、本町第2団地
手摺改修工事	5,970,841	網場団地
計	808,473,948 (越 26,109,000)	

ウ その他経費(OA機器借上料、燃料費ほか)

1,140,572 円

(2) 住戸改善事業費

122,338,270 円

ア 実施設計委託料

20,959,400 円

イ 工事費

101,131,000 円

事業名	事業費	事業の概要
住戸改善工事	101,131,000 円	内装仕上げの改修、浴室改修、浴室・台所・洗面所への給湯設備整備等 横尾団地、狩股団地、花丘団地、西北団地、宿町第2団地、若竹団地、文教団地、鶴の尾団地

ウ 移転補償金

247,870 円

6 【単独】既設公営住宅改善事業費

154,041,951 円

(越 60,881,800 円)

(1) 塩町団地ほか

143,936,081 円

(越 60,881,800 円)

ア 工事費

143,936,081 円

(越 60,881,800 円)

事業名	事業費	事業の概要
外壁改修工事	37,288,020 (越 2,355,500)	深浦団地K3棟、池島第3団地B2棟、塩町団地5号棟、野母第2団地3号棟、網場団地、矢上第3団地1・3号棟、鶴の尾団地1号棟、高浜第3団地1・2号棟、小ヶ倉団地6・10号棟
屋上防水改修工事	8,477,284	塩町団地6号棟、網場団地、鶴の尾団地1号棟、池島第3団地B2棟、野母第2団地3号棟、高浜第3団地1・2号棟
手摺改修工事	571,608	網場団地
浴室改修工事	5,271,000 (越 484,000)	銭座団地1・2号棟、本町第2団地
排水管改修工事	15,716,411	狩股団地1～4・6号棟
自動火災報知設備改修工事	3,637,700	三芳団地A～C棟、矢上第3団地5号棟
ガス設備改修工事	2,713,700	本町第2団地、日吉岡団地A・C棟
集会所屋上防水改修工事	3,045,658	中河内団地
集会所外壁・屋根改修工事	8,111,400	清水団地
昇降機改修工事	1,061,000	若葉団地、千歳団地南棟、小ヶ倉団地4号棟、矢上第3団地2号棟
ブロック塀改修工事	58,042,300 (越 58,042,300)	福田本町団地ほか30団地
計	143,936,081 (越 60,881,800)	

(2) 住戸改善事業費

10,105,870 円

ア 工事費

10,105,870 円

事業名	事業費	事業の概要
住戸改善工事	10,105,870 円	内装仕上げの改修、浴室改修、浴室・台所・洗面所への給湯設備整備等 横尾団地、狩股団地、花丘団地、西北団地、宿町第2団地、若竹団地、文教団地、鶴の尾団地

## 【建築部】

2目 住宅建設費

予算額

223,723,000 円

決算額

204,496,780 円

(前年度繰越額

43,796,500 円)

1 【補助】公営住宅建設事業費

204,496,780 円

(越

43,796,500 円)

(1) 大園団地	4,922,500 円
	(越 4,922,500 円)
ア 登記測量委託料	4,922,500 円
	(越 4,922,500 円)
(2) 塩町団地	38,874,000 円
	(越 38,874,000 円)
ア 工事費	38,874,000 円
	(越 38,874,000 円)

事業費	事業の概要
38,874,000 円 (越 38,874,000 )	旧1号棟解体工事

(3) 日見大曲・宿町団地	21,686,280 円
ア 委託料	21,686,280 円
(ア) 敷地測量委託	17,203,780 円
(イ) 土質調査委託	4,482,500 円
(4) (仮称)野母崎団地(20戸)	139,014,000 円
ア 工事費	139,014,000 円

事業費	事業の概要
139,014,000 円	住宅建設戸数 1棟 20戸 新築主体、電気、管工事

令和3年度一般会計歳入歳出決算における不用額の説明並びに予備費充用の説明(土木費)

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	1 土木管理費	1 土木総務費	<p>【まちづくり部】                      (1) 土木総務費                      都市計画課                      地籍調査費において、県補助金の内示額が減したことにより調査の対象地区及び作業工程を見直したため、事業費が予定を下回ったことによるもの。(34,493千円)</p>	<p>【建築部】                      長崎恐竜博物館建設事業で発生した漏水事故に対する解決金                      (114千円)</p>
		2 建築指導費	<p>【建築部】                      (1) 建築指導費                      建築指導課                      老朽危険空き家対策推進費において、除却工事費及び補助申請件数が当初の予定を下回ったことによるもの。(6,120千円)</p> <p>建築指導課                      ブロック塀等除却費補助金において、申請件数が当初の予定を下回ったことによるもの。                      (2,945千円)</p> <p>建築指導課                      宅地のがけ災害対策費補助金において、申請件数が当初の予定を下回ったことによるもの。                      (11,469千円)</p> <p>(2) 耐震化推進費補助金                      建築指導課                      安全・安心住まいづくり支援費において、申請件数が当初の予定を下回ったことによるもの。                      (13,368千円)</p> <p>(3) 【補助】耐震化推進事業費補助金                      建築指導課                      要緊急安全確認大規模建築物において、工事費が当初の予定を下回ったことによるもの。                      (15,802千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	2 道路橋りょう費	1 道路橋りょう総務費	<p>【土木部】  (1) 道路橋りょう総務費  土木総務課  道路管理費において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で測量登記に係る委託契約を締結できたことなどによるもの。(4, 457千円)</p>	<p>【土木部】  訴訟事件及び調停手続きに係る顧問弁護士への委託料  (2, 540千円)</p> <p>台風による道路附属物(照明柱)の管理瑕疵に対する見舞金  (26千円)</p> <p>【中央総合事務所】  市道で発生した事故に対する損害賠償金及び見舞金  (410千円)</p> <p>【東総合事務所】  訴訟事件に係る顧問弁護士への委託料(220千円)</p> <p>【北総合事務所】  市道における管理瑕疵事故に係る見舞金(22千円)</p>
		2 道路橋りょう維持費	<p>【土木部】  (1) 道路橋りょう維持費  土木建設課  斜面移送システム維持管理費において、斜面移送機器の修繕料などが予定を下回ったことによるもの。(3, 277千円)</p> <p>土木建設課  グラブスカイロード維持管理費において、斜行・垂直エレベーターの修繕料などが予定を下回ったことによるもの。(4, 635千円)</p> <p>(2) 【単独】道路照明灯整備事業費  土木建設課  LED道路照明灯において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で工事請負契約を締結できたことによるもの。  (7, 161千円)</p>	



款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路橋りょう維持費	<p>【中央総合事務所】</p> <p>(1) 道路橋りょう維持費 地域整備1・2課 生活道路環境改善費（総合事務所）において、備品購入費及び燃料費等の需用費が予定を下回ったことなどによるもの。（2,455千円）</p> <p>【南総合事務所】</p> <p>(1) 道路橋りょう維持費 南総合事務所地域整備課 生活道路環境改善費（総合事務所）において、旅費及び工事請負費が予定を下回ったことなどによるもの。（4,875千円）</p>	
		3 道路橋りょう新設改良費	<p>【土木部】</p> <p>(1) 【補助】道路新設改良事業費（社会資本整備総合交付金） 土木建設課 中川鳴滝3号線において、国庫補助金の内示額が減したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。（11,901千円）</p> <p>土木建設課 川上町出雲線において、国庫補助金の内示額が減したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。（16,550千円）</p> <p>(2) 【補助】都市構造再編事業費 土木企画課 新市庁舎周辺道路（電線類地中化）において、事業内容の見直しにより工事費が予定を下回ったことなどによるもの。（119,588千円）</p> <p>(3) 【単独】道路新設改良事業費 土木建設課 地方道路等整備事業費において、工事内容の見直しや制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で工事請負契約を締結できたことにより工事費が予定を下回ったことなどによるもの。（14,799千円）</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	2 道路橋りょう費	3 道路橋りょう新設改良費	<p>【土木部】</p> <p>(3) 【単独】道路新設改良事業費 土木建設課 道路改良事業費において、現場調査の結果、修繕、除草等の実施箇所が減したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。 (2, 579千円)</p> <p>土木防災課 地方道路等整備事業費（総合事務所）において、関連事業との調整により工事費が予定を下回ったことなどによるもの。(7, 683千円)</p> <p>【南総合事務所】</p> <p>(1) 【単独】道路新設改良事業費 南総合事務所地域整備課 合併地区道路等整備事業費（総合事務所）において、地権者との用地交渉が難航し、工事が施工できなかったことなどによるもの。 (21, 843千円)</p> <p>(2) 【単独】過疎対策事業費 南総合事務所地域整備課 高浜本線において、県施工範囲が予定を下回ったことによるもの。(5, 000千円)</p> <p>(3) 【単独】道路リフレッシュ事業費 南総合事務所地域整備課 合併7地区において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で工事請負契約を締結できたことによるもの。 (3, 971千円)</p>	
		4 交通安全施設費	<p>【中央総合事務所】</p> <p>(1) 【単独】交通安全施設整備事業費 地域整備1・2課 園児等移動経路緊急安全対策において、工事内容の見直しにより工事費が予定を下回ったことなどによるもの。(2, 783千円)</p>	
		5 県施行事業費負担金	<p>【土木部】</p> <p>(1) 道路橋りょう費負担金 土木企画課 道路事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。 (23, 210千円)</p>	
	3 河川海岸費	1 河川総務費		
		2 河川改良費		

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	3 河川海岸費	2 河川改良費	<b>【土木部】</b> (1) <b>【補助】</b> 河川等整備事業費（社会資本整備総合交付金） 土木防災課 大井手川において、国庫補助金の内示額が減したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。（11,736千円）  (2) <b>【単独】</b> 自然災害防止事業費 土木防災課 急傾斜地崩壊対策において、災害関連地域防災がけ崩れ対策事業に係る経費が見込みを下回ったことなどによるもの。（37,790千円）	
		3 海岸保全費		
		4 県施行事業費負担金	<b>【土木部】</b> (1) 河川海岸費負担金 土木防災課 急傾斜地崩壊対策事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。（4,927千円）	
		4 港湾費		
	1 港湾管理費	<b>【まちづくり部】</b> (1) <b>【単独】</b> 港湾施設整備事業費 都市計画課 形上海岸海洋スポーツ支援広場において、土地所有者との交渉が難航したことにより土地の取得件数が予定を下回ったことによるもの。（4,521千円）		
		2 県施行事業費負担金	<b>【まちづくり部】</b> (1) 港湾費負担金 都市計画課 港湾事業費において、国及び県が施行する港湾事業費が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。（244,539千円）	
	5 都市計画費	1 都市計画総務費		

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	<p>【土木部】</p> <p>(1) 都市交通対策費 土木企画課 幹線道路整備推進費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、要望活動に係る旅費及び調査費が予定を下回ったことなどによるもの。(6, 426千円)</p> <p>(2) 【単独】駐車場施設整備事業費 土木企画課 二輪車等駐車場において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で浦上駅二輪車等駐車場整備に係る工事請負契約を締結できたことによるもの。(3, 333千円)</p> <p>【まちづくり部】</p> <p>(1) 都市計画推進費 都市計画課 都市計画基礎調査費において、県が施行する都市計画基礎調査費が減したことにより、負担金が予定を下回ったことによるもの。(4, 990千円)</p> <p>都市計画課 国土基本図作成費において、作成部数を見直したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。(3, 178千円)</p> <p>まちなか事業推進室 まちなか再生推進費において、中島川・寺町地区まちなみ整備助成で一件あたりの申請金額が予定を下回ったことなどによるもの。(4, 763千円)</p> <p>(2) 都市交通対策費 公共交通対策室 離島航路維持対策費において、長崎～伊王島～高島航路に係る事業者の運賃収入が予定を上回ったこと及び燃料費が予定を下回ったことなどによるもの。(22, 914千円)</p> <p>公共交通対策室 コミュニティバス運行費において、事業者の人員費や車両修繕費等の運行経費が予定を下回ったことなどによるもの。(8, 227千円)</p> <p>公共交通対策室 千々町・大崎町公共交通災害対策費において、路線バスの運行再開が予定より早まったことにより代替輸送に係る費用が減となったことによるもの。(2, 354千円)</p> <p>公共交通対策室 公共交通確保支援金において、申請対象者が市の別支援である中小事業者等一時金へ申請したことなどにより、支給件数が予定を下回ったことによるもの。(12, 046千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	5 都市計画費	1 都市計画総務費	<p>【まちづくり部】</p> <p>(2) 都市交通対策費 公共交通対策室 LRT都市サミット開催費において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で企画・運営業務委託契約を締結できたことなどによるもの。(4,234千円)</p> <p>(3) 景観対策費 景観推進室 景観推進費において、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による観光客減のため、景観まちづくり刷新事業調査を実施できなかったことなどによるもの。(10,096千円)</p> <p>(4) 【単独】新幹線整備推進事業費 長崎駅周辺整備室 九州新幹線西九州ルート建設事業費負担金において、鉄道・運輸機構が施行する駅舎建築工事費の見込みが下回ったことなどによるもの。(7,371千円)</p>	
		2 都市開発費	<p>【まちづくり部】</p> <p>(1) 土地区画整理事業費 長崎駅周辺整備室 長崎駅周辺エリアデザイン検討費において、VRデータ修正業務の対象範囲の見直しを行った結果、委託料が予定を下回ったことなどによるもの。(11,931千円)</p> <p>(2) 【補助】市街地再開発事業費 都市計画課 新大工町地区において、国庫補助金の年度間調整等により事業費が予定を下回ったことによるもの。(6,235千円)</p> <p>(3) 【補助】土地区画整理事業費 長崎駅周辺整備室 長崎駅周辺地区(予算補助)において、国庫補助金の内示額が減したことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。(27,263千円)</p> <p>(4) 【単独】土地区画整理事業費 長崎駅周辺整備室 長崎駅周辺地区において、施設修繕料が予定を下回ったことなどによるもの。(5,725千円)</p> <p>東長崎土地区画整理事務所 東長崎平間・東地区において、管理施設の修繕箇所が当初の予定を下回ったことなどによるもの。(5,659千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	5 都市計画費	2 都市開発費	<p>【まちづくり部】</p> <p>(5) 【単独】都市基盤施設整備事業費 東長崎土地区画整理事務所 東長崎地区において、設計委託の発注件数が当初の予定を下回ったことなどによるもの。 (6, 604千円)</p> <p>【中央総合事務所】</p> <p>(1) 【補助】歴史的地区環境整備事業費 地域整備1・2課 唐人屋敷顕在化において、国庫補助金の内示額が減したことによるもの。(3, 031千円)</p>	
		3 街路事業費		
			<p>【土木部】</p> <p>(1) 【単独】都市計画街路整備事業費 土木建設課 地方道路等整備事業費において、用地交渉の結果、土地鑑定評価実施箇所を減したことなどによるもの。(2, 647千円)</p> <p>【まちづくり部】</p> <p>(1) 【補助】都市構造再編事業費 長崎駅周辺整備室 長崎駅東通り線において、地元との調整により施工方法等の再検討を行うため、工事着手を延期したことに伴い、工事請負費が予定を下回ったことによるもの。(11, 154千円)</p>	
		4 公共下水道費		
			<p>【企画財政部】</p> <p>(1) 繰出金 財政課 下水道事業会計繰出金において、繰出し対象である下水道事業(雨水排水費)の支出額が予定を下回ったことなどによるもの。 (62, 724千円)</p>	
		5 都市下水路費		
			<p>【中央総合事務所】</p> <p>(1) 【単独】都市下水路整備事業費 地域整備1・2課 岩原都市下水路において、建物補償の交渉が難航し、建物再算定の業務委託が履行できなかったことによるもの。(2, 525千円)</p>	
6 公園費				

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	5 都市計画費	6 公園費	<p><b>【土木部】</b></p> <p>(1) 公園等維持管理費 土木総務課 施設維持管理費において、新型コロナウイルス感染症拡大防止として平和公園有料施設を休館したことなどに伴う施設利用者数の減により光熱水費が予定を下回ったことなどによるもの。 (8,911千円)</p> <p>土木総務課 管理運営費において、新型コロナウイルス感染症拡大防止として長崎市総合運動公園等の施設を休館したことに伴い指定管理委託料が予定を下回ったことなどによるもの。 (4,468千円)</p> <p>土木建設課 施設維持管理費において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で都市公園大型施設長寿命化計画策定に係る業務委託契約を締結できたことなどによるもの。 (2,156千円)</p> <p>(2) <b>【補助】</b>公園等施設整備事業費 土木建設課 金比羅公園において、国庫補助金の内示額が減ったことにより事業費が予定を下回ったことによるもの。(23,865千円)</p> <p>(3) <b>【単独】</b>公園施設整備事業費 土木建設課 都市基幹公園において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で園路改修に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。(3,186千円)</p> <p><b>【中央総合事務所】</b></p> <p>(1) 公園等維持管理費 地域整備1・2課 施設維持管理費において、光熱水費等の需用費及び委託料が予定を下回ったことなどによるもの。(6,601千円)</p> <p>地域整備1・2課 公衆便所維持管理費において、委託料及び下水道使用料が予定を下回ったことなどによるもの。 (4,810千円)</p> <p><b>【南総合事務所】</b></p> <p>(1) 公園等維持管理費 南総合事務所地域整備課 施設維持管理費において、旅費及び需用費が予定を下回ったことなどによるもの。 (3,841千円)</p>	<p><b>【土木部】</b> 公園で発生した事故に対する見舞金(10千円)</p> <p><b>【南総合事務所】</b> 公園で発生した物損事故に対する見舞金(84千円)</p>

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	5 都市計画費	6 公園費	<p>【北総合事務所】</p> <p>(1) 公園等維持管理費 北総合事務所地域整備課 施設維持管理費において、公園灯のLED化事業により、電気料が見込みを下回ったことなどによるもの。(2, 171千円)</p> <p>(2) 【単独】公園施設整備事業費 北総合事務所地域整備課 既設公園において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で公園施設整備に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。(2, 477千円)</p>	
		7 県施行事業費負担金		
			<p>【土木部】</p> <p>(1) 都市計画費負担金 土木企画課 社会資本整備総合交付金事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。(4, 100千円)</p> <p>土木企画課 街路事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。(2, 262千円)</p> <p>土木企画課 旧地方特定道路整備事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。(11, 100千円)</p> <p>【まちづくり部】</p> <p>(1) 都市計画費負担金 長崎駅周辺整備室 JR長崎本線連続立体交差事業費において、県施行事業が減したことにより負担金が予定を下回ったことによるもの。(571, 033千円)</p>	
	6 住宅費			
		1 住宅管理費		
			<p>【建築部】</p> <p>(1) 市営住宅管理費 建築総務課 維持補修費において、移転補償件数が予定を下回ったことなどによるもの。(4, 977千円)</p> <p>建築総務課 管理事務費において、明渡しに係る強制執行を実施しなかったことにより予納金の支出をしなかったことなどによるもの。(9, 635千円)</p>	<p>【建築部】</p> <p>市営新戸町住宅敷地内における転倒事故に対する賠償金 (130千円)</p>



款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
8 土木費	6 住宅費	1 住宅管理費	<p><b>【建築部】</b>  (2) 住宅リフォーム支援費  住宅政策室  ながさき住みよ家リフォーム補助金において、補助金申請の受付終了後に交付申請の取下げがあったため、補助金が予定を下回ったことなどによるもの。(2, 277千円)</p> <p>住宅政策室  子育て住まいづくり支援費補助金において、申請件数が予定を下回ったことなどによるもの。(3, 830千円)</p> (3) <b>【補助】</b> 既設公営住宅改善事業費 住宅政策室 塩町団地ほかにおいて、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で市営住宅の改修に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。(33, 902千円) (4) <b>【単独】</b> 既設公営住宅改善事業費 住宅政策室 塩町団地ほかにおいて、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で市営住宅の改修に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。(20, 064千円)	
		2 住宅建設費	<p><b>【建築部】</b>  (1) <b>【補助】</b>公営住宅建設事業費  住宅政策室  日見大曲・宿町団地において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で敷地測量等に係る委託契約を締結できたことによるもの。(10, 314千円)</p> <p>住宅政策室  (仮称)野母崎団地において、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で建設等に係る工事請負契約を締結できたことによるもの。(8, 586千円)</p>	

# 消 防 費

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	防災危機管理室	
個別施策	E1-1 都市の防災機能向上を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	都市の防災機能が	整備され有効に機能している。

### 令和3年度の取組概要

- 情報伝達手段の整備
  - ・防災行政無線設備のデジタル化に向け、実施設計等に基づき、屋外拡声子局の更新、不要となるアナログ式防災行政無線設備の撤去等を行った。
- 拠点避難所の整備
  - ・拠点避難所に整備する設備のうち、多目的トイレやシャワー整備工事のほか、ガラス等工事(強化ガラスへの変更及び防災フィルム貼り付け)や資機材収納庫の整備工事を行った。

### 評価(成果)

- 情報伝達手段の整備
  - ・防災行政無線設備のデジタル化に向け、実施設計に基づき、屋外拡声子局の更新整備、アナログ式防災行政無線設備の撤去工事等を実施し、整備を完了した。
- 拠点避難所の整備
  - ・多目的トイレ整備工事を4箇所、シャワー整備工事を2箇所、ガラス等工事(強化ガラス+防災フィルム)を14箇所、資機材収納庫整備設置工事を1箇所行い、拠点避難所42箇所の整備を完了した。

### 評価(問題点とその要因)

- 情報伝達手段の整備
  - ・デジタル化の整備は完了したが、スピーカーの配置を見直した結果、一部の地域で聞こえづらくなったとの意見がでていたため、スピーカーの向きや出力の調整が必要となっている。
  - ・防災行政無線放送以外の防災情報伝達手段(市のホームページ、防災メール、LINEなどのSNS、テレホンサービス、テレビのデータ放送)の認知度が低い。(防災メール新規登録者数 令和2年度3,303人⇒令和3年度1,621人)

### 今後の取組方針

- 情報伝達手段の整備
  - ・防災行政無線が聞こえづらいとの意見が出された地域については、現地調査を行った上で、スピーカーの向きや出力を調整し、音達の改善を図る。
  - ・防災行政無線放送については、気象状況などにより屋内で聞き取りにくい場合があるため、市のホームページ、防災メール、LINEなどのSNS、テレホンサービス、テレビのデータ放送といった様々な情報伝達手段の活用について周知を図る。
- 拠点避難所の整備
  - ・拠点避難所の円滑な運営を図るため、施設管理者、避難所要員、地域住民とともに各地区で避難所運営訓練を行い、組み立て式シャワーや発電機などの設備や備品の使用方法を周知するとともに、運営時の役割等を確認する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等		
513	<p>(事業名) 【単独】防災行政無線整備事業費 防災行政無線デジタル化</p> <p>(事業目的) 防災行政無線のデジタル化への更新整備を行う。</p> <p>(事業概要) 防災行政無線設備のデジタル化への更新を行うため、基本設計・実施設計・整備工事を行う。 【事業期間】平成28～令和3年度 【総事業費】2,721,991千円 【事業費累計】2,721,991千円</p>	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	100.0	%
		総事業進捗率	100.0	%
		達成率	100.0	%
		決算額	199,406,845	円
		当該年度執行率	84.0	%
		成果指標・目標値の説明	令和3年度までに防災行政無線のデジタル化を完了させることから、平成30年度から令和3年度は整備工事の総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率として成果指標とする。(平成29年度実施設計策定後に、整備内容が確定したことから、実施設計策定後に平成30年度以降の目標値を設定した。)	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線設備のデジタル化に向け、実施設計等に基づき、屋外拡声子局の更新、不要となるアナログ式防災行政無線設備の撤去等を行った。</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災行政無線設備のデジタル化整備が完了した。</li> <li>・スピーカーの配置を見直したことで、一部の地域で聞こえづらくなったとの意見がでていたため、スピーカーの向きや出力の調整が必要となっている。</li> <li>・防災行政無線放送については、気象状況などにより屋内で聞き取りにくい場合があるため、市のホームページ、防災メール、LINEなどのSNS、テレホンサービス、テレビのデータ放送といった様々な情報伝達手段の活用について周知を図っている。</li> </ul>			

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等			
513	<p>(事業名) 【単独】避難所整備事業費 拠点避難所</p> <p>(事業目的) 大規模災害発生時において、中長期にわたる避難者の避難生活の環境改善を図るために拠点避難所を整備する。</p> <p>(事業概要) 中長期の避難に対応する設備を整備するとともに、必要な物資を購入する。 【事業期間】令和元～令和3年度 【総事業費】220,664千円 【事業費累計】220,664千円</p>	成果指標	拠点避難所整備施設数		
		目標値	42	施設	
		実績値	42	施設	
		達成率	100.0	%	
		決算額	77,380,479	円	
		成果指標・目標値の説明	令和元年度から令和3年度までの3ヶ年で計画的に拠点避難所(42施設)の整備を行うことから、事業の進捗を客観的に判断できる数値として、拠点避難所として整備が完了した施設数を目標値及び成果指標とした。		
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点避難所に整備する設備のうち、多目的トイレやシャワー整備工事のほか、ガラス等工事(強化ガラスへの変更及び防災フィルム貼り付け)や資機材収納庫の整備工事を行った。</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多目的トイレ整備工事を4箇所、シャワー整備工事を2箇所、ガラス等工事(強化ガラス+防災フィルム)を14箇所、資機材収納庫整備設置工事を1箇所行い、拠点避難所42箇所の整備を完了した。</li> </ul>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	防災危機管理室	
個別施策	E1-2 市民の防災力向上を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	市民や事業者が	自発的に災害に対応できるようになっている。

### 令和3年度の取組概要

- 自主防災組織の結成促進及び活動活性化
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域に直接出向いて説明する機会が減少したことなどから、自治会への十分な働きかけができず、大幅な増加にならなかったが、地域の祭りや訓練に11回参加し、自主的な防災活動の必要性を伝え活性化を図った。
  - ・自治会アンケートの結果を基に、組織の結成に関心がある自治会を対象に個別に訪問し、結成の具体的説明を行った。
  - ・地域と連携した避難所運営の拡大及び避難所運営訓練を実施した。
- 市民防災リーダーの養成
  - ・地域住民へ災害に対する日頃の備えの啓発や自主避難の呼びかけ等を行い、自助、共助の基盤を作り、地域防災力の向上と災害による被害の軽減につなげるため、地域防災力の推進役となる市民防災リーダー養成講習を1月開催に向けて計画していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。
  - ・一人でも多くの市民が防災に関する知識・技術を習得することができるよう令和元年度に創設した「ながさき防災サポーター養成講習」を2月開催に向けて計画していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3年連続で開催を中止した。
- 地域防災マップの作成
  - ・新型コロナウイルス感染症の影響により、地域に直接出向いて説明する機会が減少したため、新規での作成が2自治会、見直しで2自治会となった。
  - ・地域住民や自治会等の防災意識向上のため、作成した地域防災マップを、市ホームページで公開した。

### 評価(成果)

- 自主防災組織の結成促進及び活動活性化
  - ・未結成の自治会へ自主防災組織の結成に向けた働きかけを行い、新たに6自治会で自主防災組織が結成された。
  - ・地域で実施した防火防災訓練や避難所訓練、防災講話等を通して自主防災組織の活動の活性化が図られた。
  - ・新型コロナウイルス感染症の拡大で活動が停滞しているものの、約50%の自治会で、防災訓練、防災講話、チラシや回覧板による啓発活動など防災に関する取り組みが行われ、防災意識の向上が図られた。(令和3年度末実施 全自治会長対象防災に関するアンケート調査結果)
  - ・新たに5箇所の避難所で地域と連携した避難所運営が実施され、避難しやすい環境づくりと自主的な防災活動の推進が図られた。
- 地域防災マップの作成
  - ・新規作成及び見直しを各2自治会の計4自治会行うことで、住民が自分の地域の危険個所を把握しやすくなり、防災意識の向上が図られた。

### 評価(問題点とその要因)

- 自主防災組織の結成促進及び活動活性化
  - ・自治会への加入率の低下と、会員の高齢化により、担い手が不足していることから、自主防災組織の新規の結成数が減少しており、また、既存の組織においても、防災活動(避難訓練等)への参加者が減少している。
- 市民防災リーダーの養成
  - ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域へ直接出向いて説明する機会が減少したことなどから、市民防災リーダーの認定者数が少ない自治会へ十分な働きかけができなかった。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 自主防災組織の結成促進及び活動活性化
  - ・世帯数が少なく自主防災組織の結成や防災活動が困難な自治会も多いことから、連合自治会単位や地域コミュニティ連絡協議会単位での活動を提案することで結成促進及び活動の働きかけを行う。
- 市民防災リーダーの養成
  - ・市民防災リーダー養成講習への参加について、各自治会や地域コミュニティ連絡協議会に働きかけを行うとともに、認定者に対しては、地域の防災活動やステップアップ研修会などへの参加を呼びかけることで、市民防災リーダーを各地域に養成するとともに、リーダー個人の資質向上を図る。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大により3年連続で開催を中止した「ながさき防災サポーター養成講習」は、防災に関する知識・技術を1日で市民の誰もが習得できる受講しやすいカリキュラムとなっていることから、令和4年度に改めて開催することで市民の防災力を向上させる。
- 地域防災マップの作成
  - ・未作成の自治会に対し、防災講話や啓発活動でマップ作成の有効性を認識いただき、作成につなげるとともに、作成から5年が経過している自治会については、地域の実情に応じたマップの見直しを提案する。
  - ・地域住民や自治会などの防災意識向上のため、新規及び見直しにより作成されたマップについては、市ホームページへ公開するよう働きかけを行う。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
512	(事業名) 自主防災組織活動費  (事業目的) 自主防災組織の活動を支援することにより、地域の防災力を高める。  (事業概要) 結成した自主防災組織に対し、防災用品の助成を行う。また、自主防災組織の核となって活動してもらおう、市民防災リーダーの養成を行う。	成果指標	自主防災組織結成率
		目標値	80.0 %
		実績値	62.1 %
		達成率	77.6 %
		決算額	2,494,062 円
		成果指標・目標値の説明	地域防災力の向上のためには、地域の自主的な防災活動の要である自主防災組織の結成が重要であることから、自主防災組織を結成した自治会数が全自治会数に占める割合を成果指標とした。 基準値47.3%（平成26年度）から6年後（令和2年度）の目標結成率を全国平均である80%とする目標値を設定している。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 令和3年度末現在で市内985自治会のうち、610自治会が結成。  (成果・課題等) 新たに6自治会が自主防災組織を結成し、達成率は77.6%となった。 世帯数が少ないことや高齢化により自主防災組織の結成や防災活動が困難な自治会も多いことから、連合自治会単位や地域コミュニティ連絡協議会単位での活動を提案することで結成促進及び活動の働きかけを行う。		

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
512	(事業名) 地域防災マップ作成費	成果指標	地域防災マップの作成自治会数
	(事業目的) 小学校区又は自治会ごとに、地域防災マップづくりを実施することにより、自助、共助の意識を高めるとともに、地域防災力の向上を図る。	目標値	727 自治会
	(事業概要) 小学校区又は自治会ごとに地域住民が、地域の危険箇所や避難所、避難経路などを確認し、災害への備えや避難行動要支援者の支援体制などを話し合いながら、各地域の地図を活用した災害図上訓練を実施する。完成した防災マップは、データ加工を行い、各世帯に配付する。	実績値	547 自治会
		達成率	75.2 %
		決算額	671,841 円
		成果指標・目標値の説明	<p>地域防災マップづくりを推進することで、地域防災力の向上が図られるため、地域防災マップづくり実施自治会数を成果指標とした。</p> <p>基準値247件(平成26年度)から年間80自治会での作成を目標として、6年後(令和2年度)の目標727自治会と設定している。</p> <p>(取組実績) 令和3年度末現在で、市内985自治会のうち547自治会で実施。</p> <p>(成果・課題等) 新型コロナウイルス感染拡大により、地域に出向いて直接説明する機会が減少したため、新規作成が2自治会、見直し2自治会と目標を下回った。</p> <p>地域住民や自治会などの防災意識向上のため、作成されたマップについては、市ホームページへ公開するよう働きかけを行う。</p>
		取組実績、成果・課題等	

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	消防局	
個別施策	E2-1 火災予防体制を強化します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	市民・事業者・行政が	火災を出さないまちづくりに取り組んでいる。

### 令和3年度の実施概要

- 地域に根ざした防火防災体制の構築
  - ・地域コミュニティ連絡協議会、連合自治会及び自治会に対して、防火防災訓練の実施を働きかけた。
  - ・婦人防火クラブなどの関係団体に対して、防火防災訓練の実施を働きかけた。
  - ・自治会に対して、婦人防火クラブの新規結成を働きかけた。
  - ・放課後児童クラブに対して、少年消防クラブの新規結成を働きかけた。
- 火災予防対策の推進
  - ・高齢者家庭及び一般家庭に対して、防火訪問を実施した。
  - ・火災予防啓発映像を作成し、防火チラシへの掲載やホームページ及びSNSによる火災予防広報を行った。
  - ・西部ガス株式会社等と連携し、住宅用火災警報器の設置維持管理の広報を行った。
  - ・空家を所管する建築部と連携して、長崎市が把握している特定空家の現況調査を実施した。

### 評価(成果)

- 地域に根ざした防火防災体制の構築
  - ・訓練実施の働きかけにより、8地区の地域コミュニティ連絡協議会、6地区の連合自治会及び15の自治会において防火防災訓練が実施された。
  - ・防火防災訓練を通じて住民の防火防災意識及び自助共助の意識が高まり、災害対応スキルの向上につながった。
  - ・放課後児童クラブへの働きかけにより、少年消防クラブが4クラブ結成された。
- 火災予防対策の推進
  - ・消防職員及び消防団員による高齢者家庭1,348世帯への防火訪問を行ったことにより、高齢化が進行している状況のなかで高齢者の死者数が減少しており、高齢者住宅の安全対策が図られた。
  - ・火災発生原因とその防止対策の啓発映像をSNSへ公開し、2,571回の視聴を得たことで、火災予防対策の周知を図ることができた。
  - ・西部ガスが行う一般家庭への法定点検時において、住宅用火災警報器の設置維持管理の啓発チラシを、4,565部配布したことにより、市民へ住宅用火災警報器の設置維持管理の重要性を周知することができた。
  - ・特定空家644件に対し調査を実施し、火災危険等の有無を確認するとともに、建物の状態について建築部と情報共有を図ることができた。

### 評価(問題点とその要因)

- 地域に根ざした防火防災体制の構築
  - ・地域コミュニティ連絡協議会が設立されていない地区においては、訓練実施に向けた協議が進みにくい傾向がある。
  - ・訓練実施の働きかけを行ったものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、計画していた訓練の中止があった。
- 火災予防対策の推進
  - ・高齢になるにつれ認知機能や身体機能が低下し、火災の発見や避難行動が遅れることから、住宅火災において逃げ遅れなどにより高齢者が被災するリスクが高くなっている。
  - ・住宅用火災警報器の耐用年数は約10年とされており、今後、電池切れや部品の劣化のため、火災時に正常に作動しないおそれがある。
  - ・住宅用火災警報器が正しく設置されていない場合があり、条例に適合した設置がなされているのは約7割となっている。

### 今後の取組方針

- 地域に根ざした防火防災体制の構築
  - ・すべての地域コミュニティ連絡協議会及び連合自治会に対して、防火防災訓練の実施を働きかけるとともに、消防団を中心として市民防火組織や地域住民と連携した自主的な訓練を実施していく仕組みを更に浸透させる。
  - ・事業所が行う訓練において、多くの参加者で内容を共有するため、訓練の実施状況をデジタル化により可視化し、更なる防火安全対策の向上を図る。
- 火災予防対策の推進
  - ・消防職員及び消防団員による高齢者宅への防火訪問に加え、福祉部などの関係部局及び関係団体と連携し、高齢者が集まる行事等において住宅防火対策について周知啓発を行う。
  - ・防火防災訓練実施の機会を捉えて、高齢者の積極的な参加を促し、防火意識の高揚を図るとともに、地域住民とのつながりを強化する。
  - ・住宅用火災警報器の設置維持管理のチラシやSNSを活用した広報及び各関係団体や民間企業等と連携した広報を行う。
  - ・一般家庭への防火訪問による住宅用火災警報器の適正な設置維持管理の推進を図る。



【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
506 508	<p>(事業名) 常備消防活動費 火災予防費 消防団活動費 火災予防費</p> <p>(事業目的) 火災の未然防止及び火災による被害を軽減する。</p> <p>(事業概要) 市民の防火防災意識向上のため、消防職員及び消防団員が防火訪問を実施するとともに、防火ポスターの掲示や防火チラシの配布などの啓発活動を実施する。</p>	成果指標	自力避難が困難な高齢者家庭への防火訪問件数【累計】
		目標値	7,300 件
		実績値	8,346 件
		達成率	114.3 %
		決算額	3,244,525 円
成果指標・目標値の説明	<p>訪問件数が増えることで、自力避難が困難な高齢者の安全対策に繋がることから、消防職員及び消防団員が防火訪問を行った件数を成果指標とした。 令和3年度までに対象世帯数約7,300世帯をすべて訪問することを目標とした。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 防火訪問件数 消防職員 659件 消防団員 689件 合計 1,348件 平成28年度からの累計 8,346件</p> <p>(成果・課題等) 消防職員及び消防団員による防火訪問数は目標を達成しており、防火防災意識の向上が図られていることから、今後も引き続き消防職員及び消防団員が協力して防火訪問を行い、市民の防火防災意識の向上を図っていく。</p>		

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
509	<p>(事業名) 市民防火組織等育成費</p> <p>(事業目的) 婦人防火クラブや少年消防クラブ等の市民防火組織の防火・防災意識の向上を図り、火災予防に関する知識の普及啓発に努める。</p> <p>(事業概要) ・婦人防火クラブ等の活動を促進するため、補助金を助成する。 ・防火講話及び初期消火訓練を実施する。 ・市総合防災訓練、火災予防運動行事、消防学校入校研修、出初式等への参加を促進する。</p>	成果指標	防火防災訓練等参加者数
		目標値	145,000 人
		実績値	33,901 人
		達成率	23.4 %
		決算額	7,629,159 円
成果指標・目標値の説明	<p>防火防災訓練等への参加者の増は、市民防火組織の活性化と市民の防火意識の高揚につながることから、防火防災訓練等の参加者数を成果指標とした。 市民が3年に1回訓練に参加することとし、人口の約3分の1である145,000人を目標とした。</p>		
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 市民防火組織訓練等参加者数 婦人防火クラブ 2,013人 少年消防クラブ 823人 幼年消防クラブ 7,609人 合計 10,445人</p> <p>(成果・課題等) 各地区で自治会・消防団・婦人防火クラブ等の合同訓練が実施されているが、実施が困難な地区もあるため、訓練を実施していない地域に対しては、地域の実状に応じた訓練の実施を積極的に働きかけていくとともに、市民防火組織等へ訓練参加を働きかけていく。</p>		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	消防局	
個別施策	E2-2 消防力を充実します	
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図
	市民と消防が	連携して災害に強い体制を整えている。

### 令和3年度 of 取組概要

- 消防団員の確保及び若い世代への消防団活動の周知
  - ・「消防団協力事業等マップ」を作成し、市民に対して消防団協力事業所及び消防団応援の店の周知を図り、消防団員が活動しやすい環境づくりに取り組んだ。
  - ・若い世代の団員からなる消防団加入促進チームが、各種イベントへ参加し、若い世代や女性を対象とした消防団活動のPRと団員募集を行った。
  - ・団員の充足率が低い地域の分団を紹介するリーフレット及びポスターを作成し、当該地域の住民への配布及び施設や掲示板への掲示を行い、団員募集の広報を実施した。
- 消防庁舎の整備
  - ・老朽化した消防庁舎を計画的に整備した。
- 消防自動車等及び消防水利の整備
  - ・老朽化した消防自動車等及び消防水利を計画的に整備した。
  - ・新たに消防ドローンを配備した。
- 総合消防情報システムの運用
  - ・令和3年に更新した総合消防情報システムを活用し、円滑な119受信及び部隊の運用を図るとともに、聴覚及び言語障害者等を対象としたNET119などの119通報要領について広報を行った。

### 評価(成果)

- 消防団員の確保及び若い世代への消防団活動の周知
  - ・「消防団協力事業等マップ」を活用した広報を実施し、消防団協力事業所の新規認定を8事業所行った。
  - ・各種イベントにおいて、消防団加入促進チームを中心に若い世代や女性に対する積極的な団員募集活動を行ったことにより、4人の大学生団員を含めた10代から20代までの44人と、女性団員12人が入団した。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大により集会等の実施が困難であった中、高校生(3校、184人)や専門学校生(1校、25人)に対して消防団活動の周知を行うことができた。
  - ・団員の充足率が低い地域の分団を紹介するリーフレット及びポスターを2,880部作成し、各種イベント等で配布するとともに市内76箇所において掲示を行ったことで、当該地域住民に対する重点的な団員募集の広報を実施することができた。
- 消防庁舎の整備
  - ・消防団格納庫(1箇所)を整備したことにより、消防体制の維持が図られた。
- 消防自動車等及び消防水利の整備
  - ・最新の消防自動車(8台)及び小型動力ポンプ(6台)を代替更新したことにより、効果的な消火体制を確保することができた。
  - ・防火水槽(1基)を整備したことにより、消防力の充実につながった。
  - ・消防ドローンを配備したことにより、効果的な災害対応が可能となった。
- 総合消防情報システムの運用
  - ・総合消防情報システムを活用し、119通報(39,612件)に対して適切に対応するとともに、円滑な部隊運用を行った。
  - ・関係機関と連携した広報活動の結果、NET119の登録者数が87名に増えた。

### 評価(問題点とその要因)

- 消防団員の確保及び若い世代への消防団活動の周知
  - ・団員加入促進活動により、一定数の新規入団者を確保しているものの、退団者の数が上回っていることから、消防団員の充足率は87.7%で、団員数は減少傾向にある。
  - ・消防局管内の高校全23校に対し消防団講話への参加の呼びかけを行ったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外部講師を招いての集会等を控える学校が増えたことなどから、20校で普及啓発活動が実施できなかった。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

今後の取組方針

- 消防団員の確保及び若い世代への消防団活動の周知
  - ・市内の各商工会(東長崎商工会、北部商工会及び長崎南商工会)と連携しながら「消防団協力事業所等マップ」を活用した広報活動を実施し、消防団協力事業所等を広く市民に周知を図り、消防団員が活動しやすい環境づくりと消防団員の確保対策に取り組む。
  - ・各種イベントや地域の行事において、若い世代や女性を対象とした消防団PRを継続するとともに、消防団加入促進チーム等による広報を行い、団員の確保につなげる。
  - ・広く消防団全体の団員募集の広報を行うことと併せて、地域を絞った重点的な広報もを行い、団員の確保につなげる。
  - ・高校生に対しては、年代に近い地域の若い団員や消防団加入促進チームが講話を行うとともに、避難訓練に併せて体験型の研修を実施し、消防団活動に対する理解を深めてもらう。
  - ・大学の協力を得ながら学園祭などに参加し消防団活動の周知と団員募集を行い、引き続き若い世代の消防団員の確保につなげる。
- 消防庁舎の整備
  - ・消防庁舎の建替えや長寿命化のための改修などを行いながら計画的な整備に努める。
- 消防自動車等及び消防水利の整備
  - ・維持管理の徹底により長寿命化を図るとともに、仕様の見直しを適宜行いながら計画的な整備に努める。
- 総合消防情報システムの運用
  - ・今後も総合消防情報システムを活用し円滑な部隊運用を行うとともに、適切な119受信を行うため、市民に対して通報要領に関する広報を実施する。

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
508	(事業名) 団員加入促進費  (事業目的) 消防団員の加入を促進することにより、地域消防・防災力の充実を図る。  (事業概要) 広く市民に消防団活動のPRを行い、消防団員の入団促進と活動しやすい環境づくりに取り組む。	成果指標	消防団員の充足率
		目標値	100.0 %
		実績値	87.7 %
		達成率	87.7 %
		決算額	5,114,124 円
		成果指標・目標値の説明	消防団員の増により地域の消防体制が充実することから、消防団員の充足率(定員に対する現員の割合)を成果指標とした。 令和3年度は100%を目標値とした。
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・「消防団協力事業所等マップ」を作成し、各種イベントで活用することで市民に対して消防団協力事業所及び消防団応援の店の周知を図った。 ・消防団加入促進チームによるイベントへの参加、消防団加入促進リーフレットの作成、高校生や専門学校生への活動紹介などの活動を実施した。 ・団員の充足率が低い地域の分団を紹介するリーフレット及びポスターを作成し、団員募集の広報を実施した。  (成果・課題等) 若い世代の新規入団者を一定数確保することができたが、充足率は依然として減少傾向にあるため、引き続き、広く市民に消防団活動のPRを行い、消防団員が活動しやすい環境づくりに取り組み、消防団員の確保対策を行う必要がある。		

## 【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

部局名	消防局	
個別施策	F9-1 救急医療体制の充実を図ります	
施策の目的 (対象と意図)	対象	意 図
	救急医療体制が	適切に整備されている。

### 令和3年度 of 取組概要

- 高規格救急自動車の整備
  - ・高規格救急自動車を代替更新した。
- 救命率の向上
  - ・市民や事業所などを対象とした救命講習、応急手当講習及び中学生を対象としたスクール救命サポーター育成事業を実施した。
  - ・119番受報時、通報者が適切に応急手当をできるように誘導した。
  - ・心肺蘇生法の簡単な手順をプリントしたプライバシー保護が可能な救命サポートエコバックを制作し、女性の救命講習受講者に配布した。
  - ・新型コロナウイルス感染拡大により、対面式での救命講習ができないことから、心肺蘇生法の解説動画(成人、小児、乳児)をYouTubeに公開した。
  - ・救急隊員の感染防止資機材を購入するとともに、職場内の感染拡大防止を図るため、シャワーブース付きの仮眠室を整備した。
  - ・新型コロナウイルス感染対策として、オンラインによる応急手当講習を実施できる環境を整備した。
- 救急車の適正利用
  - ・応急手当講習等の受講者やイベントの参加者に、チラシやポスターを配布し啓発を行った。
  - ・病院照会専用電話による市民から寄せられた診療可能な医療機関の問い合わせに指令課が対応した。

### 評価(成果)

- 高規格救急自動車の整備
  - ・高規格救急自動車1台を更新し、救急救命処置を提供できる体制が維持された。
- 救命率の向上
  - ・救命講習107回で1,054人、応急手当講習165回で4,487人及びスクール救命サポーター育成事業を2校で253人が受講した。
  - ・119番受報時に、心肺蘇生を促す誘導を533件実施した。
  - ・救命サポートエコバックを1,000枚作成し、救命講習等で配布した。
  - ・心肺蘇生法の解説動画(成人、小児、乳児)が3,913回視聴された。
  - ・全心肺停止患者のうち、救急隊が現場到着するまでに心肺蘇生法が行われていた割合が55.2%であった。
- 救急車の適正利用
  - ・適正利用のチラシを2,000枚、ポスターを287枚配布した。
  - ・市民から寄せられた診療可能な医療機関の案内を7,156件実施した。

### 評価(問題点とその要因)

- 救命率の向上
  - ・多くの市民が救命講習等を受講しているが、全心肺停止患者のうち、約4割の救急現場で心肺蘇生が行われていない。
  - ・救命講習の受講者にアンケートを行ったところ、約5割弱の受講者が心肺蘇生を行うことに対して自信がない、傷病者を悪化させるかもしれない等の不安を抱いている。
- 救急車の適正利用
  - ・救急搬送が必要ではない病気や怪我の判断、診療可能な医療機関がわからない等の不安を抱く市民が存在している。
  - ・緊急に診療を必要としない場合においても、救急要請があることから、救急要請に対応する救急車の現場到着に遅延が生じるおそれがある。

### 今後の取組方針

- 高規格救急自動車の整備
  - ・高規格救急自動車を計画的に代替更新し、救急救命処置が提供できる体制を維持する。
- 救命率の向上
  - ・市民による心肺蘇生法の実施率向上のため、新しい生活様式に対応した応急手当講習等を実施する。
  - ・119番受報時、通報者が適切に応急手当を実施できるように誘導する。
  - ・新型コロナウイルス等特定感染症の患者搬送において、救急隊員の感染対策を徹底し、安心して業務を継続できる環境を整備する。
  - ・救急隊員の救急救命処置の質の向上を図るため、医師からの指導、教育体制の充実に取り組む。
- 救急車の適正利用
  - ・SNSや各種メディア等を活用して、救急車の適正利用に関する啓発を推進する。
  - ・病院照会専用電話により、市民から寄せられた診療可能な医療機関の問い合わせに指令課が適切に対応する。

【主な個別施策の成果と関連事業の政策評価結果】

関連する主な事業名

頁	事業名・目的・概要	事業実績、成果・課題等	
506	<p>(事業名) 救急業務費</p> <p>(事業目的) 救急需要に対応するため、救急隊による高度な救急救命処置や迅速な病院搬送を行い、救命率の向上を目指し医療機関や市民と連携した救急体制の充実を図る。</p> <p>(事業概要) ・救急業務に必要な資機材及び消耗品を整備する。 ・救命率の向上を図るため、応急手当の普及啓発を推進する。 ・救急需要対策として、救急車の適正利用の啓発を推進する。</p>	成果指標	市民による心肺蘇生の実施率
		目標値	100.0 %
		実績値	55.2 %
		達成率	55.2 %
		決算額	22,980,699 円
		成果指標・目標値の説明	<p>救命率の向上には、市民や救急隊による適切な処置が不可欠であるため、救急隊が搬送した心肺停止の全傷病者(令和3年:406人)に対し、救急隊到着前に市民による心肺蘇生を受けていた傷病者(令和3年:224人)の割合を成果指標とした。</p> <p>心肺停止の全傷病者が市民による心肺蘇生を受けられることを目標とし、平成25年の50.8%から毎年7%増を目標値とした。</p>
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民への救命講習を107回1,054人に実施し、救急サポートステーションを4施設登録した。</li> <li>・市内中学校、2校253人に対しスクール救命講習を実施した。</li> </ul> <p>(成果・課題等)</p> <p>コロナ禍において、受講実績は減少したが、感染対策を徹底しながら、継続的に救命講習を開催することができた。</p> <p>今後も、心肺蘇生の実施率向上のため、新しい生活様式に対応した応急手当講習等の普及啓発を継続する必要がある。</p>

款	項	予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
		円	円	円	円
9	消 防 費	(5,140,185,200) 1,567,153,166	(4,772,459,882) 1,249,925,370	(17,788,700) 17,788,700	(349,936,618) 299,439,096
1	消 防 費	(5,140,185,200) 1,567,153,166	(4,772,459,882) 1,249,925,370	(17,788,700) 17,788,700	(349,936,618) 299,439,096

【消防局】

1目 常備消防費	予算額	251,043,966 円	決算額	235,606,693 円
1 常備消防活動費				235,606,693 円
(1) 職員研修費				17,832,284 円
ア 派遣研修費(延 50人)				4,016,040 円
イ 負担金				9,624,150 円
(ア) 県消防学校入校負担				5,868,600 円
(イ) 救急救命士教育訓練負担				2,106,000 円
(ウ) ドローン技能講習負担				960,000 円
(エ) その他				689,550 円
ウ その他経費(消耗品費、手数料ほか)				4,192,094 円
(2) 職員被服費				13,832,727 円
(3) 災害防御費				45,602,154 円
ア 車両・船舶用燃料費				28,231,131 円
イ 負担金				54,000 円
(ア) 長崎地区安全運転管理協議会負担				24,000 円
(イ) その他				30,000 円
ウ その他経費(消耗品費、備品購入費ほか)				17,317,023 円
(4) 救急業務費				22,980,699 円
ア 救急業務用消耗品費				18,694,305 円
イ 委託料				2,124,414 円
(ア) 救急廃棄物処理委託				916,300 円
(イ) 救急活動事後検証委託				699,600 円
(ウ) 救急救命士気管挿管病院実習委託				406,662 円
(エ) 特定行為指示委託				101,852 円
ウ その他経費(旅費、印刷製本費ほか)				2,161,980 円
(5) 火災予防費				3,077,050 円
ア 委託料				1,572,600 円
(ア) 特定屋外タンク貯蔵所審査委託				873,000 円
(イ) 啓発映像制作委託				699,600 円
イ その他経費(印刷製本費、消耗品費ほか)				1,504,450 円

(6) 通信指令費		69,313,164	円
ア 通信回線使用料		25,726,031	円
イ 委託料		27,728,294	円
(ア) 総合消防情報システム保守委託		26,903,294	円
(イ) 無線中継局樹木伐採委託		616,000	円
(ウ) 多言語通訳委託		209,000	円
ウ 使用料及び賃借料		14,548,940	円
(ア) パソコン借上		2,659,800	円
(イ) 電話設備等借上		11,889,140	円
エ その他経費(消耗品費、印刷製本費)		1,309,899	円
(7) 常備消防施設維持管理費		59,008,615	円
ア 光熱水費		41,671,156	円
イ 委託料		12,037,200	円
(ア) 清掃委託		6,043,014	円
(イ) 害虫駆除委託		794,200	円
(ウ) エレベータ保守点検委託		1,599,840	円
(エ) 消防用設備等保守点検委託		1,150,160	円
(オ) 自家用電気工作物保安委託		1,160,280	円
(カ) 貯水槽保守点検委託		104,500	円
(キ) 産業廃棄物処理委託		835,846	円
(ク) 雨水処理装置保守委託		349,360	円
ウ 使用料及び賃借料		3,662,261	円
(ア) 下水道使用料		3,648,841	円
(イ) その他		13,420	円
エ その他経費(手数料、消耗品費ほか)		1,637,998	円
(8) 長崎県防災ヘリコプター運航連絡協議会負担金		3,960,000	円

**【消防局】**

2目 非常備消防費	予算額	449,904,000	円	決算額	403,247,909	円
1 消防団活動費					230,470,160	円
(1) 団員報酬					166,170,270	円
ア 報酬					100,565,310	円
イ 旅費					65,604,960	円

(ア) 団員研修 8,892,000 円

種 別	教 養 訓 練	そ の 他	計
人 数	1,153 人	407 人	1,560 人

(イ) 災害防御 28,357,500 円

種 別	水 火 災 動	災 害 警 戒	精 霊 流 し 戒	年 末 警 戒	そ の 他	計
人 数	847 人	206 人	263 人	3,290 人	243 人	4,849 人

(ウ) 火災予防 20,337,600 円

種 別	火 災 予 防	消 防 訓 練 ・ 防 火 訪 問	計
人 数	133 人	3,435 人	3,568 人

(エ) 出初式及び式典行事 6,845,700 円

(オ) 団員加入促進 1,065,900 円

(カ) その他 106,260 円

(2) 団員研修費 202,960 円

ア 県消防学校入校負担金 132,580 円

イ その他経費 70,380 円

(3) 団員被服費 7,115,725 円

(4) 災害防御費 4,808,452 円

ア 消耗品費 2,409,313 円

イ 燃料費 1,974,669 円

ウ その他経費 424,470 円

(5) 火災予防費 167,475 円

(6) 出初式及び式典行事費 5,230,130 円

ア 会場借上料 2,991,940 円

イ 消耗品費 1,931,480 円

ウ その他経費 306,710 円

(7) 団員加入促進費 5,114,124 円

ア 団員募集広報委託料 3,223,440 円

イ その他経費(消耗品費、印刷製本費ほか) 1,890,684 円

(8) 非常備消防施設維持管理費 10,349,728 円

ア 光熱水費 8,676,984 円

イ 委託料 124,300 円

(ア) 消防用設備等保守点検委託 74,800 円

(イ) エレベータ保守点検委託 49,500 円



ウ 下水道使用料	1,504,624	円
エ その他経費	43,820	円
(9) 消防団運営費補助金(70分団 2,581人)	29,574,296	円
(10) 長崎県消防協会負担金	1,737,000	円
2 消防活動支援費	7,629,159	円
(1) 市民防火組織等育成費	7,629,159	円
ア 補助金	4,809,017	円
(ア) 婦人防火クラブ補助(257クラブ 31,440人)	4,637,390	円
(イ) 少年消防クラブ補助(28クラブ 1,224人)	171,627	円
イ その他経費(消耗品費、備品購入費ほか)	2,820,142	円
3 消防団員福利費	165,148,590	円
(1) 消防団員退職報償金及び掛金	129,352,800	円
ア 退職報償金	72,828,000	円
イ 退職報償金保険料	56,524,800	円
(2) 消防団員等公務災害補償金及び掛金	35,795,790	円
ア 災害補償費	27,864,756	円
イ 災害補償保険料	7,096,878	円
ウ 調停和解額に係る賠償金	834,156	円

**【消防局】**

3目 消防施設費	予算額	266,824,000	円	決算額	237,561,547	円
1 消防施設管理費					96,948,472	円
(1) 常備消防施設等維持補修費					49,178,610	円
ア 修繕料					46,925,342	円
(ア) 施設修繕					23,667,028	円
(イ) 消防機器等修繕					23,258,314	円
イ アスベスト含有分析調査委託料					150,700	円
ウ その他経費(公課費、原材料費ほか)					2,102,568	円
(2) 非常備消防施設等維持補修費					21,643,133	円
ア 修繕料					17,072,511	円
(ア) 施設修繕					8,491,653	円
(イ) 消防機器等修繕					8,580,858	円
イ 委託料					1,139,924	円
(ア) 害虫駆除委託					129,800	円
(イ) 浄化設備保守点検委託					17,600	円

(ウ) アスベスト含有分析調査委託	294,800 円
(エ) 分筆登記測量委託	697,724 円
ウ 工事費	1,690,198 円

事業名	事業費	事業の概要
消防団格納庫解体工事	1,690,198 円	第65分団(琴海戸根町) 軽量鉄骨造平家建 延床面積 A= 30.8㎡

エ その他経費(公課費、台船借上料ほか)	1,740,500 円
(3) 消火栓新設・維持管理費負担金	26,126,729 円
2 【補助】消防車両等整備事業費	61,219,032 円
(1) 消防ポンプ自動車整備ほか	61,219,032 円
ア 無線設備等設置委託料	1,757,800 円
イ 備品購入費	58,185,398 円
(ア) 消防用特殊車両購入	48,348,978 円

種別	数量	金額	備考
	台	円	
消防ポンプ自動車	1	30,469,558	三重出張所
高規格救急自動車	1	17,879,420	琴海出張所
計	2	48,348,978	

(イ) 消防機材購入 9,836,420 円

種別	数量	金額	備考
高度救命処置用資機材	1 式	9,836,420 円	琴海出張所

ウ その他経費(消耗品費、公課費ほか)	1,275,834 円
3 【単独】消防車両等整備事業費	46,385,470 円
(1) 消防ポンプ自動車整備ほか	46,385,470 円
ア 無線設備設置委託料	1,588,400 円
イ 備品購入費	43,321,426 円
(ア) 消防用特殊車両購入	32,711,926 円

種別	数量	金額	備考
	台	円	
消防ポンプ自動車	1	17,269,558	第10分団(上小島3丁目)
小型動力ポンプ積載車(軽)	6	15,442,368	第24分団2部(小浦町)、第25分団3部(手熊町)、 第26分団2部(向町)、第28分団3部(平間町)、 第33分団2部(田手原町)、第36分団2部(三和町)
計	7	32,711,926	

## (イ) 消防機材購入

10,609,500 円

種 別	数 量	金 額	備 考
小 型 動 力 ポ ン プ	6 台	9,207,000 円	第29分団3部(中里町)、第33分団2部(田手原町)、第34分団5部(北浦町)、第50分団3部(野母町)、第52分団1部(高浜町)、第66分団1部(琴海村松町)
自動体外式除細動器(AED)	3 式	1,402,500	蛭茶屋出張所、浦上出張所、土井首出張所
計		10,609,500	

ウ その他経費(消耗品費、手数料ほか) 1,475,644 円

4 【単独】消防施設整備事業費 33,008,573 円

(1) 消防団格納庫建設ほか 10,494,873 円

ア 工事費 10,340,000 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
第 3 1 分 団 5 部 格 納 庫 新 築 ほ か 工 事	10,340,000 円	潮見町 木造2階建 建築面積 A= 24.8㎡ 延床面積 A= 49.7㎡ 建物主体工 既存格納庫解体工

イ その他経費 154,873 円

(2) 消防庁舎改修 4,473,700 円

ア 工事費 4,204,200 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
中 央 ・ 北 消 防 署 内 部 改 修 工 事	4,204,200 円	シャワーユニット設置 N= 2基

イ その他経費 269,500 円

(3) 防火水槽整備ほか 18,040,000 円

ア 工事費 18,040,000 円

事 業 名	事 業 費	事 業 の 概 要
防 火 水 槽 設 置 工 事	18,040,000 円	西出津町 N= 1基( 20.0t)

## 【参考】消防事務委託負担金(歳入額)

出 張 所	委 託 町	人 件 費	一 般 経 費	施 設 費	合 計
浜 田	長 与 町	260,147,250 円	52,641,241 円	1,189,852 円	313,978,343 円
	時 津 町	203,835,226	40,315,699	911,997	245,062,922
計		463,982,476	92,956,940	2,101,849	559,041,265

## 【防災危機管理室】

4目 災害対策費 予算額 599,381,200 円 決算額 373,509,221 円  
(前年度繰越額 290,997,124 円)

1 災害対策費	51,412,923 円
	(越 14,209,800 円)
(1) 防災会議運営費	157,000 円
ア 防災会議開催経費(1回)	157,000 円
(2) 災害対策活動費	46,921,067 円
	(越 14,209,800 円)
ア 消耗品費(ワンタッチパーテーション、戸別受信機ほか)	23,532,944 円
	(越 12,779,800 円)
イ 委託料	3,384,700 円
(ア) 水防対策支援委託	2,640,000 円
(イ) 避難所標識設置委託(1箇所)	160,600 円
(ウ) 防災メール配信等委託	584,100 円
ウ 備品購入費	1,557,600 円
	(越 1,430,000 円)
(ア) サーモグラフィカメラ購入	1,430,000 円
	(越 1,430,000 円)
(イ) ポータブル蓄電池購入	127,600 円
エ 戸別受信機購入補助金(685件)	8,998,000 円
オ その他経費(報酬、通信運搬費ほか)	9,447,823 円
(3) 総合防災訓練費	278,953 円
ア 委託料	242,000 円
(ア) 総合防災訓練仮設建物等設置撤去委託	220,000 円
(イ) 総合防災訓練開催周知委託	22,000 円
イ その他経費	36,953 円
(4) 自主防災組織活動費 (自主防災組織結成自治会6自治会)	2,494,062 円
(5) 地域防災マップ作成費	671,841 円
(6) 長崎県水難救済会補助金	890,000 円
2 防災施設維持管理費	45,308,974 円
(1) 防災行政無線等維持管理費	45,308,974 円
ア 光熱水費	5,408,794 円
イ 施設修繕料	4,641,675 円
ウ 委託料	31,793,850 円
(ア) 中継所消防用設備等保守点検委託	46,200 円
(イ) 防災行政無線システム保守管理委託	31,222,400 円

(ウ) アスベスト含有分析調査委託	473,000 円
(エ) アナログ式戸別受信機撤去委託	52,250 円
エ 負担金	554,200 円
(ア) 防災行政無線電波利用料負担	87,200 円
(イ) 電気使用料負担	17,000 円
(ウ) 長崎県防災行政無線運営協議会負担	450,000 円
オ その他経費(通信運搬費、土地借上料ほか)	2,910,455 円
3 【単独】防災行政無線整備事業費	199,406,845 円
	(越 199,406,845 円)
(1) 防災行政無線デジタル化	199,406,845 円
	(越 199,406,845 円)
ア 工事費	199,406,845 円
	(越 199,406,845 円)

事業名	事業費	事業の概要
	円	
防災行政無線デジタル化整備工事	(越 138,600,000 138,600,000 )	屋外拡声子局: 44箇所
防災行政無線アナログ設備撤去工事	(越 60,806,845 60,806,845 )	親局: 3箇所、遠隔制御装置: 18箇所 屋外拡声子局: 55箇所、中継局: 8箇所
計	(越 199,406,845 199,406,845 )	

4 【単独】避難所整備事業費	77,380,479 円
	(越 77,380,479 円)
(1) 拠点避難所	77,380,479 円
	(越 77,380,479 円)
ア 工事費	77,380,479 円
	(越 77,380,479 円)

事業名	事業費	事業の概要
	円	
窓ガラス地震等対策工事	(越 37,510,000 37,510,000 )	強化ガラスへの交換及び飛散防止フィルム設置工事 北公民館ほか 13箇所
シャワー及び多目的トイレ等設置工事	(越 39,870,479 39,870,479 )	シャワー設置工事 古賀地区市民センターほか 1箇所 多目的トイレ等設置工事 古賀地区市民センターほか 3箇所
計	(越 77,380,479 77,380,479 )	

令和3年度一般会計歳入歳出決算における不用額の説明並びに予備費充用の説明(消防費)

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
9 消防費	1 消防費	1 常備消防費	<p>【消防局】</p> <p>(1) 常備消防活動費</p> <p>消防局総務課 職員研修費において、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、各種研修会が中止となったことなどによるもの。(4, 187千円)</p> <p>警防課 災害防御費において、緊急消防援助隊の派遣がなかったことにより、燃料費が予定を下回ったことなどによるもの。(4, 397千円)</p> <p>指令課 通信指令費において、電信電話料が予定を下回ったことなどによるもの。(3, 933千円)</p>	
		2 非常備消防費	<p>【消防局】</p> <p>(1) 消防団活動費</p> <p>消防局総務課 出初式及び式典行事費において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため出初式を縮小開催したことなどによるもの。 (2, 436千円)</p> <p>予防課 団員報酬において、災害に出動した消防団員数が見込みを下回ったことにより、消防団員への費用弁償が予定を下回ったことなどによるもの。 (31, 250千円)</p> <p>(2) 消防活動支援費</p> <p>予防課 市民防火組織等育成費において、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため市民防火のつどいを中止したことなどによるもの。 (2, 491千円)</p> <p>(3) 消防団員福利費</p> <p>予防課 消防団員退職報償金及び掛金において、退職報償金の額が見込みを下回ったことによるもの。 (5, 511千円)</p>	

款	項	目	主な不用額の説明 (千円未満四捨五入)	主な予備費充用の説明 (千円未満四捨五入)
9 消防費	1 消防費	3 消防施設費	<p>【消防局】</p> <p>(1) 【補助】消防車両等整備事業費 警防課 消防ポンプ自動車整備ほかにおいて、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で消防車両等の物品購入契約を締結できたことなどによるもの。(2, 781千円)</p> <p>(2) 【単独】消防施設整備事業費 消防局総務課 消防団格納庫建設ほかにおいて、制限付一般競争入札の結果、当初予定していた価格を下回る金額で消防団格納庫建設に係る工事請負契約を締結できたことなどによるもの。 (5, 865千円)</p>	
		4 災害対策費	<p>【防災危機管理室】</p> <p>(1) 災害対策費 災害対策活動費において、委託料が見込みを下回ったことなどによるもの。 (5, 500千円)</p> <p>総合防災訓練費において、事業が中止になったことによるもの。(3, 363千円)</p> <p>(2) 防災施設維持管理費 防災行政無線等維持管理費において、防災行政無線に係る修繕が見込みを下回ったことなどによるもの。(4, 661千円)</p> <p>(3) 【単独】防災行政無線整備事業費 防災行政無線デジタル化において、既設のアナログ設備の撤去数の減により事業費が見込みを下回ったことなどによるもの。 (37, 899千円)</p> <p>(4) 【単独】避難所整備事業費 拠点避難所において、拠点避難所整備工事の整備計画変更に伴い事業費が見込みを下回ったことなどによるもの。(171, 767千円)</p>	
		5 水防費		

